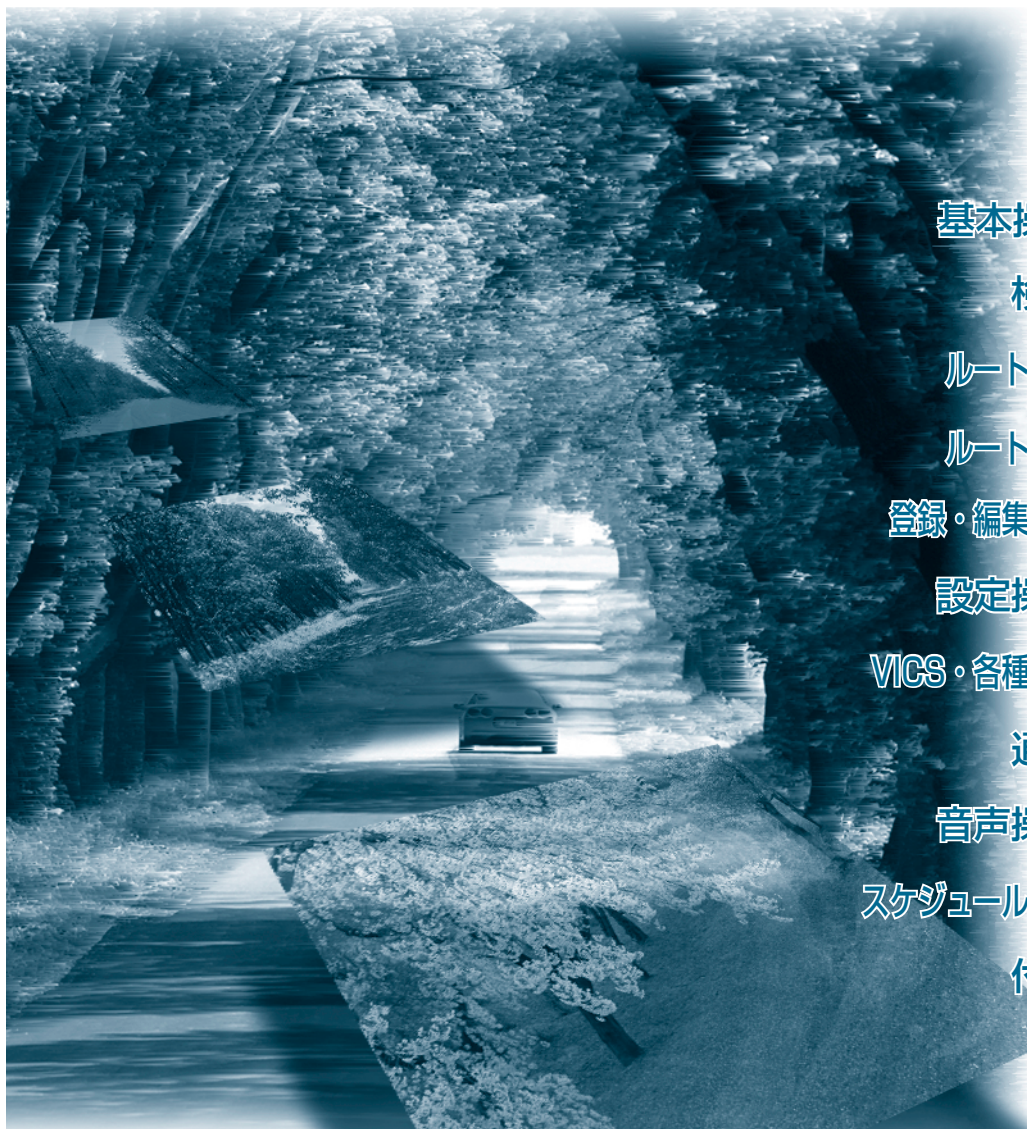




基本操作

検索

ルート探索

ルート案内

登録・編集操作

設定操作

VICS・各種情報

通信

音声操作

スケジュール管理

付録

Navigation Book

HDD Navigation Map TypeII Vol.2

タッチパネルタイプ

carrozzeria

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例：この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地名検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために



走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ルートの設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。（操作しようとする、「走行中は操作できません」とメッセージが表示されます。）

操作はエンジンをかけたままで

エンジンを切って本機を操作すると、バッテリー消耗の原因になります。本機の操作はエンジンをかけたままで行ってください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。また、曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

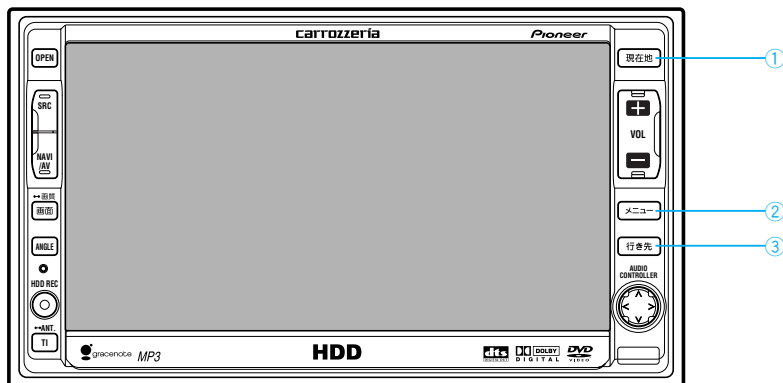
表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	メモマーク 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチボタンを表します。 例： にタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例： を押す
→ 斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： → 「文字の入力操作」(294P)
	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

各ボタンの表記

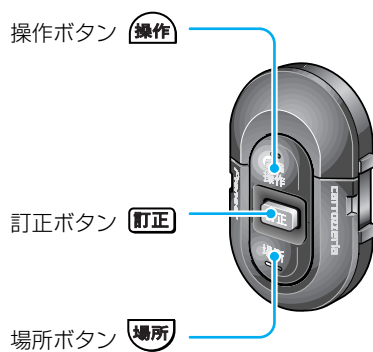
操作手順の説明では、各ボタンをイラスト表示や名称で表しています。

ナビゲーション本体



- ① **現在地ボタン**
現在地を表示させるときなどに押します。
- ② **メニューボタン**
設定を行うときなどに押します。
- ③ **行き先ボタン**
目的地を表示するときなどに押します。

音声認識コントローラー



目次

安全にお使いいただくために	2
安全走行のために	3
本書の見かた	4
各ボタンの表記	5

基本操作

基本的な地図画面の見かたと操作	12
地図画面の見かた	12
地図画面の表示方法を変える	17
地図を動かす	19
地図のスケールを変える	19
メニュー操作	26
基本的な操作のしかた	26
スタートメニューの表示	27
ショートカットメニュー	28

検索

場所を探す	29
検索方法の種類	29
地図で探す	29
名称で探す	30
ジャンルで探す	31
住所で探す	33
電話番号で探す	34
緯度経度で探す	35
マップコードで探す	35
周辺施設を探す	36
マイリストから探す	37
観光エリアから探す	38
登録地・履歴から探す	39
詳細情報を見る	40
スクロール画面にする	41

ルート探索

行き先までのルートを探させる	42
学習ルート探索	44
VICS情報を考慮したルート探索 （渋滞考慮ルート探索）	44
回避エリアを考慮した ルート探索	44
ルートを確認する	45
ルートプロフィールで確認する	45
ルートスクロールで確認する	45
他のルートを選ぶ	46
ルートを詳細に設定する	47
立寄地を設定する	47
乗り降りIC（インター チェンジ）を指定する	48
登録道をルートに組み込む	49
出発地を指定する	50
自宅に帰るルートを探させる	51
簡単にルートを探させる	52
ドライブプランを立てる	53
ドライブプランを作成する	53
ドライブプランを実行する	58
ドライブプランを実行中	58
ドライブプランを編集する	59
ドライブプランを確認する	60
ドライブプランを消去する	60

ルート案内

ルートを案内させる	61
ルート案内を開始する	61
過去に通った道などを 優先して案内させる （ルートアドバイザー）	67
ルート上の渋滞を案内させる	67

渋滞を自動的に考慮する （渋滞考慮オートリルート）	67	ロゴマークの登録・編集	91
案内中のルートを確認する	68	ロゴマークを表示させなくする	91
条件を変えてルートを 設定し直す	69	ロゴマークの位置を修正する	92
ルート上の目的地や 立寄地を編集する	70	ロゴマークを登録する	94
ルート上に乗り降りIC （インターチェンジ）を 指定する	72	その他のデータの登録・編集	97
ルート上に登録道を組み込む	73	通りたい道路を登録する	97
現在案内中のルートとは 別のルートを探索する	73	登録道を編集する	98
ルート上の立寄地を先送りする	74	回避したい場所を登録する	100
ルート案内中の操作	75	回避エリアを編集する	101
ルート上の渋滞、規制情報を 表示させる	75	携帯電話情報を消去する	103
ルート案内を中止する	75	ルートの学習内容を消去する	103
		検索履歴を消去する	104
		走行軌跡を消去する	104
		オートリルート履歴を 編集する	105
		登録リルート地点を編集する	106
		マイリストを消去する	108
		オービスデータを消去する	108

登録・編集操作

地点の登録	76
自宅を登録する	76
現在地を登録する	76
探した場所を登録する	77
登録地の編集	78
登録地リストを並べ替える	78
登録地の名称を変更する	79
登録地のよみを変更する	80
登録地の電話番号を変更する	80
登録地のマークを変更する	80
登録地の画像を変更する	82
登録地の効果音を変更する	84
登録地の探索条件を変更する	85
登録地をグループに振り分ける	86
登録地の位置を変更する	87
自宅に変更する	88
登録地を消去する	88
登録地のグループ名を変更する	89

設定操作

機能設定	109
設定を変更する	109
設定内容の詳細	110
その他の設定	119
ロゴマークを表示させる	119
音量を調整する	120
自転車位置のずれを修正する	120
画面の背景を カスタマイズする	121

VICS・各種情報

VICS情報の利用	124
VICSとは	124
地図上でVICS情報を見る	126
文字情報を見る	129
図形情報を見る	130
センター情報を見る	130
放送局を選ぶ	131

各種情報の利用	133
FM文字放送を見る	133
気象情報を見る	134
ハードウェア情報を見る	140

通信

インターネット	145
インターネットとは	145
インターネットを 利用するまで	145
プロバイダを設定する	147
ウェブページを見る	153
画面を操作する	154
画面が正しく 表示されないとき	156
ホームページに戻る	156
URLを入力して ウェブページを見る	156
ブックマークする	157
履歴を操作する	161
表示したウェブページを 保存する	163
接続を解除する	165
インターネットの基礎知識	165
Eメール	168
Eメールを利用する前に	168
メール環境を設定する	168
メールを送信する	169
アドレス帳を使う	174
定型文を使う	177
シグネチャー（署名）を 登録する	179
メールを受信する	180
添付ファイルを操作する	185
ポイントパーティー	187
初期登録を行う	187
ポイントパーティーを 開始する	188

ポイントパーティーの 設定を変更する	189
ポイントパーティーに 参加する	192
メンバーの位置情報を 表示する	193
ポイントパーティーを 終了する	194

携帯電話	195
携帯電話を利用する前に	195
携帯電話で通話するときは	195
携帯電話を使う	196

音声操作

音声操作のポイント	204
発話を正しく認識させるには	204
キャラクタの案内	205
音声操作の流れ	205
発声の特徴を学習させる	209
場所を探す	211
周辺施設を探す	211
住所で探す	212
電話番号で探す	212
登録した場所を探す	213
最近探した場所を探す	213
施設名で探す	214
自宅へ帰るルートを探索する	215
目的地の地図を見る	215
基本操作をする	216
音声認識語	216
ルートの設定と案内	218
音声認識語	218
VICS情報を確認する	220
音声認識語	220
電話をかける	221
登録した場所にかける	221
電話番号を発話してかける	221
携帯電話にかける	222

メモリダイヤルでかける	222
フリーダイヤルにかける	223
リダイヤルでかける	223
テレビ・ビデオを操作する	224
音声認識語	224
DVDを操作する	225
音声認識語	225
CDやMP3ディスクを操作する	226
音声認識語	226
ミュージックサーバーを操作する	227
音声認識語	227
MDを操作する	229
音声認識語	229
ラジオを操作する	230
音声認識語	230
その他の操作をする	231
音声認識語	231
音声操作の設定を変える	232
ボイスヘルプ	232
オーディオミュート	232
話者学習していない人が 使うときは	232
検索できるジャンルの種類	233
ジャンル名の指定のしかた	233
施設名で場所を探す場合の 対象ジャンル	235

スケジュール管理

ドライブスケジュールを管理する	236
スケジュールを作成する	236
毎日、毎週、毎月、毎年で スケジュールを作成する	238
スケジュール実行時の 確認画面	239
スケジュールを確認する	239
スケジュールの実行を 場所で指定する	239
スケジュールリストを見る	241

スケジュールの日時または 場所を変更する	242
スケジュールを消去する	242
スケジュールを一括消去する	243
車両情報を管理する	244
エンジンオイルなどの 交換時期を設定する	244
車検・任意保険・免許更新の 期日を設定する	245
お知らせの確認画面	246
車両設定を行う	246
ETCの操作	247
利用履歴を確認する	248
前納料金を設定する	248
前納料金の設定をクリアする	249
ヘルプネットの操作	250
通報する	250
システムの点検	251
ヘルプネット機能の消去	253
修理後の確認操作	253

付録

困ったときには	254
操作ガイドを見る	254
故障かなと思ったら	255
共通項目	255
ナビゲーション	257
テレビ	261
DVD	262
CD／MP3ディスク	264
MP3ファイル	265
MD	266
ミュージックサーバー	266
エラーメッセージと対処方法	267
共通項目	267
ナビゲーション	267
DVD/CD/MP3ディスク	269
ミュージックサーバー	270

ETC	271	スペースを空ける	296
ヘルプネット	272	文字を挿入する	296
画面が動かなくなった場合は	273	改行する	296
頻繁にシステムエラーが 発生する場合は	273	定型文を入力する	297
センサメモリの		PCカードの操作	298
リセットについて	274	PCカードに保存する	298
センサ学習状態の		PCカードから読み込む	300
リセットが必要な場合	274	PCカードから消去する	301
センサ学習状態の		PCカードをフォーマットする	302
リセットのしかた	274	機能設定一覧	303
ナビゲーションのしくみ	275	地図表示	303
現在地がわかるしくみ	275	ルート・案内	305
測位の精度を		VICS・FM多重	308
高めるためのしくみ	276	その他	310
誤差について	278	索引	312
その他の情報	282	メニュー索引	312
検索におけるデータベースに ついて	282	用語索引	314
ルートに関する注意事項	283		
VICS情報に関する注意事項	285		
ETCに関する注意事項	285		
ヘルプネットについて	286		
予報に関する注意事項	286		
アメダス情報について	287		
詳細市街地図収録エリアに ついて	288		
オービスポイントについて	291		
バックカメラを組み合わせる	291		
ナビゲーションの2画面表示	292		
かな漢字変換できる記号	293		
文字の入力操作	294		
文字種を切り替える	294		
全角・半角を切り替える	294		
文字を入力する	294		
無変換、変換を行う	295		
文字入力を終了する	295		
漢字表から入力する	295		
文字を削除する	295		

基本的な地図画面の見かたと操作

地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」（15P）があります。

現在地画面

ノーマルビュー



メモ

- 方位表示の赤い三角が北を示します。
- 進行方向が常に上にくるように地図が回転します（ヘディングアップ）。
地図の回転のしかたは変更できます。
→「設定を変更する」（109P）
- 軌跡表示は、今までに通った約230km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- 現在地の地名は地図のスケールが10m～50mの詳細市街地図収録エリアの場合、市区町村、住所名、丁目が表示されます。（詳細市街地図収録エリア外は市区町村、ドライバーズビュー、シティハイウェイマップは都道府県と市区町村が表示されます。）
- 現在地の地名は地図のスケールが100m～1kmの場合、都道府県と市区町村が表示されます。
- 現在地の地名は地図のスケールが2km以上の場合には表示されません。
- 情報ウィンドウは都道府県/市区町村以外にも「緯度経度」「走行道路名」（走行道路名称表示）「AV情報」の切り替えができます。→「設定を変更する」（109P）
- 場所によっては、現在地の地名が表示されないところもあります。
- スカイビューなどの3D地図では、スケールが200m以下のとき立体ランドマークを表示させることができます。立体ランドマーク表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）
- 通信中（ウェザーライブで気象情報を見ているときなど）は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示はノーマルビュー、またはスカイビューになります。
- 現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

現在地図面を表示させる

1

現在地を押す

現在地の地図が表示されます。

地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。



メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。その間は過去の現在地（最後に測位したところ）が表示されます。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。また、自車マークの向きが実際の進行方向と異なる場合があります。

走行すると表示される画面

交差点に近づく

交差点の手前300mに近づく、場所により通過する交差点名と方面案内表示、さらに直進・右左折を案内するレーン情報が表示されます。

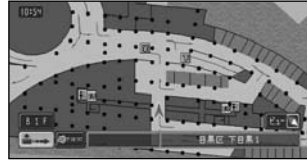


メモ

- 方面案内表示は、実際の標識と異なる場合があります。
- 方面案内表示は、ON/OFFできます。
→ 「設定を変更する」(109P)

駐車場に入ると

データが収録されている大規模駐車場に入ると、入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。



メモ

- 駐車場マップは、4m、8mスケール相当で表示されます。
- 駐車場マップの表示のさせかたは、「オート」、「マニュアル」のいずれかに変更できます。
→ 「設定を変更する」(109P)

有料道路を走行すると

都市高速ではシティハイウェイマップに、都市間高速ではハイウェイモードに地図の表示方法が切り替わります。

メモ

表示方法を自動切り替えに変更できます。
→ 「設定を変更する」(109P)

抜け道があると

ハードディスク内に収録されている抜け道情報が道塗りされ点滅して表示されます。

メモ

- スケールが200mより詳細なとき表示されます。
- 抜け道表示は、ON/OFFできます。
→ 「設定を変更する」(109P)

セーフティインフォメーション

運転の状況に応じて音声で案内を行います。

リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
踏切案内	この先、踏切です。ご注意ください。
合流方向案内	この先、左からの合流があります。ご注意ください。
右左折専用レーン案内	300m先、右折（または左折）専用レーンがあります。ご注意ください。
ライト点灯案内	まもなく、日が暮れます。ライトの確認をしてください。
県境案内	〇〇県に入りました。
有料道路注意地点	この先〇〇kmは十分運転に注意してください。

メモ

- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 右左折専用レーン案内では、誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状と合わない場合があります。
- 有料道路注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ案内されます。
- セーフティインフォメーションは、それぞれON/OFFできます（合流方向案内と県境案内、有料道路注意地点は、まとめてON/OFFします）。→「設定を変更する」(109P)
- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。
ルート案内中でなくても案内されます。

■スクロール画面

ノーマルビュー

現在地から十字カーソル
を結んだ線



現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

十字カーソル位置の地名

地図画面の見かた

メモ

- 十字カーソルは、画面の中心に表示されます（2D表示）。
- スクロール中は、画面の上下左右にスクロール方面表示が表示されます。200m以下のスケールでは市区町村名が、500m～1kmスケールでは都道府県名が表示されます。2km以上のスケールでは地名は表示されません。（場所によっては、上下左右いずれかのスクロール方面表示が表示されない場合があります。）
- スクロール方面表示は、ノーマルビュー、スカイビュー、ツインビュー、ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャーで表示されます。
- スクロール画面では、交差点の名称、レーン案内、方面案内、交差点拡大図は表示されません。
- ドライバーズビューやシティハイウェイマップでウィンドウマップ（18P）を表示しない設定にしている場合も、スクロール中はウィンドウマップが表示されます。
- スクロール方面表示やウィンドウマップの表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）
- スクロール画面は、2D（ノーマルビュー）に固定できます。→「設定を変更する」（109P）

■サイドマップ表示

ハイウェイモード表示、および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側にサイドマップが表示されます。サイドマップは、直前に選択されていた表示方法とスケールで表示され、進行方向が常に上になるように地図が回転します（ヘディングアップ）。

メモ

- サイドマップのスケールは変更できます。
- 場所を探すリスト画面のサイドマップは、2D表示のノースアップ固定です（「周辺施設を探す」からルート周辺を探す場合は、ヘディングアップです）。
- 直前にツインビュー（18P）で表示されていた場合は左画面の表示方法とスケールで、ドライバーズビュー（18P）、シティハイウェイマップ（24P）で表示されていた場合はウィンドウマップの表示方法とスケールで表示されます。

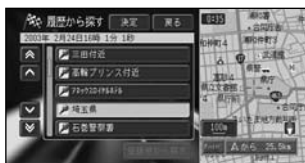
ハイウェイモード、情報画面

ハイウェイモードや情報画面では、現在地のサイドマップが表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている場所がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地からの距離が表示されます。



■地図表示の向き

地図表示の向きは、次の2種類があります。

ヘディングアップ

「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転する。（工場出荷時の設定）

ノースアップ

「北」が常に上になるように表示される。

メモ

地図表示の向きは変更できます。→「設定を変更する」（109P）

■ノースアップ選択時の表示方法

地図表示の向きをノースアップにした場合は、進行方向が広く見えるように表示されます（ノースアップフロントワイド）。

メモ

ノースアップフロントワイドは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

- 1 方位表示マークにタッチする**
ビュー切り替えメニューが表示されます。



メモ

ウィンドウマップ内の方位表示マークは、タッチしてもビュー切り替えメニューは表示されません。

- 2 表示方法を選んでタッチする**
選んだ表示方法で表示されます。



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。
- ビュー切り替えメニューが表示されている間(約8秒間)にタッチしてください。

表示方法の種類

●ノーマルビュー

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図(シティマップ)が表示されます。

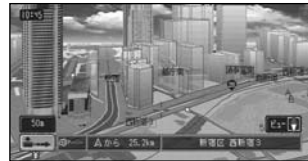


●スカイビュー

上空から見てのような地図が表示されます。



詳細市街地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに立体的な市街地図（スカイシティマップ）が表示されます。



メモ

- 地図を見る角度は変更できます。
→「地図を見る角度を変える」(21P)
- シティマップ、スカイシティマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)

●ドライバーズビュー

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。

信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。(一部の地域では表示されないことがあります。)

また、画面内にノーマルビューの地図が表示されます(ウィンドウマップ)。



都市高速走行中は、走行に役立つ有料道路の情報が表示されます(シティハイウェイマップ)。



メモ

- ウィンドウマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)
- シティハイウェイマップの自動表示は、変更できます。
→「設定を変更する」(109P)
- ウィンドウマップとして表示される地図は、スケール変更、回転、スクロールができます。
- ルート案内中は交差点に近づくで視点が自動的に変更されます(オートアングルチェンジ)。
→「設定を変更する」(109P)
- シティハイウェイマップに表示される車線色や建物などについては、実際のものとは異なる場合があります。実際の交通規則に従って走行してください。
- 「シティハイウェイウィンドウマップ」の設定を「高速マップ」(111P)にしている場合は、シティハイウェイウィンドウマップに路線番号が表示されます。(都市高速のみ)

●ツインビュー(2画面表示)

画面が左右に2分割され、左画面にはスカイビュー、右画面にはノーマルビューで地図が表示されます。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。



メモ

- 左画面の地図は、スクロール、回転、角度の変更などができます。
- 右画面の地図には常に自車位置が表示され、地図のスケールを変更できます。
→「地図のスケールを変える」(19P)

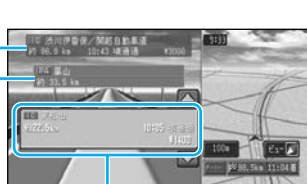
●ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。

前方の有料道路施設までの距離や料金、分岐方向などが表示されます。右側にはサイドマップが表示されます。

→「サイドマップ表示」(16P)

出口施設*



前方の有料道路施設

前方の次の有料道路施設

※「有料道路(a) → 一般道 → (b) 有料道路(c)」というルート設定で(a)を走行中は、(a)の出口施設が表示されます。

メモ

- 有料道路の施設情報を見ることができます。→「有料道路の施設情報を見る」(22P)
- ハイウェイモードの自動表示は、変更できます。→「設定を変更する」(109P)
- ハイウェイモードに表示される内容は、実際と異なる場合があります。

地図を動かす

地図上の見たい場所にタッチして地図を動かします（スクロール）。

1

地図上の見たい場所をタッチする
タッチした場所が中心となるように
地図が動きます。



2

微調整にタッチする

8方向のスクロール矢印が表示されます。



微調整はノーマルビューのときだけ可能です。

3

表示を微調整する

矢印にタッチすることにより地図が少しずつ動きます。

メモ

- スクロール方面表示は、ON/OFF できます。→「設定を変更する」(109P)
- 8方向矢印はスクロール終了後走行画面にすると消えます。またはもう一度**微調整**にタッチすると消えます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。
- 走行中にスクロール操作すると、タッチした場所までスクロールします。ただし詳細市街地図表示中はスクロールできません。

地図のスケールを変える

10m～500kmまでの範囲で地図のスケールを変えることができます。

地図を詳しく/広い範囲を見る

1

スケール表示にタッチする

スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

2

詳細または**広域**にタッチする

広域 地図が縮小表示され、広い範囲を見ることができる。

詳細 地図が拡大表示され、詳しく見ることができる。



メモ

- **詳細**や**広域**にタッチするたびに、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km、200km、500kmとスケールが変わります。
- **詳細**や**広域**にタッチし続けると、スケールが連続して変わります（フリーズーム）。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。

地図を2画面（ツインビュー）で表示している場合

スケール表示にタッチすると、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えたいときは、右画面内のスケール表示にタッチしてから行います。

■市街地図を表示させる

詳細市街地地図収録エリアでは、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図を表示させることができます。

詳細市街地地図収録エリアは、「詳細市街地地図収録エリアについて」(288P)を参照してください。

ノーマルビューでの市街地図（シティマップ）

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



メモ

- シティマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)
- シティマップが表示できる地域と表示できない地域の境では、シティマップの表示できない地域の地図には何も表示されないことがあります。不具合ではありません。

スカイビューでの市街地図（スカイシティマップ）

代表的なビルなどの建物が立体表示され、自転車マークを隠す位置にある建物は、自転車マークが見えるように透かし表示されます。(ある程度手前に来ると、表示されなくなります。)

10m～25mスケールの場合、ビルが画面内に1つ表示されます。このほか10m～50mスケールでは、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



メモ

- スカイシティマップ表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)
- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際とは異なる場合があります。
- スカイビュー、スカイシティマップでは、スケールが200mまで登録した場所に設定した立体ランドマーク（3Dマーク）(81P)が表示されます。

■地図を左右に回転させる

地図を左右に回転させて、違う方向から地図を見ることができます。

1 方位表示マークにタッチする →17P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 地図回転/アングル調整にタッチする

地図回転アングル調整画面が表示されます。



メモ

走行画面からでは地図回転はできません。

3 左右の地図回転矢印にタッチする 地図が回転し方位表示マークは北方向を示す矢印に変わります。



メモ

- 地図を回転した場合、地図の向きが固定され、走行しても自動的に回転しなくなります。自動的に回転させたい場合は、**現在地**を押して地図の回転を解除してください。
- ドライバーズビュー、シティハイウェイマップのウィンドウマップ内の方位表示マークにタッチすると、ウィンドウマップの地図を回転させることができます。

■地図を見る角度を変える

スカイビューでは、地図を見る角度を変えることができます。

1

方位表示マークにタッチする

→17P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2

地図回転/アングル調整にタッチする

地図回転アングル調整画面が表示されます。



メモ

現在地画面から方位表示マークにタッチした場合は、**アングル調整**、スクロール画面から方位表示マークにタッチした場合は、**地図回転/アングル調整**が表示されます。

3

上下のアングル調整矢印にタッチする

上側に倒すと、視線を上げて遠くまで見渡せる地図になります。



下側に倒すと、上から見下ろした地図になります。



メモ

- ツインビューの右画面、ドライバーズビューのウィンドウマップは、角度を変えることができません。
- ドライバーズビュー、シティハイウェイマップでは、ドライバーズアングル（ドライバーの視線）とスカイアングル（見下ろした地図）の2段階に切り替えられます。
- 走行中は操作できません。（ドライバーズビュー、シティハイウェイマップ表示中は操作できます。）

■現在地画面の見えかたを登録する

表示方法ごとに、地図画面のスケールと地図を見る角度を登録しておくことができます（ビューメモリー）。

1 スケール変更画面で登録スケールに、地図回転/アングル調整画面で登録アングルに約2秒間タッチする

現在のスケールと地図を見る角度が登録されます。



以降、**登録スケール**や**登録アングル**にタッチすると、登録したスケールと傾きの地図が表示されます。



メモ

- ハイウェイモードは登録できません。
- 2D地図では、地図を見る角度は登録できません。
- 地図を左右に回転させているときは、**現在地**を押すと現在地画面に戻ります。

■有料道路の施設情報を見る

有料道路走行中にハイウェイモードに切り替わると、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。

ハイウェイモードでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り替わります。また、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。

メモ

有料道路に入ると自動的にハイウェイモードに切り替わります。

ハイウェイモードの自動表示は、変更できます。→「設定を変更する」(109P)

1 方位表示マークにタッチする→17P

ビュー切り替えメニューが表示されます。

2 ハイウェイモードにタッチする

ハイウェイモードになり、有料道路の施設情報が表示されます。



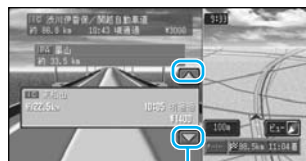
メモ

ビュー切り替えメニューが表示されている間（約8秒間）に押してください。



▲をタッチすると、先の施設情報が表示されます。

現在地を押すと、現在向かっている施設情報が表示されます。



カーソル

カーソルにタッチすると、その先の施設を見ることができます。

メモ

- ルートを設定した場合は、ルートへの道塗りもされます。
- 通常の地図表示に戻すには、ビュー切り替えメニューで切り替えます (17P)。

- 有料道路出口のおよそ1km手前になると、有料道路出口の案内が表示され、自動的に通常の地図表示に戻ります。
- ジャンクションやインターチェンジなどの有料道路に併設されている施設を通過して有料道路を降りる場合は、有料道路を降りるまでハイウェイモードで表示されます。一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。
- 有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り替えが間に合わないことがあります。
- 次の有料道路施設が近くなると、施設情報で表示される距離が長くなったり短くなったりすることがあります。

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

1 ハイウェイモードでジャンクションを選んでタッチする



2 施設情報が見たい分岐先を選んでタッチする



分岐先の施設情報が表示されます。



メモ

- **地図表示** にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、**戻る** にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。(確認中、スクロールさせるとメニュー画面に戻りません。)
- 分岐から100施設先まで見ることができます。

地図のスケールを変える

■サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。 例：出光興産）
	身障者用トイレ
	レストラン
	おみやげ屋
	休憩所
	仮眠所
	案内所
	シャワー
	コインランドリー
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス

メモ

表示される情報は、8種類までです。
9種類以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9番目以降は表示されません。

■料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。
- 料金表示は、都市高速・都市間高速・一部有料道路で2004年7月末現在（2004年9月調査時点）のものです。
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。
→「車両設定」（246P）

■都市高速走行中のハイウェイモード（シティハイウェイマップ）

都市高速では、ドライバーが目にする風景そのままを描き出したような地図が表示され、わかりにくいランプやジャンクションはイラスト表示されます。

ルート案内中は「オートアングルチェンジ」機能により、視点を自動的に変化させることができます。また、ドライバーズアングルとスカイアングルをビュー切り替えメニューで切り替えることができます（17P）。

ドライバーズアングルでは、ナビゲーションが認識する車線と走行中の車線が異なる場合は、車線変更促し表示を行うことができます。

→「車線変更促し表示」（63P）



メモ

- シティハイウェイマップの自動表示、オートアングルチェンジ、車線変更促し表示は、変更できます。
→「設定を変更する」（109P）
- ドライバーズアングルでは、ルートの道塗りはされません。

■VICS情報受信中のハイウェイモード

VICS情報を受信しているときは、道路の混雑状況が施設間の距離を4等分して表示されます。これらの表示は、車が施設に近づくにつれて1つずつ消えていきます。混雑状況の各色の意味は以下のとおりです。

水色 順調

橙 混雑

赤 渋滞

灰色 情報なしまたは不明



メモ

施設間で交通規制があるときは、マークで表示されます。

メニュー操作

基本的な操作のしかた

メニューから項目を選んでタッチする、これが操作の基本です。

1

行き先 または メニュー を押す

[行き先・場所]または[情報通信]メニューが表示されます。



メモ

地図に戻る にタッチすると、地図画面に戻ります。

2

項目を選んでタッチする

選んだ項目を実行する画面が表示されます。



メモ

戻る にタッチすると、前の画面に戻ります。

リスト表示の画面操作

メニュー項目を実行すると、リストなどの画面が表示されることがあります。

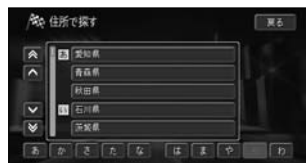
全リスト項目が画面上に表示しきれない場合は、左横に **↑**・**↓** が表示され、タッチすることで見えていない項目を表示させることができます。



都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、**↑**・**↓** にタッチすると、50音（あいうえお…）の「あ」から「い」へ、などのように次の音へリストを送ることができます。その他の項目のリストでは1画面分ずつとばすことができます。

メモ

リスト項目に文字が入りきらない場合は、入りきる文字まで表示されます。



スタートメニューの表示

スタートメニューには、[行き先・場所]のメニューと、[情報・通信]、[編集・設定]のメニューがあります。スタートメニューの表示操作は、それぞれ以下の通りです。

■ [行き先・場所] の表示

行き先を設定してルート案内を始めたり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

1

行き先 を押す

[行き先・場所] メニューが表示されます。



- 名称 (30P)
- ジャンル (31P)
- 住所 (33P)
- 電話番号 (34P)
- 周辺施設 (36P)
- マップコード (35P)
- 登録地・履歴 (39P)
- マイリスト (37P)
- 観光エリア (38P)
- 自宅 (76P)

■ [情報・通信] の表示

ドライブに役立つ各種情報の表示や、携帯電話やインターネットなどを使用することができます。

1

メニュー を押す

[情報・通信] メニューが表示されます。



- VICs情報 (124P)
- FM文字放送 (133P)
- 携帯電話 (195P)
- インターネット (145P)
- LIVEリンク (135P)
- ハードウェア情報 (140P)
- 操作ガイド (254P)
- ヘルプネット (286P)

■【編集・設定】の表示

編集や各種設定を行うことができます。

1 **メニュー** を押す
[情報・通信] メニューが表示されます。

2 **編集・設定** にタッチする
[編集・設定] メニューが表示されます。



- ルート編集 (70P)
- データ編集 (78P)
- ロゴマーク表示設定 (119P)
- 各種設定 (109P)
- ドライブプラン (53P)
- ドライブスケジューラー (236P)
- 車両メンテナンス (244P)
- 音量設定 (120P)

ショートカットメニュー

十字カーソル位置または現在地に対して、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして割り当てられています。

ショートカットメニューを使用すると、通常のメニュー操作のステップをいくつか省略して、すばやく操作できます。

現在地画面またはスクロール画面のとき表示される  にタッチすると、ショートカットメニューが表示されます。



- クイックルート (52P)
- 立寄送り (74P)
- ルート編集 (70P)
- 地点登録 (76P)
- 周辺施設 (36P)
- 目的地 (42P)
- 立寄地 (47P)
- 詳細情報 (40P)

メモ

- ショートカットメニューを表示させるときの画面によって、表示されるメニューが異なる場合があります。
- もう一度  にタッチすると、ショートカットメニューが消えます。

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことから始まります。

目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

検索方法の種類

さまざまな状況に応じて場所を探すように、以下のような検索方法が用意されています。

●地図で探す (29P)

地図上で直接探す場合

●名称で探す (30P)

施設の名称がわかっている場合

●ジャンルで探す (31P)

各種施設をジャンルで探す場合

●住所で探す (33P)

住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で探す (34P)

目的地の電話番号がわかっている場合

●緯度経度で探す (35P)

目的地の緯度と経度がわかっている場合

●周辺施設を探す (36P)

現在地および十字カーソル周辺の施設、ルート周辺の施設を探す場合

●マップコードで探す (35P)

目的地のマップコードがわかっている場合

●登録地・履歴から探す (39P)

すでに地点登録されている場所を探す場合
また、過去に検索した場所から探す場合

●マイリストから探す (37P)

あらかじめインターネットで取得した場所のリストから探す場合

●観光エリアから探す (38P)

観光エリアから施設を探す場合

地図で探す

地図上で直接探します。

1 地図をスクロールさせて、場所を探す

十字カーソルを、探している場所に合わせます。



2 地図上のカーソルにタッチする

ショートカットメニューが表示されます。



- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1

行き先 — **名称** にタッチする

→27P

文字の入力画面が表示されます。



2

探したい場所の名称をひらがなで入力する → 「文字の入力操作」(294P)



メモ

- 名称は、ひらがなで14文字まで入力できます。(ひらがな以外の文字種に切り替えることはできません。)
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルやエリア(都道府県など)での絞り込みが可能になります。
- 部分一致検索(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に完全一致検索(入力した文字と完全に一致する場所を検索)を行います。

3

入力終了 にタッチする



入力した文字の検索結果の候補がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。



メモ

- **ジャンル** にタッチすると、ジャンル選択のリストが表示され、ジャンルによる絞り込みができます。
- **エリア** にタッチすると、エリア選択のリストが表示され、地域(都道府県、市区町村)による絞り込みができます。

4 探している施設を選んで**決定**にタッチする



施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。



- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

- 表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ショートカットメニューは表示されず、ピンポイントでない旨のメッセージと目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 位置を微調整するときは、微調整にタッチしてください。

ジャンルで探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

検索できるジャンル

- 交通機関
- 公共施設
- 金融機関
- 宿泊施設
- グルメスポット
- プレisureスポット
- スポーツスポット
- 文化スポット
- 自動車関連施設
- 小売店
- 病院
- 教育施設
- その他
- テーマ(テーマ別検索)

メモ

自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所までのルートを探るときは、地図をスクロールして近くの道路に目的地を設定してください。周囲に道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

1

行き先 — **ジャンル** にタッチする →27P

ジャンルのリストが表示されます。



2

探している施設のジャンルを選んでタッチする

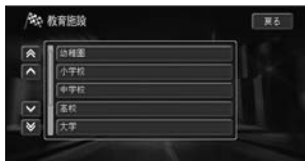


メモ

- ジャンルによって、さらに細かく絞り込むことができます。
- 都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、・にタッチすると、リストは次のインデックスに送られます。(例えば、「あ」から「い」へ送られます。)
- 都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、画面下部の「あ」から「わ」のタブキーにタッチすることで、次の行へリストを送ることができます。(例えば、「あ」行から「ま」行へ送られます。)

3 さらに細かく施設のジャンルを選んでタッチする

施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。



4 探している施設を選んで決定にタッチする



施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。



- 目的地 (42P)
- 立寄地 (47P)
- 詳細情報 (40P)
- 地点登録 (76P)
- 周辺施設 (36P)

メモ

- 表示された地図が、目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。
- 一部の施設で、検索後に表示される位置と、地図上にその施設がある位置が異なることがあります。(例えば、有料道路の上り・下りで場所が大きく異なるサービスエリアなどは、上り・下りの中間点などが検索後の表示の際に使われます。)このような場合でも、ルート探索の際には、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが探索されます。(検索した施設には、ルート探索時に使われる位置データが、表示用の位置データとは別に含まれています。)したがって、その施設を目的地にしたり、場所登録したりする場合は、表示された位置から地図を一切スクロールさせずに次のメニューにお進みください。



■テーマで探す

レジャースポットや史跡など、テーマで探すことができます。

検索できるテーマ

- アウトドアレジャー
- 雨の日のレジャー
- 海辺の風景を楽しむ
- おすすめグルメ
- 季節の風物詩
- 季節の味覚を狩る
- ショッピングモールでお買い物
- 身障者用トイレのある施設
- 全国巡礼めぐり
- 大自然の100選スポット
- 日本一を探す
- ペットと楽しむ
- ミステリースポットで不思議体験
- 夜景と星のきれいな場所
- 歴史探訪

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1

行き先 — **住所** にタッチする

→27P

都道府県のリストが表示されます。



2

探している場所の都道府県を選んでタッチする



メモ

- 都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、**↑**・**↓** にタッチすると、リストは次のインデックスに送られます。(例えば、「あ」から「い」へ送られます。)
- 都道府県名、市区町村名、地名などのリストでは、画面下部の「あ」から「わ」のタブキーにタッチすることで、次の行へリストを送ることができます。(例えば、「あ」行から「ま」行へ送られます。)

3

市区町村を選んでタッチする

メモ

主要部 を選んでタッチすると、選んだ都道府県の代表地点（役所）の地図が表示されます。

4

地名（丁目）を選んでタッチする
番地入力画面が表示されます。



メモ

主要部 を選んでタッチすると、選んだ市区町村の代表地点の地図が表示されます。

5

番地、号を入力する → 「文字の入力操作」(294P)

メモ

番地を入力しないで **入力終了** にタッチすると、丁目の代表地点の地図が表示されます。

ジャンルで探す／住所で探す

6

入力終了にタッチする

入力した住所を中心とする地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

入力した番地が該当データにない場合は、代表地点が表示されます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

1

行き先 — **電話番号** にタッチする →27P

電話番号の入力画面が表示されます。

**メモ**

電話番号の入力画面から、緯度経度検索 (35P) の画面に切り替えることができます。

2

電話番号を入力する

→「文字の入力操作」(294P)

電話番号を入力すると自動的に検索を始め、電話番号先の地図を表示します。

メモ

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。**入力終了**にタッチすると、その時点で入力された番号で検索が始まります。

- ダイヤルQ 2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する場所が登録されている場合は、検索できます。
- 10桁まで入力できます (090、080、070、050で始まる電話番号は11桁入力できます)。
- タウンページに登録されているフリーダイヤル (0120-〇〇) は、検索できます。



自動的に検索が始まり、該当する地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

- 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、局番に該当する市区町村の代表地点の地図が表示されます。局番が複数の地域にまたがっている場合は、いずれかの市区町村の代表地点が表示されます。
- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、その旨のメッセージと、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されます。

緯度経度で探す

行き先の緯度と経度を入力して探すことができます。(緯度経度検索)

メモ

- 緯度、経度で検索できる範囲は日本近辺です。
- 本機は日本測地系に対応しています。

1

行き先 — **電話番号** にタッチする →27P

電話番号の入力画面が表示されます。



2

緯度経度 にタッチする

緯度経度の入力画面が表示されます。



メモ

電話番号検索に戻るには **電話番号** にタッチします。

3

緯度経度を入力する

→「文字の入力操作」(294P)



緯度経度を入力すると自動的に検索を始め、該当する地点の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

- 位置を微調整する場合は、微調整にタッチしてください。
- 電話番号 にタッチすると、電話番号を指定して検索することができます。詳しくは「電話番号で探す」(34P) を参照してください。

マップコードで探す

行き先のマップコードを入力して探すことができます。(マップコード検索)

マップコードとは

- 場所の位置データに1～10桁の番号を割り当て、これらの番号で場所を特定できるようにしたものです。住所では特定できない場所でも特定できるという利点があります。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

1

行き先 — **マップコード** にタッチする →27P

マップコードの入力画面が表示されます。



2

マップコードを入力する

→「文字の入力操作」(294P)



10桁目を入力すると自動的に検索を始め、該当する地点の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

- **入力終了** にタッチすると、その時点で入力されたコードを元に検索が始まります。
- マップコード検索では、地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。

周辺施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地や十字カーソル周辺の施設を探すことができます。

メモ

- ショートカットメニューの **周辺施設** から操作することもできます。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンドを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: )と利用できない施設(例: )が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 駐車場は、車両設定の設定内容が考慮され検索されます。
- 特定のデパートの提携駐車場を検索することもできます。駐車場の詳細選択の中から目的のデパート提携駐車場名を選ぶとその周辺の提携を探せます。(デパート提携駐車場検索)

1

行き先 — **周辺施設** にタッチする →27P

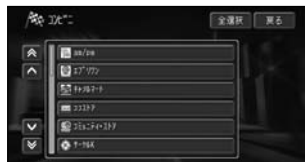
施設のリスト画面が表示されます。



2

探している施設を選んでタッチする

選んだ施設の詳細な検索リストが表示されます。



メモ

全選択 にタッチするとリスト内の施設がすべて選ばれます。

3 表示したい施設を選んでタッチする

施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設が表示されます。



4 施設を選んでタッチする

メモ

- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（タバコ）を取り扱う店が分かるようにリスト表示されます。
- ルートが設定済みでかつ自車がルート上にある場合は、ルート周辺で検索します。自車の周辺で探す場合は「**自車周辺で探す**」にタッチします。
- 車両情報が設定済みの場合は、車両制限を考慮して駐車場を検索します。（実際の車両制限と異なる場合があります）→「**車両設定**」（246P）
- スケールを変更すると施設を中心とした地図に変更されます。

5 決定にタッチする

選んだ施設の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

- 検索後は地図にロゴマークが表示されます。再度、周辺施設を探す、または本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、消去されます。
- 自車周辺で探す場合は、自車位置または十字カーソルから約16km四方の最大100件が検索されます。

- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方から最大100件が検索されます。

マイリストから探す

インターネットで取得したデータから場所を探すことができ、その場所の現況の詳細情報の確認ができます。また、行き先として設定することができます。（マイリスト検索）インターネットの操作方法は、「画面を操作する」（154P）を参照してください。

1 行き先 — マイリスト にタッチする

マイリスト画面が表示されます。



メモ

- データが取得されていない場合、携帯電話が接続されていれば**マイリスト**を選択することができます。携帯電話が接続されていないときは、選択できません。
- 携帯電話を接続し、通信接続設定を行ってください。
→「**プロバイダを設定する**」（147P）
- 携帯電話が接続されているときは、マイリストから探す画面で**データ取得**を選択できます。選択すると、ブラウザ画面が表示され、データを取得することができます。ブラウザ画面の「ネットワークに接続してもよろしいですか？」に対して**いいえ**にタッチしたときは、「マイリストから探す」画面に戻ります。

つづく→

2

表示したい項目を選んでタッチする

施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。

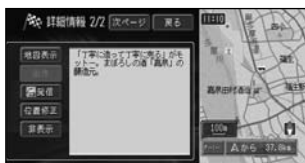


3

表示したい施設を選んで**決定**にタッチする



詳細情報画面が表示されます。



4

地図表示にタッチする



施設付近の地図と以下のショートカットメニューが表示されます。

- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

画像、**発信**など、詳細情報画面より詳細情報を見ることができます。

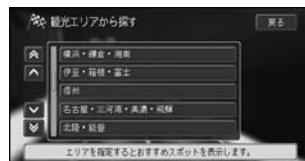
→「詳細情報を見る」(40P)

観光エリアから探す

観光エリアから、「見る」「食べる」「遊ぶ」「買う」の観点で探すことができます。

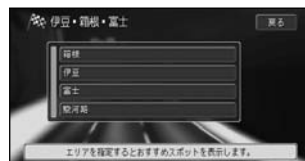
1

行き先 **観光エリア** にタッチする



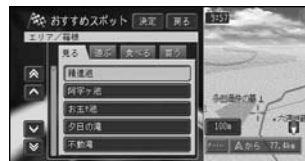
2

行きたいエリアにタッチする



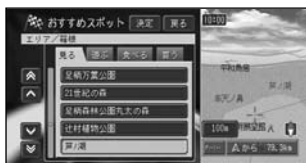
3

詳細な観光エリアにタッチする
施設がリスト表示され、画面右側には選択されている施設が表示されます。



見る **遊ぶ** **食べる** **買う** のジャンルをタッチして切り替えることができます。

4 探している施設を選んで、**決定**にタッチする



選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。



メモ

各ジャンルは季節などを考慮したおすすめ順に施設をリスト表示します。

5 **地図表示**にタッチする

以下のショートカットメニューが表示されます。



- **目的地** (42P)
- **立寄地** (47P)
- **詳細情報** (40P)
- **地点登録** (76P)
- **周辺施設** (36P)

メモ

画像にタッチすると、探した施設の画像を表示させることができます。

登録地・履歴から探す

すでに登録されている場所から探すことができます。(登録地検索)
過去に検索した場所や目的地とした場所から探すことができます(サーチバック検索)。

登録地・履歴にタッチすると、はじめに登録地リストが表示されます。履歴から探す場合は、登録地リスト内にある**履歴から探す**にタッチしてください。

操作手順は、「ジャンルで探す」(31P)と同じです。

メモ

- 登録地が1件もないときは「履歴から探す」が表示されます。
- 履歴が1件もないときは**履歴から探す**は選択できません。
- 登録地のリストは並べ替えることができます。リストの表示中に「並べ替え」を押してください。→「登録地リストを並べ替える」(78P)
- 履歴は消去することができます。
→「検索履歴を消去する」(104P)

詳細情報を見る

検索した場所の詳細情報を見ることができます。

1

場所を探す →29P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2

詳細情報 にタッチする



探した場所の詳細情報が表示され、画面右側に探した場所を中心とする地図が表示されます。



建物の情報を見することもできます。
→「建物の絵に合わせたとき」(次段)

メモ

- **画像** にタッチすると、その場所に設定された画像が表示されます。
- **次ページ** が表示されているときは、詳細情報に続きがあることを示しています。続きを見る、または前ページに戻るには、**次ページ** にタッチしてください。(詳細情報の右にページ数が表示されます。)
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、**発信** にタッチしてください。
→「地図に登録された電話番号にかける」(197P)
- **地図表示** にタッチすると、詳細情報を表示している地点の地図が表示されます。

- 登録地または履歴から場所を探した場合 (39P) は、**消去** が表示されます。**消去** にタッチすると、その地点は登録または履歴から削除されます。

■建物の絵に合わせたとき

シティマップ (20P)、スカイシティマップ (20P)、ドライバーズビュー (18P) のウィンドウマップでは、建物の情報を見ることができます。

1

グレー以外の色で表示されている建物の絵に十字カーソルを合わせて  にタッチする

ショートカットメニューが表示されます。

2

詳細情報 にタッチする

建物の詳細情報が表示されます。

■ロゴマークに合わせたとき

十字カーソルをロゴマークに合わせてショートカットメニューを表示させたときは、ロゴマークを表示している施設の移動 (92P) やロゴマークを表示させなくする (91P) ことができます。

■目的地、立寄地、出発地に合わせたとき

十字カーソルを目的地、立寄地、出発地に合わせてショートカットメニューを表示させたときは、ルート確認ができます。

→「案内中のルートを確認する」(68P)

スクロール画面にする

検索した場所の地図画面を、スクロール画面にすることができます。

1 場所を探す →29P



2 地図上の見たい場所をタッチする タッチした場所が中心となるように 地図が動きます。



3 微調整にタッチする



8方向のスクロール矢印が表示されます。



行き先までのルートを探させる

検索した場所を「行き先」として設定すると、現在地から行き先までのルートが探索され、ルート案内画面が表示されます。

1

場所を探す →29P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2

目的地にタッチする

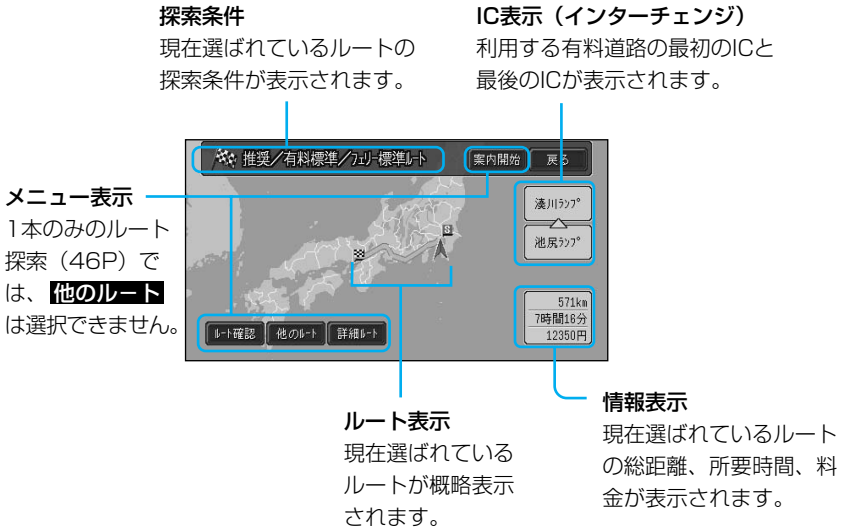
行き先までのルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。「ルート探索基準」(113P)、「有料道路使用条件」(114P)に従い、始めに1本のルートが探索されます。



メモ

- 出発地、目的地、立寄地 (47P)
付近では、道幅5.5m未満の細街路を含めてルート探索し、道塗りをを行います (ドアtoドア探索)。
- **他のルート** にタッチすると、6本のルートから選ぶことができます (46P)。
ただし、以下の場合は複数のルートは探索できません。「ルート探索基準」(113P)、「有料道路使用条件」(114P)に従い、ルートが1本だけ探索されます。
 - ー立寄地を設定した (47P)
 - ー登録道を使用してルートを探した (49P)
 - ー乗り降りIC (インターチェンジ) を指定した (48P)
 - ー**自宅** にタッチしてルートを探した (51P)
 - ー音声操作でルートを探した (211P)
- 行き先が有料道路付近にあるときは、その旨を確認する画面が表示されることがあります。
一般道路 または **有料道路** を選んでタッチしてください。
- 有料道路によっては、料金が表示されないことがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。
- ショートカットメニューから **立寄地** にタッチした場合、最初に立寄るルートとして探索します。

ルート案内開始画面の見かた



行き先までのルートを探させる

ルート案内開始画面のメニュー

- **案内開始** (61P)
- **ルート確認** (45P)
- **他のルート** (46P)
- **詳細ルート** (47P)

探索条件

最初にルート探索させる条件は、「ルート探索基準」(113P)や「有料道路使用条件」(114P)で設定された条件となります。

他のルートの場合は、「ルート探索基準」・「有料道路使用条件」で設定された条件で2本、「有料道路使用条件」の異なる設定で2本、「ルート探索基準」で設定されていない条件で2本が、探索条件となります。
→「他のルートを選ぶ」(46P)

メモ

- **ルート確認**、**詳細ルート**の表示は時間がかかる場合があります。
- 情報表示の料金は、車両の設定により、設定された有料道路料金区分で表示されます。

学習ルート探索

いつも通る道をルート探索に考慮させることができます。

メモ

- 学習ルート探索は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」(109P)
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

VICS情報を考慮したルート探索（渋滞考慮ルート探索）

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート探索ができます。

メモ

- VICS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）を接続していないときは、交通規制のみを考慮したルート探索になります。
- VICS情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索ができないことがあります。
- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)

回避エリアを考慮したルート探索

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート探索します。

→「回避したい場所を登録する」(97P)

メモ

回避エリアを考慮したルート探索は、ON/OFFできます。

→「設定を変更する」(109P)

ルートを確認する

設定されたルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートをスクロール表示させることができます。

ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。

- 1 **行き先を設定する** →42P
ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。



- 2 **ルート確認** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

- 3 **ルートプロフィール** にタッチする
ルートプロフィール画面が表示されます。



- 4 **戻る** にタッチする
メモ

ルートプロフィール画面で **案内開始** にタッチすると、ルート案内が始まります。

ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

- 1 **行き先を設定する** →42P
ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

- 2 **ルート確認** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

- 3 **ルートスクロール** にタッチする
ルートスクロール画面が表示されます。



- 4 設定されているルートを確認する
メモ

- **前進**、**後退** にタッチすると一定距離スクロールします。
自動前進、**自動後退** にタッチすると自動スクロールします。
- **停止** にタッチするか、もう一度 **自動前進**、**自動後退** にタッチすると、自動スクロールを停止することができます。
- 走行中は1画面分動いたところで自動スクロールが停止します。

- 5 **戻る** にタッチする
メモ

ルートスクロール画面で **案内開始** にタッチすると、ルート案内が始まります。

他のルートを選ぶ

通常のルート探索では、異なる条件によって6本のルートが探索されます。この中から、好みのルートを選ぶことができます。

メモ

音声で行き先を設定したり、立寄地、乗り降りIC（インターチェンジ）、登録道を設定した場合は、ルートは1本のみ探索され、「他のルート」は選択できません。

1 行き先を設定する →42P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。



2 他のルート にタッチする

ルートの候補を選択する画面が表示されます。



各ルートの探索条件は「ルート探索基準」（113P）、「有料道路使用条件」（114P）の設定により変わります。

3 設定したいルートの条件を選んで、番号にタッチする

4 案内開始 にタッチする

ルートが変更され、ルート案内を開始します。

ルートを詳細に設定する

行き先までのルートの途中に、立ち寄りたい場所や乗り降りしたいIC（インターチェンジ）などを設定することができます。

メモ

ルートを詳細に設定すると、ルートは1本のみ探索され、**他のルート**は選択できません。（出発地指定を除く）

立寄地を設定する

行き先までのルートの途中に立ち寄りしたい場所（立寄地）を設定します。

1 行き先を設定する →42P
ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **詳細ルート**にタッチする

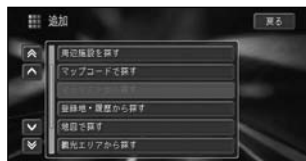


3 **立寄地指定**にタッチする
立寄地指定画面が表示されます。



4 **追加**にタッチする

立寄地の探しかたを選択する画面が表示されます。



5 立寄地の探しかたを選んでタッチする
探しかたの手順は、「場所を探す」（29P）と同様の流れとなりますので、参照して設定してください。

6 立寄地の地点、および地名を確認して**決定**にタッチする



立寄地指定画面に戻り、立寄地の地名がリスト上に表示されます。



さらに立寄地を追加したいときは、手順4～6を繰り返します。

メモ

立寄地は5か所まで設定できます。ただし、登録道（49P）を使用する場合は、登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、設定できる立寄地は3か所になります。また、乗り降りICの入口と出口のICを指定した場合も同様です。

つづく→

立寄地を設定する

7 立寄地を設定し終えたら **終了** にタッチする

立寄地を通るルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。



メモ

- 複数の立寄地を指定した場合は、リストの並び順（追加した順）に立寄地を通るように、ルートが探索されます。
- 削除**、**並べ替え** を選ぶと、立寄地を編集できます。
→「ルート上の目的地や立寄地を編集する」(70P)

乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

メモ

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 行き先を設定する →42P

行き先を設定するとルート探索が開始され、ルート案内開始画面が表示されます。

2 詳細ルート にタッチする

3 乗降IC指定 にタッチする

乗降IC設定画面が表示されます。



4 入口IC指定 または 出口IC指定 を選んでタッチする

入口IC設定または出口IC設定のリスト画面が表示されます。



メモ

指定解除 にタッチすると、**入口・出口**、**入口のみ**、**出口のみ** のいずれかを選択してインターチェンジの指定を解除することができます。

5 入口または出口となるインターチェンジを選んで **決定** にタッチする

指定したインターチェンジを通るルート探索が開始され、ルート案内開始画面に戻ります。



メモ

- 乗り降りICは、現在指定されているインターチェンジを除いて前後3つの中から指定できます。ただし、ジャンクション（JCT）は含まれません。
- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

登録道をルートに組み込む

よく使う近道などをあらかじめ登録しておき（97P）、その道路をルートに組み込むことができます。（登録道指定ルート）

1 行き先を設定する →42P
ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 **詳細ルート**にタッチする

3 **登録道指定**にタッチする
登録道指定画面が表示されます。



メモ

登録道がすでに指定されている場合は、**登録道指定解除**となります。

4 リストから、組み込みたい登録道を選んでタッチする
指定した登録道を含む地図が表示されます。



前進、**後退**にタッチするとスクロールします。**自動前進**、**自動後退**にタッチすると自動スクロールします。**後退**にタッチすると、自動スクロールを停止することができます。

5 選んだ登録道を確認して、**決定**にタッチする



6 確認のメッセージで**はい**にタッチする

選択した登録道を追加したルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

- 登録道は1本だけ組み込むことができます。
- 登録道は、すでに指定されている立寄地の後に追加されます。
- 登録道を逆方向にたどるルートは設定できません。
- 登録道を組み込んだ場合、通常よりもルート探索に時間がかかります。
- 登録道の走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道の最初と最後が立寄地として扱われるため、指定できる立寄地の数は3か所になります。
- 登録道に到達する前にオートリルートが行われた場合、登録道の入口までのルートが再探索されます。
- 登録道の走行中にリルート（オートリルートを含む）すると、登録道を使用しないルートが探索されることがあります。
- 登録道の走行中にリルートすると、ルート探索に時間がかかることがあります。
- 登録道の走行中は、渋滞考慮オートリルートおよびルートアドバイザーは働きません。

出発地を指定する

現在地以外の場所をルートの始点（出発地）に指定して、その場所から行き先までのルートを探索させることができます。

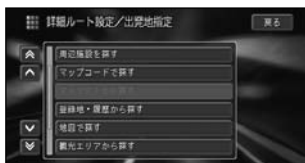
1 行き先を設定する →42P

ルート探索が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

2 詳細ルート にタッチする

3 出発地指定 にタッチする

出発地指定画面が表示されます。



メモ

出発地がすでに指定されている場合は、**出発地指定解除**となります。

4 出発地を探す方法を選んでタッチする

探しかたの手順は、「場所を探す」（29P）と同様の流れとなりますので、参照して設定してください。



5 出発地となる地点に十字カーソルを合わせて、**決定**にタッチする

指定した出発地から行き先までのルート探索が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

メモ

出発地を指定してルート探索した後に出発地指定を解除しても、出発地の旗のマークは指定解除前の位置に残ることがありますが、自転車位置からのルート探索となります。

自宅に帰るルートを探索させる

自宅が登録されているときは、簡単な操作で自宅へ帰るルートを探索させることができます。

1

行き先 — **自宅** にタッチする

→27P

「登録地のルート探索条件」(114P)、「ルート探索基準」(113P)、「有料道路使用条件」(114P) に従い、ルートが1本だけ探索されます。



メモ

- 自宅が登録されていないときに **自宅** にタッチすると、自宅を登録する画面になります。
- スクロール画面では操作できません。
- 案内中のルートがあるときは、自宅までのルートを探索してもよいか確認する画面が表示されます。

簡単にルートを探させる

過去に探したことがある場所に行きたいときは、簡単な操作でルートを探させることができます。(クイックルート探索)

- 1 地図画面が表示されている状態で  にタッチする
ショートカットメニューが表示されます。



メモ

スクロール画面では **クイックルート** は表示されません。

- 2 **クイックルート** にタッチする
検索履歴が50件までリスト上に表示され、画面右側には、選んだ場所を中心とした地図が表示されます。



- 3 行きたい場所を選んで **決定** にタッチする



以降の操作は「行き先までのルートを探させる」(42P)と同じです。

ドライブプランを立てる

指定した出発日時、出発地、同行者、目的地などをもとにプランを作成し、設定日時になると自動で実行し、ドライブの行程管理をします。(ドライブプラン)

メモ

- 1日一件のドライブプランを作成できます。(最大10件(10日分)のドライブプランを作成できます)
- 2003年1月～2022年7月までのスケジュールを作成できます。

ドライブプランを作成する

出発日時、出発地、同行者、目的地など指定し、ドライブプランを作成します。

1

メニュー — 編集・設定 — **ドライブプラン** にタッチする

ドライブプラン新規作成画面が表示されます。



メモ

ドライブプランが設定されていると、ドライブプランリストが表示されます。**新規作成** にタッチしてください。

2

出発日時 にタッチする

カレンダー画面が表示されます。



本日の日付けには、緑の枠が付きます。

3

ドライブプランを設定したい日付を選んでタッチする

時間入力画面が表示されます。



メモ

- **前月**、**今月**、**次月** にタッチすると、月送りされます。
- ドライブプランが設定されている日付を選ぶと、「既にドライブプランが設定されています。」とメッセージが表示され、カレンダー画面に戻ります。
- 過去の日付を選ぶと、「指定された日は過ぎていたため設定できません。」とメッセージが表示され、カレンダー画面に戻ります。
- **設定終了時** はプラン作成後、すぐに実行する場合に選んでください。**設定終了時** にタッチすると、ドライブプラン新規作成画面に戻り、「出発地」の変更はできなくなります。「出発地」は「指定なし」となります。

4 ドライブプランの実行時刻を入力する

→「文字の入力操作」(294P)

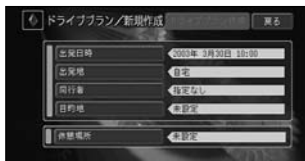


ご注意

過去の時間を入力すると、「指定された時刻を過ぎています。」とメッセージが表示され、時間入力画面に戻ります。

5 入力終了にタッチする

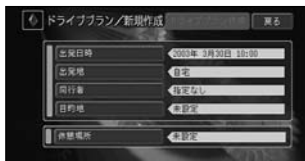
ドライブプラン新規作成画面に戻ります。



6 出発地にタッチする



7 [出発地] を選んでタッチする



自宅、**検索**、**指定なし**のいずれかを選んでタッチしてください。

「自宅」 登録してある自宅を出発地として設定します。

「検索」 出発地を検索します。
→「場所を探す」(29P)

「指定なし」 プラン作成時と、現在地に差異が生じる場合に設定します。

出発地が設定されると、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。自宅が登録されていない場合は、「自宅」は選べません。

8 同行者にタッチする



9 [同行者] を選んでタッチする



恋人、**家族**、**友達**、**指定なし**のいずれかを選んでタッチしてください。同行者が設定されると、ドライブプラン新規作成画面に戻ります。

メモ

- 同行者を設定しなくてもプランは作成できます。
- 観光エリアから探す場合、同行者を設定しておくと、同行者に適したスポットがおすすめされます。

10

目的地にタッチする

目的地の探しかたを選択する画面が表示されます。



メモ

- すでに目的地が設定されている場合は、目的地の名称が表示されます。
- 目的地は最大10件まで追加できます。

11

目的地の探しかたを選んでタッチする



- 検索のしかたは、「場所を探す」(29P)を参照してください。
- 「観光エリアから探す」から検索する場合、エリアを絞っていくと**自動選択**、**手動選択**を選ぶメニューが表示されます。**自動選択**では、おすすめのスポットを自動で3地点選択してくれます。

12

目的地を決め、決定にタッチする



メモ

- **画像**にタッチすると、その場所の写真が表示されます。

- **次ページ**にタッチすると、詳細情報のページ切り替えができます。
- **地図表示**にタッチすると、目的地をスクロールで変更することができます。

13

滞在時間にタッチする

滞在時間入力画面が表示されます。
滞在時間を入力します。

→「文字の入力操作」(294P)

メモ

- 「滞在時間」を設定すると滞在時間を考慮したプランを作成します。
- 滞在時間は初期値が設定されています。変更するには、**削除**にタッチして初期値を消去してから入力を始めてください。
- 探した場所によって、初期値は異なります。

14

入力終了にタッチする

15

決定にタッチする

目的地設定画面を表示します。
さらに目的地を追加する場合は、手順16にお進みください。目的地を追加しない場合は手順20にお進みください。

16

追加にタッチする

17

おすすめ自動選択 または おすすめスポット、検索を選 んでタッチする

おすすめ自動選択 最初に設定した目的地付近で同行者を考慮したおすすめスポットを追加します。

おすすめスポット 最初に設定した目的地付近で同行者を考慮したおすすめスポットから検索できます。

検索 探しかたを選び、検索します。

- それぞれの検索画面が表示されます。
→「場所を探す」(29P)
- 「おすすめ自動選択」は目的地の登録件数が1件のときのみ選択できます。

18

手順16～17を繰り返し、必要な目的地を設定する

19

目的地にタッチして、目的内容を設定する



目的地に下記の目的内容を設定することができます。

- 昼食場所にする
- 夕食場所にする
- 最終目的地にする

メモ

- 目的内容は上記の3種類です。1つの内容を複数の目的地には設定できません。
- 目的内容を設定しなくてもプランは作成できます。
- **詳細**を選べると、詳細情報の確認や滞在時間の設定ができます。

20

入力終了にタッチする

ドライブプラン新規作成画面に戻ります。

21

休憩場所にタッチする

休憩場所のリストが表示されます。



メモ

- 休憩場所を指定しなくてもプランは作成できます。
- 休憩場所を指定しておくとドライブプラン実行中に2時間走行し、さらにしばらく走行する場合に選んだ施設を表示して休憩を促します。

22

探したい休憩場所を選んでタッチする

休憩場所のリスト表示の方法を選択するメニューが表示されます。

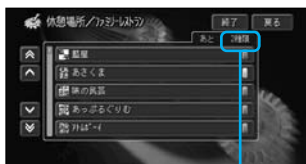
全選択 すべての関連施設が表示される

詳細選択 施設がさらに分類表示される



23

全選択または**詳細選択**を選んでタッチする



選択可能な残りの数

メモ

- **全選択**にタッチすると設定を終了させて、休憩場所設定画面に戻ります。
- **詳細選択**を選んだときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。

24

探している詳細施設を選んでタッチする

- 選ばれた休憩場所のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。
- 設定を終了させる場合は、**戻る**にタッチして休憩場所のリストを表示させ、さらに**戻る**にタッチしてドライブプラン新規作成画面に戻ります。

メモ

- 再度施設にタッチすると、ランプが消灯し、選択が解除されます。
- 他の休憩場所を選ぶには、**戻る**にタッチして休憩場所のリストに戻り、手順22～24を繰り返してください。

25

ドライブプラン作成にタッチする



メモ

目的地、出発日時が設定されていないと**ドライブプラン作成**は選択できません。

26

希望のドライブプランを選択し、**設定終了**にタッチする
指定時間を考慮したドライブプランが作成されます。



ドライブプランが作成され、地図画面に戻ります。

メモ

- プランは最大3つまで表示されます。
- プランが1つの場合は、**設定終了**にタッチします。
- 目的地が設定されていないと**ドライブプラン作成**は選択できません。
- プラン作成に失敗した場合は、失敗した原因となった目的地に×が表示されます。**戻る**にタッチし、目的地を消去または変更してください。

ドライブプランを作成する

ドライブプランを実行する

作成したプランは、設定した日時に自動で実行されますが、以下の手順で任意に実行させることができます。

メモ

- 実行できるのは、設定した出発日時の日時のプランのみです。
- 設定した出発日時の日時にナビゲーションを起動すると、ドライブプラン実行確認のメッセージが表示されます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ドライブプラン** にタッチする

ドライブプランリスト画面が表示されます。

2

実行させるドライブプランを選んでタッチする



3

実行 にタッチする

実行を確認するメッセージが表示されます。

メモ

ドライブプラン作成時に設定した、出発日時の日時でない場合は、**実行** は表示されません。

4

はい にタッチする

ドライブプランが実行されます。

メモ

ルートが設定されている場合は、そのルートを消去して、ドライブプランが実行されます。

ドライブプランを実行中

作成されたドライブプランを元に次のスポットを順次、探索しながらドライブプランの行程を管理していきます。また、ドライブプランの行程上、現在どの位置にいるのかを見ることができます。

ドライブプラン実行中では、ドライブプランリストに ➡ が表示されます。



ドライブプラン行程管理では以下の場合でメッセージ表示、プランの変更や休憩等を促します。

- 時間の遅れ
- 営業時間などに遅れる場合
- 2時間連続走行した場合



メモ

営業時間データは、実際と異なる場合があります。

■目的地を次へ送る

複数の目的地を設定してある場合、次の目的地に送ることができます。

- 1 **メニュー** — **編集・設定** — **ドライブプラン** にタッチする
ドライブプランリスト画面が表示されます。
 - 2 実行中のドライブプランを選んでタッチする
 - 3 **次の目的地へ行く** にタッチする
ルート検索されます。
- メモ**
次の目的地がないときは **次の目的地へ行く** は選択できません。

■ドライブプランを終了する

実行中のドライブプランを終了します。

- 1 **メニュー** — **編集・設定** — **ドライブプラン** にタッチする
ドライブプランリスト画面が表示されます。
 - 2 実行中のドライブプランを選んでタッチする
 - 3 **終了** にタッチする
ドライブプランが終了します。
- メモ**
ドライブプラン実行中に、別のルートを設定した場合、そのドライブプランは終了（中断）となり、再度 **実行** にタッチすると、到着していない目的地から再開します。

ドライブプランを編集する

作成済みのドライブプランの編集や過去のドライブプランを再利用することができます。

- 1 **メニュー** — **編集・設定** — **ドライブプラン** にタッチする
ドライブプランリスト画面が表示されます。
- 2 編集したいドライブプランを選んでタッチする



- メモ**
- 過去のドライブプランを再利用したい場合は **過去のドライブプラン** にタッチし、再利用したいドライブプランを選んでください。
 - 実行中、または中断（終了）しているドライブプランは「目的地」「休憩場所」のみ編集できます。ただし、到着済みの目的地を消去することはできません。

- 3 **編集** または **再利用** にタッチする
以降の操作手順は、「ドライブプランを作成する」（53P）と同じです。

ドライブプランを実行中／ドライブプランを編集する

ドライブプランを確認する

ドライブプランの内容を確認することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — ドラ

イブプラン にタッチする

ドライブプランリスト画面が表示されます。

2

確認したいドライブプランを選んでタッチする



メモ

過去のドライブプランを再利用したい場合は **過去のドライブプラン** にタッチし、確認したいドライブプランを選んでください。

3

確認 にタッチする

ドライブプランの内容が表示されます。



メモ

実行中のドライブプランでは、進行状況と予定を確認できます。進行状況では、到着済みの目的地はグレー、向かっている目的地は黒で区別されています。

4

内容を確認したら **戻る** にタッチする

ドライブプランを消去する

不要になったドライブプランを消去することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — ドラ

イブプラン にタッチする

ドライブプランリスト画面が表示されます。

2

消去したいドライブプランを選んでタッチする



メモ

- 過去のドライブプランを消去したい場合は **過去のドライブプラン** にタッチし、消去したいドライブプランを選んでください。
- 実行中のドライブプランは、消去できません。一度 **終了** にタッチしてドライブプランを終了させてから選んでください。

3

消去 にタッチする

消去を確認するメッセージが表示されます。



4

はい にタッチする

選択したドライブプランが消去され、ドライブプランリスト画面に戻ります。

ルートを案内させる

行き先までのルート設定（47P）が終了したら、ルート案内に従って出発します。

ルート案内を開始する

- 1 ルート案内開始画面のメニューから**案内開始**にタッチする
ルート案内ができる状態になります。



- 2 設定されたルート上を走行する
走行を始めると自動的にルート案内が始まり、目的地に近づくとルート案内は終了します。

メモ

- ルート案内開始画面表示中にパーキングブレーキを解除して走行を始めると、選ばれているルートの案内を開始します。

- VICS情報（124P）を受信しているときは、VICS情報の内容が到着予想時刻に反映されます。
- 場所によっては、方面案内とレーンの情報が表示されないことがあります。
- 場所によっては、行き先付近や出発地・立寄地付近まで、ルートが道塗りされないことがあります。ルート探索について、「ルートに関する注意事項」（283P）を参照してください。
- 交差点どうしの間が350m以内の複合交差点では、交差点案内図が（現在地画面に戻ることなく）連続して表示されます。
- 場所によっては、交差点案内図が表示されないことがあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内図は表示されません。
- 表示される到着時間は、目的地に到着する推定時刻です。
- 通信中（ウェザーライブで気象情報を取得しているときなど）は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示はノーマルビュー、またはスカイビューになります。
- ルート案内中に新しいルート候補が見つかったら、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れます（ルートアドバイザー）。500m（有料道:1.5km）走行する間に新しいルートまたは元のルートを選んでください（67P）。

■画面表示による誘導・案内

誘導・案内

ルートインフォメーション



メモ

- ルートインフォメーションは、ON/OFF できます。→「設定を変更する」(109P)
- 交差点通過中に交差点名が表示されると、ルートインフォメーションの表示が暗くなります。

案内地に近づく

案内地の手前300mに近づく、ドライバーズビューとなり、交差点の曲がる方向や目印となる施設が表示されます。

ドライバーズビュー



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、ドライバーズビュー／拡大図の変更ができます。→「設定を変更する」(109P)
- ドライバーズビューの場合、オートアングルチェンジにより、スカイアングルになります。
- オートアングルチェンジはON/OFFできます。

- 拡大図の場合、交差点内で目印となるロゴマークはロゴマークのまわりがで点滅します。
- 拡大図の場合、通過したルートの道塗りは消去されます。
- 「交差点案内表示」の設定が「拡大図」(113P)になっていても、地図の表示方法がドライバーズビューやシティハイウェイマップになっているときは、交差点案内表示はドライバーズビューまたはシティハイウェイマップになります。

都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前300mに近づく、イラストが表示されます。(都市高速入口イラスト表示)



メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づく

ルート上の有料道路分岐の手前2kmに近づく、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前1kmに近づく、イラストが表示されます。(分岐イラスト表示)



メモ

- シティハイウェイマップの場合、オートアングルチェンジにより、スカイアングルになります。

- ドライバーズビューの場合、オートアングルチェンジにより、スカイアングルになります。
- オートアングルチェンジはON/OFFできます。

車線変更促し表示

シティハイウェイマップ表示中に推奨レーンと走行レーンが異なる場合、車線変更を促す矢印が表示されます。



メモ

- 走行状況などにより、正しく車線変更促し表示が表示されない場合があります。また、誤って表示される場合もあります。
→「車線変更促し表示について」(281P)
- スカイビューで地図の角度をスカイアングルに変更しているとき(21P)は、表示されません。

有料道路の入口や出口の料金所に近づく

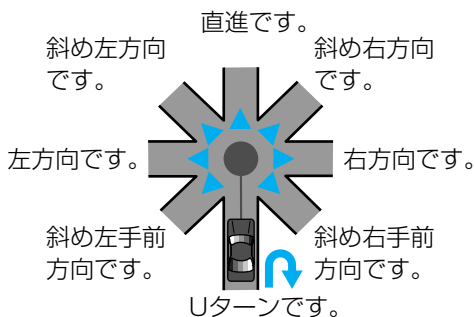
ETCユニット「ND-ETC3」(別売)などを接続している場合、**ETCの情報を受信した**ときは、ETCが利用可能かどうか、および料金が音声案内され、料金のみがメッセージで表示されます。

■音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で右のように案内されます。



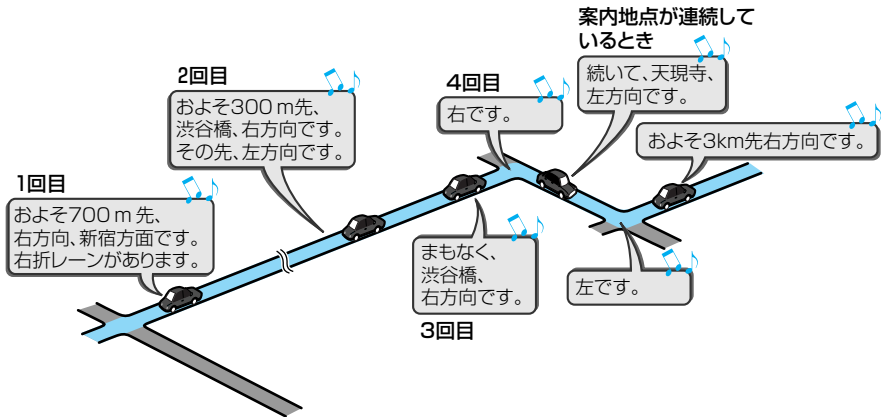
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ〇〇m先、左方向、練馬方面です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、〇〇インターチェンジ、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、〇〇料金所です。
ETC情報案内	ETCが利用可能です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。〇〇が目印です。

メモ

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC3」（別売）などを接続する必要があります。
- ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により案内が行われます。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



立寄地が近づいたら

立寄地の約500m手前に近づくと、「およそ500m先、立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路を走行しているときは

ルート上の有料道路分岐の手前2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

メモ

- 料金案内では、有料道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 料金案内は、都市高速・都市間高速・一部有料道路で2004年7月末現在（2004年調査時点）のものです。
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り替えられます。
→「車両設定を行う」(246P)

音声案内を聞き逃した場合

現在地 を押すと、次の案内地点の音声案内が流れます。

次の案内地点を確認したい場合は

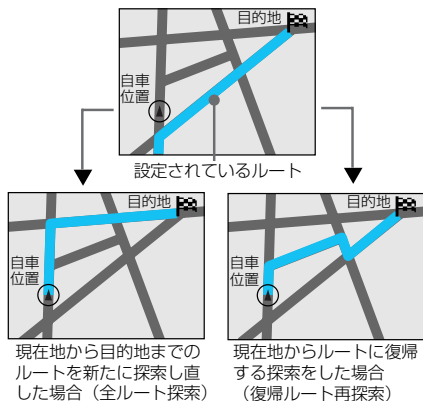
ルートインフォメーション (62P) にタッチすると、次の案内地点を画面と音声で確認することができます。



■ルートから外れた場合

自動的にルートを再設定させる

案内中のルートから外れた場合、ドライバーが道を間違えたのか、それともドライバーが現状のルートを嫌ったのかを判断し、自動的にルートを設定し直すこと（再探索）ができます（オートリルート）。



メモ

- 全ルート再探索と復帰ルート再探索の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性をもとに行われます（インテリジェントリルート）。
- 自車マークがルートから外れた場合は、30m以上走行したところでオートリルートが働きます。
- オートリルートは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）
- オートリルートがOFFの状態で大幅にルートを外れた後にオートリルートをONにした場合で、かつ元のルートに復帰するには効率が悪いと判断されたときは、全ルートが再探索されます。この場合、元のルートとは異なるルートが設定されることがあります。
- オートリルートがOFFの状態でルートを再設定するには、**ルート編集** - **ルート再探索**（69P）にてルートを再探索してください。

■次の案内地点が見えるスケールに

自動的に変更する

ルート案内中、次の案内地点が地図に表示されるように、地図のスケールを自動的に変更させることができます（オートフリーズーム）。オートフリーズームを設定すると、案内地点までの距離が離れているときは地図のスケールが大きくなり、案内地点に近づいたときは地図のスケールが小さくなります。

メモ

- オートフリーズームは、最大500m、最小50mのスケールを自動的に変更します。
- 次の案内地点が遠い場合は、スケールが変更されないことがあります。案内地点に近づくと、適切なスケールに変更されます。
- 目的地案内後に本機の電源を入れ直す（エンジンをかけ直す）と、地図は登録されたスケールで表示されます。→「現在地画面の見えかたを登録する（ビューメモリー）」（17P）
- オートフリーズームは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）

過去に通った道などを優先して案内させる（ルートアドバイザー）

ルート案内中に、登録道、過去に案内ルートから外れて通ったオートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道データなどを元に、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、元のルートと登録道や過去に通った道、抜け道などを考慮したルートが表示されます。



新しいルートにするには

新ルート にタッチするか音声認識コントローラーの **操作** または **場所** を押します。

メモ

- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：500m、有料道路：1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。
- 元ルート** にタッチするか **現在地** または音声認識コントローラーの **訂正** を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります。（500mスケールで分岐地点、合流地点が同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません。）
- 案内地が連続している場合は、働かないことがあります。
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。

- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、 で表示されます。
- ルートアドバイザーに考慮される情報を選ぶまたはOFFする
→「ルート案内を開始する」（61P）

ルート上の渋滞を案内させる

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内させることができます（渋滞オートガイド）。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは、渋滞オートガイドが働かないことがあります。
- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」（109P）

渋滞を自動的に考慮する（渋滞考慮オートリルート）

VICS情報の渋滞や規制情報をもとに、自動的に渋滞などを考慮してルートを再探索させることができます（渋滞考慮オートリルート）。ルート案内中に新しいルートが見つかり「渋滞考慮オートリルートを行いました。」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートが表示されます。

新しいルートにするには

新ルート にタッチするか音声認識コントローラーの **操作** または **場所** を押します。

メモ

- VICS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）を接続しているときは、ビーコンおよびFM多重情報による渋滞が考慮されます。VICS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送による規制情報のみ考慮されます。

- VICS情報が取得できないときなどは、渋滞考慮オートリルートが働かないことがあります。
- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：500m、有料道路：1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。
- **元ルート** にタッチするか **現在地** または音声認識コントローラーの **訂正** を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります。（500mスケールで分岐地点、合流地点が同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません。）
- 案内地付近では、渋滞考慮オートリルートは働きません。
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、**■** で表示されます。
- 渋滞考慮オートリルートは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）

案内中のルートを確認する

案内中のルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、行き先までのルートをスクロール表示させたりすることができます。また、行き先までの設定地点をリスト表示させることやデモ走行もできます。

メモ

現在地画面のショートカットメニュー、**ルート編集** から操作することもできます。

■ルートプロフィールで確認する

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）などの情報を確認できます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ルー**

ト編集 にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。



2

ルート確認 にタッチする

3

ルートプロフィール にタッチする

ルートプロフィール画面が表示されます。

メモ

以降の操作手順は「ルートプロフィールで確認する」（45P）と同じです。

■ルートスクロールで確認する

出発地から行き先までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ルー**

ト編集 にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

ルート確認 にタッチする

3

ルートスクロール にタッチする

ルートスクロール画面が表示されます。以降の操作手順は「ルートスクロールで確認する」（45P）と同じです。

■設定地点リストを確認する

目的地、立寄地、出発地をリスト表示させて地図で確認することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — ルー
ト編集 にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

ルート確認 にタッチする

3

設定地点リスト にタッチする

設定地点リストが表示され、画面右側には選択されている地点を中心とする地図が表示されます。

4

確認したい地点名にタッチする

選んだ地点の地図が表示されます。

5

確認を終えたら戻る にタッチする

直前の画面に戻ります。

■デモ走行

設定したルートをデモ走行する機能です。

1

メニュー — 編集・設定 — ルー
ト編集 にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

ルート確認 にタッチする

3

デモ走行開始 にタッチする

メモ

デモ走行は繰り返し走行します。デモ走行を終了するときは手順3にて**デモ走行終了**にタッチしてください。また、地図上の**デモ中**にタッチして、デモ走行を終了／継続することもできます。

条件を変えてルートを設定し直す

設定されているルートを、探索条件を変えて再探索させることができます（ルート再探索）。

メモ

ショートカットメニューの**ルート編集**から操作することもできます。

1

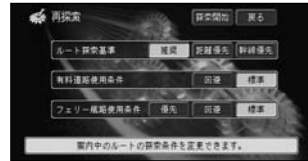
メニュー — 編集・設定 — ルー
ト編集 にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

再探索 にタッチする

探索条件のメニューが表示されます。



3

お好みの探索条件に変更して
探索開始 にタッチする

新しい探索条件により、ルート探索が開始されます。



メモ

- ルートを走行中でも、再探索できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した立寄地は、ルートを再設定しても考慮されません。

案内中のルートを確認する／条件を変えてルートを設定し直す

ルート上の目的地や立寄地を編集する

立寄地を追加または削除したいときは、立寄地を編集してルートを設定し直すことができます。

メモ

- ショートカットメニューの **ルート編集** から操作することもできます。
- ショートカットメニューの **立寄地** から立寄地を追加することもできます（28P）。

立ち寄りたい場所を追加する

ルート設定後に立ち寄りたい場所を設定することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ルート編集**

にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

詳細ルート にタッチする

詳細ルート設定メニューが表示されます。



3

立寄地指定 にタッチする

立寄地指定画面が表示されます。



以降の操作手順は「立寄地を設定する」（47P）と同じです。

立寄地を並べ替える

ルート設定後に立寄地に立ち寄る順番を、出発地からの距離順や任意の順番に変更することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ルート編集**

にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2

詳細ルート にタッチする

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3

立寄地指定 にタッチする

立寄地指定画面が表示されます。

4

並べ替え にタッチする

設定方法を指定するメニューが表示されます。



オート

出発地からの距離順になるように自動的に並べ替える

マニュアル

立ち寄る順番を指定する

5

メニューから設定方法を選んでタッチする

6

マニュアル を選んだ場合は、立ち寄る順に選んでタッチする

オート を選んだ場合は手順8に進んでください。

7 すべて指定し終わったら**決定**にタッチする

立寄地指定画面に戻り、立寄地の並び順が変更されてリストに表示されます。



8 **終了**にタッチする

ルートが設定し直され、案内開始画面に戻ります。

メモ

- 登録道または乗り降りIC（インターチェンジ）が指定されているときは、**オート**は選択できません。
- 登録道の始点と終点の間に立寄地を追加することはできません。

■立寄地を削除する

ルート設定後に立寄地を削除することができます。

1 メニュー — **編集・設定** — **ルート編集**にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2 **詳細ルート**にタッチする

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 **立寄地指定**にタッチする

立寄地指定画面が表示されます。

4 **削除**にタッチする

立寄地のリストが表示されます。



5 削除したい場所を選んでタッチする

画面右側には、選んだ場所を中心とした地図が表示されています。

6 削除する場所を地図上で確認して**決定**にタッチする

削除確認画面が表示されます。



7 **はい**にタッチする

立寄地指定画面に戻り、削除した場所を除く立寄地のリストが表示されます。

メモ

登録道の始点と終点のいずれか一方を削除すると、両方が削除されます。

8 **終了**にタッチする

ルートが設定し直され、案内開始画面に戻ります。

■目的地や立寄地の位置を修正する

ルート設定後に目的地や立寄地の位置を修正することができます。

1 メニュー — **編集・設定** — **ルート編集**にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2 **詳細ルート**にタッチする

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 設定地点位置修正 にタッチする

設定地点位置修正画面が表示されます。



4 修正したい地点を選んで **決定** にタッチする

スクロール調整画面が表示されます。



5 位置を修正し、**決定** にタッチする

位置が設定し直され、案内開始画面に戻ります。

メモ

修正した位置にルート探索の対象となる道路が無い場合は、[付近にルート探索対象道路がありません。位置を修正してください。]というメッセージが表示されます。

ルート上に乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する

ルート上で有料道路を使用するときは、入口と出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

メモ

- ショートカットメニューの **ルート編集** から操作することもできます。
- 指定されたインターチェンジは、立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **ルート編集** にタッチする →28P

ルート編集画面が表示されます。

2 **詳細ルート** にタッチする

詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 **乗降IC指定** にタッチする

以降の操作手順は「乗り降りIC（インターチェンジ）を指定する」（72P）と同じです。

ルート上に登録道を組み込む

複雑な抜け道やよく使う近道などをあらかじめ登録しておき（97P）、その道路をルートに組み込むことができます。

メモ

ショートカットメニューの **ルート編集** から操作することもできます。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **ルート編集** にタッチする →28P
ルート編集画面が表示されます。

2 **詳細ルート** にタッチする
詳細ルート設定メニューが表示されます。

3 **登録道指定** にタッチする
以降の操作手順は「登録道をルートに組み込む」（49P）と同じです。

現在案内中のルートとは別のルートを探索する

現在案内中のルートとは異なるルートを再探索させることができます。次の立寄地、または行き先までのルートを探索し直します（全ルート再探索）。

1 ルート案内中に **メニュー** — **編集・設定** — **ルート編集** — **別ルート** にタッチする →28P



新しいルートが見つかり、「新しい候補ルートが見つかりました。」と音声案内が流れ、元のルートと新しいルートが表示されます。

メモ

- 自車マークが探索したルート上になると、別ルート探索は働きません。
- 新しいルートが見つからなかったときは、「別ルートは見つかりませんでした。元ルートで案内します。」と音声案内が流れます。

ルート上に登録道を組み込む／現在案内中のルートとは別のルートを探索する

2

新ルート または **元ルート** に
タッチする

新しいルートで案内されます。

メモ

- 新しいルートと元のルートが選択できる間（一般道：150m～500m、有料道路：900m～1.5km）は、画面に「あと〇〇mで元ルートの案内に戻ります。」と表示されます。その間に選択されなかった場合は、元ルートで案内が始まります。
- **現在地** または音声認識コントローラの **訂正** を押すと、元のルート案内に戻ります。
- 走行画面は分岐地点への進入方向を上にして、500mスケールを上限とした分岐地点、合流地点が同時に表示できるスケールになります。（500mスケールで分岐地点、合流地点が同時に表示できない場合は、合流地点は表示されません。）
- 料金の差は、新ルートまたは元ルートのいずれかに有料道路を使用しているときに表示されます。どちらか一方の料金が不明な場合は表示されません。
- 差がない場合は「0」のみが表示されます。
- 新ルートは、 で表示されます。

ルート上の立寄地を先送りする

ルート案内中に次の立寄地を取り消して、ルートを設定し直すことができます。

1

ルート案内中に  にタッチする →28P

ショートカットメニューが表示されます。

2

立寄送り にタッチする

現在地から行き先または次の立寄地を含んだ行き先までのルートが設定されます。

メモ

スクロール画面からショートカットメニューを表示させると、**立寄地** になります。

ルート案内中の操作

ルート上の渋滞、規制情報を表示させる

ルート上に渋滞や混雑、規制が発生したときは、その場所を表示させることができます。

メモ

- 渋滞情報表示は、設定によっては渋滞発生時に渋滞が表示されないことがあります。
- 渋滞情報の表示のさせかたは変更できます。
→「設定を変更する」(109P)

1 ルート案内中に にタッチする

渋滞、規制している場所が左画面、右画面は現在地画面の2画面で表示され、現在地から渋滞、規制している場所までの距離、渋滞、規制の長さ、渋滞、規制を抜けるまでにかかる参考時間などが音声案内されます。



自転車から次に近い渋滞、規制を案内させるには

もう一度  にタッチします。(5か所まで案内させることができます。) 渋滞、規制案内の5か所目を見ている、またはこれ以上渋滞、規制案内が見つからないときに  にタッチすると、現在地画面に戻ります。

メモ

- 渋滞、規制している場所の画面は2D表示、200mスケールで表示されます。

- ルート上に渋滞や混雑、規制がないときは、現在地が表示されたまま渋滞のないことが音声案内されます。
- 渋滞、規制案内の表示中に渋滞情報が更新されたときは、 にタッチすると現在地画面に戻ります。
- 渋滞、規制情報により、音声案内されない内容もあります。
- 案内中のルートが無い時に  にタッチすると周辺の規制情報のみを表示・案内します。

2

 を押す
現在地画面に戻ります。

ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止することができます。

メモ

ショートカットメニューの **ルート編集** から操作することもできます。

1

メニュー — **編集・設定** — **ルート編集** にタッチする →28P
ルート編集画面が表示されます。



2

ルート消去 にタッチする
確認のメッセージが表示されます。

3

はい にタッチする
案内中のルートが消去され、地図画面に戻ります。

地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

メモ

- 自宅を除き、最大200か所まで登録できます。
新たに登録したいときは、リストから不要な場所を消去してください。→「登録地を消去する」(88P)
- その場所の名称が自動的に登録されます。施設名や周辺の地域などの代表地名が特にない場合は、登録した時刻が名前になります。
- 登録すると、地図上に虫ピンのマークが表示されます。
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の編集」(78P)

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、ワンタッチで自宅へのルートが設定できます。
→「自宅に帰るルートを探させる」(51P)

1 地図上で自宅の位置を合わせる
→「場所を探す」(29P)を参照して場所を探してください。

2 行き先 **—自宅** にタッチする
→27P

自宅登録確認画面が表示されます。



3 **はい** にタッチする
自宅が登録されます。

メモ

- 自宅の登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。
- 自宅**によるルート探索は、上記の操作で登録された地点が対象になります。
- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と「じたく」というよみが自動的に入力されます（本機は、上記の操作で登録された地点を自宅として認識します）。
- 自宅を登録した地点には、自宅マークが表示されます。
- 通常の登録地として登録した地点を自宅に変更することができます。
→「自宅に変更する」(88P)
- 自宅の位置は変更できます。
→「登録地の位置を変更する」(87P)

現在地を登録する

ドライブで訪れた場所をその場で登録しておくと、次回そこへ行くときに簡単にルート設定できます。

1 現在地の地図画面が表示されている状態で  にタッチする

2 ショートカットメニューから 地点登録にタッチする



3 登録地にタッチする 登録内容画面が表示されます。



メモ
ロゴマークにタッチすると、ランド
マークリライタブルのロゴマークと
して登録されます。→ (94P)

4 終了にタッチする 現在地が登録され、地図画面に戻ります。



- メモ**
- 名称などは自動的に登録されますが、あとで登録することができます。→「登録地の編集」(78P)
 - 走行中にこの操作をすると、手順3の操作後に登録内容画面は表示されずに現在地が登録され、地図画面に戻ります。

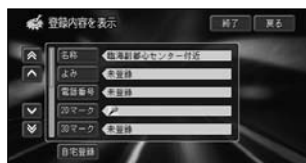
探した場所を登録する

あらかじめ気に入った場所を登録しておくと、ドライブプランを立てたり、ルート設定するときに役立ちます。

1 場所を探す →29P 探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 地点登録にタッチする

3 登録地にタッチする 登録内容画面が表示されます。



メモ
ロゴマークにタッチすると、ランド
マークリライタブルのロゴマークと
して登録されます。→ (94P)

4 終了にタッチする 探した場所が登録され、地図画面に戻ります。

- メモ**
- 名称などは自動的に登録されますが、あとで変更することができず→「登録地の編集」(78P)
 - 走行中にこの操作をすると、手順3の操作後に登録内容画面は表示されずに探した場所が登録され、地図画面に戻ります。

登録地の編集

登録地に関する情報（名称、よみ、電話番号、マーク、画像、効果音、方向指定、探索条件、グループ、位置）を変更したり、登録地を消去したりすることができます。

地点を新規登録する場合は、「地点の登録」（76P）を参照してください。

メモ

自宅として登録された登録地は、「よみ」、「グループ」は変更できません。さらに、自宅登録から通常の登録地への変更はできません。

登録地リストを並べ替える

リストに表示される登録地は、日時順、よみ順、マークごとに並べ替えることができます。

1

メニュー — **編集・設定** — データ

編集にタッチする

→28P

2

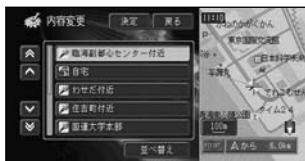
登録地編集にタッチする



3

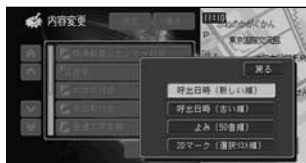
内容変更にタッチする

登録地点のリストが表示されます。



4

並べ替えにタッチする



並べ替えの方法を選択するメニューが表示されます。

「呼出日時 (新しい順)」 登録または呼び出しの新しい順に並べ替えます。

「呼出日時 (古い順)」 登録または呼び出しの古い順に並べ替えます。

「よみ (50音順)」 よみ順に並べ替えます。

「2Dマーク (選択リスト順)」 リスト順に並べ替えます。

5

並べ替えの方法を選んでタッチする

6

決定にタッチする

メモ

- グループは常に登録地点の後に表示されます。上記の操作をしてもグループの並びは変わりません。
- グループ内の登録地の並べ替えもできます。

登録地の名称を変更する

登録時に付けられた名称を変更することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

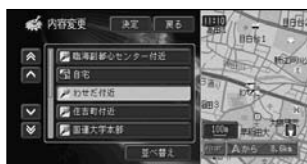
→28P

2 登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3 内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。



メモ

▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
⬆️や⬆️にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

4 名称を変更したい地点を選んで **決定**にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。



メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 名称 にタッチする



文字の入力画面が表示されます。

6 変更したい名称を入力する

→「文字の入力操作」(294P)



メモ

名称は全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

7 入力終了 にタッチする

変更した登録地の名称が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

メモ

- **戻る**にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は **入力終了**は選べません。

8 終了 にタッチする

地図画面に戻ります。

メモ

名称が入力されていないとき **現在地** または **メニュー** を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

登録地のよみを変更する

音声操作で登録地を呼び出すには、登録地に設定されている「よみ」が使われます。

登録地のよみを覚えやすいものに変更して、音声操作を使いやすくすることができます。

操作手順については、「登録地の名称を変更する」(79P)を参照してください。

メモ

- 全角で20文字まで登録できます。
- 音声操作を使用しないときは、よみの設定は不要です。
- 「ん〇〇」「っ〇〇」などの日本語として発声できないよみは付けないでください。
- 「げんざいち」などの音声認識語と同じよみは付けないでください。誤動作の原因になります。

登録地の電話番号を変更する

電話番号を設定しておくで、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

操作手順については、「登録地の名称を変更する」(79P)を参照してください。

メモ

ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。

登録地のマークを変更する

地図上に表示される登録地のマークを変更することができます。

2Dマークを変更する

- 1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集** にタッチする
→28P

- 2 **登録地編集** にタッチする
登録地編集画面が表示されます。

- 3 **内容変更** にタッチする
登録地点のリストが表示されます。

- 4 マークを変更したい地点を選んで**決定**にタッチする
選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

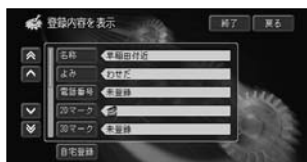
- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

- 5 **2Dマーク** にタッチする
2Dマークのリスト画面が表示されます。



6 変更したいマークを選んでタッチする

変更した登録地のマークが保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。



7 現在地 を押す 地図画面に戻ります。

■登録した場所の名称を地図上に表示させる

以下のマークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマッピング）。



このマークを設定する

■3Dマーク（立体ランドマーク）を変更する

3Dマークは、スカイビューなどの3D地図でスケールを200m以下にしたときに表示されるマークです。

メモ

- 3Dマークを設定していないときは、2D地図と同じマークが表示されます。
- 3Dマークが表示されない500m以上のスケールでは、2D地図と同じマークが表示されます。
- 3Dマークを狭いエリアに数多く登録すると、3D地図表示のスクロールなどの反応が遅くなります。
- 3Dマーク表示は、ON/OFFできます。
→「設定を変更する」(109P)

1

メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

→28P

2

登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4

マークを変更したい地点を選んで決定 にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5

3Dマーク にタッチする

3Dマークのリスト画面が表示されます。



メモ

↑ や ↓ にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
⬆️ や ⬇️ にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

6

変更したいマークを選んでタッチする



メモ

▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
 ▲や▼にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

7

決定にタッチする

変更した登録地のマークが保存され、地図画面が表示されます。



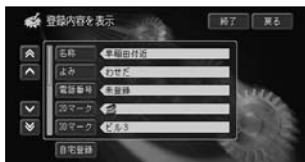
メモ

スケールは、100m表示となります。

8

マーク横の回転矢印にタッチして地図を回転させ、**マーク縮小**、**マーク左回転**、**マーク右回転**、**マーク拡大**にタッチして、3Dマークの大きさと向きを設定して**決定**にタッチする

変更した登録地のマークの大きさと向きが保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。



9

現在地を押す
 地図画面に戻ります。

登録地の画像を変更する

登録地に画像を設定しておく、自車が登録した場所に近づいたとき、設定された画像を表示させることができます。

また、デジタルカメラなどで撮影した画像を設定することもできます(デジカメリンク)。

メモ

- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- 半角で255文字（全角で127文字）以内、表示形式が「ファイル名+.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。
- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。
- 画像ファイルのサイズは2048×1536ドットまで表示できます。
 画像ファイルのサイズにより、ナビゲーションに表示される大きさが、多少異なります。
- 登録地の画像表示は、ON/OFFできます。
 →「設定を変更する」(109P)

1 メニュー — **編集・設定** — **データ**
編集 にタッチする
 →28P

2 **登録地編集** にタッチする
 登録地編集画面が表示されます。

3 **内容変更** にタッチする
 登録地点のリストが表示されます。

4 画像を変更したい地点を選んで
決定 にタッチする
 選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

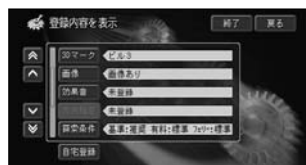
5 **画像** にタッチする
 画像のリスト画面が表示され、画面の右側で選択されている画像を確認できます。



メモ

- **↑** や **↓** にタッチすると、リストをスクロールすることができます。 **⬆** や **⬇** にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。
- PCカードをセットしている場合は、PCカード内のファイルもリスト上に表示されます。

6 変更したい画像を選んで **決定** に
 タッチする
 変更した登録地の画像が保存され、
 登録地点内容表示画面に戻ります。



7 **現在地** を押す
 地図画面に戻ります。

ご注意

画像の設定（または変更）操作をした直後は、本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

メモ

ハードディスクの容量が足りないときは、保存できなかった旨のメッセージが表示されます。

画像の現れかた

- 画像の設定された登録地が自転車から500m以内に近づくと、画像が表示されます。
- 自転車から500m以内に登録地が複数ある場合は、最も近い場所の画像が表示されます。約20秒経過すると、次に近い場所の画像が表示されます。
- 登録地が自転車から500m以上離れたとき、または音声認識コントローラーの **訂正** を押すと、画像が消えます。
- 登録地の画像表示よりも、ETC、ルート、VICISの割込表示が優先されます。
- 画像がいったん消えると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さない（エンジンをかけ直さない）と画像は表示されません。

登録地の効果音を変更する

効果音を設定すると、登録した場所に自車が近づいたときに効果音が鳴ります。また、自車が近づく方向も指定できます。注意を要する場所に設定しておくと便利です。

効果音を変更する

1

メニュー — **編集・設定** — データ

編集にタッチする

→28P

2

登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4

効果音を変更したい地点を**選ん**
で決定にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

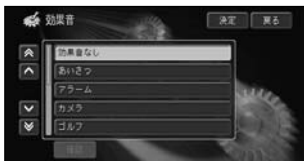
メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5

効果音にタッチする

効果音のリスト画面が表示されます。

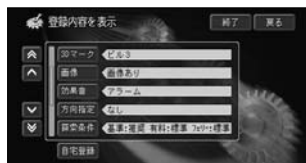


メモ

↑や↓にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
⏮や⏭にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

6

変更したい効果音を選んでタッチする



7

決定にタッチする

変更した登録地の効果音が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

メモ

確認にタッチすると、選んだ効果音が鳴ります。

8

現在地を押す

地図画面に戻ります。

効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自車から500m以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自車から500m以内に登録地が複数ある場合は、最も近い場所の効果音が鳴ります。終了すると、次に近い場所の効果音が鳴ります。
- 効果音が鳴っているときに音声認識コントローラーの**訂正**を押すと、効果音が止まります。
- 登録地の効果音よりも、ETC、ルート、VICISの音声案内が優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さない（エンジンをかけ直さない）同じ場所の効果音は鳴りません。
- あいさつ**を選ぶと、時刻によって音が変わります。

■方向を指定する

メモ

効果音が設定されていないと、方向指定を設定することはできません。

1

メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

→28P

2

登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4

方向指定を変更したい地点を選んで**決定**にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

5

方向指定 にタッチする



6

あり にタッチする



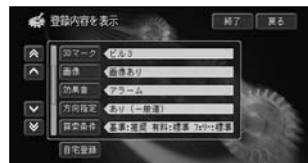
メモ

- 効果音を設定しただけの場合は **なし** に設定されています。
- 方向指定をしない場合は **なし** に設定してください。

7

マーク横の回転矢印にタッチして入射方向を合わせ、**終了**にタッチする

変更した効果音の方向指定が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。



30°の幅で、15°単位（24段階）で調整できます。

メモ

登録地が有料道路付近にあるときは、その旨を確認する画面が表示されることがあります。

一般道路 または **有料道路** を選んでタッチしてください。

8

現在地 を押す

地図画面に戻ります。

登録地の探索条件を変更する

登録した場所を行き先（または立寄地）にした場合、ここで設定した条件でそこまでのルートが探索されます。ルート設定時に探索条件を選択する手間が省けます。

メモ

登録地の探索条件は、使う／使わないの指定ができます。

1

メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

→28P

2

登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更 にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

つづく→

登録地の効果音を変更する／登録地の探索条件を変更する

4

探索条件を変更したい地点を選んで**決定**にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5

探索条件にタッチする

探索条件の選択画面が表示されます。



メモ

▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
 ▲や▼にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

6

変更したい探索条件を選んでタッチする



「探索基準」 推奨、距離優先、
幹線優先

「有料条件」 標準、回避

「フェリー航路」 標準、優先、回避

「設定なし」

7

戻るにタッチする

変更した登録地の探索条件が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

8

現在地を押す

地図画面に戻ります。

登録地をグループに振り分ける

登録地をグループ分けして、目的別に整理することができます。

登録地が増えれば増えるほど、ルート設定時などに登録地を見つけやすくなります。

1

メニュー → **編集・設定** → **データ**

編集にタッチする

→28P

2

登録地編集にタッチする

登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更にタッチする

登録地点のリストが表示されます。

4

グループに振り分けたい地点を選んで**決定**にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5

グループにタッチする

グループリスト画面が表示されます。



メモ

▲や▼にタッチすると、リストをスクロールすることができます。
 ▲や▼にタッチすると、ページ単位でリストをスクロールすることができます。

6 振り分けたいグループ名を選んでタッチする

グループに振り分けた登録地が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。



メモ

- 購入直後のグループ名は**グループ01～グループ10**です。
- グループ名は変更できます。
 →「登録地のグループ名称を変更する」(90P)
- グループ分けしないときは、**グループなし**を選んでください。

7 **現在地**を押す
地図画面に戻ります。

登録地の位置を変更する

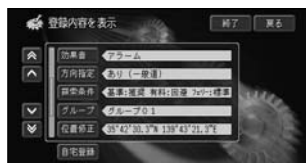
登録地の位置を修正することができます。

1 **メニュー** → **編集・設定** → **データ編集**にタッチする
→28P2 **登録地編集**にタッチする
登録地編集画面が表示されます。3 **内容変更**にタッチする
登録地点のリストが表示されます。4 位置を変更したい地点を選んで**決定**にタッチする

選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 **位置修正**にタッチする
登録地を中心とする地図画面が表示されます。6 8方向矢印キーにタッチして新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて**決定**にタッチする
変更した登録地の位置が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。7 **現在地**を押す
地図画面に戻ります。

自宅に変更する

登録地を自宅に変更することができます。

メモ

- この操作をすると、よみだけが「じたく」と変更されます。
名称については、変更操作が必要です。
→「登録地の名称を変更する」(79P)
- すでに自宅が登録されている場合は、「自宅が登録されています。上書きしますか？」とメッセージが表示されます。**はい**にタッチすると上書き保存されます。(前の自宅データは消去されます。)

1

メニュー — 編集・設定 — データ
編集にタッチする
→28P

2

登録地編集にタッチする
登録地編集画面が表示されます。

3

内容変更 にタッチする
登録地点のリストが表示されます。

4

自宅に変更したい地点を選んで
決定 にタッチする
選んだ地点の登録内容が表示されます。

メモ

- グループを選んだときは、グループ内の登録地点リストが表示されます。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5

自宅登録 にタッチする

自宅として保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

メモ

既に自宅が登録されている場合は、「自宅は既に登録されています。上書きしますか？」のメッセージが表示されます。上書きすると、自宅の位置が変更されます。

6

現在地 を押す
地図画面に戻ります。

登録地を消去する

地点の登録が200件に達したとき、新たな地点を登録するには、登録済みの地点を消去しなければなりません。不要になった登録地は随時消去してください。

1

メニュー — 編集・設定 — データ
編集にタッチする
→28P

2

登録地編集にタッチする
登録地編集画面が表示されます。

3

消去 にタッチする
消去するデータの範囲を設定するメニューが表示されます。



4

グループを選んでタッチする
選んだグループの登録地点リストが表示されます。



メモ

- グループ分けされていない登録地を削除するときは、**グループなし**を選んでください。
自宅は**グループなし**に振り分けられています。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。

5 削除したい登録地を選んでタッチする

選んだ登録地には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択**にタッチすると、すべての登録地が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい登録地にタッチしてください。
- 登録地リストまたはグループ内の登録地リストは、**並べ替え**にタッチすると並べ替えることができます。
→「登録地リストを並べ替える」(78P)
- **全データ**を選んだときは、手順6に進んでください。



6 決定にタッチする

確認画面が表示されます。



7 はいにタッチする

登録地が消去され、地図画面に戻ります。

登録地のグループ名を変更する

わかりやすいグループ名に変更しておく、登録地を見つけやすくなります。

メモ

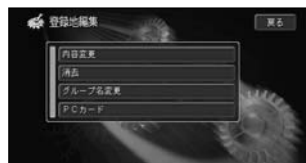
購入直後のグループ名は**グループ01**～**グループ10**です。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2

登録地編集にタッチする
登録地編集画面が表示されます。



3

グループ名変更にタッチする
登録地点のグループリストが表示されます。



4

名称を変更したいグループを選んでタッチする
文字の入力画面が表示されます。



5

変更したい名称を入力する

→「文字の入力操作」(294P)

メモ

- 名称は、全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。
- **グループなし**は変更できません。

6

入力終了にタッチする

変更したグループの名称が保存され、グループリスト画面に戻ります。

メモ

- **戻る**にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、**入力終了**は選べません。

7

現在地を押す
地図画面に戻ります。

メモ

名称が入力されていないとき **現在地**
または **メニュー**を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

ロゴマークの登録・編集

施設の開業、閉業、移転などに合わせて、地図画面に表示されるロゴマークを登録したり、編集したりすることができます。(ランドマークリライタブル) ロゴマークについて、次の操作ができます。

- 表示させなくする(非表示にする)(このページ)
- 非表示にしたロゴマークを再び表示させる(次ページ)
- 位置の修正(次ページ)
- 修正した位置を元に戻す(93P)
- 登録(94P)
- 登録したロゴマークの位置を修正する(95P)
- 登録したロゴマークの詳細情報(マークなど)を変更する(96P)
- 登録したロゴマークを消去する(96P)

ロゴマークを表示させなくする

本機が用意しているロゴマークを表示させなくする(非表示にする)ことができます(最大200件)。閉業した施設のロゴマークを消したいときなどに、この操作をします。非表示にしたロゴマークは再び表示させることができます。

■ロゴマークを非表示にする

1 場所を探す

→「周辺施設を探す」(36P)、「施設のロゴマークを表示させる」(119P)

2

微調整にタッチして8方向矢印キーで非表示にしたいロゴマークを十字カーソルに合わせる



3

詳細情報にタッチする

詳細情報画面が表示されます。



メモ

複数の情報がある場合は、リスト表示されますので、表示する情報にタッチして**決定**にタッチしてください。

4

非表示にタッチする



地図画面に戻り、「指定されたロゴマークを非表示にしました。」と表示された後、ロゴマークが消去されます。

ロゴマークを表示させなくする

■非表示にしたロゴマークを再び表示させる

非表示にしたロゴマークを再び表示させます。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2 **ロゴマークデータ編集**にタッチする



3 **非表示設定データ**にタッチする



4 **非表示設定解除**にタッチする
ロゴマークの非表示が設定されている地点のリストが表示されます。



メモ
PCカードにタッチすると、非表示データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

5 **ロゴマークを再び表示させたい地点のデータを選んでタッチする**
選んだデータには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ
全選択にタッチすると、すべてのデータが選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したいデータにタッチしてください。



6 **決定**にタッチする
非表示データの解除を確認するメッセージが表示されます。



7 **はい**にタッチする
選んだデータの非表示が解除され、地図画面に戻ります。
ロゴマークが表示されていることを確認してください。

■ロゴマークの位置を修正する

本機が用意しているロゴマークの位置を修正することができます（最大200件）。
移転した施設のロゴマークの位置を修正したいときなどに、この操作をします。移動したロゴマークは元の位置に戻すことができます。

■ロゴマークの位置を修正する

1 **場所を探す**
→「周辺施設を探す」(36P)、「施設のロゴマークを表示させる」(119P)

2

微調整 にタッチして8方向矢印キーで非表示にしたいロゴマークを十字カーソルに合わせる



3

詳細情報 にタッチする
詳細情報画面が表示されます。



メモ

複数の情報がある場合は、リスト表示されますので、表示する情報にタッチして**決定**にタッチしてください。

4

位置修正 にタッチする



5

8方向の矢印にタッチして新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて**決定**にタッチする
ロゴマークの位置が保存され、地図画面に戻ります。



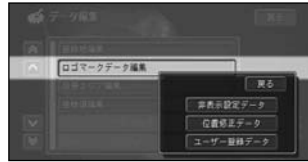
修正したロゴマークの位置を元に戻す
修正したロゴマークの位置を元の位置に戻します。

1

メニュー — **編集・設定** — データ
編集 にタッチする
→28P

2

ロゴマークデータ編集 にタッチする



3

位置修正データ にタッチする



4

位置修正解除 にタッチする
ハードディスク内の位置修正データがリスト表示されます。



メモ

PCカード にタッチすると、位置修正データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

5

ロゴマークの位置を元に戻したい地点のデータを選んでタッチする
選んだデータには、チェックマーク付き、引き続き選ぶことができます。

ロゴマークの位置を修正する

メモ

全選択にタッチすると、すべてのデータが選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したいデータにタッチしてください。



6

決定にタッチする

位置修正の解除を確認するメッセージが表示されます。



7

はいにタッチする

選んだデータの位置修正が解除され、地図画面に戻ります。ロゴマークの位置が元に戻っていることを確認してください。

ロゴマークを登録する

本機が用意しているロゴマークとは別に、ロゴマークを登録することができます（最大200件）。

新たに開業した施設のロゴマークを表示させたいときなどに、この操作をします。登録したロゴマークは、「ユーザー登録データ」として扱われます。

■ロゴマークを登録する

1

場所を探す →29P

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2

地点登録にタッチする

登録内容を表示します。



3

ロゴマークにタッチする

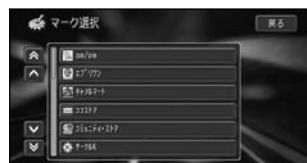
施設の選択リストが表示されます。



4

ロゴマークを登録したい施設を選んでタッチする

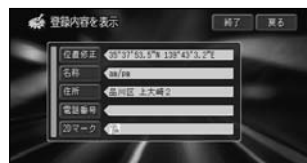
選んだ施設に使用できるロゴマークのリストが表示されます。



5

登録したいロゴマークを選んでタッチする

登録内容表示画面が表示されます。



メモ

選んだロゴマークに詳細なロゴマークがある場合は、次に詳細なロゴマークを選び**決定**にタッチします。

6

終了にタッチする

ロゴマークが登録され、地図画面に戻ります。



メモ

名称などは自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
→「登録したロゴマークの詳細情報を変更する」(次ページ)

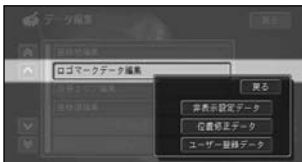
登録したロゴマークの位置を修正する

1

メニュー — **編集・設定** — データ
編集にタッチする
→25P

2

ロゴマークデータ編集にタッチする



3

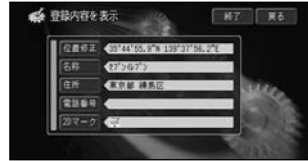
ユーザー登録データにタッチする



4

内容変更

登録されているデータのリストが表示されます。



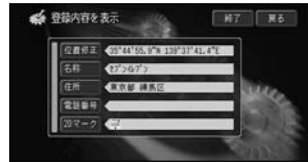
メモ

PCカードにタッチして、ユーザー登録データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

5

編集するデータを選んでタッチする

選んだデータの登録地点内容表示画面が表示されます。



メモ

以降の操作は「登録地の名称を変更する」(79P) とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

6

位置修正

スクロール画面が表示されます。



7

8方向の矢印にタッチして新たに登録したい位置を十字カーソルに合わせて**決定**にタッチする
変更した登録地の位置が保存され、登録地点内容表示画面に戻ります。

8

現在地 を押す
地図画面に戻ります。

■登録したロゴマークの詳細情報を 変更する

登録したロゴマークの詳細情報のうち、名称、住所、電話番号を変更することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ**
編集にタッチする
→28P

2

ロゴマークデータ編集にタッチする

3

ユーザー登録データにタッチする

4

内容変更にタッチする
登録されているデータのリストが表示されます。

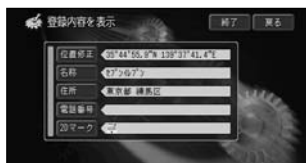
メモ

PCカードにタッチすると、ユーザー登録データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

5

編集するデータを選んでタッチする

選んだデータの登録地点内容表示画面が表示されます。



メモ

以降の操作は「登録地の名称を変更する」(79P) とほぼ同様の流れとなりますので参照してください。

■登録したロゴマークのマークを変 更する

登録したロゴマークのマークを変更することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ**
編集にタッチする
→28P

2

ロゴマークデータ編集にタッチする

3

ユーザー登録データにタッチする

4

内容変更にタッチする
登録されているデータのリストが表示されます。

メモ

PCカードにタッチすると、ユーザー登録データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。

5

2Dマークを変更したいデータを選んで決定にタッチする

以降の操作手順は、前ページの「ロゴマークを登録する」と同じです。

■登録したロゴマークを消去する

登録したロゴマークは消去することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ**
編集にタッチする
→28P

2

ロゴマークデータ編集にタッチする

3

ユーザー登録データにタッチする

4

消去にタッチする
以降の操作手順は、「登録道を消去する」(99P) と同じです。

その他のデータの登録・編集

通りたい道路を登録する

通りたい道路を100本まで登録しておくことができます。(登録道)
登録道は、ルート探索時に組み込むことやルートアドバイザーに使用することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — データ
編集にタッチする

→28P



2

登録道編集にタッチする



3

新規登録にタッチする

場所を探す方法を指定する画面が表示されます。好みの方法で登録したい道路付近を画面に表示させます。

→「場所を探す」(29P)



4

地図をスクロールさせて、登録したい道路を十字カーソルに合わせて**決定**にタッチする

選ばれている道路は紫色で表示されます。



メモ

十字カーソルが有料道路付近にある場合などに、選んだ道路が有料道路上にあるかどうかを確認する選択画面が表示されることがあります。

一般道路か**有料道路**を選んでタッチしてください。

5

前進、**次候補**、**後退**にタッチして、**通る道を指定する**

道路は、交差点で区切られた範囲ごとに、進みたい順にひとつずつ指定していきます。

指定済みの道路は黄色で表示されます。



道路選択の操作方法

前進にタッチ 前進する

後退にタッチ 後退する(方向転換する)

次候補にタッチ 候補の道を選択する

メモ

地図のスケールを変更すると、選びやすくなります。→「地図のスケールを変更する」(19P)

6 登録したい道路を指定したら終了にタッチする

最初に指定した道路付近の地名が表示され、確認画面が表示されます。

7 はいにタッチする

道路が登録されます

メモ

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
→次項の「登録道を編集する」
- 交差点から交差点までを1本の道路として、一度に300本まで指定できます。ただし、場合によっては、300本まで指定できないことがあります。
- 一方通行の道路は、逆方向の指定はできません。
- 登録道の走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道を指定する画面では200mから10mスケールまで選ぶことができます。また、100m未満のスケールでは市街地図が表示されません。
- 登録道は、通りたい道順で登録してください。

登録道を編集する

登録時に自動的に設定される登録道の名称やよみを変更したり、登録道を消去することができます。

登録道の内容を変更する

登録道の内容のうち、名称、よみを変更することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — データ編集にタッチする →28P

2 登録道編集にタッチする

3 内容変更 にタッチする



4 内容を変更したい登録道を選んでタッチする

登録道内容表示画面が表示されます。



5 名称またはよみを選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



6 変更したい名称またはよみを入力する

→「文字の入力操作」(294P)



メモ

名称は全角で20文字（半角で40文字）まで、よみは全角で20文字まで入力できます。

7 入力終了にタッチする

変更した登録道の名称が保存され、登録道内容表示画面に戻ります。

メモ

- **戻る**にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は**入力終了**は選べません

8 現在地を押す

地図画面に戻ります。

メモ

名称が入力されていないとき **現在地** または **メニュー** を押すと、名称変更前の状態に戻ります。

登録道を確認する

登録道を地図画面で確認することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — データ 編集にタッチする

→28P

2 登録道編集にタッチする

3 確認にタッチする

登録道のリストが表示されます。



4 確認したい登録道を選んでタッチする

5 登録されている道路を確認する

前進する場合は**前進**にタッチし、後退する場合は**後退**にタッチします。**自動前進**、**自動後退**にタッチすると、自動スクロールします。**停止**にタッチするか、もう一度**自動前進**、**自動後退**にタッチすると自動スクロールを停止することができます。



6 確認を終えたら戻るにタッチする

登録道のリストに戻ります。

登録道を消去する

登録道を消去するには、以下のようになります。

1 メニュー — 編集・設定 — データ 編集にタッチする

→28P

2 登録道編集にタッチする

3

消去にタッチする

登録道のリストが表示されます。



4

消去したい登録道を選んでタッチする

選んだ登録道には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。



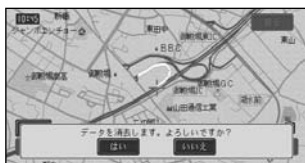
メモ

全選択にタッチすると、すべての登録道が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい登録道にタッチしてください。

5

決定にタッチする

確認画面が表示されます。



メモ

チェックマークの付いた登録道が1つだけの場合は、地図画面が表示されます。複数の場合はリスト画面のままです。

6

はいにタッチする

登録道が消去され、地図画面に戻ります。

メモ

案内中のルートに登録道が組み込まれており、かつまだその登録道を通過していない場合は、案内中のルートが再探索されます。

回避したい場所を登録する

工事中の道路や渋滞しがちな道路などの通りたくない場所（回避エリア）を、5カ所まで登録しておくことができます。

回避エリアを登録しておくことで、これらの場所を通らないようにルートを探索させることができます。

1

メニュー — **編集・設定** — データ

編集にタッチする

→28P

2

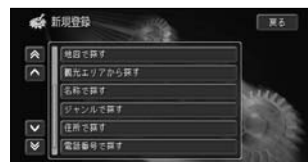
回避エリア編集にタッチする



3

新規登録にタッチする

回避エリアを探す方法を指定する画面が表示されます。



4

回避エリアの探しかたを選んでタッチする

→「場所を探す」(29P)

5

回避エリアの地点および地名を確認してタッチする

地図画面が表示されます。

6

8方向矢印とスケール表示にタッチして場所とスケールを合わせて**決定**にタッチする

確認画面が表示されます。

- スケールを変更すると、指定範囲が変化します。
- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。

7

はいにタッチする

回避エリアが登録されます。

メモ

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→次項の「回避エリアを編集する」
- 回避エリアは紫色で表示されます。
- 回避エリアの設定はON/OFFできます。→「設定を変更する」(109P)
- 最大で800m四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート探索時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが探索されることがあります。
- 回避エリアの設定が「ON」で、かつ案内中のルートがある場合は、案内中のルートが再探索されます。

回避エリアを編集する

登録時に自動的に設定される回避エリアの名称を変更したり、回避エリアを消去することができます。

回避エリアの名称を変更する

回避エリアの名称を変更することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — データ

編集にタッチする

→28P

2

回避エリア編集にタッチする

3

名称変更にタッチする

回避エリアのリストが表示されます。



4

名称を変更したい回避エリアを選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



5

変更したい名称を入力する

→「文字の入力操作」(294P)

メモ

名称は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。

6

入力終了にタッチする

変更した回避エリアの名称が保存され、地図画面に戻ります。

メモ

- **戻る**にタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されていない場合は**入力終了**は選べません。

■回避エリアを確認する

回避エリアを地図画面で確認することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2

回避エリア編集にタッチする

3

確認にタッチする

回避エリアのリストが表示されます。



4

確認したい回避エリアを選んでタッチする

地図画面に回避エリアが表示されます。



5

確認を終えたら**戻る**にタッチする

回避エリアのリストに戻ります。

■回避エリアを消去する

回避エリアを消去することができます。

1

メニュー — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2

回避エリア編集にタッチする

3

消去にタッチする

回避エリアのリストが表示されます。



4

消去したい回避エリアを選んでタッチする

選んだ回避エリアには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。



メモ

全選択にタッチすると、すべての回避エリアが選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい回避エリアにタッチしてください。

5

決定にタッチする

確認画面が表示されます。



6 **はい**にタッチする
回避エリアが消去され、地図画面に戻ります。

メモ
回避エリアの設定が「ON」(114P)で、かつ案内中のルートがある場合は、案内中のルートが再探索されます。

携帯電話情報を消去する

不要になったメモリダイヤルや発信履歴、着信履歴を消去することができます。メモリダイヤルの保存方法は、「メモリダイヤルの読み込み」(198P)を参照してください。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2 **メモリダイヤル・発信履歴消去**にタッチする



3 消去したい電話番号のある項目情報を選んでタッチする
メモリダイヤルまたは発信信のリストが表示されます。

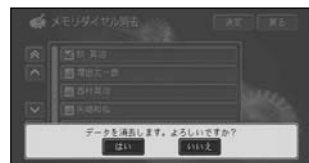


4 消去したい電話番号を選んでタッチする

選んだ電話番号には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ
全選択にタッチすると、すべての電話番号が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい電話番号にタッチしてください。

5 **決定**にタッチする
確認画面が表示されます。



6 **はい**にタッチする
電話番号が消去され、地図画面に戻ります。

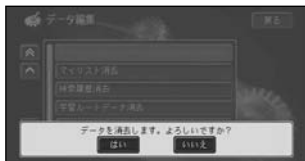
ルートの学習内容を消去する

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索します→「機能設定」(109P)。したがって、他に効率のよい道が見つかったも、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集**にタッチする
→28P

2 学習ルートデータ消去にタッチする

確認画面が表示されます。



3 はいにタッチする

学習ルートが消去され、地図画面に戻ります。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴に300件まで保存されていきます。
検索履歴の内容を消去することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — データ編集にタッチする

→28P

2 検索履歴消去到タッチする

検索履歴のリストが表示されます。



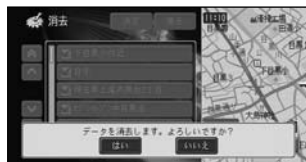
3 消去したい検索履歴を選んでタッチする

選んだ検索履歴には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ
全選択にタッチすると、すべての検索履歴が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい検索履歴にタッチしてください。

4 決定にタッチする

確認画面が表示されます。



5 はいにタッチする

検索履歴から選んだ場所が消去され、地図画面に戻ります。

メモ
詳細情報から消去することもできます。
→「詳細情報を見る」(40P)

走行軌跡を消去する

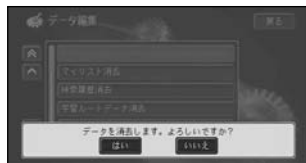
地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — データ編集にタッチする

→28P

2 走行軌跡消去到タッチする

確認画面が表示されます。



3 はいにタッチする

走行軌跡が消去され、地図画面に戻ります。

メモ

軌跡自動消去を「ON」にすると、走行軌跡を自動的に消去できます。
→「設定を変更する」(109P)

オートリルート履歴を編集する

オートリルート(66P)が働くと、探索されたルート(リルート)はオートリルート履歴に保存されて(300件まで)、ルートアドバイザー(67P)で使用されます。300件を超えた場合は、使用されない期間が長いオートリルート履歴から順番に消去されます。

オートリルート履歴の編集操作では、オートリルート履歴を登録したり(登録リルート地点)、ルートアドバイザーで使用したくないオートリルート履歴を消去したりすることができます。

■オートリルート履歴をリルート地点として登録する

消去したくないオートリルート履歴を200件まで登録することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — データ
編集にタッチする
→28P

2

オートリルート履歴編集にタッチする



3

登録にタッチする

オートリルート履歴が表示されます。



4

登録したいオートリルート履歴を選んでタッチする

選んだオートリルート履歴には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

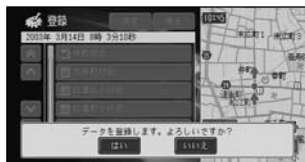
メモ

- **全選択**にタッチすると、すべてのオートリルート履歴が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したいオートリルート履歴にタッチしてください。
- 200件を超える選択はできません。

5

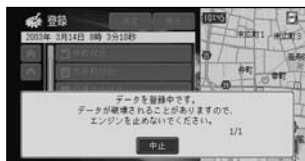
決定にタッチする

登録確認画面が表示されます。



6

はいにタッチする



選んだオートリルート履歴が登録リルート地点として登録され、地図画面に戻ります。

メモ

登録リルート地点として登録されたオートリルート履歴は、この編集操作で表示されるオートリルート履歴のリストから消去されます。

走行軌跡を消去する／オートリルート履歴を編集する

■オートリルート履歴を消去する

オートリルート履歴を消去することができます。

1

メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

→28P

2

オートリルート履歴編集にタッチする

3

消去にタッチする

オートリルート履歴が表示されます。



4

消去したいオートリルート履歴を選んでタッチする

選んだオートリルート履歴には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メニュー

全選択にタッチすると、すべてのオートリルート履歴が選択され、メニューの表示が全解除に変わります。選択を解除するには、全解除または解除したいオートリルート履歴にタッチしてください。

5

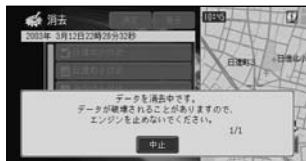
決定にタッチする

消去確認画面が表示されます。



6

はいにタッチする



選んだオートリルート履歴が消去され、地図画面に戻ります。

登録リルート地点を編集する

登録されたリルート地点は、オートリルート履歴のルートと同様にルートアドバイザー（67P）で使用されます。

登録リルート地点の編集操作では、登録したリルート地点の名称を変更したり、ルートアドバイザーで使用したくないリルート地点を消去したりすることができます。

■登録リルート地点の名称を変更する

登録されているリルート地点の名称を変更するには、以下のようにします。

1

メニュー — 編集・設定 — データ

編集にタッチする

→28P

2

登録リルート地点編集にタッチする

3

変更にタッチする

登録されているリルート地点がリスト表示されます。



4 名称を変更したいリルート地点を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。



5 変更したい名称を入力する →「文字の入力操作」(294P)

メモ

名称は全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

6 入力終了にタッチする

変更したリルート地点の名称が保存され、登録リルート地点のリストに戻ります。

メモ

- 戻るにタッチして、入力を終了することもできます。
- 名称が入力されないと、**入力終了**は選べません。

7 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

登録リルート地点を消去する

登録されているリルート地点を消去することができます。

1 メニュー → 編集・設定 → データ 編集にタッチする →28P

2 登録リルート地点編集にタッチする

3 消去到タッチする

登録されているリルート地点がリスト表示されます。



4 消去するリルート地点を選んでタッチする

選んだリルート地点には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

全選択にタッチすると、すべてのリルート地点が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したいリルート地点にタッチしてください。

5 決定にタッチする

消去確認画面が表示されます。



6 はいにタッチする

選んだリルート地点の登録が抹消され、地図画面に戻ります。

マイリストを消去する

インターネットで取得したマイリストのデータを消去することができます。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集** にタッチする
→28P

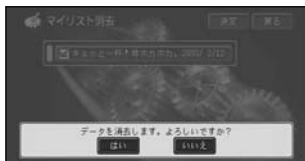
2 **マイリスト消去** にタッチする
登録されているマイリストのデータがリスト表示されます。



3 消去したいマイリストを選んでタッチする
選んだマイリストのデータには、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ
全選択 にタッチすると、すべてのマイリストのデータが選択され、メニューの表示が **全解除** に変わります。選択を解除するには、**全解除** または解除したいマイリストのデータにタッチしてください。

4 **決定** にタッチする
消去確認画面が表示されます。



5 **はい** にタッチする
マイリストが消去され、地図画面に戻ります。

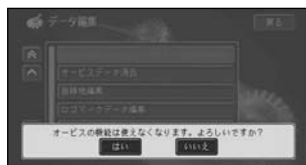
オービスデータを消去する

別売のオービスROMで読み込ませたデータを消去します。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **データ編集** にタッチする
→28P



2 **オービスデータ消去** にタッチする



3 **はい** にタッチする
オービスデータが消去され、地図画面に戻ります。

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- 地図表示 (110P)
- ルート・案内 (112P)
- VICS・FM多重 (115P)
- その他 (117P)

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更するには、以下のようにします。

1 **メニュー** → **編集・設定** → **各種設定** にタッチする
→28P

2 **機能設定** にタッチする
ナビゲーションの機能設定画面が表示されます。



3 変更したい機能を選んでタッチする



メモ

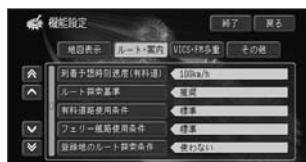
4種類の各機能の設定項目は、「設定内容の詳細」(110P)を参照してください。

4 設定を変更したい項目を選んでタッチする



↑、↓ にタッチするとページが送られます。

5 設定内容を選んでタッチする
設定内容が変更され、設定リスト画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。



6 すべての変更を終えたら **現在地** を押す

設定を終了して地図画面に戻ります。

メモ

終了 にタッチして設定を終了することもできます。

設定を変更する

設定内容の詳細

■地図表示

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
地図色切替	地図の配色が切り替わるタイミングを設定します。	「 時刻連動 」：日没/日出時刻連動で画面の配色が切り替わります。
		「イルミ連動」：スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り替わります。
		「 昼色固定 」：常に昼画面のままです。
走行軌跡自動消去	走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	「 自宅付近 」：自宅が登録されており、自宅から100m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 電源OFF時 」：本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は自動消去しません。
走行軌跡表示	走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は表示されません。
抜け道表示	抜け道を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：抜け道が表示されます。
		「 OFF 」：抜け道が表示されません。
登録地画像表示	登録した場所に近づいたとき、詳細情報としてあらかじめ設定した画像を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：登録した場所に近づいたとき、設定した画像が表示されます。
		「 OFF 」：登録地画像は表示されません。
立体ランドマーク表示	スカイビューなどの3D地図表示で、目印になる建物や登録地の3Dマークを立体ランドマークとして表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：立体ランドマークが3D地図上に表示されます。
		「 OFF 」：立体ランドマークは表示されません。
天気予報表示	天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内するかどうかを設定します。	「 ON 」：地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。
		「 OFF 」：地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報は音声案内されません。

項目名	内容	設定値
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、方面案内が表示されます。 「OFF」：方面案内は表示されません。
2D固定スクロール	スクロール時の画面をノーマルビュー固定にするかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。 「OFF」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。
2D地図の回転	ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。	「ヘディングアップ」：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。 「ノースアップ」：常に北が上になるように地図が表示されます。
ノースアップフロントワイド	ノースアップ時に自車位置を画面中心部より下げて、進行方向の状況を広く見る「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。（ノースアップが選ばれているときのみ、選択できます。）	「ON」：ノースアップフロントワイドが働きます。 「OFF」：ノースアップフロントワイドは働きません。
シティマップ	詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示したとき、市街地図を表示するかどうかを設定します。	「ON」：市街地図が表示されます。 「OFF」：通常の地図が表示されます。
スカイシティマップ	市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示したとき、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。（シティマップがONのときのみ、選択できます。）	「ON」：市街地図の建物が立体的に表示されます。 「OFF」：市街地図の建物が平面的に表示されます。
ドライバーズビューウィンドウマップ	ドライバーズビューのとき、画面を分割して地図画面（ウィンドウマップ）を表示するかどうかを設定します。	「ON」：画面の左側にウィンドウマップが表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。
シティハイウェイウィンドウマップ	シティハイウェイマップのウィンドウマップを表示するかしないか、また表示する場合にどの情報を表示するかを設定します。	「高速マップ」：都市高速道路のみが表示されます。 「通常マップ」：ノーマルビューで表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。

項目名	内容	設定値
オートハイウェイマップ	有料道路に入った場合、自動的にハイウェイモード、シティハイウェイマップの地図を表示するかどうかを設定します。	「シティハイウェイマップ/ハイウェイモード」：都市高速道路以外ではハイウェイモード、都市高速道路ではシティハイウェイマップにします。 「ハイウェイモード」：有料道路でハイウェイモードにします。 「OFF」：ハイウェイモード、シティハイウェイマップにしません。現状の地図表示モードを維持します。
駐車場マップ	収録されている駐車場に入った場合、自動的に駐車場の地図を表示するかどうかを設定します。	「オート」：駐車場マップが自動的に表示されます。 「マニュアル」：駐車場マップはスケールコントローラーで表示させます。

■ルート・案内

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
オートフリーズーム	現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。	「ON」：オートフリーズームが働きます。 「OFF」：オートフリーズームは働きません。
オートアングルチェンジ	シティハイウェイマップ、ドライブスビューを表示しているとき、見やすいアングルに自動で変更するかどうか設定します。	「ON」：自動でアングルが変更されます。 「OFF」：自動でアングルが変更されません。
車線変更促し表示	推奨レーンとナビゲーションが判断した走行レーンが異なる場合、車線変更を促す表示をします。（簡易ハイブリットや「ND-PG1」（別売）使用時、3Dハイブリッドセンサの初期学習が未終了時は、選択できません。） 学習状態 を リセット するか、 センサメモリ を未学習のセンサメモリに切り替えるとOFFになります（141P）。	「ON」：表示されます。 「OFF」：表示されません。

項目名	内容	設定値
交差点案内表示	ルート案内時、交差点に近づいたときに表示される案内図の種類を設定します。	「 ドライバーズビュー 」：交差点付近を立体的に表現した案内図が表示されます。
		「 拡大図 」：平面的な交差点拡大図が表示されます。
方面案内表示	一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。	「 ON 」：交差点で方面案内が表示されます。
		「 OFF 」：方面案内は表示されません。
ルートインフォメーション	ルート設定時、ルートインフォメーション（62P）を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。
		「 OFF 」：ルートインフォメーションは表示されません。
道のり・到着予想時刻表示	ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。	「 目的地 」：目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
		「 立寄地 」：次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
到着予想時刻速度（一般道）	一般道走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 20km/h 」：平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 30km/h 」：平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 40km/h 」：平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
到着予想時刻速度（有料道）	有料道路走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 60km/h 」：平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 80km/h 」：平均速度80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 100km/h 」：平均速度100km/hとして到着予想時刻が計算されます。
ルート探索基準	ルートを探索させるとき、最初に探索させる探索基準を設定します。（設定後のルート探索から反映されます。）	「 推奨 」：おすすめの基準でルートが探索されます。
		「 距離優先 」：距離を優先してルートが探索されます。
		「 幹線優先 」：幹線道路を優先してルートが探索されます。

項目名	内容	設定値
有料道路使用条件	ルートを探索させるとき、最初に探索させる探索条件を設定します。 (設定後のルート探索から反映されます。)	「標準」：有料道路が標準的な基準でルート探索されます。 「回避」：有料道路を回避したルートが探索されます。
フェリー航路使用条件	ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。	「標準」：フェリー航路が標準的な基準で採用されます。 「優先」：フェリー航路が優先的に採用されます。 「回避」：フェリー航路を回避するようにします。
登録地のルート探索条件	登録した場所を目的地や立寄地にしたとき、詳細情報として設定した探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。	「使う」：登録した場所の詳細情報に設定された探索条件をもとに、ルート探索が行われます。 「使わない」：詳細情報に設定された探索条件は使用されません。
回避エリア	ルート探索時、回避エリアを通らないルートを探索するかどうか、回避エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。	「ON」：回避エリアを通らないルートが探索され、回避エリアが地図画面に表示されます。 「OFF」：回避エリアを通らないルートは探索しません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。
学習ルート探索	ルート探索時、学習したルートを考慮するかどうかを設定します（44P）。	「ON」：学習したルートを考慮します。 「OFF」：学習したルートを考慮しません。
渋滞考慮ルート探索	VICS情報や規制情報をもとに、渋滞を避けたルートを探索するかどうかを設定します（44P）。	「ON」：渋滞を考慮したルートが探索されます。 「OFF」：渋滞情報は考慮されません。
オートリルート	ルートから外れたとき、自動的にリルートを行うかどうかを設定します（66P）。	「ON」：オートリルートが働きます。 「OFF」：オートリルートは働きません。
ルートアドバイザー	ルートアドバイザーに考慮される情報を設定することができます。	「登録道／リルート履歴／抜け道」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道を考慮します。 「登録道／リルート履歴」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点を考慮します。 「抜け道」：抜け道を考慮します。 「OFF」：ルートアドバイザーは働きません。

項目名	内容	設定値
渋滞考慮オートリルート	VICS情報をもとに、自動的に渋滞を考慮したリルートを行うかどうかを設定します（67P）。	「ON」：渋滞を考慮したオートリルートが働きます。 「OFF」：渋滞を考慮したオートリルートは働きません。

■VICS・FM多重

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
渋滞オートガイド	ルート案内時、ルート上の渋滞情報を自動で音声案内させるかどうかを設定します。	「ON」：ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。 「OFF」：ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。
VICS情報表示対象道路	VICS情報を表示する対象道路を設定します。	「 有料道・一般道 」：VICS情報をもとに、有料道・一般道の情報が表示されます。 「 有料道のみ 」：VICS情報をもとに、有料道路の情報のみが表示されます。 「 一般道のみ 」：VICS情報をもとに、一般道路の情報のみが表示されます。 「表示しない」：VICS情報は表示されません。
渋滞情報表示	渋滞している道路の道塗りをするかどうかを設定します。	「ON」：道塗り表示されます。 「OFF」：道塗り表示されません。
渋滞情報表示の点滅*	渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。順調表示がONに設定されているときは、常に点滅します。（渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。）	「ON」：渋滞は常時点滅表示されます。 「OFF」：渋滞は点滅表示されません。
順調表示*	交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。（渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。）	「ON」：VICS情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。 「OFF」：順調表示はされません。

※「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外の子、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定することができる機能です。

項目名	内容	設定値
規制表示*	交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。	「ON」：交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。 「OFF」：交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。
駐車場情報マーク表示*	駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	「ON」：駐車場のVICS情報マークが表示されます。 「OFF」：駐車場のVICS情報マークは表示されません。
区間旅行時間表示*	区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	「ON」：旅行時間のVICS情報マークが表示されます。 「OFF」：旅行時間のVICS情報マークは表示されません。
ビーコン即時表示	受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）を接続時のみ有効です。	「文字・図形」：ビーコン情報が文字表示（レベル1）または図形表示（レベル2）のいずれかで案内されます。都市高速や一般道路の走行時は、この設定が便利です。 「図形」：ビーコン情報が図形表示（レベル2）のみで案内されます。都市間高速の走行時は、この設定が便利です。 「OFF」：ビーコン情報は案内されません。
ビーコン即時表示時間	ビーコン情報受信時に、画面上に情報を表示させておく時間を設定します。（ビーコン即時表示がOFFのときは選択できません。）	「5秒」：受信したビーコン情報が5秒間表示されます。 「10秒」：受信したビーコン情報が10秒間表示されます。 「15秒」：受信したビーコン情報が15秒間表示されます。
FM多重チューナーの設定	内蔵のFM多重チューナーで何を受信するかを設定します。	「VICS」：VICS情報のみを受信します。 「D-GPS」：D-GPSのみを受信します。 「FM多重」：FM文字放送のみを受信します。 「VICS/D-GPSダブル」：VICSとD-GPSの両方を時分割受信します。「VICS」に設定しているときよりも交通情報の更新が遅くなることがあります。

※「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定することができる機能です。

■その他

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
情報ウィンドウ	現在地画面に表示される「現在地の地名」の表示内容を設定します。	「 市区町村名 」：現在地が市区町村名で表示されます。
		「 走行道路名 」：現在地が走行道路名で表示されます。(道路名がない場合は市区町村名が表示されます。)
		「 緯度経度 」：現在地が緯度経度で表示されます。
		「 AV情報 」：再生中のトラックタイトルなど表示されます。
AV画面割り込み表示	ソース画面表示中に交差点案内表示やビーコン情報を割り込ませて表示するかどうかを設定します。	「 交差点案内表示/ビーコン 」：交差点案内表示やビーコン情報が割り込み表示されます。
		「 交差点案内表示 」：交差点案内表示のみ割り込み表示されます。
		「 ビーコン 」：ビーコン情報のみ割り込み表示されます。
		「 OFF 」：割り込み表示されません。
ボイスヘルプ	音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。	「 オート 」：音声操作中は、常にボイスヘルプが表示されます。(ただし走行中は表示されません。)
		「 マニュアル 」：“ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。
音声認識話者学習	「初期話者学習」(210P)実施後に学習したデータを使用するかどうか、また、学習を継続するかどうかを設定します。	「 ON 」：学習したデータが音声認識に使用されます。学習も継続されます。
		「 OFF 」：学習したデータは音声認識に使用されません。また、学習も継続されません。
センサメモリ切替	センサの学習結果が保存されるメモリを切り替えます。	「 メモリ1 」：学習結果がメモリ1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。
		「 メモリ2 」：学習結果がメモリ2に保存されます。メモリ1とはサイズの異なるタイヤにしたとき(冬期にスタッドレスタイヤに交換した場合など)に選びます。

項目名	内容	設定値
有料道注意地点・ 県境案内	危険箇所や県境、合流地点で音声案内するかどうか設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
踏切案内	踏切で音声案内するかどうか設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
右左折専用レーン案内	専用レーンで音声案内するかどうか設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
リフレッシュ案内	2時間連続使用で音声案内するかどうか設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
ライト点灯案内	夕暮れのタイミングで音声案内するかどうか設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
オービスポイント	道路上にあるオービスポイントを案内するかどうかを設定します。	「全ポイント」：すべての道路で、オービスポイントが案内されます。
		「有料道のみ」：有料道路走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「一般道のみ」：一般道走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「OFF」：オービスポイントは案内されません。

メモ

- オービスポイントに関する操作、およびオービスポイントを案内させるには、別売のオービスROMが必要です。(本機は「CNAD-OP04」に対応しています)
- 右左折専用レーン案内は、直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。
ルート案内中でなくても案内されます。

その他の設定

ここでは、「機能設定」(109P)以外の設定について説明します。

ナビゲーションの設定については、「機能設定」(109P)を参照してください。

ロゴマークを表示させる

さまざまな施設のロゴマーク(ランドマーク・リライタブル含む)を地図上に100種類まで表示させることができます。

- 1 **メニュー** — **編集・設定** — **ロゴマーク表示設定** にタッチする
→28P



- 2 **ロゴマークを表示させたい施設を選んでタッチする**

施設のリスト表示の方法を選択するメニューが表示されます。



メモ

- 選択されている施設はランプが点灯します。
- **表示**  にタッチすると、設定を変更せずに一時的にロゴマーク表示を消すことができます。

- 3 **全選択** または **詳細選択** にタッチする

施設がリスト表示されます。



選択可能な残りの数

全選択 すべての関連施設が表示される

詳細選択 施設がさらに分類表示される

メモ

詳細選択 を選んだときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。

- 4 **ロゴマークを表示させたい施設を選んでタッチする**

選ばれた施設のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、ランプが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る** にタッチしてロゴマーク表示設定画面に戻り、手順2〜4を繰り返してください。

- 5 **終了** にタッチする

地図画面に戻ります。

選択した施設のロゴマークが表示されていることを確認してください。



音量を調整する

ルート音声案内、受話、着信の音量を調整するには、以下のようにします。

1 **メニュー** — **編集・設定** にタッチする →28P

2 **音量設定** にタッチする
音量設定の画面が表示されます。



「案内音量」音声案内の音量を調整する

「受話音量」携帯電話の受話音量を調整する

「着信音量」携帯電話の着信音量を調整する

3 調整したい音の **+**、**-** にタッチする



メモ

音量は14段階（0～13）で調整できます。

4 **終了** にタッチする
地図画面に戻ります。

自転車位置のずれを修正する

マップマッチングは「車は道路上を走る」という考えかたを基本にしています。このため、地図上の道路データと実際の道路の形状が異なっている場合や、複数の道路が近接している場合などでは、実際に走行している道路とは異なる位置に自転車マークが表示されることがあります。誤った位置に自転車マークが表示されるときは、正しい位置に修正してください。

自転車位置修正は、必ず停車してから操作してください。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **各種設定** にタッチする →28P
各種設定画面が表示されます。

2 **調整・補正** にタッチする
調整・補正メニューが表示されます。

3 **自転車位置修正** にタッチする
地図スクロール画面が表示されます。



4 8方向矢印キーにタッチして十字カーソルを現在地に合せる



5

決定にタッチする

自車の向きを設定する画面が表示されます。



6

左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する

7

終了にタッチする

自車位置が記憶されます。

画面の背景をカスタマイズする

画面の壁紙を変更する

画面の背景となる壁紙をお好みに合わせて変更することができます。(壁紙カスタマイズ) PCカードを利用してJPEG形式の画像を使うこともできます。

メモ

- PCカード内の画像ファイルは、半角で255文字(全角で127文字)以内、表示形式が「ファイル名+.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。
- 画像ファイルのサイズは、2048×1536ドットまで表示できます。
- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。

1

メニュー — **編集・設定** — 各種

設定にタッチする →28P

各種設定画面が表示されます。

2

カスタマイズにタッチする



自車位置のずれを修正する／画面の背景をカスタマイズする

3

壁紙の変更 にタッチする

壁紙が変更できる画面のリストが表示されます。



4

壁紙を変更したい画面を選んでタッチする

画像選択リストが表示されます。



5

壁紙とする画像を選んでタッチする



メモ

- PCカードがセットされているときは、PCカード内の画像ファイルも表示されます。
- PCカード内にある画像には「JPG」の拡張子が表示されます。
- **カスタマイズの解除** にタッチすると、元の壁紙に戻ります。

6

決定 にタッチする

壁紙を中央配置にして、画像の配置パターン設定画面が表示されます。



7

配置パターンを選んでタッチする中央



繰り返し



8

決定 にタッチする

壁紙が決定され、手順3の画面に戻ります。引き続き各画面の壁紙を設定することができます。

9

終了 にタッチする

地図画面に戻ります。

■変更した壁紙をすべて元に戻す

メモ

画面ごとに元に戻すときは、「画面の壁紙を変更する」の手順5で **カスタマイズの解除** を選んでください。

1

メニュー — **編集・設定** — **各種**

設定 にタッチする →28P

各種設定画面が表示されます。

2

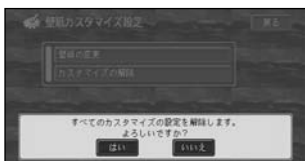
カスタマイズ にタッチする



3

カスタマイズの解除 にタッチする

確認のメッセージが表示されます。



4

はい にタッチする

壁紙のカスタマイズが解除され、地図画面に戻ります。

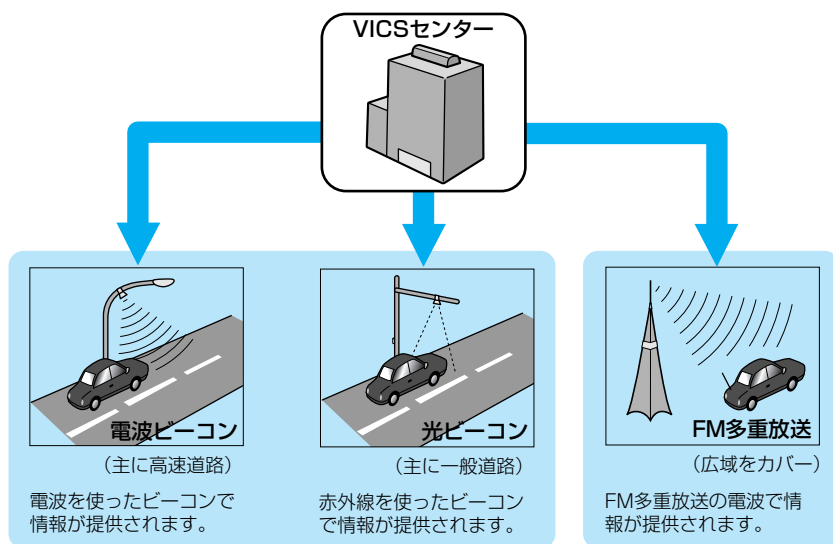
VICIS情報の利用

VICISとは

VICIS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICIS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見することもできます。

■VICIS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICISセンターに集められます。その後、次の3つの方法で、最新の道路交通情報（VICIS情報）が提供されます。



ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICIS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。本機にVICIS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）を接続すると、ビーコンによるVICIS情報を受信できます。

本機に内蔵のVICIS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICIS情報を受信できます。

 **VICIS** は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

■VICIS情報の表示形態

VICIS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICISセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む） ●旅行時間情報 ●交通障害情報
- 交通規制情報 ●駐車場情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



レベル2：簡易図形

簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル1：文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICIS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICISセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICIS情報マークで地図上に表示されます。

一般道路への表示

渋滞 赤色に白い縁取り

混雑 橙色に白い縁取り

順調 明るい青に白い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り

通行止め：黒

有料道路への表示

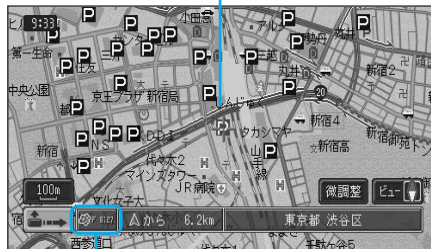
渋滞 赤色に青い縁取り

混雑 橙色に青い縁取り

順調 明るい青に青い縁取り

規制区間表示：黄色に黒い縁取り

入口閉鎖・通行止め：黒



VICIS情報提供時刻表示

橙色 情報を受信してから5分未満の状態

青 情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態

-- -- 情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICIS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICIS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路は表示されません。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り替えてください。→「放送局を選ぶ」（131P）
- VICIS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。

VICIS情報マークの種類

VICIS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICIS情報マークの詳細を見ることが可能です。

大型通行止め	故障車
作業	路上障害
チェーン規制	凍結
進入禁止	入口制限
通行止め・閉鎖	事故
工事中	入口閉鎖
片側交互通行	対面通行
車線規制	徐行
速度規制（数字は制限速度）	気象
行事	災害
区間旅行時間	火災
原因なし	駐車場閉
駐車場（空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒）	

「VICIS情報提供時刻表示」の内容

本機にVICIS用ビーコンユニットが接続されているときは、FM多重放送とビーコンのVICIS情報の提供時刻が同時に表示されます。（ビーコンの提供時刻は、レベル3の地図情報を受信してからしばらくすると更新されます。）

VICIS用ビーコンユニットが接続されていないときは、FM多重放送によるVICIS情報提供時刻が表示されます。（約5分ごとに更新されます。）

一度に受信・表示できる情報について

VICIS用ビーコンユニットが接続されていない場合

FM多重チューナーの設定を「VICIS」または「VICIS/D-GPSダブル」にしてください。

→「設定を変更する」(109P)

「D-GPS」または「FM多重」に設定すると、FM多重チューナーはD-GPSまたはFM文字多重放送の情報だけを受信するため、VICIS情報を見ることができません。

「VICIS/D-GPSダブル」に設定すると、VICISの情報とD-GPSの情報を切り替えながら受信します。（VICIS情報の更新間隔が長くなることがあります。）

VICIS用ビーコンユニットが接続されている場合

ビーコンによるVICIS情報とFM多重放送によるVICIS情報が同時に表示されます。ただし、同じ道の情報がビーコンとFM多重放送の両方から提供されたときは、新しい情報が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(131P)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICIS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICIS情報を同時に表示することができません。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができません。

■VICIS情報マークの詳細を見る

地図上に表示されているVICIS情報マークの詳細な情報を見ることができます。

1 地図をスクロールさせてVICIS情報マークにカーソルを合わせる



2 にタッチして、ショートカットメニューを表示する

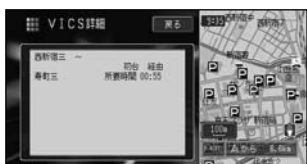
3 詳細情報 にタッチする

情報が複数ある場合は、リスト表示されます。情報が1つしかない場合は、手順4の画面が表示されます。



4 表示したい情報を選んで 決定 にタッチする

VICIS情報マークの詳細情報が表示されます。



現在地 を押すと、地図画面に戻ります。

■ビーコン情報の自動表示

VICIS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）が接続されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます。（ビーコン文字図形表示）



表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また、**戻る** にタッチして消すこともできます。

メモ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。
- ビーコン情報の表示時間（ビーコン即時表示時間）は、変更できます。
→「設定を変更する」（109P）

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

現在地 を押すか、**戻る** にタッチすると、地図画面に戻ります。

■規制情報を表示させる

周辺の規制情報を表示させることができます。

1 ルートが設定されていないときに **F10:10** にタッチする

規制している場所が左画面、右画面は現在地画面の2画面で表示され、規制内容などが音声案内されます。



自車から次に近い規制を案内させるには

もう一度 **F10:10** にタッチします。（5か所まで案内させることができます。）規制案内の5か所目を見ている、またはこれ以上規制案内が見つからないときに **F10:10** にタッチすると、現在地画面に戻ります。

メモ

- 規制している場所の画面は2D表示、200mスケールで表示されます。
- 周辺に規制がないときに **F10:10** にタッチすると、操作無効であることを知らせる音が鳴ります。
- 規制案内の表示中に規制情報が更新されたときは、**F10:10** にタッチすると現在地画面に戻ります。
- 規制情報により、音声案内されない内容もあります。
- 案内中のルートがある時に **F10:10** にタッチすると周辺の渋滞および規制情報を表示案内します。

文字情報を見る

レベル1（文字）で表示されるVICIS情報を見るには、以下のようにします。

1

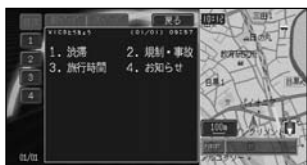
メニュー — **VICIS情報** にタッチする → 27P

VICIS情報画面が表示されます。



2

「FM多重」または「ビーコン」の**文字情報**にタッチする



「FM文字情報」 広域情報

「ビーコン文字情報」 限定情報

メモ

「ビーコン文字情報」は、VICIS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）が接続されていて情報があるときに選択できます。

3

見たい情報の番号にタッチするメニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。

渋滞や交通規制などに関する文字情報が表示されます。



メモ

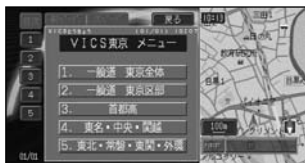
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、**前ページ**や**次ページ**にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次**にタッチすると、VICISメニューに戻ります。

図形情報を見る

レベル2（簡易図形）で表示されるVICIS情報を見るには、以下のようにします。

1 **メニュー** — **VICIS情報** にタッチする →27P
VICIS情報画面が表示されます。

2 「FM多重」または「ビーコン」の **図形情報** にタッチする



「FM図形情報」 広域情報
「ビーコン図形情報」 限定情報

メモ

「ビーコン図形情報」は、VICIS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）が接続されていて情報があるときに選択できます。

3 見たい情報の番号にタッチする
メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。
渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報が表示されます。



メモ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、**前ページ**や**次ページ**にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。

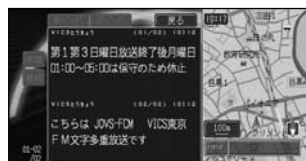
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次**にタッチすると、VICISメニューに戻ります。

センター情報を見る

情報提供時刻の変更やお知らせなどのVICISセンターからの情報を見るには、以下のようにします。

1 **メニュー** — **VICIS情報** にタッチする →27P
VICIS情報画面が表示されます。

2 **センター情報** にタッチする
VICISセンターからの情報が表示されます。



メモ

情報画面が複数のページにおよぶときは、**前ページ**や**次ページ**にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。

放送局を選ぶ

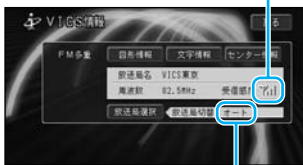
VICIS情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。

■放送局の受信感度を確認する

1 **メニュー** — **VICIS情報** にタッチする →27P

VICIS情報画面に、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

受信感度表示



選局方法（オート/リスト/シーク/マニュアル）

受信感度表示は、バーの数が多いほど受信感度が良好であることを示します。バーが2本以下のときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

■自動的に放送局を選ぶ

1 **メニュー** — **VICIS情報** にタッチする →27P

VICIS情報画面が表示されます。

2 **放送局選局** にタッチする

選局方法を選択するリストが表示されます。



3

オート にタッチする

最も受信感度のよい放送局が自動的に選択されます。
選局が終わると、VICIS情報画面に戻ります。

■リストから選ぶ

1

メニュー — **VICIS情報** にタッチする →27P

VICIS情報画面が表示されます。

2

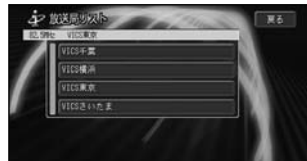
放送局選局 にタッチする

選局方法を選択するリストが表示されます。

3

リスト にタッチする

放送局のリストが表示されます。



4

放送局を選んでタッチする

放送局が変更され、VICIS情報画面に戻ります。

メモ

受信可能な放送局が6局以上ある場合は、**▲**や**▼**が表示されます。
▲にタッチすると上へ、**▼**にタッチすると下へ、放送局名を送ることができます。

■シークで選ぶ

1 **メニュー** — **VICS情報** にタッチする →27P
VICS情報画面が表示されます。

2 **放送局選局** にタッチする
選局方法を選択するリストが表示されます。

3 **シーク** にタッチする
現在選択されている放送局が表示されます。



4 **+** または **-** にタッチする
+ にタッチすると上へ、**-** にタッチすると下へ、周波数の自動チューニングが始まり、受信可能な放送局を受信したところで止まります。



5 **決定** にタッチする
放送局が変更され、VICS情報画面に戻ります。

■マニュアルで選ぶ

1 **メニュー** — **VICS情報** にタッチする →27P
VICS情報画面が表示されます。

2 **放送局選局** にタッチする
選局方法を選択するリストが表示されます。

3 **マニュアル** にタッチする
現在選択されている放送局が表示されます。



4 **+** または **-** にタッチする
+ にタッチすると上へ、**-** にタッチすると下へ、周波数が変化します。希望の放送局が受信できるまで、この操作を繰り返します。



5 **決定** にタッチする
放送局が変更され、VICS情報画面に戻ります。

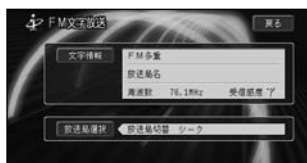
各種情報の利用

FM文字放送を見る

FM放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

放送局を選ぶ

- 1 **メニュー** — **FM文字放送** にタッチする →27P



- 2 **放送局選局** にタッチする
選局方法を選択するリストが表示されます。



- 3 **選局方法を選んでタッチする**
以降の手順は、VICS放送局の選局方法と同じです。

「リストから選ぶ」(131P)

「シークで選ぶ」(132P)

「マニュアルで選ぶ」(132P)

メモ

自車位置に近い放送局だけがリストに表示されます。放送局によっては、十分な受信感度が得られないことがあります。

番組を見る

- 1 **メニュー** — **FM文字放送** にタッチする →27P



- 2 **文字情報** にタッチする
文字情報が表示されます。



- 3 **見たい情報を選んでタッチする**
メモ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、**前ページ** や **次ページ** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- 目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- VICS情報表示中にFM文字多重放送を受信すると、放送内容が表示されるまでに時間がかかることがあります。また、FM文字多重放送の表示後に再びVICS情報を表示するときも同様です。

- FM文字多重放送を表示中は、VICS情報は更新されません。D-GPS情報を利用した測位も中断されます。
- FM文字多重放送を受信するために周波数を変更したときに、FM文字多重放送を終了すると、自動的にVICSまたはD-GPSの周波数に戻ります。(ただし、「FM多重チューナーの設定」を「FM多重」にしているときは、そのままの周波数になります。→「設定を変更する」(109P))

■番組内容を地図画面に表示させる

現在地画面で **操作** を押して、“FMオンエア連動表示”または“FMオンエア連動表示オン”と発話すると、受信中のFM放送局の番組内容や曲名を表示させることができます(FM文字放送のオンエア連動)。



気象情報を見る

インターネット上の専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます(ウェザーライブ)。

メモ

気象情報を見るためには、本機に携帯電話が接続されており、かつインターネットに接続可能な状態である必要があります。

■情報画面の種類

天気予報

天気予報のデータの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます。(天気予報は3時間ごとに更新され、常に最新の天気予報が表示されます。)

また、スカイビューとドライバーズビュー、ツインビュー、ハイウェイモード表示では、空の色が天気予報に応じて変化します。



天気予報の詳細画面では、約2日分の予報を細かく見ることができます。



週間天気予報

一週間の予報を見ることができます。(ウェザーライブ週間天気予報)



季節予報(紫外線予報、杉花粉予報)

各地域の紫外線や杉花粉などの季節ごとの情報を見ることができます。



アメダス情報

十字カーソル位置に最も近いアメダス観測地点の情報が、文字と色分けされた四角形で表示されます。



警報・注意報

警報や注意報の発表時刻、該当地域、内容が表示されます。



気象情報が取得してあるときにルート設定すると

ルートを設定した直後に、「目的地付近の到着時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです。」のように、目的地付近の到着予想時刻前後の天気が音声で案内されます。

メモ

- 専用サーバーには約2日間の3時間ごとの正時（降水確率、快適度、ワイパーの切り替えは6時間ごと）の天気予報データと、配信された日から1週間の週間天気予報データ、毎正時ごとに観測・配信されるアメダスデータ、警報・注意報データ、約1日間の（紫外線、杉花粉）の季節予報データが準備されています。天気予報データと季節予報データは毎日4:00と16:00、週間天気予報データは毎日11:00と17:00に発表される（株）ライフビジネスウェザーの天気予報と週間天気予報、季節予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。

- データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 天気予報データ、週間天気予報データ、アメダス情報データ、警報・注意報データは、発表時刻から24時間経過すると本機から削除され、季節予報データは有効日時を過ぎると削除されます。表示させるには、もう一度専用サーバーからデータを取得してください。
- 専用サーバーによる天気予報、週間天気予報、季節予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。
- ウェザーライブ等の通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。
- （株）ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- 天気予報の表示は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」（109P）
- 天気予報データ、週間天気予報データ、季節予報データについて、詳しくは「予報に関する注意事項」（286P）を参照してください。
- アメダス情報について、詳しくは「アメダス情報について」（287P）を参照してください。

気象情報を取得する

メモ

気象情報を取得する場合は、携帯電話が接続され、通信接続設定が行われている必要があります。→「プロバダを設定する」（147P）

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする →27P

LIVEリンク画面が表示されます。



つづく→

2

ウェザーライブにタッチする
ウェザーライブ画面が表示されます。



3

取得データ設定にタッチする
取得データの種類を選択するリストが表示されます。



メモ

選択されているデータの種類のランプが点灯します。

4

取得したいデータの種類を選んでタッチする

選ばれたデータの種類のランプが点灯し、引き続き選ぶことができます。

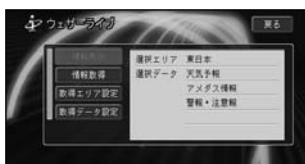


メモ

再度タッチするとランプが消灯し、選択が解除されます。

5

戻るにタッチする
ウェザーライブ画面に戻ります。



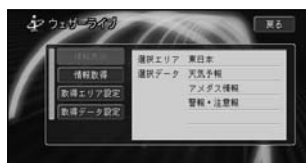
6

取得エリア設定にタッチする
取得エリアを選択するリストが表示されます。



7

地域を選んでタッチする
ウェザーライブ画面に戻ります。



8

情報取得にタッチする
気象情報の取得が始まります。気象情報の取得が終了すると、ウェザーライブ画面に戻ります。



メモ

- ・サーバー側から緊急のメッセージがあるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- ・サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。
- ・プロバイダが未設定のときはメッセージが表示され、**はい**にタッチすると通信接続設定画面に切り替わります。→「プロバイダを設定する」(147P)

■天気予報を見る

1 **メニュー** — **LIVEリンク** にタッチする →27P
LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ウェザーライブ** にタッチする
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 **情報表示** にタッチする
情報の種類を選択するリストが表示されます。



4 **天気予報** にタッチする
地図画面に天気予報が表示されます。



5 天気予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

移動させた地域の予報を確認することができます。

十字カーソル位置の天気予報時刻、降水確率、気温、快適度、ワイパーの切り替え（雨や雪の量）

この色に合わせて地図が塗り分けられる



現在の塗り分け、および降水確率、気温の対象となる予報時刻が囲まれる

十字カーソル位置の3時間ごとの予報

メモ

- 予報時刻のマークをタッチすると、天気を確認することができます。
- 天気予報データがない地域は、地図が桃色で塗られます。
- 快適度は「暑い」、「やや暑い」、「快適」、「やや寒い」、「寒い」、「***」（不明の場合）の6段階で表示されます。
- ワイパーは「間欠」、「連続」、「高速」、「不要」、「*****」（不明の場合）の5段階で表示されます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。

■週間天気予報を見る

1 **メニュー** — **LIVEリンク** にタッチする →27P
LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ウェザーライブ** にタッチする
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 **情報表示** にタッチする
情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 **週間天気予報** にタッチする
地図画面に天気予報が表示されます。



5 天気予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

移動させた地域の予報を確認することができます。

十字カーソル位置の天気予報時刻、降水確率
この色に合わせて地図が塗り分けられる



画面に表示されている予報日が
十字カーソル位置の週間予報
囲まれる

メモ

- 週間天気予報データがない地域は、地図が桃色で塗られます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。
- 地図上には代表地点が■（明るい赤）で表示されます。十字カーソルが代表地点付近（20km以内）にある場合のみ、最高気温、最低気温が表示されます。
- 翌日の降水確率、気温は表示されません。

季節予報を見る

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする →27P

LIVEリンク画面が表示されます。

2 ウェザーライブ にタッチする

ウェザーライブ画面が表示されます。

3 情報表示 にタッチする

情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 季節予報 にタッチする

予報の種類を選択するリストが表示されます。



5 見たい情報（「紫外線予報」など）を選んでタッチする

地図画面に季節予報が表示されます。

6 季節予報を見たい場所まで地図をスクロールさせる

十字カーソル位置付近の季節予報を確認することができます。



予報時刻 この色に合わせて地図が塗り分けられる

メモ

- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。
- 桜花粉予報の表示画面で青色で塗られたエリアは予報提供エリア外になります。なお、桜花粉は沖縄地方や北海道地方ではほとんど観測されないため、現在は予報提供エリア外になっています。

アメダス情報を見る

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする →27P

LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ウェザーライブ**にタッチする
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 **情報表示**にタッチする
情報の種類を選択するリストが表示されます。

4 **アメダス情報**にタッチする
データの種類を選択するリストが表示されます。



メモ
降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間のいずれかを選ぶことができます。

5 見たい情報を選んでタッチする
地図画面にアメダス情報が表示されます。

6 アメダス情報を見たい場所まで地図をスクロールさせる
十字カーソル位置付近にあるアメダス観測地点の情報を文字で確認することができます。
(選んだ情報が、地図上に色分けされて表示されます。)



カーソル位置付近にあるアメダス観測地点のすべての情報が、文字で表示される

この色に合わせて地図が塗り分けられる

メモ

- アメダスの文字情報では、「降水量」、「風向・風速」、「気温」、「日照時間」のいずれかを選ぶと、これらすべての情報が表示されます。「積雪量」を選ぶと、積雪量の情報だけが表示されます。
- 毎正時に観測された過去1時間以内のデータが配信されます。
- 降水量は0.5mm単位、気温は0.1℃単位、風向は16方位、風速は1m/s単位、日照時間は1分単位、積雪量は1cm単位で表示されます。
- 地図を10kmスケール以下で表示していたときは、自動的に20kmスケールに変わります(10kmスケール以下では表示できません)。
- 方位表示マークにタッチして、上下矢印の上方向をタッチすると、立体表示されます。

■ 警報・注意報を見る

1 **メニュー** — **LIVEリンク**にタッチする →27P
LIVEリンク画面が表示されます。

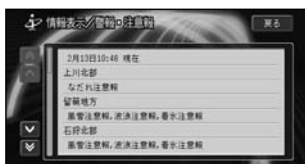
2 **ウェザーライブ**にタッチする
ウェザーライブ画面が表示されます。

3 **情報表示**にタッチする
情報の種類を選択するリストが表示されます。

4

警報・注意報にタッチする

警報・注意報画面が表示されます。



メモ

- ・強風、濃霧、雷、大雪、着雪、洪水、低温などの警報および注意報を見ることができます。
- ・地震および津波に関する情報は、取得することができません。

ハードウェア情報を見る

走行中の状態、各機器の接続状態、信号の状態などのハードウェアに関する情報を表示させることができます。

■衛星測位状態を見る

GPS衛星の受信状態を表示して、測位状態を確認することができます。

1

メニュー — **ハードウェア情報** に

タッチする → 27P

ハードウェア情報画面が表示されます。



2

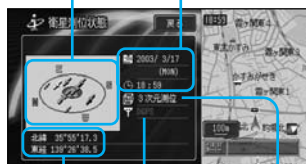
衛星測位状態にタッチする

情報画面が表示されます。



衛星測位状態の読みかた

衛星位置表示 現在の日付/曜日/時刻



緯度・経度 D-GPSの状態 測位状態

衛星位置表示

自車位置（赤い三角形のマーク）を中心に、現在電波を受信できているGPS衛星の位置が表示されます。円の中心付近から見ていろいろな方向の衛星の電波を受信できているときほど、正確な測位が可能です。測位に利用される衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できない衛星は白で表示されます。

緯度・経度

現在地の緯度と経度が表示されます。測位できないときは、最後に測位したときの緯度と経度が表示されます。

測位状態

現在の測位状態が表示されます。「3次元測位中」、「2次元測位中」、「未測位」のように表示されます。

D-GPSの状態

FM多重チューナーでD-GPS情報を受信すると、アンテナのマークが橙色で表示されます。（D-GPS情報が受信できない場合、青で表示されます。）また、D-GPS情報を利用して測位しているときは「D-GPS」と白で表示されます。（D-GPS情報を利用していないときは、青色で表示されます。）

メモ

GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

■センサ学習状況を見る

センサの学習状況を画面上で確認することができます。

1 メニュー → ハードウェア情報 にタッチする → 27P

ハードウェア情報画面が表示されます。

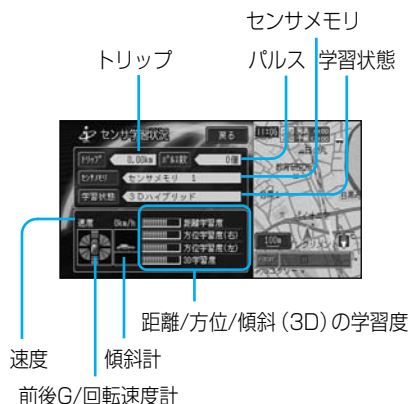


2 センサ学習状況 にタッチする

情報画面が表示されます。



センサ学習状況の読みかた



傾斜計

現在本機が認識している上り坂、下り坂が7段階（水平、上3段、下3段）で表示されます。

学習状態

現在の走行モード（3Dハイブリッドモード、簡易ハイブリッドモード）、または「センサ初期学習中」が表示されます。

メモ

学習状態 にタッチすると「確認メッセージ」が表示されます。**はい** にタッチすると、現在使用中のセンサメモリの学習がリセットされます。

前後G/回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。前後Gの強さ、左右の回転速度がそれぞれ7段階（前後各3段、左右各3段）で表示されます。

速度/トリップ/パルス数

現在本機が認識している速度、トリップ、パルス数の積算が表示されます。

メモ

トリップ または **パルス数** にタッチすると「確認メッセージ」が表示されます。**はい** にタッチすると、積算された数字がリセットされます。

センサメモリ

現在の学習結果を保存しているセンサメモリです。**センサメモリ** にタッチすると、**センサメモリ1** と **センサメモリ2** を切り替えられます。

距離/方位/傾斜（3D）の学習度

距離・方位（左右方向の回転）・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。

ご注意

- ・走行状態の確認は必ず同乗者が行い、運転者は運転に専念してください。
- ・速度表示をスピードメーターの代わりにしないでください。車のスピードメーターと異なることがあります。

- ・タイヤ交換やチェーン装着した場合、または悪路（雪道など）を走行しスリップした場合、タイヤの外径が変化したことを自動で検出し、センサの距離学習を再学習し直すことがあります。センサ学習を再学習させたくない場合は、センサメモリを切り替えてください。

メモ

- ・電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が接続されていないときは、簡易ハイブリッドモードとなり、パルス数は算出されません。
- ・学習度およびトリップ、パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- ・センサ未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- ・本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にしても、トリップとパルス数は積算される場合があります。
- ・傾斜（3D）学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないことが考えられます。車速信号入力の接続を確認してください。
- ・機能設定の「車線変更促し表示」（109P）をONにしているときは、「学習状態」をリセットするか、「センサメモリ」を未学習のセンサメモリに切り替えると「車線変更促し表示」が「OFF」になります。

■接続状態を確認する

本機に接続されている各機器や配線が、正しく接続されているかどうかを確認することができます。

1

メニュー → **ハードウェア情報** に

タッチする → 27P

ハードウェア情報画面が表示されます。



2

接続状態 にタッチする

情報画面が表示されます。



接続状態の読みかた



車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発信音が生じ、数字とともに変化します。車速パルスの確認は、安全な場所で、低速（時速5km程度）で行ってください。

GPSアンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

アンテナのイラストは、GPS衛星の電波がどの程度の強さで受信されているかを示しています。バーの数が多いほど受信感度は良好です。バーの数が少ないときは、GPSアンテナの設置場所を電波の受信しやすい車のルーフやトランクリッドなどに変えてみてください。車内に取り付けているときは、必ず金属シートを使用してください。

取付け位置

本機の設置状態が表示されます。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「NG（振動）」または「NG（取付け角）」と表示されたときは、『取付説明書』を参照して設置状態を確認してください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11～15Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を確認してください。なお、最大で±0.5V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション

イルミネーションの状態が表示されます。車のライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。ライトの点灯/消灯が正しく表されることを確認してください。

ビーコンユニット

VICS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）の接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、VICS用ビーコンユニットの接続状態を確認してください。

バック信号

バック信号入力線の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。

この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバース位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

※バックカメラを利用するときは必ず接続してください。接続しないと、バックカメラ映像に切り替わりません。

ETC

ETCユニット「ND-ETC3」などの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、ETCユニットの接続状態を確認してください。また、ETCのエラーを表示する場合もあります。「エラーメッセージと対処法」をご覧ください。

■ハードディスク情報を確認する

ハードディスクの使用状況を確認することができます。

1

メニュー — **ハードウェア情報** に

タッチする →27P

ハードウェア情報画面が表示されます。



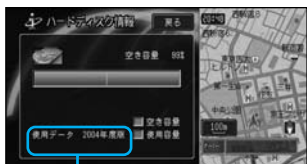
2

ハードディスク情報 にタッチする

情報画面が表示されます。



ハードディスク情報の見かた



使用データ

容量表示

現在の空き容量が百分率 (%) で表示されます。

メモ

- 空き容量とは、ユーザーデータ（プレイリスト、登録地、登録道など）が保存できる容量のことです。
- 10%程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

ヘルプネット情報を見る

ヘルプネットを利用するための情報を確認することができます。

メモ

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」をインストールした場合のみ操作できます。

1

メニュー → **ハードウェア情報** にタッチする →27P

ハードウェア情報画面が表示されます。



2

ヘルプネット情報 にタッチする

情報画面が表示されます。



ヘルプネット情報の見かた



車載機ID

ナビゲーション本体の車載機IDが表示されます。

緊急通報発呼

ヘルプネットを利用可能かどうかが表示されます。利用可能なときは「OK」と表示されます。「NG」と表示されたときは、手動保守点検を行ってください。

最終保守点検日

自動保守点検を行った日付が表示されます。

次回保守点検予定日

次回に自動的に行われる自動保守点検の日付が表示されます。

メモ

手動保守点検およびヘルプネット消去の操作方法は、「ヘルプネットの操作」(250P)を参照してください。

インターネット

本機とデジタル携帯電話のみで、インターネットに接続することができます。この章では、本機につないだデジタル携帯電話を使ってインターネットに接続し、さまざまな情報を利用する方法を説明します。

インターネットに関する用語について、「インターネットの基礎知識」(165P)をご覧ください。

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータで構成されるネットワークのことです。当初はおもに学術情報を公開するために利用されていましたが、現在ではさまざまなジャンルの情報が提供されるようになり、必要な準備を整えれば誰でも利用できるまでに普及しています。

通常インターネットを利用する場合は、パソコンなどの情報端末と、これを電話回線につなぐための通信機器（データ通信機能を備えた電話機やモデムなど）を使います。電話回線を介してインターネットに接続し、情報をやりとりします。

このときインターネットへの接続サービスを提供し、インターネットへの窓口となるのが「インターネットサービスプロバイダ」（「プロバイダ」）です。利用者は自分の契約しているプロバイダに接続し、そこからインターネットに接続することになります。

本機はインターネットを利用するための機能を備えています。本機に携帯電話をつないでインターネットに接続することにより、インターネット上で公開されている情報を利用することができるようになります。

インターネットに関する基本的な知識については、「インターネットの基礎知識」(165P)を参照してください。

インターネットを利用するまで

本機でインターネットを利用するまでには、次の準備をします。

1 インターネットサービスプロバイダとの利用契約を行い、「接続ID」と「接続パスワード」などの情報を入手する

メモ

すでにプロバイダと契約している場合は、必要な情報がそろっているかどうかを確認します。

2 本機とデジタル携帯電話（9600bpsデータ通信機能に対応しているもの、または「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話）を接続して利用できるようにする

本機と携帯電話の接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 接続すると、「携帯電話が接続されました。」と表示されます。

- 本機はPDCおよび「cdma One™」、「CDMA2000 1X」携帯電話に対応しています。しかし機種によっては使用できない場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。詳しくはパイオニアホームページ (<http://www.pioneer.co.jp/carrozzeria/>) をご覧ください。
- 本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用アダプター「CD-H12」が必要です。
- 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbps（高速）のパケット通信、または14.4kbps（標準）通信の両方を切り替えて利用できます。（CDMA2000 1Xも標準／高速を切り替えて利用できます。（最大144kbps））
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種があります。携帯電話のバッテリー切れの原因になりますので、携帯電話の仕様を確認の上で使用ください。

3

プロバイダに接続するための設定を行う

メモ

- 本機では、2つのプロバイダを使い分けることができます。あらかじめ、それぞれのプロバイダについて接続設定をしておく必要があります。
- 接続設定は、メニューから設定する方法と、ブラウザ画面から設定する方法の2種類があります。設定のしかたは、「プロバイダを設定する」(147P)を参照してください。

4

インターネットに接続し、情報を利用する

インターネットに接続してからの操作については、「ウェブページを見る」(153P)以降を参照してください。

メモ

- インターネットへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。
- 本機で表示できる画像データは、JPEG形式とGIF形式ですが、条件によっては表示できないことがあります。また、プラグインなどの利用を前提としたウェブページやSSLを使用しているウェブページは表示できません。
- ウェブページの運用・内容・情報の更新頻度などは、それぞれのウェブページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ウェブページ的主催者にお問い合わせください。
- 通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。（パケット通信に対応した「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話はパケット代で課金）
- 本機の電源ON/OFF（エンジンのON/OFF）に関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりすることができます。
- ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。）
- ナビゲーション本体に携帯電話をつなぐと、携帯電話の電源ボタンは動かなくなります。（携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF（エンジンのON/OFF）に連動します。）
- ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。

プロバイダを設定する

インターネットを利用するには、インターネットへの接続会社（プロバイダ）に入会する必要があります。すでにプロバイダと契約している場合は、接続するための設定をします。

■接続先を選ぶ

本機では、2つのプロバイダを使い分けることができます。各プロバイダについて接続設定をしておくと、利用状況に応じて接続先を切り替えることができるため、接続先を変えるたびに接続設定をやり直す必要がありません。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **各種設定** にタッチする →28P
各種設定画面が表示されます。

2 **通信接続設定** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



3 **接続先** にタッチする
プロバイダがリスト表示されます。



メモ

接続設定が行われていないと、**未設定**と表示されます。

4 使用するプロバイダを選んでタッチする



■接続設定を行う（一覧から選ぶ）

メモ

ここで行う接続設定は、ブラウザ画面から設定する「接続環境」、「ブラウザ環境」にも反映されます。

1 **メニュー** — **編集・設定** — **各種設定** にタッチする →28P
各種設定画面が表示されます。

2 **通信接続設定** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

3 **接続先** にタッチする
プロバイダがリスト表示されます。

4 接続設定を行う接続先を選んでタッチする



メモ

設定済みの接続先を選択すると、前回設定した内容に上書き設定されるのでご注意ください。

5

接続設定にタッチする

接続先の探し方を選択するメニューが表示されます。



6

プロバイダリストにタッチする

プロバイダがリスト表示されます。

**メモ**

- 加入しているプロバイダがリストにないときは、**戻る**にタッチし、手順5の画面で**マニュアル**を選んでください。→「接続設定を行う(手動で行う)」(149P)
- 次のサービスまたは携帯電話会社に対応するプロバイダは下表のとおりです。

サービス	プロバイダリストの表示
NTT DoCoMo のモペラ	NTT DoCoMo
au	au(PacketOne)
vodafone	vodafone
ツーカーセラー 東京/東海	TU-KAセラー 東京/東海

7

加入しているプロバイダを選んでタッチする

アクセスポイントがリスト表示されます。



8

接続先(アクセスポイント)を選んでタッチする

接続IDと接続パスワードの入力を選択するメニューが表示されます。

**メモ**

- **NTT DoCoMo**、**au(PacketOne)**、**vodafone**のアクセスポイントは**全国共通**と表示され、自動的に接続IDと接続パスワードが入力されます。**全国共通**にタッチすると、地図画面に戻ります。
- **TU-KAセラー東京/東海**を選んだときは、**サービスエリア内**と表示され、タッチすると自動的に接続IDと接続パスワードが入力され、地図画面に戻ります。

9

接続ID にタッチする

接続IDの入力画面が表示されます。



10

プロバイダ入会時に発行された
接続IDを入力し、**入力終了**に
タッチする

手順8の画面に戻ります。

**メモ**

戻る にタッチして、入力を終了することもできます。

11

接続パスワード にタッチする

接続パスワードの入力画面が表示されます。

12

プロバイダ入会時に発行された
接続パスワードを入力し、**入力
終了**にタッチする

手順8の画面に戻ります。

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。
- 接続IDと接続パスワード以外の項目は自動的に入力されます。
- 戻る** にタッチして、入力を終了することもできます。

13

決定 にタッチする

設定を終了して地図画面に戻ります。

接続設定を行う（手動で行う）**メモ**

ここで行う接続設定は、ブラウザ画面から設定する「接続環境」、「ブラウザ環境」にも反映されます。

1

148ページの手順6で**マニュアル**
ルにタッチする

「接続設定／マニュアル」画面が表示されます。



2

設定項目を選んでタッチする

手順2～4を繰り返し、必要な項目を順次設定します。

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「接続先名称」	プロバイダの名称
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「接続ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「接続パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード
「プライマリDNS」	IPアドレス
「セカンダリDNS」	IPアドレス
「Proxyサーバ」	「使用する」、「使用しない」

メモ

- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように“*”で表示されます。

- IPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- Proxy（プロキシ）サーバを使用する場合は、**使用する**を選択してください。ほかにポート番号などの設定が必要です。→「Proxyサーバの指定」（次項）

3 名称・数字を入力する（→294P）
または設定を選択する。

4 **入力終了**にタッチする
「接続設定/マニュアル」画面に戻ります。

メモ

戻るにタッチして、入力を終了することもできます。

5 手順2～4を繰り返し、必要な項目をすべて入力する

6 **決定**にタッチする
設定を終了して地図画面に戻ります。



Proxyサーバの指定

Proxyサーバ名称とポート番号は、加入したプロバイダの説明書をご覧ください。

1 「接続設定を行う（手動で行う）」の手順2で **Proxyサーバ** にタッチする

2 **使用する** にタッチする
「接続設定/マニュアル」画面に戻ります。

3 **Proxyサーバ名称** にタッチする
文字の入力画面が表示されます。

4 Proxyサーバの名称を入力する
→294P

5 **入力終了** にタッチする
「接続設定/マニュアル」画面に戻ります。

メモ

戻る にタッチして、入力を終了することもできます。

6 **Proxyサーバポート番号** にタッチする
数字の入力画面が表示されます。

7 ポート番号を入力する
→294P

8 **入力終了** にタッチする
メモ

戻る にタッチして、入力を終了することもできます。

9 **決定** にタッチする
設定を終了して地図画面に戻ります。

メモ

戻る にタッチして、入力を終了することもできます。

■ブラウザ画面から接続設定を行う

メモ

ここで行う接続環境の設定は、現在選ばれている接続先の接続設定に反映されます。

1

メニュー — **インターネット** に
タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す

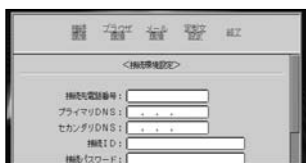
メニューバーが表示されます。



3

◀ ▶ にタッチして 
(設定) を選んで **決定** にタッチ
する

接続環境の画面が表示されます。



メモ

メニュー を押してメニューバーを表示
させることができますが、アイコン
は操作できません。

4

入力する項目を選んでタッチする
文字または数字の入力画面が表示
されます。



設定できる項目と設定内容は次の
とおりです。

項目	設定内容
「接続先電話番号」	アクセスポイントの電話番号
「プライマリDNS」	IPアドレス
「セカンダリDNS」	IPアドレス
「接続ID」	プロバイダ入会時に発行された接続ID
「接続パスワード」	プロバイダ入会時に発行された接続パスワード

メモ

- IPアドレスは3桁ずつ入力し、3桁未満の数字には、数字の前に「0」を付けて3桁にしてください。
例：192.168.2.255の場合は、「192.168.002.255」と入力する。
- セカンダリDNSは、プロバイダから指示されているときのみ入力してください。
- パスワードを入力すると、他人に読み取られないように「*」で表示されます。

5

文字を入力する →294P

6

入力終了 にタッチする
接続環境設定画面に戻ります。

7

手順4～5を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

つづく→

8 実行にタッチする



設定が保存されます。

メモ

中止にタッチすると、入力前の状態に戻ります。

9 終了にタッチする

インターネットのメニュー画面に戻ります。

■ブラウザの環境設定

インターネットに接続するためのプロキシサーバーの設定、およびウェブページの画像データを読み込むかどうかの設定をします。

メモ

ここで行う接続環境の設定は、現在選ばれている接続先の接続設定に反映されます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3 < > にタッチして (設定) を選んで 決定 にタッチする

接続環境設定画面が表示されます。

4 ブラウザ環境にタッチする

ブラウザ環境の画面が表示されます。



メモ

メニューを押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

5 入力する項目を選んでタッチする

文字または数字の入力画面が表示されます。



設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

項目	設定内容
「プロクシーサーバ名」	プロクシーサーバーの名称
「ポート番号」	プロクシーサーバーのポート番号
「画像データ読み込み」	「無」、「有」

メモ

- 画像データ読み込みは、「無」「有」のいずれかを選んでタッチしてください。
- 画像データ読み込みを「無」に設定すると、ウェブページを早く表示させることができます。

6 文字を入力する →294P

7 **入力終了** にタッチする
接続環境設定画面に戻ります。

8 手順5～6を繰り返し、必要な項目をすべて設定する

9 **実行** にタッチする



設定が保存されます。

メモ

中止 にタッチすると、入力前の状態に戻ります。

10 **終了** にタッチする
インターネットのメニュー画面に戻ります。

ウェブページを見る

本機の通信機能を使って、インターネット上のさまざまなウェブページを閲覧することができます。

メモ

通信終了後は、必ず電話が切れたこと（回線の切断）を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットに接続する

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。



メモ

上記画面はまだ接続していません。

2 表示させたいウェブページを選び、タッチする
確認のメッセージが表示されます。



3 **はい** にタッチする
インターネットに接続され、選択したウェブページが表示されます。



メモ

- 表示されるウェブページによっては、読み込みに時間がかかることがあります。
- 5分間以上操作やデータのやりとりが行われなかったときは、自動的に電話が切断されます。ウェブページ内のリンク先などにタッチすると、[ネットワークに接続してもよろしいですか?] というメッセージが表示されます。再接続するには、**はい** にタッチしてください。

つづく→

「cdmaOne™」携帯電話使用によるデータ通信について

「cdmaOne™」携帯電話の使用によるパケット通信以外のデータ通信は、「PDC」携帯電話に比べて、通信時間がかかることがあります。また、パケットによる高速データ通信も可能ですが、条件によっては64kbps（CDMA2000 1Xは144kbps）の通信速度で通信できないことがあります。

本機に「cdmaOne™」携帯電話を接続するためには、別売のcdmaOne™用アダプター「CD-H12」が必要です。

割込通信サービスをご利用の場合、割込通話サービスをOFFにしてください。通信中に割り込みがあると、機能の一部が動かなくなることがあります。

「○○○○は表示できません」というメッセージが表示されたら

ウェブページによっては、画像が多い（画像データのサイズが大きい）ために、ブラウザに表示できないことがあります。このようなときは、画像の読み込みをしない設定にすると、表示できる場合があります。

→「ブラウザの環境設定」（152P）

「TV番組表」について

TV番組表リンクサーバーへアクセスすることにより、自車位置の場所に合わせて最新のTV番組表のページへ自動的にリンクさせることができます。

リンク先は、「インターネットTVガイド（運営：東京ニュース通信社）」の各都道府県のトップページです。

メモ

- リンク先のTV番組表は、東京ニュース通信社が運営するインターネットサイト「インターネットTVガイド」であり、本機専用のサイトではありません。
- インターネットTVガイドは予告なく中断、停止、仕様変更される場合があります。

画面を操作する

表示されたページを見るだけでなく、パソコンのブラウザと同様に、リンク先のページを見たり、画面をスクロールさせることができます。

アイコン操作ボタン



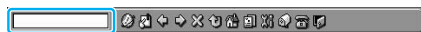
＜ アイコンを選択する



決定 アイコンの機能を実行します。

メニューバーの各アイコンの動き、およびステータスバーの各表示の意味は以下のとおりです。

メニューバー

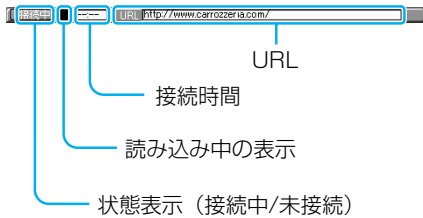


選択されているアイコン名

各アイコンの動きは次のとおりです。

	（URL入力）	URLを入力する。
	（マーク&履歴）	ブックマークを付けたページや過去に表示したページの履歴が一覧表示される。
	（前ページ）	前のページに戻る。
	（次ページ）	次のページに進む。
	（読み込み中止）	読み込みを中止する。
	（再読み込み）	現在のページを再読み込みする。
	（ホーム）	ホームページが表示される。
	（画面の保存）	画面が保存される。
	（設定）	接続の設定やメールなどの各種設定を行う。
	（Eメール）	メール画面が表示される。
	（回線切断）	回線接続中のときは、回線が切断される。
	（ナビに戻る）	ナビゲーションに戻る。

ステータスバー



■リンク先のページを表示させる

1 下線の付いている文字を選んでタッチする

メモ

下線の付いている文字には、指定された場所またはページへのリンクが設定されています。



リンク先のページが表示されます。



■画像に複数のリンクが設定されているとき (クリッカブルマップ)

1枚の画像に複数のリンク先が設定されている (クリッカブルマップ) ときは、その画像のリンクにタッチするとリンク先のページが表示されます。

■画面をスクロールさせる

画面内に情報を表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。

スクロールバーを表示させたい (スクロールさせたい) 方向にタッチすると、画面がスクロールします。

■1つ前の画面を表示させる

メニューバーの (前ページ) を選んで **決定** にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



1つ前のページが表示されます。



■ウェブページ上で文字を入力する

ホームページ上に文字を入力できる欄があり、文字を入力する必要がある場合は、入力欄にタッチすると、文字入力の画面になります。文字入力後、**入力終了** にタッチすると、入力欄に文字が入力されます。



→ 「文字の入力操作」(294P)

画面が正しく表示されないとき

画面が正しく表示されないときは、現在のページのデータを再読み込みします。

- 1** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。
- 2** **（再読み込み）** を選んで **決定** にタッチする
データが再度読み込まれ、画面が更新されます。



メモ

回線に接続されていないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。再接続するには、**はい** にタッチしてください。

ホームページに戻る

リンク先のページから、ホームページに戻ります。

メモ

ホームページは変更できません。

- 1** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。
- 2** **（ホーム）** を選んで **決定** にタッチする
ホームページに戻ります。



URLを入力してウェブページを見る

ウェブページのURLを入力して、ウェブページを表示させます。

- 1** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。
- 2** **（URL入力）** を選んで **決定** にタッチする
入力画面が表示されます。



- 3** URLを入力する → 294P

- 4** **入力終了** にタッチする
入力したURLのホームページが表示されます。

メモ

回線に接続されていないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。再接続するには、**はい** にタッチしてください。

入力したURLを修正する方法については、「誤って入力した文字を削除する」(31P) を参照してください。

ブックマークする

繰り返し閲覧するページをブックマークとして登録しておく、次回から簡単な操作でそのページを表示させることができます。

メモ

- 「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」の3つのグループが用意されており、いずれかのグループに登録できます（計50件まで）。
- URLが256文字を超えるウェブページは登録できません。

ブックマークメニュー

ブックマークを操作するには、メニューのアイコンを選び **決定** にタッチします。

各アイコンの働きは次のとおりです。

 (追加)	表示中のウェブページをブックマークとして登録する。
 (新規作成)	URLを入力して、ウェブページをブックマークとして登録する。
 (並べ替え)	ブックマークを並べ替える。
 (取り込み)	ハードディスク内に保存されたブックマークを読み込む。
 (書き出し)	ブックマークを保存する。
 (削除)	ロックされていないブックマークをすべて削除する。
 (終了)	ブックマークの操作を終了する。

■表示中のウェブページをブックマークする

1 登録したいウェブページを表示する

→「URLを入力してウェブページを見る」(156P)

2 **メニュー** を押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴) を選んで **決定** にタッチする

ブックマークのリスト(ブックマークブックの画面)が表示されます。



4 (追加) を選んで **決定** にタッチする

ブックマーク登録画面が表示されます。



5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 (追加)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト(ブックマークタブの画面)が表示されていたウェブページのタイトルとURLが追加されます。



7 (書き出し)を選んで決定にタッチする

表示されていたウェブページがブックマークとして保存されます。

7 タイトルまたはURLを入力する →294P

8 入力終了にタッチする

9 (追加)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト(ブックマークタブの画面)に、ウェブページのタイトルとURLが追加されます。

10 (書き出し)を選んで決定にタッチする

URLを入力したウェブページがブックマークとして保存されます。

■ウェブページのURLを入力してブックマークする

ウェブページのURLがわかっている場合、URLを入力して、登録することができます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト(ブックマークタブの画面)が表示されます。

4 (新規作成)を選んで決定にタッチする

ブックマーク登録画面が表示されます。

5 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

6 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

文字入力画面が表示されます。

■ブックマークしたウェブページを見る

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト(ブックマークタブの画面)が表示されます。

4 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。



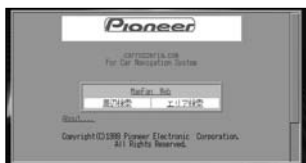
5 表示させたいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 呼び出しにタッチする

選択したウェブページが表示されます。



メモ

戻るにタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

■ブックマークを編集する

登録されているウェブページのタイトルとURLは変更することができます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4 グループを選んでタッチする

「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

5 編集したいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 編集にタッチする

メモ

戻るにタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

7 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。

8 タイトルまたはURLを入力する

→29P

9 入力終了にタッチする

10 (追加)を選んで決定にタッチする

ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）に、新しく入力したタイトルまたはURLが表示されます。

11 (書き出し)を選んで決定にタッチする

タイトルまたはURLの変更が保存されます。

■ブックマークを並べ替える

リストに表示されているブックマークを並べ替えます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す
メニューバーが表示されます。

3

(マーク&履歴) を選んで **決定** にタッチする
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4

グループを選んでタッチする
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

5

(並べ替え) を選んで **決定** にタッチする

メモ
時 (並べ替え) を選んで **決定** にタッチすると、並べ替えの方法は次のように切り替わります。

→ URL順 → タイトル順
← ロック優先 ← 日付順 ←

■ブックマークをロックする

この操作をすると、リストから削除されないようにブックマークが保護されます。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

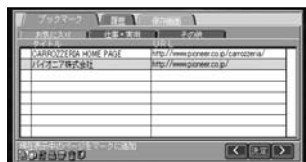
メニュー を押す
メニューバーが表示されます。

3

(マーク&履歴) を選んで **決定** にタッチする
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4

グループを選んでタッチする
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。



5

ロックしたいウェブページを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

6

ロック/解除 にタッチする
タイトルの左側に「鍵」が表示されます。

- **メモ**
• **ロック/解除** にタッチすると、ロックと解除が切り替わります。
- **戻る** にタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

7

(書き出し) を選んで **決定** にタッチする
ブックマークがロックされます。

■ブックマークを削除する

登録したブックマークをリストから削除します。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す
メニューバーが表示されます。

3

(マーク&履歴) を選んで **決定** にタッチする
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 グループを選んでタッチする
「お気に入り」、「仕事・実用」、「その他」からグループを選びます。

5 削除したいウェブページを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



6 **削除** にタッチする
メモ

- **削除** (削除) を選んで **決定** にタッチすると、ロックされていないウェブページがすべて削除されます。
- ロックされたブックマークを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「ブックマークをロックする」の手順6で、「鍵」が表示されていない状態にしてください。)
- **戻る** にタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

7 **書き出し** (書き出し) を選んで **決定** にタッチする
ブックマークが削除されます。

■ブックマークのリストを変更前の状態に戻す

ブックマークの追加、編集、ロック、削除操作中の書き出し (書き出し) 前であれば、**取り込み** (取り込み) を選んで **決定** にタッチすると、ブックマークを変更前の状態に戻すことができます。

履歴を操作する

一度表示させたウェブページは履歴に保存されます。履歴を操作することによって、再び表示させたり、ブックマークとして登録することができます。

メモ

本機の履歴機能は、インターネット機能使用中の履歴を保存するものです。「情報・通信」メニューから **インターネット** を操作し、この操作から抜けると、履歴は削除されます。

■過去に閲覧したウェブページを表示させる

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P

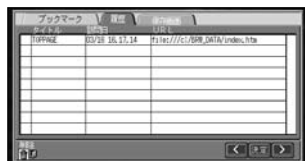
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **マーク&履歴** (マーク&履歴) にタッチする
ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。



4 **履歴** にタッチする
履歴のリスト (履歴タブの画面) が表示されます。



5 表示させたいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 呼び出しにタッチする

選択したウェブページが表示されます。

メモ

戻るにタッチすると、履歴のリスト画面に戻ります。

■ブックマークに追加する

履歴リストのウェブページを登録することができます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニュー を押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴) にタッチする

ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 履歴 にタッチする

履歴のリスト (履歴タブの画面) が表示されます。

5 ブックマークに追加したいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 マークに追加 にタッチする

ブックマーク登録画面が表示されます。

7 タイトルまたはURLの入力欄を選んでタッチする

文字入力画面が表示されます。

8 タイトルまたはURLを入力する

→294P

9 入力終了 にタッチする

10 (追加) を選んで 決定 にタッチする

11 (書き出し) を選んで 決定 にタッチする

選択したウェブページがブックマークとして保存されます。

■履歴をロックする

この操作をすると、削除されないように履歴リストのウェブページが保護されます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニュー を押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴) にタッチする

ブックマークのリスト (ブックマークタブの画面) が表示されます。

4 履歴 にタッチする

履歴のリスト (履歴タブの画面) が表示されます。



5 ロックしたいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

6 ロック／解除 にタッチする

タイトルの左側に「鍵」が表示されます。

メモ

- **ロック／解除** にタッチすることにより、ロックと解除が切り替わります。
- **戻る** にタッチすると、ブックマークのリスト画面に戻ります。

履歴リストのウェブページがロックされます。

履歴を削除する

履歴リストからウェブページを削除します。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(マーク&履歴)** にタッチする
ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4 **履歴** にタッチする
履歴のリスト（履歴タブの画面）が表示されます。

5 削除したいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 削除 にタッチする

履歴が削除されます。

メモ

- **(削除)** を選んで **決定** にタッチすると、ロックされていないウェブページがすべて削除されます。
- ロックされた履歴を削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。（「履歴をロックする」の手順6で、「鍵」が表示されていない状態にしてください。）
- **戻る** にタッチすると、履歴のリスト画面に戻ります。

表示したウェブページを保存する

表示したウェブページを保存しておくと、見たいときに表示させることができます。

1 保存したいウェブページを表示させる
→「URLを入力してウェブページを見る」(156P)

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(画面の保存)** を選んで **決定** にタッチする
保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。



4 はい にタッチする



保存画面のリストが表示され、保存したウェブページのURLを確認できます。

メモ

- **いいえ** にタッチすると、ウェブページに戻ります。
- ウェブページは合計約2Mbyteまで保存できます。

■保存したウェブページを見る

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニュー を押す

メニューバーが表示されます。

3 (マーク&履歴) を選んで 決定 にタッチする

ブックマークのリスト（ブックマークタブの画面）が表示されます。

4 保存画面 にタッチする

保存画面のリストが表示されます。



5 表示したいウェブページを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 呼び出し にタッチする

選んだウェブページが表示されます。

メモ

- **マークに追加** と **削除** の操作方法は、履歴の操作と同じです。
→「履歴を操作する」(161P)
- **戻る** にタッチすると、保存画面のリストに戻ります。

接続を解除する

■インターネットの接続を解除する

1 ウェブページ表示中に  を押す。

メニューバーが表示されます。

2  (回線切断) を選んで  にタッチする

接続が解除されます。

メモ

通信終了後は、必ず電話が切れたこと(回線の切断)を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

■ナビゲーション画面に戻る

インターネットを終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

1  を押す
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2  (ナビに戻る) を選んで  にタッチする

インターネットを終了し、情報・通信メニューが表示されます。

メモ

通信終了後は、必ず電話が切れたこと(回線の切断)を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。

インターネットの基礎知識

■インターネットってなに？

世界各国のコンピューターを相互に接続した、世界規模のコンピューターネットワークシステムです。

インターネットで最も利用されているサービスは、ウェブサイトの閲覧や情報発信、電子メールによるメッセージ交換です。

企業や個人がウェブサイトで発信した最新情報は、「ウェブブラウザ(ブラウザ)」というソフトウェアでいつでも閲覧できます。また、電子メールの利用により、送り先の時間帯や距離を意識することなく、メッセージをやりとりすることができます。

■プロバイダってなに？

「インターネット接続サービスプロバイダ」の略で、インターネットに接続する環境(電話回線や通信設備など)を一般の利用者に提供する企業や組織のことです。「インターネットプロバイダ」、「ISP」などと呼ばれることもあります。

利用者は、電話回線を通じてプロバイダに接続することで、その先のインターネットを利用することができます。

■インターネットを見ているときは費用がかかるの？

携帯電話が接続されている時間分だけ、携帯電話の通話料(パケット通信に対応した「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話はパケット代で課金)とプロバイダの接続料がそれぞれ課金されます。

携帯電話の通話料は通常の通話と同じ(携帯電話の事業者によっては、専用料金になることがあります)ですから、接続先(プロバイダのアクセスポイント)によって料金が異なります。ただし、海外のホームページを見たからといって、国際電話料が課金されるわけではありません。

■carrozzeria.comって何？

パイオニア株式会社が運営しているカーナビゲーションシステム用のウェブページです。位置情報（緯度経度）付きの施設の検索ができ、ウェブページ上から施設の登録や目的地設定ができます。URLは「<http://www.carrozzeria.com/>」です。

■「http://」のhttpってなに？

インターネット上で、コンピューターどうしが各種情報を交換するために使用する共通のルールのことを「プロトコル」といいます。httpは、ウェブサイト（ウェブページ）の情報をやりとりするためのプロトコルで、Hyper Text Transfer Protocolの略です。ウェブブラウザはこのプロトコルを使ってウェブサイトからデータを受信し、その結果を画面に表示します。

■「URL」ってなに？

Uniform Resource Locatorの略で、インターネット上で情報のある場所を特定するための文字列のことです。URLには、情報の種類、サーバー名（ホスト名+ドメイン名）などの、インターネット上で情報を得るための文字列を記述します。

例えば、パイオニア株式会社のウェブページから情報を得るときは、URLを「<http://www.pioneer.co.jp/>」と指定します。

■「www」ってなに？

World Wide Webの略で、インターネット上に公開されているさまざまな情報を文字や画像で得ることができる情報システムです。URLで情報を検索するには、文字列の最初に「www」を記述します。

例えば、パイオニア株式会社のホームページから情報を得るときは、「<http://www.pioneer.co.jp/>」と指定します。

■「ブックマーク」ってなに？

繰り返し利用するウェブページを本機のブラウザに登録しておく機能のことです。パソコン用ブラウザの「ブックマーク」、「お気に入り」と同様の機能です。

繰り返しアクセスするウェブページを「ブックマーク」として登録しておくことで、毎回URLを入力する手間を省くことができます。

■「ホームページ」ってなに？

接続開始時、最初に表示されるウェブページのことです。

ホームページからcarrozzeria.comなどを表示させることができます。

■メールアドレスってなに？

電子メールを送受信するときの宛先となる情報です。郵便物の住所に相当し、「my_name@mail.abcd.ne.jp」のような表記が「電子メールアドレス」です。

■「CGI」ってなに？

Common Gateway Interfaceの略で、ウェブページ上で文字などを入力した結果をページに反映させるための機能です。

例えば、ウェブページを見た人数を示す「カウンタ」や、ウェブページ上にメッセージを書き込んで閲覧できるようにする「掲示板」などで使われています。

■「SSL」ってなに？

Secure Socket Layerの略で、インターネット上で安全に情報をやりとりできるようにするための技術のひとつです。SSLを利用して作られているウェブページを見るためには、SSLに対応しているウェブブラウザを用意する必要があります。（本機では、これらのページを表示させることはできません。）

■「DNS」ってなに？

Domain Name Systemの略で、IPアドレスとドメインネームを対応させるシステムのことです。その管理を行うサーバーをDNSサーバーといいます。

■ドメインネームってなに？

インターネットに接続されている機器を識別するための名前のことです。

■IPアドレスってなに？

インターネット上の通信規約であるIP (Internet Protocol) で使用されるネットワーク上の機器を特定するための番号のことです。

■Proxyサーバーってなに？

実際に情報を提供するサーバーの代わりに働くサーバーのことです。これにより実際のサーバーの負担を軽くして、情報の提供を早くすることができます。

Eメール

本機に携帯電話を接続して、Eメールを送受信することができます。

また、アドレス帳やメールに添付された画像ファイルの閲覧機能などが用意されています。

Eメールを利用する前に

Eメールを利用するには、プロバイダとの利用契約のほかに、以下の設定が必要です。

- メールアカウント
- メールパスワード
- POP3サーバー名
- SMTPサーバー名
- メールアドレス

メール環境を設定する

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P



2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **設定** を選んで **決定** にタッチする



4 **メール環境** にタッチする
メール環境の画面が表示されます。



メモ
メニュー を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

5 入力する項目を選んでタッチする
文字の入力画面が表示されます。



設定できる項目は以下の通りです。

項目	設定内容
「SMTPサーバー名」	「メール送信サーバー名」
「POPサーバー名」	「メール受信サーバー名」
「メールアカウント」	「プロバイダ入会時に発行されたメールアカウント」
「メールパスワード」	「プロバイダ入会時に発行されたメールパスワード」
「メールアドレス」	「プロバイダ入会時に発行されたメールアドレス」
「シグネチャー」	「メール本文に付ける署名」
「サーバにメールを」	「残す」、「残さない」

6 文字を入力する →「文字の入力操作」(294P)



7 入力終了にタッチする メール環境の画面が再び表示されます。

8 実行にタッチする



入力内容が保存されます。

メモ

中止にタッチすると、入力する前の状態に戻ります。

9 終了にタッチする インターネットのメニュー画面に戻ります。

メールを送信する

メールの送信をすることができます。

- メールを新規に作成して送る (169P)
- 未送信メールを送る (171P)
- 送信したメールを編集して送る (172P)
- 送信メールのリストを使う (172P)

送信メールメニュー

送信メールを操作するにはメニューのアイコンを選び、**決定**にタッチします。各アイコンの動きは次のとおりです。

	(送信)	メールサーバーに接続して、送信リストのすべての未送信メールを送信する。
	(送受信)	メールを受信後、送信リストのすべての未送信メールを送信します。
	(新規作成)	メールを新規作成する。
	(並べ替え)	リストを並べ替える。
	(削除)	ロックされていない送信メールをすべて削除する。
	(終了)	メール送信の操作を終了する。

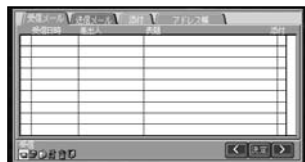
■メールを新規に作成して送る

メールを作成してから送信することができます。

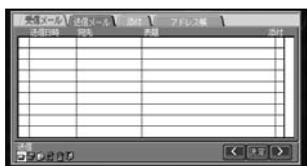
- 1** **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

- 3** **(Eメール) を選んで 決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

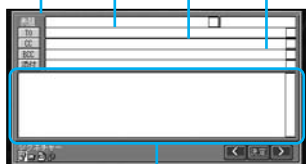


- 4** **送信メール** にタッチする
送信メールのリスト画面になります。



- 5** **新規作成** (New Composition) を選んで **決定** にタッチする

メール作成画面が表示されます。
「表題」 「TO」 「CC」 「BCC」



「本文」

- 6** 入力する項目を選んでタッチする
メモ

- **TO**、**CC**、**BCC** にタッチするとアドレス帳が表示され、アドレスを選択することができます。
- 「表題」や「本文」には、定形文を入力することができます。
→「文字の入力操作」(294P)
- **添付** にタッチすると添付ファイルリストが表示され、添付ファイルを選択することができます。
→171P
- **シグネチャー** (Signature) を選び **決定** にタッチすると、シグネチャー(署名)を挿入することができます。
- **戻る** (Back) を選び **決定** にタッチすると、直前の画面に戻ります。
- 添付ファイル選択後は、ファイルの添付を取り消すことはできません。

- 7** 文字を入力する
→294P
メール作成画面に戻ります。

- 8** **入力終了** にタッチする

- 9** 手順6～8を繰り返し、必要な項目をすべて入力する



- 10** **すぐに送信** (Send Immediately) を選んで **決定** にタッチする
メール送信が完了すると、送信メールのリスト画面に戻ります。

メモ

- **メモ** を選び **決定** にタッチすると、作成済みのメールや作成途中のメールを送信せずに、未送信メールとして保存することができます。未送信メールは後から編集して送信することができます。
→171P
- 送信できるメールのサイズは16Kbyteまでです。
- メール送信の操作をすると、自動的に電話をかけて送信し、終了後に電話を切ります。(メール送信時に回線が接続されているときは、終了後、電話は切りません。)
- 現在開いているメールのみ送信します。
- 送信したメールは、送信メールリストに保存されます。
- メール送信が完了しなかった場合は、メッセージが表示されます。

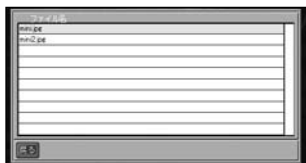
■ファイルを添付する

ファイルを添付することができます。

1 メール作成画面を表示する →170P



2 添付にタッチする 添付ファイルリストが表示されます。



3 添付するファイルを選んでタッチする 操作を選択するメニューが表示されます。



4 添付を追加にタッチする ファイルが添付されます。

メモ

- 1件のメールにつき、10ファイルまで添付できます。
- **開く** にタッチすると、ファイルを見ることができます。
- **戻る** にタッチすると、添付ファイルリスト画面に戻ります。

5 戻るにタッチする メール作成画面に戻ります。

■未送信メールを送る

送信せずに保存したメールや、送信が完了しなかったメールを送信することができます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 メニュー を押す メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで 決定 にタッチする 受信メールのリストが表示されます。

4 送信メール にタッチする 送信メールのリスト画面になります。

5 送信するメールを選んでタッチする 操作を選択するメニューが表示されます。



メモ

- 未送信メールには、送信日時の左側に「未」と表示されます。
- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

6 開く にタッチする メモ

宛先や、CC、BCC、表題、本文を選んで編集することができます。

7 (すぐに送信) を選んで にタッチする

メール送信の確認メッセージが表示されます。

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(169P)と同じです。

メモ

TO (宛先) が入力されていないと、送信されません。

■送信メールのリストを使う

すでに送信したメールを開いたり、転送、ロック、削除したりすることができます。

送信したメールを確認する

送信メールリストのメールの内容を確認することができます。

1 — **インターネット** に タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4 **送信メール** にタッチする

送信メールのリスト画面になります。

5 内容を確認したいメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 **開く** にタッチする メモ

- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 送信メールのリストに保存されるメールは25件までです。25件を超えるとメール作成することができません。不要なメールは削除してください。→「メールを削除する」(174P)
- 送信メールのリストから開いたメールは、新たに未送信のメールとして編集して保存することができます。元の送信メールのリスト内のメールはそのまま残ります。

メールを転送する

送信メールリストのメールを転送することができます。

1 — **インターネット** に タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで にタッチする

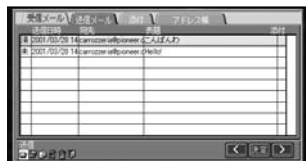
受信メールのリストが表示されます。

4 **送信メール** にタッチする

送信メールのリスト画面になります。

5 転送するメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 転送 にタッチする

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(169P)と同じです。

メモ

- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。
- 題名の先頭に「FW:」が自動的に付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Message」が自動的に付きます。
- 添付ファイルも転送されます。

メールをロックする

この操作をすると、削除されないように送信メールリストのメールが保護されます。

1 [メニュー] — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4 送信メール にタッチする

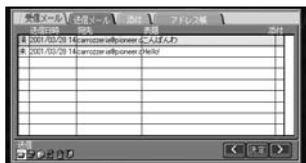
送信メールのリスト画面になります。

5 ロックしたいメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

6 ロック/解除 にタッチする

送信日時の左側に「鍵」と表示されます。



メモ

- **ロック/解除** にタッチすることにより、ロックと解除が切り替わります。
- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。



メールがロックされます。

宛先をアドレスに登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

1 [メニュー] — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 [メニュー] を押す

メニューバーが表示されます。

3 (Eメール) を選んで [決定] にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4 送信メール にタッチする

送信メールのリスト画面になります。

5 アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



6 アドレス登録 にタッチする

以降の操作手順は、「アドレスに登録する」(174P)と同じです。

メモ

戻る にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

メールを削除する

送信メールのリストから不要なメールを削除することができます。

1

メニュー — **インターネット** に
タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す

メニューバーが表示されます。

3

 (Eメール) を選んで **決定**
にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4

送信メール にタッチする

送信メールのリスト画面になります。

5

削除したいメールを選んでタッ
チする

操作を選択するメニューが表示され
ます。



6

削除 にタッチする

確認のメッセージが表示されます。



メモ

-  (削除) を選んで **決定** にタッチすると、ロックされていない送信メールがすべて削除されます。
- ロックされたメールを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「メールをロックする」の手順6で、「鍵」が表示されない状態にしてください。)

- **戻る** にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

7

はい にタッチする

選んだメールが削除されます。

メモ

いいえ にタッチすると、送信メールのリスト画面に戻ります。

アドレス帳を使う

アドレス帳にアドレスを登録しておくと、メールを作成するたびにアドレスを1文字ずつ入力する手間が省けます。

アドレス帳メニュー

アドレス帳を操作するには、メニューのアイコンを選び **決定** にタッチします。メニューの各アイコンの動きは次のとおりです。

	(追加)	アドレスを新規登録する。
	(読み込み)	アドレス帳データを読み込む。
	(書き出し)	アドレス帳データを変更した場合、保存する。
	(新規作成)	メールを新規作成する。
	(削除)	ロックされていないアドレスをすべて削除する。
	(終了)	アドレス帳の操作を終了する。

■アドレスを登録する

アドレスを新規登録するには、以下のようになります。

メモ

アドレスは100件まで登録できます。

1

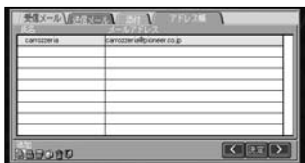
メニュー — **インターネット** に
タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

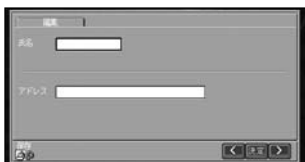
2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 **アドレス帳** にタッチする
アドレス帳画面になります。



5 **(追加)** を選んでタッチする
アドレスの編集画面が表示されます。



メモ
(戻る) を選び **決定** にタッチすると、直前の画面に戻ります。

6 氏名またはアドレスの入力欄を選んでタッチする
文字の入力画面が表示されます。

7 氏名またはアドレスを入力する
→294P

8 **入力終了** にタッチする
アドレスの編集画面に戻ります。

メモ
氏名は全角で32文字（半角で64文字）まで、アドレスは半角で256文字まで登録できます。

9 手順6～8を繰り返し、氏名とアドレスを入力する

10 **(保存)** を選んで **決定** にタッチする

11 **(書き出し)** を選んで **決定** にタッチする
入力した氏名とアドレスがアドレス帳に保存されます。

■アドレスを編集する

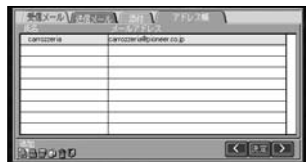
登録済みのアドレスを編集することができます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 **アドレス帳** にタッチする
アドレス帳画面になります。



5 編集したいアドレスを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



6 **編集** にタッチする**メモ**

戻る にタッチすると、アドレス帳画面に戻ります。

7 氏名またはアドレスの入力欄を
選んでタッチする

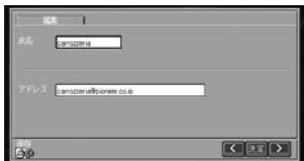
文字の入力画面が表示されます。

8 氏名またはアドレスを入力する
→294P**9** **入力終了** にタッチする

アドレスの編集画面に戻ります。

メモ

氏名は全角で32文字（半角で64文字）まで、アドレスは半角で256文字まで登録できます。

10 手順7～9を繰り返し、氏名と
アドレスを編集する**11** **保存** を選んで **決定** に
タッチする**12** **書き出し** を選んで **決定**
にタッチする

氏名またはアドレスの変更が保存されます。

■アドレスをロックする

この操作をすると、削除されないようにアドレスが保護されます。

1 **メニュー** — **インターネット** に
タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す

メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定**
にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4 **アドレス帳** にタッチする

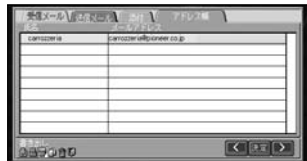
アドレス帳画面になります。

5 ロックしたいアドレスを選んで
タッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

6 **ロック/解除** にタッチする

氏名の左側に「鍵」と表示されます。

**メモ**

- **ロック/解除** にタッチすることにより、ロックと解除が切り替わります。
- **戻る** にタッチすると、アドレス帳画面に戻ります。



アドレスがロックされます。

■アドレスを削除する

アドレス帳から不要なアドレスを削除するには、以下のようにします。

1 **メニュー** — **インターネット** に
タッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す

メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定**
にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4 アドレス帳にタッチする

アドレス帳画面になります。

5 削除したいアドレスを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

6 削除にタッチする

確認のメッセージが表示されます。

**メモ**

- **削除** (削除) を選んで **決定** にタッチすると、ロックされていないアドレスがすべて削除されます。
- ロックされたアドレスを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「アドレスをロックする」の手順6で、「鍵」が表示されない状態にしてください。)
- **戻る** にタッチすると、アドレス帳画面に戻ります。

7 はいにタッチする**メモ**

いいえ にタッチすると、アドレス帳画面に戻ります。

8 書き出し (書き出し) を選んで決定にタッチする

アドレスが削除されます。

■アドレスを変更前の状態に戻す

アドレスの登録、編集、ロック、削除操作中の書き出し **書き出し** (書き出し) 前であれば、**読み込み** (読み込み) を選んで **決定** にタッチすると、アドレスは変更前の状態に戻ります。

定型文を使う

メールのタイトルや本文に定型文を使うと、効率よくメールを作成することができます。

→「メールを新規に作成して送る」(169P)

メモ

- 27種類の定型文が登録されています。

おはよう。	A Happy New Year!
こんにちは。	Merry Christmas!
こんばんは。	待っています。
お世話になっております。	あとで連絡します。
おつかれさま。	遅れます。
おやすみなさい。	電話をします。
よろしくお願いします。	待っててください。
OKです。	連絡ください。
NGです。	電話をください。
ありがとう。	メールをください。
ごめんなさい。	どこにいる？
わかりました。	何してる？
おめでとう！	元気？
Happy Birthday!	

- 登録されている定型文を編集し、登録することができます。
- 定型文は、あらかじめ登録されている27種類を含めて、50件まで登録できます。
- 定型文設定画面で **メニュー** を押してメニューバーを表示させることができますが、アイコンは操作できません。

■定型文を登録する

定型文を登録することができます。

- 1** **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3

設定を選んで**決定**にタッチする

接続環境設定画面が表示されます。

4

定型文設定にタッチする

定型文設定画面になります。



5

新規にタッチする

定型文の入力画面が表示されます。



6

定型文の入力欄を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。

7

定型文を入力する→ (297P)

8

入力終了にタッチする

定型文の入力画面に戻ります。

**メモ**

全角で32文字（半角で64文字）まで登録できます。

9

実行にタッチする

定型文が登録されます。

メモ

戻るにタッチすると、入力した内容は無効となり、定型文設定画面に戻ります。

■ 定型文を編集する

定型文を編集することができます。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする → 27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3

設定を選んで**決定**にタッチする

接続環境設定画面が表示されます。

4

定型文設定にタッチする

定型文設定画面になります。



5

編集したい定型文を選んでタッチする

6

編集にタッチする

定型文の入力画面が表示されます。

7

定型文の入力欄を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。

8 定型文を入力する→ (297P)**9** 入力終了にタッチする
定型文の入力画面に戻ります。**10** 実行にタッチする
編集した定型文が登録されます。**メモ****戻る**にタッチすると、編集は無効となり、定型文設定画面に戻ります。**■ 定型文を削除する**

定型文を削除することができます。

1 **メニュー** — **インターネット** に
タッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。**2** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。**3** **設定**（設定）を選んで **決定** に
タッチする
接続環境設定画面が表示されます。**4** **定型文設定** にタッチする
定型文設定画面になります。**5** 削除したい定型文を選んでタッチする**6** **削除** にタッチする
確認のメッセージが表示されます。**7** **はい** にタッチする
選んだ定型文が削除されます。**メモ****いいえ**にタッチすると、定型文設定画面に戻ります。**シグネチャー（署名）を登録する**

メール本文に署名を付けて送ることができます。

1 **メニュー** — **インターネット** に
タッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。**2** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。**3** **設定**（設定）を選んで **決定** に
タッチする
接続環境設定画面が表示されます。**4** **メール環境** にタッチする
メール環境設定画面になります。

5 シグネチャーの入力欄を選んでタッチする

文字の入力画面が表示されます。

6 シグネチャーを入力する → 294P

7 入力終了にタッチする

メール環境設定画面に戻ります。



8 実行にタッチする

シグネチャーが登録されます。

メモ

中止 にタッチすると、入力は無効となります。

メールを受信する

メール受信の操作をすると、新着メールがあれば受信メールのリストに表示されます。

受信メールのリストを操作して、メールを読んだり、返信・転送したりすることができます。

受信メールメニュー

受信メールを操作するには、メニューのアイコンを選び **決定** にタッチします。メニューの各アイコンの動きは次のとおりです。

 (受信)	メールサーバーに接続して、新着メールを受信する。
 (送受信)	メールを受信後、送信リストの未送信メールをすべて送信します。
 (新規作成)	メールを新規作成する。
 (並べ替え)	リストを並べ替える。
 (削除)	ロックされていない受信メールをすべて削除する。
 (終了)	メール受信の操作を終了する。

■メールを受信する

新着メールを受信することができます。

1 メニュー — インターネット にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

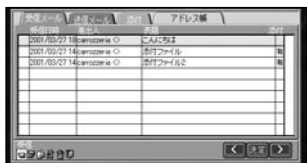
2 メニューを押す

メニューバーが表示されます。

3

 (Eメール) を選んで **決定** にタッチする

受信メールのリストが表示されます。



4

 (受信) を選んで **決定** にタッチする

新着メールを受信します。

メモ

- メール受信の操作をすると、自動的に電話をかけて受信し、終了後に電話を切ります。(メール受信時に回線が接続されているときは、終了後、電話は切りません。)
- 1回の操作ですべての新着メールを受信します。
- 受信できる1件のメールのサイズは16Kbyteまでです。16Kbyteを超えた分は削除されます。(メールの末尾が削除されることがあります。)
- メール受信が完了すると、メッセージが表示されます。また、受信したメールは受信メールのリストに保存されます。
- メール受信が完了しなかった場合は、メッセージが表示されます。
- 1つのメールに添付して受信できる添付ファイルの件数は16件までです。また、添付ファイルのファイル名の長さ(バイト数)は64byteまでです。添付ファイルがこれ以上の件数またはバイト数となった場合、このメールを含む残りのメールを受信することはできません。

受信したメールを読む

受信メールのリストに保存されたメールを読むことができます。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す
メニューバーが表示されます。

3

 (Eメール) を選んで **決定** にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4

読みたいメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



メモ

- 受信日時の新しいメールから順に表示されます。 (並べ替え) を選んで **決定** にタッチすることによって並べ替えの方法が次のように切り替わり、それぞれの方法でリストを並べ替えることができます。
差出人→表題→日付
- 受信メールのリストに保存されるメールは25件までです。25件を超えるとメールを受信することができません。不要なメールは削除してください。→「メールを削除する」(174P)
- 未読メールには、受信日時の左側に「未」と表示されます。
- 受信メールのリストからメールを選択して、返信・転送することができます。

つづく→

5

開く にタッチする

選んだメールが開きます。

メモ

- (前のメールを見る、次のメールを見る) を選んで **決定** にタッチすると、次のメールまたは前のメールが開きます。
- (戻る) を選んで **決定** にタッチすると、直前の画面に戻ります。
- 「本文」欄にスクロールバーが表示されたときは、「本文」欄を選んでスクロールバーを、表示させたい方向にタッチすることでスクロールさせます。
- **戻る** にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 添付ファイルがあるときは、受信メールリストの添付の欄に「有」と表示されます。
→「添付ファイルを開く」(184P)
- (返信) を選んで **決定** にタッチすると、差出人に返信することができます (182P)。
- (転送) を選んで **決定** にタッチすると、他の宛先に転送することができます (182P)。

■受信メールのリストを使う

受信したメールを返信・転送したり、ロック、削除したりすることができます。

メールを返信する

受信したメールを差出人に返信することができます。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2

メニュー を押す

メニューバーが表示されます。

3

(Eメール) を選んで **決定** にタッチする

受信メールのリストが表示されます。

4

返信するメールを選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



5

返信 にタッチする

TO に差出人のアドレスが自動的に入力されて、未送信メール作成の画面が表示されます。

以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(169P)と同じです。

メモ

- **戻る** にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 受信メールに複数の宛先が指定されているときは、宛先全員に返信することができます。
- 題名の先頭に「RE:」が自動的に付きます。
- 引用する本文の行頭に「>」が自動的に付きます。
- 添付ファイルは返信されません。
- (返信) を選び **決定** にタッチして返信することもできます。

メールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送することができます。

1

メニュー — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定**
にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 転送するメールを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



5 **転送** にタッチする
未送信メール作成の画面が表示されます。(本文はそのままコピーされます。)
以降の操作手順は、「メールを新規に作成して送る」(169P)と同じです。

メモ

- **戻る** にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。
- 題名の先頭に「FW:」が自動的に付きます。
- 引用する本文の最初には「Start of Forward Message」、最後には「End of Forward Message」が自動的に付きます。
- 添付ファイルも転送されます。
- **(転送)** を選び **決定** にタッチして転送することもできます。

メールをロックする

この操作をすると、削除されないように受信メールリストのメールが保護されます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定**
にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 ロックしたいメールを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



5 **ロック/解除** にタッチする
受信日時 of 左側に「鍵」と表示されます。

メモ

- **ロック/解除** にタッチすることにより、ロックと解除が切り替わります。
- **戻る** にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。



メールがロックされます。

宛先をアドレスに登録する

宛先をアドレス帳に登録することができます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定**
にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

- 4** アドレス帳に登録したい宛先のメールを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



- 5** アドレス登録にタッチする
以降の操作手順は、「アドレスを登録する」(174P)と同じです。

メモ

戻る にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

メールを削除する

受信メールのリストから不要なメールを削除することができます。

- 1** **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

- 3** **(Eメール)** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

- 4** 削除したいメールを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



- 5** **削除** にタッチする
確認のメッセージが表示されます。



メモ

- **削除** (削除) を選んで **決定** にタッチすると、ロックされていない受信メールがすべて削除されます。
- ロックされたメールを削除するには、この操作をする前にロックを解除してください。(「メールをロックする」の手順5で、**ロック解除** にタッチしてください。)
- **戻る** にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

- 6** **はい** にタッチする
選んだメールが削除されます。

メモ

いいえ にタッチすると、受信メールのリスト画面に戻ります。

添付ファイルを開く

受信したメールに添付されているファイルを開くことができます。

メモ

テキストファイル、JPEG、GIF形式の画像ファイルを表示させることができます。

- 1** **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

- 2** **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

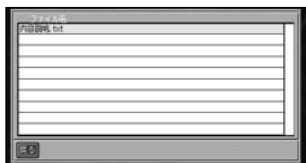
- 3** **(Eメール)** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 添付の欄に「有」と表示されているメールを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

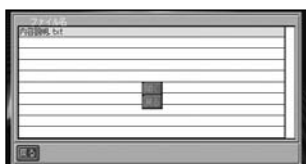
5 **開く**にタッチする
選んだメールが開きます。



6 「添付」を選んでタッチする
添付ファイルのリストが表示されます。



7 表示させたいファイルを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



8 **開く**にタッチする
選んだファイルが表示されます。



メモ

戻るにタッチすると、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

添付ファイル进行操作する

添付ファイルのリストを操作して、ファイルを開いたり、削除したりすることができます。

添付ファイルを開く

添付ファイルリストのファイルを開くことができます。

メモ

- 受信したメールに添付されているファイルのみ操作可能です。
PCカード内に保存されているテキストファイルや、JPEGの画像は操作することができません。
- テキストファイル、JPEG、GIF形式の画像ファイルを表示させることができます。
- 添付ファイルは合計400Kbyteまで保存できます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **(Eメール)** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 **添付**にタッチする
添付ファイルのリストが表示されます。

5 表示させたいファイルを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

6 **開く**にタッチする
選んだファイルが表示されます。

■添付ファイルを削除する

添付ファイルのリストから不要な添付ファイルを削除することができます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P

インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **（Eメール）** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 **添付** にタッチする
添付ファイルのリストが表示されます。

5 削除したいファイルを選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



6 **削除** にタッチする
確認のメッセージが表示されます。



■メモ

- **削除** を選んで **決定** にタッチすると、すべてのファイルが削除されます。
- **戻る** にタッチすると、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

7 **はい** にタッチする
選んだファイルが削除されます。

■メモ

いいえ にタッチすると、添付ファイルのリスト画面に戻ります。

■並べ替える

添付ファイルをファイル名順に並べ替えることができます。

1 **メニュー** — **インターネット** にタッチする →27P
インターネットのメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー** を押す
メニューバーが表示されます。

3 **（Eメール）** を選んで **決定** にタッチする
受信メールのリストが表示されます。

4 **添付** にタッチする
添付ファイルのリストが表示されます。

5 **並べ替え** を選んで **決定** にタッチする
ファイル名順に並べ替えられます。

ポイントパーティー

ポイントパーティーの機能を利用して、ドライブ中の車どうしてパーティーを組み、お互いの位置情報をサーバーを経由して交換することができます。パーティーを作った人がリーダーとなり、他のメンバーはリーダーのニックネームを指定してパーティーに参加します。

メモ

- 本機のご使用によるポイントパーティーの通信サービスは、2005年7月までご利用できます。
- 通信ナビゲーション「AVIC-T1」を使用している車とポイントパーティーを組むこともできます。
- ニックネームの初期値は、ユーザーIDとなっていますが、パイオニアホームページ (<http://www.hdd-cybernavi.com/point.html>) で変更することができます。
- リーダーがパーティーを作成中に圏外に出たり、操作途中で終了すると、ポイントパーティーが正常に動作しない場合があります。

初期登録を行う

ポイントパーティーをご利用になる上で、ユーザーIDと初期登録番号の入力が必要です。ユーザーIDと初期登録番号はパイオニアホームページ (<http://www.hdd-cybernavi.com/point.html>) で取得してください。

- ユーザーID、初期登録番号の取得は、本機および携帯電話からは行えません。
- 走行中は登録作業を行うことはできません。
- 初期登録の作業は、ご使用の携帯電話の電波状態が良い場所に停車して行ってください。登録中に通信が途切れると、登録が行えなくなることがありますので、ご注意ください。

- リーダーがパーティーを作成する場合、正常にパーティーを作成するまでパスワード設定を変更しないで下さい。作成をキャンセルしたり、電波状態の悪化等により作成に失敗した場合にはパスワード設定を変更せずに再作成をして下さい。
- 本機のご使用によるポイントパーティーの通信サービスは、2005年7月までのご利用を保証しています。

1

メニュー — **LIVEリンク** にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

メモ

- ポイントパーティーは、携帯電話が接続され、通信接続設定が行われている必要があります。
→「プロバイダを設定する」(147P)

2

ユーザーIDにタッチする

ユーザーID入力画面が表示されます。



3

ユーザーIDを入力する → 「文字の入力操作」(294P)



メモ

入力文字数は半角で10文字です。

4

入力終了にタッチする

初期登録番号入力画面が表示されます。

つづく→

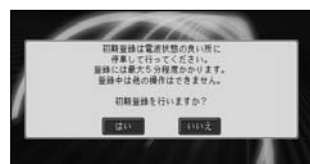
5 初期登録番号を入力する → 「文字の入力操作」(294P)



メモ

入力文字数は半角で8文字です。

6 入力終了にタッチする



7 はい にタッチする

ユーザーID、初期登録番号などをサーバーに送信します



8 確認 にタッチする



初期登録が終了します。

メモ

初期登録後、ユーザーIDを忘れてしまった場合は、**ユーザーID**にタッチすると、ユーザーIDが表示されます。

ポイントパーティーを開始する

ポイントパーティーを開始するときには、リーダーとしてパーティーの開始を宣言します。

メモ

- パーティーにパスワードを設定することができます。
→ 「ポイントパーティーの設定を変更する」(次ページ)
- リーダーがパーティーを作成する場合、正常にパーティーを作成するまでパスワード設定を変更しないでください。作成をキャンセルしたり、電波状態の悪化などにより作成に失敗した場合には、パスワード設定を変更せずに再作成をしてください。
- リーダーの位置が数時間更新されないとき、パーティーが解散されます。
- メンバーの位置が数時間更新されないとき、そのメンバーはパーティーから外れます。

1 メニュー — LIVEリンク にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

2 ポイントパーティー にタッチする

ポイントパーティーメニューが表示されます。



3 スタート にタッチする

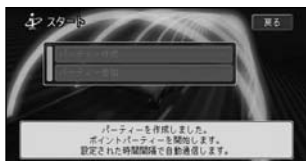
スタート画面が表示されます。



4 パーティー作成 にタッチする



パーティー開始のメッセージが表示され、地図画面に戻ります。



ポイントパーティーの設定を変更する

リーダーは、作成するポイントパーティーに対して、パスワードを設定できます。また、リーダーとメンバーは各自ウォッチ機能のON/OFFを設定したり、更新間隔を切り替えたり、メンバーの登録をすることができます。

パスワードを設定する

1 メニュー — LIVEリンク にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

2 ポイントパーティー にタッチする

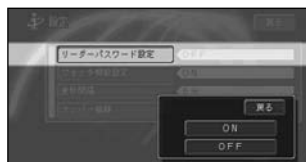
ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 設定 にタッチする

パーティー設定画面が表示されます。



4 リーダーパスワード設定 にタッチする



5 ON にタッチする

リーダーパスワード設定画面が表示されます。



6 数字キーにタッチしてパスワードを入力する → 「文字の入力操作」(294P)



メモ

パスワードは半角で4～8文字まで入力できます。入力できる文字は、アルファベット（大、小）、数字、_（ハイフン）、_（アンダーバー）です。

7 入力終了 にタッチする

パーティー設定画面が表示されます。



メモ

以降、リーダーとして作成したポイントパーティーに入力したパスワードが設定されます。

パスワードを解除するには

前ページの手順5で、**OFF**にタッチします。

メモ

リーダーパスワードの設定されたポイントパーティーを作成した場合、**OFF**にタッチしてもパスワードは解除されません。一度パーティーを終了してから、再度リーダーパスワードの設定されていない状態でパーティーを作成してください。

■ウォッチ機能のON/OFFを切り替える

ウォッチ機能をONにすると、ポイントパーティーに参加している車の位置を示す地図が設定した間隔で割り込み画面として表示されます。

メモ

更新中は、画面左上に電話機のマークが表示されます。

1

メニュー — **LIVEリンク** にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

2

ポイントパーティー にタッチする

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3

設定 にタッチする

パーティー設定画面が表示されます。



4

ウォッチ機能設定 にタッチする



5

ON にタッチする



ウォッチ機能がONになります。

ウォッチ機能を解除するには

上記の手順5で**OFF**にタッチします。

■ウォッチ機能の更新間隔を切り替える

1

メニュー — **LIVEリンク** にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

2

ポイントパーティー にタッチする

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3

設定 にタッチする

パーティー設定画面が表示されます。

4

更新間隔 にタッチする



5

5分 または **10分**、**15分** から選んで、タッチする



更新間隔が変更されます。

■メンバーの登録

ニックネームに対し、名称を登録することができます。

メモ

- 最大100件まで登録できます。
- ニックネームを変更できるため、正しいニックネームが登録前に確認してください。

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする
LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ポイントパーティー** にタッチする
ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 **設定** にタッチする
パーティー設定画面が表示されます。

4 **メンバー登録** にタッチする



5 **新規登録** にタッチする
メンバー新規登録画面が表示されます。



6 名称またはニックネームの入力欄を選んで、タッチする
文字の入力画面が表示されます。

7 名称またはニックネームを入力する → 「文字の入力操作」(294P)



メモ

- ニックネームは半角で4～20文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット（大、小）数字、－（ハイフン）、＿（アンダーバー）です。
- 名称は全角で22文字（半角で44文字）まで入力できます。

8 **入力終了** にタッチする
メンバー新規登録画面に戻ります。



9 手順5～8を繰り返し、名称またはニックネームを入力する

編集するには

上記の手順5で、**内容変更** にタッチし、変更したいメンバーを選び編集します。

消去するには

上記の手順5で、**消去** にタッチし、消去したいメンバーを選び消去します。

ポイントパーティーに参加する

リーダーが作成したポイントパーティーに参加するには、以下のよう
に操作します。ひとつのポイント
パーティーには、リーダーを含め10
人まで参加できます。

メモ

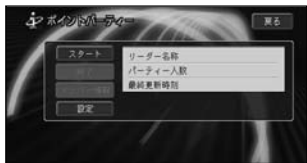
- ニックネームは変更できるため、ニックネームが正しいかリーダーに確認してください。
- リーダーの位置が数時間更新されないとパーティーが解散されます。
- メンバーの位置が数時間更新されないとそのメンバーはパーティーから外れます。

1

メニュー — **LIVEリンク** にタッチする
LIVEリンク画面が表示されます。

2

ポイントパーティー にタッチする
ポイントパーティーメニューが表示
されます。



3

スタート にタッチする
スタート画面が表示されます。



4

パーティー参加 にタッチする



5

ニックネーム にタッチする
ニックネーム入力画面が表示されます。



メモ

メンバーリスト にタッチすると、
メンバーリストからリーダーの名称
を選ぶことができます。

6

ニックネームを入力する → 「文
字の入力操作」(294P)



7

入力終了 にタッチする



「パーティーに参加できました。ポ
イントパーティーを開始します。設
定された時間間隔で、自動通信しま
す。」と表示されます。



■パスワードが設定されているときは

パスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。
リーダーの設定したパスワードを入力してください。

■リーダー名をメンバーリストから選ぶには

192Pの手順5で、**メンバーリスト**にタッチします。表示される一覧からリーダー名を選び、タッチしてください。自動でリーダー名が入力されます。

■すでに10人が参加していたときは

「参加人数の制限を超えたため、パーティーに参加できませんでした。」と表示されます。他にもパーティーを作成しているリーダーがいる場合は、その名称を入力してパーティーに参加してください。

メンバーの位置情報を表示する

ポイントパーティーを組んでいるとき、パーティーのメンバーの位置を示す地図を表示させることができます。

1 **メニュー** — **LIVEリンク** にタッチする

LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ポイントパーティー** にタッチする

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 **メンバー情報** にタッチする

4

確認方法を選んでタッチする



地図で確認

全車が入るスケールで地図表示します。

リストで確認

リストおよびサイドマップが表示されます。リストよりメンバーを選び、**決定**にタッチすると、そのメンバーの情報が表示されます。

メンバー情報画面が表示されます。



メモ

- ・リーダーは、黄緑色の [] で囲まれて表示されます。
- ・メンバーリストにメンバーが登録されている場合は、メンバーリストの名称が表示されます。
- ・更新時間とは、各メンバーの位置情報の取得時間です。
- ・スケール変更は、10m～500kmの範囲でできます。
- ・リスト確認では、選んだメンバーの位置が地図上で十字カーソル表示されます。



- ・メンバーを選んで**決定**にタッチすると選んだメンバーを中心とした地図画面が表示されます。

ポイントパーティーを終了する

■パーティーから抜ける

ポイントパーティーのメンバーとして参加している場合、パーティーから抜けるには以下のように操作します。

メモ

自分がリーダーの場合は、パーティーを抜けると、パーティーを解散します。

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする

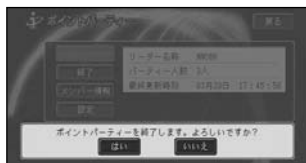
LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ポイントパーティー** にタッチする

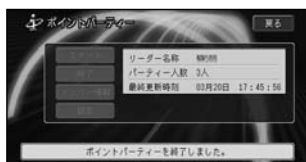
ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 **終了** にタッチする

「ポイントパーティーを終了します。よろしいですか？」と確認画面が表示されます。



4 **はい** にタッチする



パーティーのメンバーではなくなります。

■パーティーを解散する

ポイントパーティーのリーダーは、以下のよう操作してパーティーを解散することができます。

1 メニュー — **LIVEリンク** にタッチする

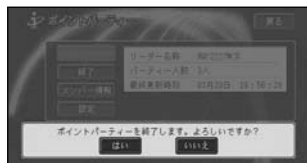
LIVEリンク画面が表示されます。

2 **ポイントパーティー** にタッチする

ポイントパーティーメニューが表示されます。

3 **終了** にタッチする

「ポイントパーティーを終了します。よろしいですか？」と表示されます。



4 **はい** にタッチする



パーティーが解散されます。

リーダーがパーティーを解散すると

しばらくしてから(位置情報を更新したとき)パーティーのメンバーの画面には、「リーダーがパーティーを解散しました。ポイントパーティーを終了します。確認」と表示されます。

携帯電話

デジタル携帯電話を接続すると、本機の通信機能を使うことができます。

携帯電話を利用する前に

通信機能を使うには、次の機器が必要です。

- データ通信に対応したデジタル携帯電話
- 「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話の場合は、cdmaOne™用アダプター「CD-H12」(別売)をお使いください。

本機と携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーで電話の発着信の操作ができます。また、音声認識用のマイクを通してハンズフリー通話もできます。

携帯電話の接続のしかたについて、詳しくは『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 接続すると、「携帯電話が接続されました」と表示されます。
- 本機は、PDCおよび「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話に対応しています。ただし、機種によっては使用できない場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。詳しくはパイオニアホームページ (<http://www.pioneer.co.jp/carrozzeria/>) をご覧ください。
- 通話終了後は、必ず電話が切れたこと(回線の切断)を確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。
- 本機にパケット通信に対応した「cdmaOne™」携帯電話を接続すると、契約形態によっては携帯電話側で64kbps(高速)のパケット通信または14.4kbps(標準)通信の両方を切り替

えて利用できます。(CDMA2000 1Xも標準／高速を切り替えて利用できます。(最大144kbps))

- 接続する前に携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してください。
- 携帯電話側の車載設定によっては、常時照明がONになる機種があります。携帯電話のバッテリー切れの原因になりますので、携帯電話の仕様を確認の上で使用ください。

携帯電話で通話するときは

ナビゲーション本体に携帯電話を接続してハンズフリー通話をするときには、携帯電話の着信音と通話相手の音声はカーステレオのスピーカーから出力されます。

通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。→120P

メモ

- パケット通信に対応した「cdmaOne™」、「CDMA2000 1X」携帯電話をお使いで、インターネットの利用中に電話を着信した場合は、インターネットの接続は切断されます。通話終了後、インターネットを再接続してください。
- 本機の電源ON/OFF(エンジンのON/OFF)に関係なく、携帯電話をつないだり、取り外したりできます。
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、通話中のとき以外は携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。(呼び出し中の場合も一度電源がOFFになりますので、ご注意ください。)

- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは動かなくなります。(携帯電話の電源は、ナビゲーション本体の電源のON/OFF(エンジンのON/OFF)に連動します。)
- ナビゲーション本体から携帯電話への充電および給電は行われません。
- 本機は、キャッチホンおよび三者通話サービスには対応していません。本機のリモコンではこれら进行操作できませんので、携帯電話側で操作してください。なお、キャッチホンや三者通話サービスのご利用中に本機のリモコンを操作すると、通話が切れることがあります。(キャッチホン、三者通話サービスの詳細は、携帯電話の説明書を参照してください。)
- 電話が着信すると「トゥルルルル」という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がカーステレオのスピーカーから出力されないことがあります。

携帯電話を使う

ナビゲーション本体にデジタル携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーで電話を操作できます。

ご注意

運転中は携帯電話の操作をしないでください。事故の原因になります。

携帯電話の接続のしかたについて、詳しくは『取付説明書』を参照してください。

電話をかける

1

メニュー — **携帯電話** にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。



2

ダイヤル発信 にタッチする

番号の入力画面が表示されます。



3

電話番号を入力し、発信 にタッチする

相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。



メモ

- 発信を中止するときは、音声認識コントローラーの **操作** を押しします。
- 音声認識コントローラーの **操作** を押して発信することもできます。
- 携帯電話でダイヤルし、[オフフック] ボタンを押して発信することもできます。



発信通話中は、画面右上に電話機のマークが表示されます。



4

通話が終了したら音声認識コントローラーの操作を押して、電話を切る

メモ

携帯電話の [オフフック] ボタンを押して電話を切ることもできます。

■地図に登録された電話番号にかける

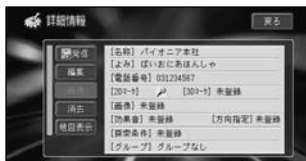
地図上の施設情報として電話番号が収録されている場合は、本機を電話帳として利用することもできます。また、登録した場所に電話番号が入力されていれば、登録地のリストから相手を選んで電話をかけることもできます。ここでは、登録地のリストから電話をかける方法を説明します。

1 登録地のリストを表示させる →「登録地から探す」(39P)

2 電話の相手先となる地点名を選び、タッチする

ショートカットメニューが表示されます。

3 詳細情報を見る にタッチする 詳細情報画面が表示されます。



4 発信 にタッチする 登録されている電話番号にダイヤルします。



■電話を受ける(ハンズフリー通話) 電話がかかってくる

本機と携帯電話を接続しているときは、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



メモ

- 登録地に入力されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。(画像が登録されているときは、画像も表示されます。)
- メモリダイヤル(198P)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます。(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます。)
- 1つの電話番号が複数の登録地に入力されている、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。

かかってきた電話に出るには

電話がかかってきたときに音声認識コントローラーの**操作**を押すと電話がつながり、通話することができます。電話を切るには、もう一度**操作**を押します。

メモ

以下の方法で電話に出る、または電話を切ることもできます。

- ナビ画面の**通話**にタッチすると通話できます。
- 携帯電話の[オフフック]/[オンフック]ボタンを押す。

応答保留するには

電話がかかってきたときに **訂正** を押すと、応答保留することができます。
 応答保留中に **操作** を押すと電話がつながり、**訂正** を押すと電話が切れます。

メモ

以下の方法で応答保留にすることもできます。

- ナビ画面の **保留** にタッチします。
- 携帯電話の【オフフック】 / 【オンフック】ボタンも同様に使うことができます。

■メモリダイヤルから電話をかける

メモリダイヤル機能を使用するには、携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込みます。

メモリダイヤルの読み込み

携帯電話から最大500件のデータを本機に読み込むことができます。

携帯電話の接続のしかたについては、『取付説明書』を参照してください。

メモ

- 名前、よみ、TEL、グループ、メモリ番号のデータを読み込むことができます。
- 読み込んだデータはハードディスクに保存され、新しいデータを読み込むと上書き保存されます。
- メモリダイヤルは、編集することはできません。

メモリダイヤルの消去方法は、「携帯電話情報を消去する」(103P)を参照してください。

1

メニュー — **携帯電話** にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。



2

メモリダイヤル にタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



3

読み込み にタッチする

暗証番号の入力画面が表示されます。



メモ

すでにメモリダイヤルのデータが読み込まれている場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は **はい** にタッチしてください。

4

暗証番号を入力する

5

入力終了 にタッチする

データの読み込みが始まります。



読み込みが完了すると地図画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができます。

メモ

- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の2種類用意している場合があります。
 - ー 電話機本体の各種機能进行操作するためのもの
 - ー 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの（携帯電話契約時に登録した暗証番号）
- ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。
- 誤った暗証番号を入力すると、番号が違うことを知らせるメッセージが表示された後、暗証番号の入力画面に戻ります。
- 読み込み中に**戻る**にタッチすると読み込みは中止しますが、すでに読み込まれたデータは保存されます。
- 読み込みに失敗したときは、失敗を伝えるメッセージが表示されます。ケーブルの接続を確認して、もう一度やり直してください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイアルも読み込まれます。

メモリダイアルを使う

1

メニュー — **携帯電話** にタッチする
→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2

メモリダイアル にタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



3

呼び出し にタッチする

メモリダイアルのリストが表示されます。



4

電話をかけた相手先を選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



5

発信 にタッチする

相手先に電話がかかり、通話できます。



メモリダイヤルの詳細情報を見る

1 **メニュー** — **携帯電話** にタッチする
→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2 **メモリダイヤル** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

3 **呼び出し** にタッチする
メモリダイヤルのリストが表示されます。

4 詳細情報を確認したい相手先を
選んでタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



5 **詳細情報** にタッチする
詳細情報画面が表示されます。

**メモ**

グループが登録されていないデータは、グループ番号「000」としてリストの最初に表示されます。

■メモリダイヤルを並べ替える

リストに表示されるメモリダイヤルは、グループ番号順、よみ順、メモリ番号順に並べ替えることができます。

1 **メニュー** — **携帯電話** にタッチする
→27P
携帯電話のメニューが表示されます。

2 **メモリダイヤル** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。

3 **呼び出し** にタッチする
メモリダイヤルのリストが表示されます。

4 **並べ替え** にタッチする



並べ替えの方法を選択するメニューが表示されます。

「**グループ番号 (昇順)**」 グループ番号の昇順に並べ替えます。

「**よみ (50音順)**」 よみ順に並べ替えます。

「**メモリ番号 (昇順)**」 メモリ番号の昇順に並べ替えます。

5 並べ替えの方法を選んでタッチする

通話の履歴から電話をかける

発信履歴または着信履歴から相手先を選んで電話をかけることができます。

メモ

- 発信履歴の履歴はそれぞれ10件まで自動的に保存され、10件を超えると、日付の古い履歴から順に消去されます。
- 履歴は任意に消去することができます。
→「携帯電話情報を消去する」(103P)

1

メニュー — **携帯電話** にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2

発信履歴 または **着信履歴** にタッチする

発信履歴または着信履歴のリストが表示されます。



メモ

番号非通知で着信した通話は「非通知」と表示されます。非通知の相手先に電話をかけることはできません。

3

電話をかけたい相手先を選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



4

発信 にタッチする

相手先に電話がかかり、通話できます。



履歴の詳細情報を見る

履歴から発信着信の日時、TEL、相手の名前を確認することができます。

1

メニュー — **携帯電話** にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2

発信履歴 または **着信履歴** にタッチする

発信履歴または着信履歴のリストが表示されます。

メモ

番号非通知で着信した通話は「非通知」と表示されます。

3

詳細情報を確認したい相手先を選んでタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



4 詳細情報にタッチする

詳細情報が表示されます。



メモ

発信にタッチすると、電話をかけることができます。→「通話の履歴から電話をかける」(201P)

■電話番号から地点を登録する

携帯電話から転送した電話番号データをもとに、本機に登録されている該当データより場所を探して地点を登録することができます。

1 メニュー — 携帯電話にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2 メモリダイヤルにタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



3 地点登録にタッチする

メモリダイヤルのリストが表示されます。



4 地点登録したい相手先を選んでタッチする

電話番号データをもとに相手先の所在地が検索され、地図画面が表示されます。



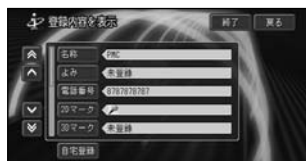
メモ

相手先の所在地が見つからないときはメッセージが表示された後、検索画面が表示されます。

「場所を探す」(29P)を参照して、相手先の所在地を地図画面に表示させてください。

5 地図をスクロールさせて登録したい地点を十字カーソルに合わせて決定にタッチする

登録内容が表示されます。



6 終了にタッチする

相手先の所在地が登録され、地図画面に戻ります。

■ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどに遭ったときは、最寄りのJAFやカーレスキュー70のロードサービスに電話をかけることができます。

1 メニュー → 携帯電話 にタッチする

→27P

携帯電話のメニューが表示されます。

2 ロードサービス にタッチする

ロードサービスのリストが表示されます。



メモ

「カーレスキュー70」は、翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

3 利用したいロードサービスを選んでタッチする



4

発信 にタッチする

選択したロードサービスに電話がかけられ、通話できます。



メモ

詳細情報 にタッチすると選択したロードサービスの詳細情報を見ることができます。また、詳細情報画面から **発信** にタッチして電話をかけることもできます。

音声操作のポイント

本機では、ほとんどの機能を音声で操作することができます。

音声で操作するときは、本機に発話を正しく認識させる必要があります。以下のポイントに留意しながら操作してください。

発話を正しく認識させるには

メモ

音声操作をするまえに、**AV設定** - **消音設定**の「消音レベル」と「消音タイミング」を設定してください。→『オーディオブック』『音声案内がよく聞こえるようにする』

自動車の窓は閉めておく

カーステレオの音と同様、風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になるため、自動車の窓は必ず閉めてください。

マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける

発話した声をマイクが十分に拾えるように、マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。発話時に姿勢を変えると、使いにくいだけでなく、安全な走行にも支障があります。これらの事情に十分留意して、マイクの取り付け位置を決めてください。

マイクの取り付けかたについては、『取付説明書』を参照してください。

はっきりと明瞭に発話する

早口になったり、口ごもったりしないように、はっきりと明瞭に発話してください。マイクが適切な位置に取り付けられていれば、大きな声を出す必要はありません。

音声認識語を正しく発音する

にぎらない音をにごって発話すると、正しく認識されない原因になります。また、読みかたのルール（音声認識語）に従わない発話も正しく認識されないことがあります。

音声案内中は発話しない

本機から案内の音声や応答メッセージが出ているときは、発話しないでください。

発声の特徴を学習させる

音声の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることをおすすめします。

→「発声の特徴を学習させる」(209P)

通常の音声操作中も学習を継続しています。一時的に使用者が異なるときは、「音声認識話者学習使用」(117P)をOFFにしてください。

キャラクタの案内

音声操作できる状態になると、キャラクターが表示され、発話するタイミングを案内します。

メモ

日時によってキャラクターのコスチュームが変わります。

■発話するタイミング

“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。キャラクターが首をかしげていないときは、**場所** または **操作** を押すと、発話できる状態になります。



この状態のときに発話してください。



この状態のときは発話しても認識できません。

操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、発話のタイミングをつかむ練習をしてください。

音声操作の流れ

音声操作では、音声認識コントローラーを使用します。

各ボタンを操作するタイミングは次のとおりです。



ナビゲーション操作、オーディオ操作を開始するとき



場所の検索を開始するとき



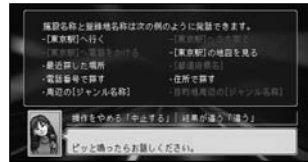
直前の発話を取り消すとき

ここでは、場所を住所で探す方法を例に挙げ、音声操作の流れについて説明します。

1

場所を押す

キャラクターが表示されます。



メモ

“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話できる状態になります。

2

“ピッ”と音が鳴ったら、“住所で探す”などの音声認識語をマイクに向かって発話する

発話が認識されると、発話した内容が画面に表示されます。



メモ

本機が応答メッセージを返している間でも、**場所**を押すと発話できます。(応答メッセージが中断されて、“ピッ”と音が鳴ります。)

3

“ピッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する



メモ

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

4

“ピッ”と音が鳴ったら、住所名を発話する



5

“ピッ”と音が鳴ったら、地名(丁目)を発話する

目的地の地図が表示されます。



■基本的な始めかた

ボタン	音声認識語	説明ページ
場所	〇〇（施設名称）	→214P
	〇〇（施設名称）へ行く*	→214P
	〇〇（施設名称）へ立ち寄る*	→214P
	〇〇（施設名称）の地図を見る*	→214P
	〇〇（施設名称）へ電話をかける*	→214P
	〇〇（都道府県名）の施設	→214P
	最近探した場所	→213P
	登録した場所	→213P
	〇〇（登録地名称）へ行く*	→213P
	〇〇（登録地名称）へ立ち寄る*	→213P
	〇〇（登録地名称）へ電話をかける*	→213P
	〇〇（登録地名称）の地図を見る*	→213P
	自宅へ帰る*	→215P
	目的地の地図を見る*	→215P
	住所で探す	→212P
	電話番号で探す	→212P
	周辺の〇〇（ジャンル名/サブジャンル名）*	→211P
	目的地周辺の〇〇（ジャンル名/サブジャンル名）*	→211P
操作	基本操作	→216P
	ルート操作	→218P
	VICS情報	→220P
	電話をかける	→221P
	その他の操作	→231P
	AV操作	テレビ →224P
		ビデオ →224P
		DVD →225P
		CD・MP3ディスク →226P
		ミュージックサーバー →227P
		MD →229P
		ラジオ →230P

※1回の発話でルートを探索したり電話をかけたりすることができます（ダイレクトサーチ&オペレーション）。

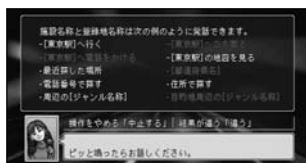
■音声操作の注意点

発話できる言葉がわからない場合

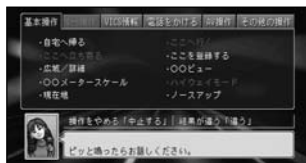
停車中に音声操作を開始すると、ボイスヘルプ（発話できる音声認識語の一覧）が表示されます。

場所と**操作**のどちらを押したかによって発話できる音声認識語は異なるため、ボイスヘルプに表示される内容も異なります。

場所を押したときのボイスヘルプ



操作を押したときのボイスヘルプ



メモ

操作に対応したボイスヘルプには、メニュータブが表示されます。

メニュータブの名前を発話するか、メニュータブを直接タッチすると、各メニューのボイスヘルプ表示に切り替わります。

操作に慣れるまでは、安全な場所に停車して、ボイスヘルプに表示された音声認識語を発話してください。

なお、走行中ボイスヘルプは表示されません。“ボイスヘルプ”と発話すると、発話できる音声認識語が読み上げられます。（停車中でも読み上げられます。）

メモ

- ボイスヘルプに表示される言葉以外にも、発話できる音声認識語があります。
- ボイスヘルプを見る必要がないときは、“ボイスヘルプ”を“マニュアル”に設定してください（117P）。“ボイスヘルプ”と発話したときだけ表示されます。（走行中は読み上げのみです）

発話が誤認識されたとき

「千葉県」、「滋賀県」、「佐賀県」のように他に発音が似ている地名を発話すると、誤認識されることがあります。このようなときは、**訂正**を押して発話し直してください。

メモ

- 誤認識された言葉は一時的に認識候補から外されるため、次回操作時に正しく認識されやすくなります。
- 訂正**を押さずに“違う”と発話して、直前の発話を取り消すこともできます。

直前の操作を取り消したいとき

“違う”と発話してください。直前の画面に戻り、発話待ちの状態になります。

操作を途中でやめたいとき

“中止する”と発話してください。音声操作前の画面に戻ります。

メモ

現在地を押しても、音声操作を中止して音声操作前の画面に戻ります。

現在地画面にしたいとき

“げんざいち”と発話してください。現在地画面が表示されます。

「ここからはタッチボタンで操作してください。」と音声案内されたとき

以降はタッチボタンで操作してください。

戻る にタッチするか **訂正** ボタンを押すと直前の操作に戻ります。

ETCの音声案内が流れたら

本機にETCユニット「ND-ETC3」などを接続して、ETC（自動料金収受システム）を利用しているときは、高速道路の入口や出口付近などでETCの音声案内が流れます。

音声操作中にETCの音声案内が流れると、音声認識はいったん中断され、発話が受け付けられない状態になります。（キャラクタのイラストが一時的に縮小表示されます。）

ETCの音声案内が終了すると、音声操作が可能な状態に戻ります。キャラクタが表示されたら、**場所** または **操作** を押して音声操作を続けてください。

発声の特徴を学習させる

使用者の発声の特徴を学習させると、音声の認識率が向上します。（音声認識話者学習）

音声操作をご使用になる前に、発声の特徴を学習させることをおすすめします。

メモ

- 「発話を正しく認識させるには」（204P）を確認の上、正しく発話してください。
- 音声認識話者学習をしていない人が音声操作するときは、「音声認識話者学習」（117P）をOFFにしてください。

1

メニュー — **編集・設定** — 各種

設定 にタッチする →28P

各種設定画面が表示されます。

2

調整・補正 にタッチする

調整・補正メニューが表示されます。



3

音声認識話者学習 にタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



4

初期話者学習にタッチする

音声認識話者学習画面が表示されます。

メモ

すでに学習した内容は消去され、新たに学習した内容が保存されます。

5

音声認識コントローラーの

操作を押す

画面左下にキャラクタが表示され、話者学習が始まります。



メモ

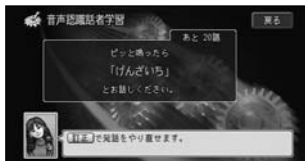
“ピッ”と音が鳴ってキャラクタが首をかしげたら、発話が受け付けられる状態になります。

6

表示される語句を発話する

発話して発話が認識されると、画面上に次の語句が表示されます。引き続き発話してください。

画面右上には残りの語句の数が表示されます。



メモ

訂正を押すか、**戻る**にタッチして1つ前の単語に戻れます。2つ以上前には戻れません。

7

「終了しました。」と表示されたら

操作を押す

今までに発話した語句から、発声の特徴を学習します。

学習終了後は、地図画面に戻ります。

学習内容を消去する

学習内容を消去するには、手順4で

学習クリアにタッチしてください。

場所を探す

周辺施設を探す

周辺検索で近くのカソリンスタンドなどを探します。

1 **場所**を押して、次のいずれかを発話する

“周辺の○○ (ジャンル名)” 周辺の施設を
探するとき

“目的地周辺の○○ (ジャンル名)” 目的地周辺の施設を
探するとき

指定したジャンルのロゴマークが表示され、施設の名前とそこまでの距離が案内されます。

ジャンル名は、「検索できるジャンルの種類」(233P)を参照してください。

メモ

- “周辺の○○ (ジャンル名)” 検索では、ルート案内中であつ現在地画面のときは、ルート沿い、ルートが設定されていないときやスクロール画面のときは、現在地または十字カーソル周辺の施設を探索します。
- 周辺の検索では、“ルート周辺の○○ (ジャンル名)”、“一番近い○○ (ジャンル名)”と発話することもできます。
- “出光”などのサブジャンル名を発話することもできます。
- ATMのサブジャンル名を直接発話する場合は、“周辺の○○銀行ATM”と発話してください。
- 現在地/ルート沿い/目的地に最も近い施設から表示されます。

2 **場所**を押す

音声操作が再開されます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” 現在選択中の候補施設（付近）までのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” **場所** または **操作** を押すと、現在選択中の候補施設（付近）に立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” 現在選択中の候補施設（付近）の地図が表示される

“次の施設” 次の施設が表示される

“前の施設” 前の施設が表示される

“ルート周辺で探す” ルート沿いで探索する

“自転車周辺で探す” 自転車周辺で探す

メモ

- 直接画面にタッチして操作することもできます。
- ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、**操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

住所で探す

1 **場所**を押して、“住所で探す”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、都道府県名と市区町村名を続けて発話する

メモ

都道府県名と市区町村名を分けて発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、住所名を発話する

メモ

- “主要部”と発話すると、そこまで発話した代表地点が表示されます。
- 政令指定都市では市と区を分けて発話できますが、市の後に“主要部”と発話することはできません。区まで発話した後に“主要部”と発話してください。
- 住所名から丁目を続けて発話することもできます。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、地名と丁目を発話する

地名の代表地点が表示されます。

メモ

同じ漢字でも地域によって読みかたが異なる地名については、すべての読みかたが登録されていないことがあります。発話が正しく認識されないときは、他の読みかたで発話してみてください。

例：四条→“しじょう”、“よんじょう”

電話番号で探す

1 **場所**を押して、“電話番号で探す”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する

メモ

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

個人宅の電話番号を発話したときは、訪問宅(個人宅)電話番号データが収録されていれば、その番号の地点、収録されていない場合は代表地点が表示されます。

電話番号が登録されている登録地やお店などの電話番号を発話したときは、手順4に進んでください。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” 表示された地点（検索結果地点）までのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” **操作**または**場所**を押すと、表示された地点（検索結果地点）に立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” 表示された地点（検索結果地点）の地図が表示される

メモ

- 地図の中心から目的地がずれて表示されることがあります。このような場合は、目的地を含む地域を代表する地点の地図が表示されています。
- ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、**操作**または**場所**を押すと、ルートが探索されます。

登録した場所を探す

メモ

登録地のよみをもとに検索されます。よみが入力されていない場所は検索できません。よみの付けかたは、「登録地のよみを変更する」(80P)を参照してください。

1

場所を押して、“登録した場所”と発話する

2

“ピッ”と音が鳴ったら、登録地名を発話する

登録した場所のよみの一覧が表示されます。

メモ

よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するとページ送りされます。また、**次のページ**、**前のページ**にタッチしてページ送りすることもできます。

3

“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” 登録した登録地点までのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” **操作** または **場所** を押すと、登録した登録地点に立ち寄るルート探索が始まる

“ここの地図を見る” 登録した登録地点の地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号が登録されているときは、**操作** または **場所** を押すと、登録した登録地点に電話がかかる

メモ

- “〇〇（登録地名よみ）へ行く”、“〇〇（登録地名よみ）へ立ち寄る”、“〇〇（登録地名よみ）へ電話をかける”、“〇〇（登録地名よみ）の地図を見る”と発話することでもできます。
- 同じよみで登録された地点が2か所以上あるときは、候補が表示されます。タッチボタンでリストから候補を選んで**決定**にタッチするか、選択状態の候補をもう一度タッチして決定してください。
- ルート案内中に“ここへ行く”、“〇〇（登録地名よみ）へ行く”と発話したときは、**操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

最近探した場所を探す

メモ

- 音声操作で検索し、最近探した場所のリストに残っている最新の25件が検索の対象になります。
- 20文字を超えるよみは認識されません。

1

場所を押して、“最近探した場所”と発話する

2

“ピッ”と音が鳴ったら、“〇〇（場所のよみ）”と発話する

最近探した場所のよみの一覧が表示されます。

メモ

よみの一覧が複数のページにおよぶときは、“次のページ”、“前のページ”と発話するとページ送りされます。また、**次のページ**、**前のページ**にタッチしてページ送りすることもできます。

3

“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” 発話した「最近探した場所」（検索履歴）地点までのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” **操作** または **場所** を押すと、発話した「最近探した場所」（検索履歴）地点に立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” 発話した「最近探した場所」（検索履歴）地点の地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号の情報があるときは、**操作** または **場所** を押すと、発話した「最近探した場所」（検索履歴）地点に電話がかかる

メモ

ルート案内中に“ここへ行く”と発話したときは、**操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

施設名で探す

1

場所 を押して、施設名（“○○スキー場” など）を発話する

2

“ピッ”と音が鳴ったら、音声認識語を発話する

“ここへ行く” 発話した施設（付近）までのルート探索が始まる

“ここへ立ち寄る” **操作** または **場所** を押すと、発話した施設（付近）に立ち寄るルート探索が始まる

“この地図を見る” 発話した施設（付近）の地図が表示される

“ここへ電話をかける” 電話番号の情報があるときは、**操作** または **場所** を押すと、発話した施設（付近）に電話がかかる

検索可能な施設名のジャンルは「施設名で場所を探す場合の対象ジャンル」（235P）を参照してください。

メモ

- “○○（施設名よみ）へ行く”、“○○（施設名よみ）へ立ち寄る”、“○○（施設名よみ）へ電話をかける”、“○○（施設名よみ）の地図を見る”と発話することもできます。
- 都道府県名のよみを発話し、その都道府県の施設名を発話することもできます。
- 同じよみで登録された地点が2か所以上あるときは、候補が表示されます。タッチボタンでリストから候補を選んで**決定**にタッチするか、選択状態の候補をもう一度タッチして決定してください。
- ルート案内中に“ここへ行く”、“○○（施設名よみ）へ行く”と発話したときは、**操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

自宅へ帰るルートを探索する

1 を押して、“自宅へ帰る” と発話する

自宅までのルートが探索されます。

メモ

- 基本操作の手順で操作することもできます。→「基本操作をする」(216P)
- ルート案内中のときは、またはを押すと、ルートが探索されます。
- あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

目的地の地図を見る

1 を押して、“目的地の地図 を見る”と発話する

目的地の地図が表示されます。

メモ

天気予報データを取得しているときは、天気予報データが案内されます。

基本操作をする

操作を押して“基本操作”と発話後、または直接発話して操作します。

音声認識語

地図スケールの変更

操作内容	発話内容
詳細な地図にする	“詳細”
広域の地図にする	“広域”
10mスケールの地図で表示する	“10メートルスケール”
25mスケールの地図で表示する	“25メートルスケール”
50mスケールの地図で表示する	“50メートルスケール”
100mスケールの地図で表示する	“100メートルスケール”
200mスケールの地図で表示する	“200メートルスケール”
500mスケールの地図で表示する	“500メートルスケール”
1kmスケールの地図で表示する	“1キロメートルスケール”
2kmスケールの地図で表示する	“2キロメートルスケール”
5kmスケールの地図で表示する	“5キロメートルスケール”

地図の表示方法の変更

操作内容	発話内容
ノーマルビューに切り替える ^{※1}	“ノーマルビュー”
スカイビューに切り替える ^{※1}	“スカイビュー”
ツインビューに切り替える ^{※1}	“ツインビュー”
ドライバーズビューに切り替える ^{※1}	“ドライバーズビュー” または “シティハイウェイマップ”
ハイウェイモードに切り替える (有料道路走行中のみ)	“ハイウェイモード”

※1 駐車場マップを表示しているときは変更できません。

地図の回転

操作内容	発話内容
地図を回転させて北上表示に固定し、スクロール画面にする	“ノースアップスクロール” または “ノースアップスクロールにする”、“ノースアップ”、“ノースアップにする”

自宅へ帰る

操作内容	発話内容
自宅へ帰るルートを検索する※2	“自宅へ帰る”

現在地またはスクロール画面の操作

操作内容	発話内容
検索した場所へ行くルートを探索する※2	“ここへ行く”
ルートに立寄地を追加する※3	“ここへ立ち寄る”
現在地または検索した場所を登録する	“ここを登録する”
現在地を表示する	“現在地”
登録したスケールにする	“登録したスケールにする”

※2 ルート案内中のときは、**操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

※3 **操作** または **場所** を押すと、立ち寄るルートが探索されます。

ルートの設定と案内

ルートが設定されているときに、**操作**を押して“ルート操作”と発話後、または直接発話して操作します。

■ルートを確認する

“ルートを確認”または“ルートプロフィール”と発話すると、ルートプロフィール画面に切り替わります。

以降は、タッチボタンの操作でルートプロフィールを確認してください。

音声認識語

探索条件を変えて再探索する

操作内容	発話内容
標準的な探索条件で探索するとき※1	“推奨”
距離優先で探索するとき※1	“距離優先”
別ルートを探るとき※1※2	“別ルート”
幹線優先で探索するとき※1	“幹線優先”
有料道路を標準的に使いたいとき※1	“有料標準” または “高速標準”
有料道路をできるだけ使いたくないとき※1	“有料回避” または “高速回避”
フェリー航路を標準的に使いたいとき※1	“フェリー標準”
フェリー航路をできるだけ使いたいとき※1	“フェリー優先”
フェリー航路をできるだけ使いたくないとき※1	“フェリー回避”
登録道を使って探索するとき※3	“登録道を使う”
次の立寄地を飛ばすとき※1	“立寄地送り”

※1 **操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

※2 自車位置が案内中のルート上にないときは、操作できません。

※3 あらかじめ登録道を設定し、よみを登録したものについては、登録道名称を発話し **操作** または **場所** を押すと、ルートが探索されます。

次の案内を音声で聞く

操作内容	発話内容
次の案内地点の案内を音声で聞く	“次の案内”

ルートを確認する

操作内容	発話内容
ルートプロフィールでルートを確認する	“ルートプロフィール” または “ルートを確認”

ルートの消去

操作内容	発話内容
案内中のルートを消す※4	“ルート消去”

※4 “ルート消去” と発話後  または  を押すと、ルートが消去されます。

VICIS情報を確認する

操作 を押して“ビックス情報”と発話後、または直接発話して操作します。

■VICISの図形情報や文字情報を見る

“ビックスエフエム図形情報”または“FMレベルツー”、“ビックスエフエム文字情報”または“FMレベルワン”と発話すると、VICISの図形情報や文字情報の画面に切り替わります。以降は、タッチボタンの操作でVICIS情報を確認してください。

■VICIS放送局を選局する

“ビックス放送局”と発話すると、「VICISの放送局名をどうぞ」と応答メッセージが返されます。“ビックス横浜”などの放送局名を発話すると、指定したVICIS放送局が選局されます。

メモ

- ビーコン情報を取得するには、VICIS用ビーコンユニット（別売）が必要です。
- VICIS放送局選局の設定を「オート」にしているときは、放送局の選局はできません。
- 「FM多重チューナーの設定」が「D-GPS」、「FM多重」のときは、選局できません。

音声認識語

VICIS図形・文字情報

操作内容	発話内容
FMの図形情報が知りたい	“ビックスFM図形情報”または“FMレベルツー”
FMの文字情報が知りたい	“ビックスFM文字情報”または“FMレベルワン”
ビーコンの図形情報が知りたい	“ビーコン図形情報”または“ビーコンレベルツー”
ビーコンの文字情報が知りたい	“ビーコン文字情報”または“ビーコンレベルワン”

VICIS放送局の選局

操作内容	発話内容
VICIS放送局を違う放送局に変えたい	“ビックス放送局”に続けて、VICIS放送局名を発話（例：“ビックス横浜”）

渋滞案内

操作内容	発話内容
ルート上の先の渋滞を知りたい	“渋滞案内”または“渋滞チェック”、“次の渋滞”
自転車周辺の規制情報を知りたい (ルート設定なし)	“渋滞案内”または“渋滞チェック”、“次の渋滞”

電話をかける

携帯電話が接続されているときは、音声操作で電話をかけることができます。

登録した場所にかける

登録地に電話番号とよみが入力されているときは、音声操作で電話をかけることができます。

登録した場所に電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“登録地へ電話をかける”と発話する

3 “ピッ”と音が鳴ったら、登録した場所の名前（よみ）を発話する

メモ

- 手順1～3の代わりに、**操作**または**場所**を押して、“〇〇（登録地のよみ）へ電話をかける”と発話することもできます。
- 同じよみで登録された地点が2か所以上あるときは、候補が表示されます。タッチキーでリストから候補を選んで**決定**にタッチするか、選択状態の候補にもう一度タッチして決定してください。

4 **操作**または**場所**を押す
登録地の電話番号が発信されます。

電話番号を発話してかける

電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“電話番号でかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、**操作**を押して、“電話番号でかける”、“電話番号で電話をかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、市外局番と市内局番を続けて発話する

メモ

市外局番と市内局番を分けて発話することもできます。

4 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

5 **操作**または**場所**を押す
発話した番号が発信されます。

携帯電話にかける

携帯電話の電話番号を発話して電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“携帯電話にかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、**操作**を押して、“携帯電話にかける”、“PHSにかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、最初の3桁を発話する

4 “ピッ”と音が鳴ったら、次の4桁を発話する

5 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの番号を発話する

6 **操作**または**場所**を押す
発話した番号が発信されます。

メモリダイヤルでかける

携帯電話から本機に転送した番号（メモリダイヤル）に電話をかけることができます。

メモリダイヤルに電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“メモリダイヤルでかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、**操作**を押して、“メモリダイヤルでかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、メモリダイヤルに割り当てられている名前（よみがな）を発話する

4 **操作**または**場所**を押す
選択したメモリダイヤルに割り当てられている番号が発信されます。

メモ

同じよみがなで登録されたメモリダイヤルが2つ以上あるときは、候補が表示されます。**場所**を押して選択し、**操作**を押して決定してください。

フリーダイヤルにかける

フリーダイヤルに電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“フリーダイヤルにかける”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、**操作**を押して、“フリーダイヤルにかける”と発話することもできます。

3 “ピッ”と音が鳴ったら、0120の次の3桁を発話する

4 “ピッ”と音が鳴ったら、残りの3桁を発話する

5 **操作**または**場所**を押す
発話した番号が発信されます。

リダイヤルでかける

発信履歴の最新の1件に電話をかけることができます。

リダイヤルで電話をかけることができます。

1 **操作**を押して、“電話をかける”と発話する

2 “ピッ”と音が鳴ったら、“リダイヤル”と発話する

メモ

手順1と2の代わりに、**操作**を押して、“リダイヤル”と発話することもできます。

3 **操作**または**場所**を押す
リダイヤルが始まります。

テレビ・ビデオを操作する

操作 を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

- 本機のソースが“テレビ”になっていないときは、選局操作はできません。“テレビにする”と発話して、ソースをテレビにしてください。
- テレビ局名またはチャンネル番号を指定して選局できるのは、チャンネルリストに表示されるチャンネルだけです。
- ビデオに切り替わる設定になっていないときは、ビデオには切り替わりません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをテレビにする	“テレビにする”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
ソースをビデオにする	“ブイティーアールにする” または “ビデオにする”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー”

選局操作

操作内容	発話内容
他のチャンネルに切り替える	“次のチャンネル” または “前のチャンネル”、“次の放送局” または “前の放送局”、放送局名を発話（例：“エヌエイケー総合”）、チャンネル番号を発話（例：“4チャンネル”）
バンドを切り替える	“バンド切り替え” または “バンドを変える”

DVDを操作する

操作 を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがDVDになっていないときは、チャプター操作はできません。“DVDにする”と発話して、ソースをDVDにしてください。

また、DVDが入っていない場合はソースをDVDにすることはできません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをDVDにする	“DVD（ディーバイディー）にする”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー”

チャプター操作

操作内容	発話内容
チャプターを切り替える	“チャプターアップ” または “チャプターダウン”※
タイトルを切り替える	“タイトルアップ” または “タイトルダウン”

※ “チャプターダウン” は、チャプターの先頭に戻ります。

CDやMP3ディスクを操作する

音楽CDやCD-ROM/R/RWに記録されたMP3ファイルを操作することができます。

操作を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがCDまたはMP3になっていないときは、選曲操作はできません。“CDにする”または“MP3にする”と発話して、ソースをCDまたはMP3にしてください。

また、CDやCD-ROM/R/RWが入っていない場合はソースをCDやMP3にすることはできません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをCDにする	“CDにする” または “CDを聴く”
ソースをMP3にする	“MP3（エムピースリー）にする” または “MP3（エムピースリー）を聴く”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー”

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを指定して再生する ^{※1}	“○（1,2,3...）曲目を聴く”
トラックを切り替える	“トラックアップ” または “トラックダウン” ^{※2}
フォルダを切り替える ^{※1}	“フォルダーアップ” または “フォルダーダウン”

※1 MP3の機能です。

※2 “トラックダウン”は、曲の先頭に戻ります。

ミュージックサーバーを操作する

ミュージックサーバーに録音されている音楽を操作することができます。

操作を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

- 本機のソースがミュージックサーバーになっていないときは、選曲操作はできません。
“ミュージックサーバーにする”と発話して、ソースをミュージックサーバーにしてください。
- CDを録音中には選曲操作はできません。

■プレイリストまたは曲を探す

“プレイリストを探す”または“曲を探す”と発話すると、“プレイリスト名をどうぞ”または“曲名をどうぞ”と応答メッセージが返されます。プレイリスト名または曲名を発話すると、指定したプレイリストまたは曲が再生されます。

メモ

- 同じよみのプレイリストまたは曲名が2つ以上あるときは、候補が表示されます。**場所**を押して選択し、**操作**を押して決定してください。
- PCカード内のMP3ファイルは、音声操作できません。
- 音声操作で選曲可能なプレイリストまたは曲の一覧を表示します。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをミュージックサーバーにする	“ミュージックサーバーにする”または“ミュージックサーバーを聴く”
画面を切り替える	“画面を変える”または“画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする”または“ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする”または“ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする”または“ピーインピー”

選曲操作

操作内容	発話内容
プレイリストを探す※4	“プレイリストを探す” または “プレイリスト”
プレイリストを切り替える	“プレイリストアップ” または “プレイリストダウン”、“次のプレイリスト” または “前のプレイリスト”
トラックを指定して再生する※4 (トラックナンバーダイレクト指定)	“○ (1,2,3...) 曲目を聴く”
トラックを探す※1※2※4	“曲を探す” または “トラックを探す”
トラックを切り替える	“トラックアップ” または “トラックダウン”※3
トラックタイトルを指定して再生する※2※4 (トラックタイトルダイレクト指定)	“○ (トラックタイトルよみ)”

※1 ボイスヘルプで認識可能なタイトルのよみが一覧で表示されます。

「次のページ」、「前のページ」と発話するか、**次のページ** **前のページ** にタッチするとページ送りができます。

※2 再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。

※3 “トラックダウン” は、曲の先頭に戻ります。

※4 “ヒットチャートプレイ中は使えません。”

MDを操作する

操作を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがMDになっていないときは、選曲操作はできません。“MDにする”と発話してソースをMDにしてください。

また、MDが入っていない場合はソースをMDにすることはできません。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをMDにする	“MDにする” または “MDを聴く”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、 “ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー”

選曲操作

操作内容	発話内容
トラックを切り替える	“トラックアップ” または “トラックダウン”※

※ “トラックダウン” は、曲の先頭に戻ります。

ラジオを操作する

操作 を押して“AV操作”と発話後、または直接発話して操作します。

メモ

本機のソースがラジオになっていないときは、選局操作はできません。“ラジオにする”と発話してソースをラジオにしてください。

音声認識語

映像・音声の操作

操作内容	発話内容
ソースをOFFにする	“ソースオフ”
ソースをラジオにする	“ラジオにする” または “ラジオを聴く”
ソースを交通情報にする	“交通情報にする” または “交通情報を聞く”、“トラフィックインフォメーションを聞く”、“トラフィックインフォメーションにする”
画面を切り替える	“画面を変える” または “画面切り替え”
2画面表示にする	“2画面にする” または “ピーサイドピー”
2画面の左右入れ替え	“画面入れ替え”
1画面表示にする	“1画面にする” または “ピーサイドピー解除”、“ピーインピー解除”
子画面表示にする	“子画面にする” または “ピーインピー”

選局操作

操作内容	発話内容
AM放送とFM放送を切り替える	“AMにする” または “FMにする”、“AMを聴く”、“FMを聴く”、“AM”、“FM”
他の放送局に切り替える	“次の放送局” または “前の放送局”、“次のチャンネル”、“前のチャンネル”、放送局名を発話（例：“エヌエイチケー第1”）
バンドを切り替える	“バンド切り替え” または “バンドを変える”

その他の操作をする

操作を押して“その他の操作”と発話後、または直接発話して操作します。

■ 気象情報を見る

気象状況を地図上に表示させることができます。予報データの取得が終わると、現在地画面では自車位置、スクロール画面では十字カーソル位置の天気が、マークで表示されます。(天気予報は3時間ごとに更新され、常に最新の天気予報が表示されます。)

音声認識語

気象情報

操作内容	発話内容
天気予報が見たい	“気象情報を取得する”

地図の回転

操作内容	発話内容
自車の方位を反転する	“自車方位を反転する”
2D地図の回転を切り替えたい	“2D地図の回転を切り替える”

現在の日付・時刻

操作内容	発話内容
現在の時刻が知りたい	“現在の時刻を読み上げる”
現在の日にちが知りたい	“現在の日付を読み上げる”

FMオンエア連動表示

操作内容	発話内容
FMオンエア連動表示をONしたい	“FMオンエア連動表示”または“FMオンエア連動表示オン”
FMオンエア連動表示をOFFしたい	“FMオンエア連動表示オフ”

ロゴマーク

操作内容	発話内容
周辺検索結果のロゴマークを消去させたい	“周辺検索結果を消去する”
ロゴマークを表示させたい	“ロゴマーク表示”または“ロゴマーク表示オン”
ロゴマークを消去させたい	“ロゴマーク表示オフ”

音声操作の設定を変える

ナビゲーションの利用状況に合わせて、音声操作に関する設定を変えることができます。

ボイスヘルプ

音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を、音声操作中に常に表示させるかどうかを設定します。(ただし走行中は表示されません。)

メモ

ボイスヘルプの設定は、「オート」と「マニュアル」を切り替えることができます。

→「設定を変更する」(109P)

オーディオミュート

オーディオミュートとは、音声認識時や携帯電話での通話時に自動的にカーステレオの音量を下げる機能のことです。→『オーディオブック』、「音声案内がよく聞こえるようにする」

話者学習していない人が使うときは

本機は、通常の音声操作中も使用者の発声の特徴を学習しています。したがって、音声認識話者学習(209P)をしていない人が音声操作すると異なる発声の特徴が学習され、本来の使用者の発話が誤認識される原因になります。

話者学習していない人が音声操作するときは、「音声認識話者学習」(117P)をOFFにしてください。

検索できるジャンルの種類

ジャンル名の指定のしかた

周辺施設を探すときは、次のジャンル名が発話できます。

メモ

サブジャンル（“出光”、“セブンイレブン” など）を直接発話することもできます。

ジャンル名	読みかた
駅	“えき”
ガソリンスタンド	“ガソリンスタンド” または “スタンド”、“ガソリン”
コンビニ	“コンビニエンスストア” または “コンビニ”
ファミリーレストラン	“ファミリーレストラン” または “ファミレス”
ファストフード	“ファストフード” または “ファーストフード”
駐車場	“ちゅうしゃじょう”
カー用品店	“カーようひんてん” または “カーようひん”
カーディーラー	“カーディーラー” または “ディーラー”
スーパー	“スーパー”
家電店	“かでんてん” または “でんきや”
ディスカウントストア	“ディスカウントストア” または “ディスカунター”
デパート	“デパート” または “ひゃっかてん”
衣料品店	“いりょうひんてん” または “ようふくや”
スポーツ用品店	“スポーツようひんてん” または “スポーツようひん”
ATM*	“エーティエム”
都市銀行	“としぎんこう” または “ぎんこう”
地方銀行	“ちほうぎんこう”
第2 地方銀行	“だいにちほうぎんこう”
その他金融機関	“そのたきんゆうきかん”
公共施設	“こうきょうしせつ”
グルメスポット	“グルメスポット” または “グルメ”、“しょくじ”
宿泊施設	“しゅくはくしせつ”

※ ATMのサブジャンル名を直接発話する場合は、“周辺の〇〇銀行ATM”と発話してください。

ジャンル名	読みかた
プレイスポット	“プレイスポット”
スポーツスポット	“スポーツスポット” または “スポーツ”
文化スポット	“ぶんかスポット”
自動車関連施設	“じどうしゃかんれんしせつ”
小売店	“こうりてん” または “おみせ”
病院	“びょういん”
トイレ	“トイレ”
レンタカー	“レンタカー”
おもちゃ屋	“おもちゃや” または “おもちゃてん”
ホームセンター	“ホームセンター”
薬局	“やっきょく”
教育施設	“きょういくしせつ”
道の駅	“みちのえき”

ジャンル名の指定のしかた

施設名で場所を探す場合の対象ジャンル

施設名で場所を探すときは、次のジャンルの施設名を発話してください。

全国で認識可能なジャンル	隣接県まで認識可能なジャンル
フェリーターミナル	駅名
空港	高速施設
遊園地	キャンプ場
リゾート施設	動物園
ゴルフ場	植物園
スキー場	水族館
名所・旧跡	公園
城・城跡	競馬場
宿泊施設（ホテル、ビジネスホテル、旅館の一部）	競輪場
	競艇場
	オートレース場
	プラネタリウム・天文台
	野球場
	プール
	博物館
	美術館
	カー用品店
	牧場
	ホール
	展示場
	峠
	灯台
	温泉
	海水浴場

ドライブスケジュールを管理する

指定した時刻に、指定した機能を実行させることができます。(ドライブスケジューラー)

ドライブスケジューラーでは、次の機能を指定できます。

- ルート設定
- 周辺施設検索
- メッセージの表示
- DVD/CD/MP3の再生
- ミュージックサーバーの再生
- TVを見る
- ラジオ (FM/AM) を聴く
- MDの再生
- 設定済みスケジュールの再利用

ご注意

音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

メモ

- 2022年7月までのスケジュールを作成できます。
- 最大100件までのスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、指定した時刻にメッセージを表示する方法を説明します。

1

メニュー — **編集・設定** — **ドライブスケジューラー** にタッチする → 28P

ドライブスケジューラー画面が表示されます。



メモ

本日の日付には、緑の枠 (□) が付きます。

2

スケジュールを設定したい日付を選んでタッチする

メモ

- **前月**、**次月** にタッチすると、月送りされます。
- **今月** にタッチすると、今月の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されている日付を選ぶと、その日のスケジュールリストが表示されます。 **新規作成** にタッチしてください。



時刻の入力画面が表示されます。



3 スケジュールの実行時刻を入力する

→「文字の入力操作」(294P)

メモ

- 「00時00分」で入力します。
例：13時05分
また「00時00分～00時00分」で入力しておく、その時間帯にスケジュールが実行されます(本機が起動している場合のみ)。
- 起動時**を選んでタッチすると、その日の最初に電源をON(エンジンをON)にしたときにスケジュールが実行されます。手順5に進んでください。
- 設定済みのスケジュールと同じ時刻を入力したときは、最後に設定したスケジュールが実行されます。

4 入力終了にタッチする

項目を選択するメニューが表示されます。



5 メッセージを表示するにタッチする

文字の入力画面が表示されます。



メモ

すでにメッセージが登録されているときは、**新規作成**にタッチしてください。
また、登録済みのメッセージを選ぶことができます。

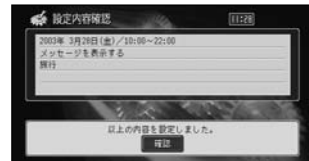
6 メッセージを入力する → 「文字の入力操作」(294P)

メモ

- メッセージは全角で30文字(半角で60文字)まで入力できます。
- メッセージは20件まで登録できます。20件を超えて登録しようすると、一番古いメッセージの消去を確認する画面が表示されます。

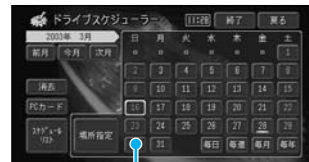
7 入力終了にタッチする

設定内容確認画面が表示されます。



8 確認にタッチする

カレンダー画面に戻ります。



スケジュールが設定されると、橙色の下線が付きます。

9 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

手順5で**メッセージを表示する**以外の項目を選んだときは、下表の「以降の操作」に従ってください。

項目	以降の操作
「ルートを設定する」	目的地・自宅を設定してルートを探ると、内容確認画面が表示されます。 →「場所を探す」(42P)
「周辺施設を探す」	探したい施設を指定すると、内容確認画面が表示されます。 →「場所を探す」(36P)
「DVD/CD/MP3を聴く」	内容確認画面が表示されます。
「ミュージックサーバーを聴く」	プレイリストまたはトラックを指定すると、内容確認画面が表示されます。
「TVを見る」	チャンネルを指定すると、内容確認画面が表示されます。
「FMを聴く」	放送局を指定すると、内容確認画面が表示されます。
「AMを聴く」	放送局を指定すると、内容確認画面が表示されます。
「MDを聴く」	内容確認画面が表示されます。
「スケジュールリストから選ぶ」	スケジュールのリスト* ¹ が表示されます。スケジュールを選ぶと詳細確認画面* ² が表示されます。

※1「スケジュールリストから選ぶ」を選ぶと、設定済のスケジュールリストが表示されます。

※2 確認したいスケジュールを選ぶと、設定スケジュールの詳細確認画面が表示されます。

決定を選ぶと、その設定済みスケジュールが選択され、内容確認画面が表示されます。

毎日、毎週、毎月、毎年でスケジュールを作成する

「スケジュールを作成する」(236P)の手順2で、**毎日**、**毎週**、**毎月**、**毎年**のいずれかを選び、最初に行う日を決めます。以降の操作手順は、「スケジュールを作成する」と同じです。

毎日 毎日、同じ時刻に指定した機能を実行する。

毎週 毎週、同じ曜日の同じ時刻に指定した機能を実行する。

毎月 毎月、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。

毎年 毎年、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。

スケジュール実行時の確認画面

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージが表示されます。



メッセージに従って操作してください。

メモ

- 実行できなかったスケジュールがあると  が地図上に表示されます。タッチするとスケジュールリスト画面になります。
- 「場所指定」にて設定した目的地・自宅が変更または消去された場合はスケジュールは実行されません。
- 指定日時にナビゲーションの電源がONになっていないなど本機がスケジュールを実行できない状態にあった場合、スケジュールを実行しないことがあります。

スケジュールを確認する

日付からスケジュールの設定内容を確認することができます。

1 メニュー — 編集・設定 — ドライブスケジュール — にタッチする

→28P

ドライブスケジュール画面が表示されます。



2 確認したい日付を選んでタッチする

スケジュールのリストが表示されます。



3 確認したいスケジュールを選んでタッチする

詳細確認画面表示されます。



4 戻る にタッチする

一つ前の画面に戻ります。

スケジュールの実行を場所で指定する

スケジュールの実行を、時刻ではなく、場所で指定することができます。

指定した場所に近づく、スケジュールが実行されます。

メモ

- スケジュールが実行できない状態の場合、30分経過後実行可能な状態になります。（「自宅」、「目的地」以外）
- 指定した場所から500m以内に近づく、とメッセージが表示されます。しかし他に優先度の高いメッセージが表示されていた場合は、そのメッセージ表示終了後に表示されます。
- 目的地に設定したスケジュールは、案内終了時に実行されます。

■新規作成する

1

メニュー - **編集・設定** - **ドライブスケジューラー**にタッチする

→28P

ドライブスケジューラー画面が表示されます。

2

場所指定にタッチする

場所を探す方法のリストが表示されます。



■メモ

場所指定でスケジュールが作成されているときは、スケジュールのリストが表示されます。**新規作成**にタッチしてください。

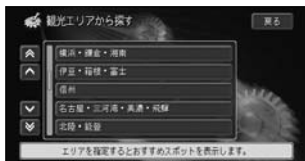
3

場所を探す方法を選んでタッチする

4

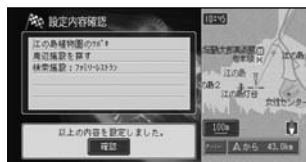
場所を探す → 「場所を探す」(29P)

項目を選択するメニューが表示されます。



5

項目を選んでタッチする → 「スケジュールを作成する」(236P)
設定内容確認画面が表示されます。



6

確認にタッチする

ドライブスケジューラー画面に戻ります。

7

終了にタッチする

地図画面に戻ります。

■設定内容を確認する

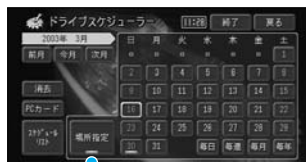
場所を指定して作成したスケジュールの設定内容を確認したり、場所の指定を変更することができます。

1

メニュー - **編集・設定** - **ドライブスケジューラー**にタッチする

→28P

ドライブスケジューラー画面が表示されます。



場所指定のスケジュールがあると、
橙色の下線が付きます。

2

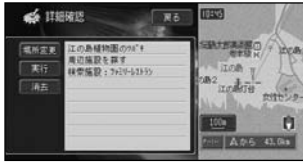
場所指定にタッチする

スケジュールのリストが表示されます。



3 確認したいスケジュールを選んでタッチする

詳細確認画面が表示されます。



メモ

- **場所変更** にタッチすると、場所の指定を変更することができます。
- **消去** にタッチすると、スケジュール消去の確認メッセージが表示されます。

スケジュールリストを見る

設定されているスケジュールの一覧を確認したり、各スケジュールで指定されている機能を動作させることができます。

1 メニュー - 編集・設定 - ドライブスケジュール - にタッチする

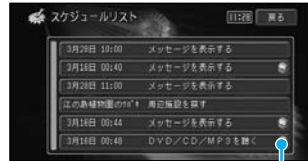
→28P

ドライブスケジュール画面が表示されます。



2 スケジュールリスト に タッチする

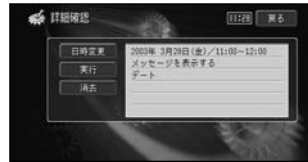
スケジュールリストが表示されます。



実行済み (🕒)、実行できず (🕒) を区別して表示されます。

3 確認したいスケジュールを選んでタッチする

詳細確認画面が表示されます。



メモ

- **実行** にタッチすると、指定された機能が実行されます。
- **消去** にタッチすると、消去を確認するメッセージが表示されます。

スケジュールの日時または場所を変更する

日時指定の場合は日時、場所指定の場合は場所を変更することができます。

- 1 **メニュー** - **編集・設定** - **ドライブスケジュール** にタッチする
→28P
ドライブスケジュール画面が表示されます。

- 2 変更したいスケジュールの詳細確認画面を表示させる →239P



- 3 **日時変更** または **場所変更** にタッチする

以降の操作手順は、日時指定の場合は「スケジュールを作成する」(236P)、場所指定の場合は「スケジュールの実行を場所で指定する」(239P) と同じです。

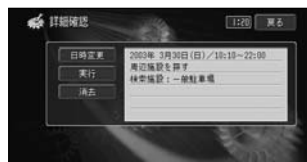
メモ

「自宅」、「目的地」に設定したスケジュールの場所変更はできません。

スケジュールを消去する

- 1 **メニュー** - **編集・設定** - **ドライブスケジュール** にタッチする
→28P
ドライブスケジュール画面が表示されます。

- 2 消去したいスケジュールの詳細確認画面を表示させる →239P



- 3 **消去** にタッチする
消去を確認するメッセージが表示されます。

- 4 **はい** にタッチする
選択したスケジュールが消去され、ドライブスケジュール画面に戻ります。

スケジュールを一括消去する

この操作では、次の項目ごとに、設定されている内容を一括消去することができます。

- スケジュール
- メッセージ

メモ

大事な設定は、PCカードに保存しておくことをおすすめします。

→「スケジュール・メンテナンスデータを管理する」(298P)

1

メニュー — **編集・設定** — **ドライブスケジューラー**にタッチする

→28P

ドライブスケジューラー画面が表示されます。

2

消去にタッチする

メニューを選択するリストが表示されます。



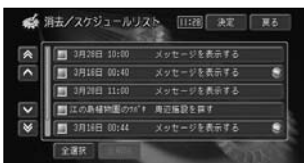
「スケジュール 全てのスケジュールリスト」 リスト

「メッセージ」 全てのメッセージリスト

3

消去したい項目を選んでタッチする

スケジュールまたはメッセージのリストが表示されます。



4

消去したい内容を選んでタッチする

選んだ項目には、チェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。



メモ

全選択にタッチすると、すべての内容が選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したい項目にタッチしてください。

5

決定にタッチする

消去を確認するメッセージが表示されます。

6

はいにタッチする

選択した内容が消去され、ドライブスケジューラー画面に戻ります。

車両情報を管理する

車両メンテナンスでは、消耗品の交換時期や車検などの更新時期を設定しておく、交換または更新時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示することができます。

また車両設定では、車の情報を入力することにより、車両に合った有料道路料金の表示や駐車場の検索を行います。

エンジンオイルなどの交換時期を設定する

ここでは、エンジンオイルの交換時期を走行距離で管理する設定について説明します。

車両メンテナンスメニューでは、次の項目を管理することができます。

- エアフィルタ
- ATF
- エンジンオイル
- オイルエレメント
- ガラスコーティング
- タイヤ
- タイヤローテーション
- デフオイル
- バッテリー
- ブレーキパッド
- ブレーキフルード
- ボディコーティング
- マニュアルミッションオイル
- 冷却水/LLC
- ワイパーブレード
- 車検
- 任意保険
- 免許更新

1

メニュー — 編集・設定 — 車両

メンテナンス にタッチする

→28P

車両メンテナンス画面が表示されます。



2

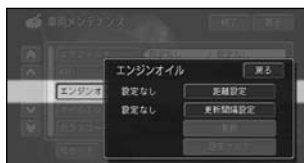
車両メンテナンス にタッチする



3

エンジンオイル にタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



距離設定 走行距離を設定する

更新間隔設定 更新間隔を設定する

更新 最新の設定に更新する

設定クリア すべての設定を未設定状態にする

メモ

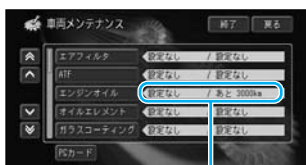
- **距離設定** は、3Dハイブリッドモード（145P）のときのみ選択できます。簡易ハイブリッド、「ND-PG1」接続時は選択できません。
- **更新** は、**距離設定** または **更新間隔設定** が設定されると選択できます。

- 4** **距離設定** にタッチする
距離の入力画面が表示されます。



- 5** 距離を入力する → 294P

- 6** **入力終了** にタッチする
車両メンテナンス画面に戻ります。



設定内容が表示される

車検・任意保険・免許更新の期日を設定する

ここでは、車検の更新期日を管理する設定について説明します。

- 1** **メニュー** — **編集・設定** — **車両メンテナンス** にタッチする
→ 28P

車両メンテナンス画面が表示されます。



- 2** **車両メンテナンス** にタッチする



- 3** **車検** にタッチする
操作を選択するメニューが表示されます。



日付／更新間隔設定 日付と更新期間を設定する

更新 最新の設定に更新する

設定クリア すべての設定を未設定状態にする

メモ

更新 は、**日付／更新間隔設定** が設定されると選択できます。

4 日付／更新間隔設定 にタッチする

日付の入力画面が表示されます。



5 日付を入力する→294P

6 入力終了 にタッチする

更新期間を選択するメニューが表示されます。



7 更新間隔を選んでタッチする

車両メンテナンス画面に戻ります。

お知らせの確認画面

車両メンテナンスを設定した期日が近づくと、本機の電源ON（エンジンON）時かつ走行画面にしているときに、次のようなお知らせのメッセージが表示されます。



メッセージに従って操作してください。

車両設定を行う

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路の料金案内に反映されます。

1 メニュー — 編集・設定 — 車両メンテナンス にタッチする→28P

車両メンテナンス画面が表示されます。

2 車両設定 にタッチする



3 設定する項目を選んでタッチし、設定内容を選択または入力する

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

有料道路	「中型車」「普通車」
料金区分	「軽自動車」から選ぶ
駐車制限	「3ナンバー」「RV」「1BOX」から選ぶ
長さ	車長を入力する
幅	車幅を入力する
高さ	車高を入力する

各項目設定後、**入力終了**または**戻る**にタッチすると車両設定画面に戻ります。

有料道路料金区分 にタッチしたときは、区分を選択すると自動的に車両設定画面に戻ります。

メモ

- **有料道路料金区分** と **設定クリア** は、ルートが設定されている場合、または有料道路走行中は選択できません。
- **設定クリア** を選ぶと、設定内容が消去されます。

ETCの操作

ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC3」（別売）などを接続する必要があります。

操作については、ETCユニットの取扱説明書と共にご覧ください。

メモ

- ETC (Electronic Toll Collection) とは、現在有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いに代わる、新しい料金収受システムです。料金所に設置されている路側アンテナと車両に装着した車載機との間で、無線通信を行って料金情報をやりとりします。このシステムによって、料金所をノンストップ・キャッシュレスで通過できます。

■ETCに関するお問い合わせ先

ETCの概念、計画、または提供される情報に関することは、下記へお問い合わせください。

国土交通省

TEL 03-5253-8111 (代)

日本道路公団ハイウェイガイド

TEL 03-3506-0333 (代)

受付時間 9:00～18:00

(土・日・祝日休)

首都高速道路公団 管理部営業課

TEL 03-3539-9345

阪神高速道路公団業務部営業管理課

TEL 06-6252-8121 (代)

本州四国連絡橋公団業務部営業課

TEL 078-291-1048

受付時間 9:00～17:30

(土・日・祝日休)

また、以下のホームページでもETCに関する情報を見ることができます。

国土交通省道路局ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/road/>

国土交通省道路局ITSホームページ

<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/>

日本道路公団ホームページ

<http://www.jhnet.go.jp/>

首都高速道路公団ホームページ

<http://www.mex.go.jp/>

阪神高速道路公団ホームページ

<http://www.hepc.go.jp/>

本州四国連絡橋公団ホームページ

<http://www.hsba.go.jp/>

利用履歴を確認する

ETCカードが差し込まれている場合、新しい利用履歴から100件分を確認できます。

1

メニュー — 編集・設定 — 車両
メンテナンスにタッチする

→28P

2

ETC情報にタッチする

3

利用履歴にタッチする



4

利用履歴を確認する



メモ

カードに記憶されている100件分の利用履歴が表示できます。

前納料金を設定する

前納した料金を入力し、設定した金額以下になるとルート案内開始後、ETCゲート通過後にお知らせすることができます。

メモ

- ETCゲートから有料道路に入り、ETCゲートから有料道路を出た場合に、前納料金より減算されます。その為、ETCカードを料金所で手渡した、他の車でETCカードを支払った場合は、正しくお知らせできなくなります。再度設定し直してください。
- 期間限定特別割引やETC前払い割引サービスなどを受けている場合などは、割引金額を加算したご利用できる金額を入力してください。

前納料金を入力する

1

メニュー — 編集・設定 — 車両
メンテナンスにタッチする

→28P

2

ETC情報にタッチする

3

前納料金設定にタッチする



4

数字キーにタッチして前納した料金を入力する



5

入力終了にタッチする
ETC情報画面に戻ります。

お知らせ金額を設定する

1 メニュー — 編集・設定 — 車両
メンテナンス にタッチする
→28P

2 ETC情報 にタッチする

3 お知らせ金額設定 にタッチする



4 数字キーにタッチしてお知らせする金額を入力する



5 入力終了 にタッチする
ETC情報画面に戻ります。

お知らせ画面が表示されたとき

お知らせは、ルート案内開始時やETC通過後に表示されます。確認画面の指示に従って操作してください。



メモ

お知らせ画面は約8秒間表示されます。

前納料金の設定をクリアする

前納料金設定、お知らせ金額設定をクリアすることができます。

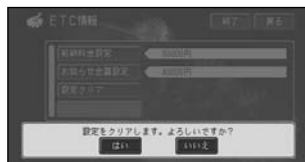
1 メニュー — 編集・設定 — 車両
メンテナンス にタッチする
→28P

2 ETC情報 にタッチする

3 設定クリア にタッチする



確認画面が表示されます。



4 はい にタッチする
設定がクリアされ、ETC情報画面に戻ります。

前納料金を設定する／前納料金の設定をクリアする

ヘルプネットの操作

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」（別売）をインストールすることで利用することができます。操作については、ヘルプネットディスクの取扱説明書と共にご覧ください。

メモ

本機にcdmaOne™の携帯電話（パケット通信には非対応）を接続してヘルプネットに通報すると、車両や現在地情報を送信後、いったん電話が切れ、オペレーターからの呼び返し待ちになります。

通報する

エンジンスイッチがACCまたはONのときに緊急通報を開始します。

1

緊急事態が発生したら、

メニュー — **ヘルプネット** にタッチする



2

緊急通報 にタッチする

緊急通報をしていることや車両の現在の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。



その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



3

状況を説明する

オペレーターは着信データを見ながら通信者に対応します。また要請により最寄りの救援機関窓口へ電話回線を接続します。



通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。

メモ

自分から **操作** ボタンにより通話を切った場合でも、自動着信待ち（呼び返し待機）になります。



通話終了後、約10分間自動着信待ちの状態となります。このあいだにオペレーターや救援機関から電話がかかって来た場合は、自動的に電話回線がつながります。



メモ

- 自動着信待ち後オペレーターまたは救援機関から電話がかかって来た場合は、詳細な位置確認をします。
- オペレーターや救援機関との通話はハンズフリーまたは、携帯電話から行なえます。
- 緊急通報を行う際の電話料金はお客様のご負担となります。
- 緊急通報開始するとき、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。
- 呼び返し待機中はナビゲーションのメニュー操作は行なえません。

システムの点検

■自動保守点検

ヘルプネットサービスが正しく受けられるように、(株)日本緊急通報サービスが定める期間ごとに自動的に保守点検が行われます。

1

エンジンをかける

次回保守点検予定日以降に携帯電話を接続しエンジンをかけた場合、10分後に、自動的に自動保守点検が始まり、ヘルプネットオペレーションセンターに電話をかけます。



自動保守点検が終了すると、自動的に電話は切れます。



メモ

- 自動保守点検が行われる際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 自動保守点検は、電話を利用して行われます。このため、自動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 自動保守点検開始するとき、通常の電話として使用中の場合は、約10分後に再び行われます。

■手動保守点検

ヘルプネットに加入したとき（サービス開始操作）や退会したときは、以下の操作を行って、車載機の保守点検と緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）の確認をしてください。

1

メニュー — **ハードウェア情報** に
タッチする →27P

2

ヘルプネット情報 にタッチする

ヘルプネット情報画面が表示されます。



3

手動保守点検開始 にタッチする

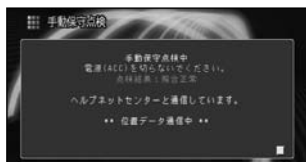
確認画面が表示されます。



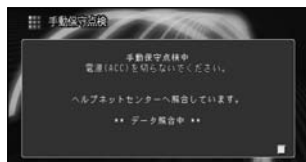
4

手動保守点検開始 にタッチする

手動保守点検が開始されます。画面の指示に従って、点検作業をすすめてください。



手動保守点検をしていることや車両の現在地の情報がヘルプネットオペレーションセンターに送られます。



その後ヘルプネットのオペレーターと通話できる状態になります。



オペレーターと通話します。

通話が終了するとオペレーターが電話回線の切断を行います。



5

確認 にタッチする

6

メニュー — **ハードウェア情報** に
タッチする →27P

7

ヘルプネット情報 にタッチする

ヘルプネット情報画面が表示されます。



8

緊急通報発呼の可（OK）/不可（NG）を確認する

ヘルプネットに加入した場合は (サービス開始操作)

「緊急通報発呼」が「OK」になっていることを確認してください。

ヘルプネットから退会した場合は

「緊急通報発呼」が「NG」になっていることを確認してください。

メモ

- 手動保守点検を行う際の電話料金は、お客様のご負担となります。
- 手動保守点検は、電話を利用して行います。このため、手動保守点検中は、通常の電話としては使えません。
- 手動保守点検を開始するときに、通常の電話として使用中の場合は、その通話は自動的に切られます。

ヘルプネット機能の消去

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」のインストールにより追加されたヘルプネット機能を消去します（アンインストール）。

メモ

ヘルプネット機能の消去は「緊急通報発呼」が「NG」のときのみ可能です。「OK」のときはメッセージが表示されます。

1

メニュー — **ハードウェア情報** に
タッチする →27P

2

ヘルプネット情報 にタッチする

3

ヘルプネット消去 にタッチする

4

はい にタッチする

ヘルプネット機能が消去されます。

修理後の確認操作

ナビゲーション本体を修理した場合、ヘルプネットに関する設定がリセットされそのままでは、ヘルプネット機能を使うことができない場合があります。修理後は必ずHELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」（別売）をインストールしてください。手動保守点検または車載機IDの契約変更手続きが必要になる場合があります。

困ったときには

操作ガイドを見る

操作ガイドには、基本操作や便利な使いかたをシミュレートする機能や、困ったときの対処方法を確認できる画面が用意されています。ここでは、基本操作を確認する方法を例に挙げて説明します。

メモ

操作ガイドは操作を擬似的に実行するため、以下の制約があります。

- 次の操作ガイドを実行すると、ルートが設定されているときは、そのルートは消去されます。
 - ー ルートを設定するには
 - ー 立寄地点を設定するには
 - ー 設定したルートを確認するには
- 登録などに関する操作ガイドは、登録件数の上限を超えると、選択できなくなることがあります。
- 「近くの施設を探すには」を実行したときに自車位置周辺にガソリンスタンドがないと、操作ガイドは途中で中止されます。

1

メニュー — **操作ガイド**にタッチする →27P

操作ガイドのメニュー画面が表示されます。



2

基本操作にタッチする

3

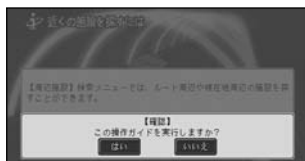
見たい項目を選んでタッチする
内容を説明する画面が表示されます。



4

確認にタッチする

操作ガイドを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5

はいにタッチする

操作ガイドが実行されます。
デモ中と表示されます



メモ

操作ガイドの説明は自動的に進みます。説明を中断するには、画面にタッチしてください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。
→『スタートブック』、「リセットのしかた」

それでも直らないときは

『スタートブック』、「保証書発行兼お客様登録カード」とアフターサービスをお読みにになり修理を依頼してください。

共通項目

■電源が入らない、動作しない

原因	処置
各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 →『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、「リセットのしかた」

■エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
本機で再生できない種類のディスクが入っている	ディスクを確認してください。 →『スタートブック』、「再生できるディスクの種類」

■映像の色が薄いまたは濃い、色あいがおかしい

原因	処置
色の濃さまたは色あいの調整が適切でない。	色の濃さまたは色あいを調整してください。 →『オーディオブック』、「画質調整」

■映像が明るいまたは暗い

原因	処置
コントラストの調整が適切でない。	コントラストを調整してください。→『オーディオブック』、「画質調整」

■液晶画面が暗い

原因	処置
明るさの調整が適切でない。	明るさを調整してください。 →『オーディオブック』、「画質調整」
車内の温度が低い	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがありますので、ヒーターで車内の温度を上げてください。

■音が出ない

原因	処置
音量が0になっている。	音量を上げてください。
5.1chDSPユニットの設定がONになっている。	接続を確認してください。 →『取付説明書』
接続が間違っている。	

■映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
パーキングブレーキをかけていない。	

■音が小さい

原因	処置
音量を下げている。	音量を上げてください。

■音や映像がとぶ

原因	処置
本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。→『取付説明書』

■前または後ろ、左または右のスピーカーから音が出ない

原因	処置
前後左右の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整してください。→『オーディオブック』、「前後左右の音量バランスを調整する」

■バックカメラに切り替わらない

原因	処置
バックカメラ入力の設定がOFFになっている。	バックカメラ入力をONに設定してください。 →『オーディオブック』、「バックカメラに切り替える」
リバースラインが接続されていない。	リバースラインを接続してください。
3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していない。	初期学習が終了するまでお待ちください。

ナビゲーション

■自車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは3Dハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3Dハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPS受信感度が低い。	GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。 →「衛星測位状態を見る」(140P) 車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 →「センサ学習状況を見る」(141P)
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。

■車のライトをONにしても夜画面に切り替わらない

原因	処置
車のライトと連動する設定になっていない。	「地図色切替」の設定を「イルミ連動」にしてください。 →「設定を変更する」(109P)
接続が間違っている。	接続を確認してください。 →『取付説明書』

■走行軌跡が表示されない

原因	処置
走行軌跡を表示しない設定になっている。	「走行軌跡表示」の設定を「ON」にしてください。 →「設定を変更する」(109P)

■3D学習度が表示されない

原因	処置
電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていない。	接続を確認してください。 →『取付説明書』

■ディスプレイにナビゲーションの画像が映らない

原因	処置
ナビゲーション本体の電源が入っていない。	正しく確実に接続されているかどうか確認してください。 →『取付説明書』
画面がナビゲーションの映像に切り替わっていない。	 を押してナビゲーションの画面に切り替えてください。

■映像が暗い

原因	処置
日没時刻が過ぎた。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。

■ナビゲーションの音が出ない/音が小さい

原因	処置
音量を下げている。	「音量設定」で、案内音量を上げてください(120P)。

■音声認識コントローラーがきかない

原因	処置
電池が消耗している。	電池を交換して、正しく入れてください。
電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	→『スタートブック』、「音声認識コントローラーに電池をセットする」

■誤差が大きくなった

原因	処置
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。
3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをクリアして(274P)、学習をやり直してください。

■インターネットなどの通信をするときのトラブル（デジタル携帯電話接続時）接続先に電話がかからない

原因	処置
接続先の電話番号が間違っている。	接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
携帯電話のコネクターの接続が間違っている。	コネクターの向きが逆になっていないかどうか確認してください。
携帯電話でダイヤルロックをかけたままになっている。	ダイヤルロックを解除してください。
携帯電話の電池が切れている、または携帯電話が故障している。	携帯電話を本機から外して、電話をかけることができるかどうか確認してください。
携帯電話がナビゲーションシステムを接続できるように設定されていない。	携帯電話側の設定を、接続端子を使用できるように変更してください。

■途中で電話が切れてしまう

原因	処置
お使いのデジタル携帯電話のサービスエリア外か電波の弱いところにいる。	サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。
接続ID、接続パスワードが間違っている。	接続ID、接続パスワードを確認してください。 とくに、数字の「0」（ゼロ）と英字の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」（アイ）などの区別や、英字の大文字/小文字の区別も確認してください。
プロバイダの接続項目が間違っている。	プライマリDNS、セカンダリDNSが正しく入力されているかどうかを確認してください（149P）。
電話番号が間違っている。	プロバイダの電話番号は変更されることがあります。 別のアクセスポイントを選んでください。 →「接続先の設定」（149P） それでもうまくいかない場合は、プロバイダから送付された資料にある電話番号を入力してください。
PIAFS対応のアクセスポイントを指定している。	PIAFS（PHS Internet Access Forum Standard）に対応していないアクセスポイントに変更して接続できるかどうか確認してください。
お使いのデジタル携帯電話が9600bpsのデータ通信に対応していない。	9600bpsのデータ通信に対応した、デジタル携帯電話をお使いください。 （パケット通信に対応した「cdmaOne™」は最大64kbps、「CDMA 2000 1X」は最大144kbpsで使用できます。）
機種に対応していないデジタル携帯電話を接続している。	対応している携帯電話かどうか、パイオニアのホームページで確認するか、「パイオニアカスタマーサポート」にお問い合わせください。

■ウェブページが表示されない

原因	処置
指定したウェブページが混み合っている。	しばらくしてから再度接続してください。
URLが間違っている。	大文字と小文字の間違いや「.」と「.」、「_」と「-」などの区別を確認してください。
DNSサーバーの設定が間違っている。	DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ウェブページに接続できません。
Proxyサーバーの設定が間違っている。	Proxyサーバーの設定を確認してください。Proxyサーバーの設定が正しくないと、ウェブページに接続できません。
SSL対応のウェブページを表示しようとしている。	本機ではSSLを使用しているウェブページは表示できません。

■ウェブページが表示されるまでに時間がかかる

原因	処置
接続先のサーバーに接続が集中している。	しばらくしてから再度接続してください。

■画像データが表示されない

原因	処置
ブラウザの環境設定の「画像データ読み込み」が「無」になっている。	「ブラウザの環境設定」(152P)の「画像データ読み込み」を「有」(画像を表示)にしてください。
画像のサイズが大きい。	サイズの大きい画像は表示できません。
本機では表示できない形式の画像(動画など)が使われている。	本機で表示できる画像データはGIF形式とJPEG形式のデータです。それ以外の画像データは表示できません。また、プラグインなどを必要とするデータも扱えません。
携帯電話の電波状態が安定していない。	電波状態が良い場所で停車して使用する。

■ウェブページの文字が正しく表示されない

原因	処置
本機で使用できない文字コードが使われている。	海外のウェブページなどには、本機で使用できない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは正しく表示されません。
携帯電話の電波状態が安定していない。	電波状態が良い場所で停車して使用する。

テレビ

■テレビの映りが悪い/“ジージー、ザーザー”という雑音が多い

原因	処置
チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →『オーディオブック』、「テレビの見かた」
放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →『オーディオブック』、「テレビの見かた」
周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。

■自動選局できない

原因	処置
強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →『オーディオブック』、「テレビの見かた」

DVD

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号（2またはALL）のディスクに交換してください。

■映像が見えない

原因	処置
走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
ナビゲーションの画面になっている。	 を押して画面を切り替えてください。

■音が出ない

原因	処置
静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
DTS専用のDISCである	DTSのアナログ再生には対応していません。

■視聴制限のメッセージが表示され、再生できない

原因	処置
視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」

■視聴制限を解除できない

原因	処置
暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」
暗証番号を忘れてしまった。	削除 に10回タッチし、暗証番号を解除します。 →『オーディオブック』、「視聴制限を設定する」

■音声言語、字幕言語が切り替えられない

原因	処置
複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
ディスクのメニューだけで切り替えできるように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。

■初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない

原因	処置
初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。

■アングルを切り替えて見ることができない

原因	処置
複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

■ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い

原因	処置
ディスクコピー禁止信号が入っている。 (ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出る場合があります。(故障ではありません。)

■⊙(禁止マーク) が画面に出て操作できない

原因	処置
ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
ディスクの構造上対応できない操作をしている。	

■画面が止まり、操作を受け付けない

原因	処置
ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	□にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD／MP3ディスク

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
2倍速録音になっている。	録音を停止し、録音速度を等倍速録音にしてください。→『オーディオブック』、「録音速度を設定する」
CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

■CD再生中に、大きな雑音が出る/CDの再生が途中で止まる

原因	処置
CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。改善されれば、CDの不良です。
CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。

MP3ファイル

■CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない

原因	処置
ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。

■MP3ファイルを再生できない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスク、PCカードに交換してください。
256kbsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。

■MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る/MP3ファイル再生中に音が出なくなる

原因	処置
MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-R/RW、PCカードを再生しないでください。)

■聞きたいMP3ファイルが見当つかない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスク、PCカードに交換してください。

■フォルダ名やファイル名が正しく表示されない

原因	処置
ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録したディスクに交換してください。

■MP3ファイル再生が、記録した順と異なる

原因	処置
MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

MD

■MDソースに切り替わらない

原因	処置
MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。

■MD再生中に大きな雑音が出る/MDの再生が途中で止まる/MDが自動的に出てくる

原因	処置
MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
MDにくもりや水滴がついている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。→『スタートブック』、『MDの正しい使いかた』
録音されていないMDを挿入した。	MDを交換してください。
MDが正しい方向で挿入されていない。	MDを取り出して正しい方向に挿入してください。 →『オーディオブック』、『MDの聞きかた』

ミュージックサーバー

■プレイリストが再生できない

原因	処置
プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 →『オーディオブック』、『再生しないプレイリストを設定する』
ポーズ（一時停止）がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →『オーディオブック』、『再生を一時停止する』

■CDが録音されていない

原因	処置
CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →『オーディオブック』、『CD録音の制限について』

■プレイリストのタイトル情報が取得できない

原因	処置
電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、「リセットのしかた」
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されないときは、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

ナビゲーション

メッセージ	処置
探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	途中に立寄地を設定してください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。	
行き先または出発地付近につながる案内対象道路がありません。	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
ハードディスクに異常があります。販売店にご相談ください。	ドライブ不良のエラーが1時間以内に3回発生した。	販売店にご相談ください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	ナビゲーション本体の内部温度が異常に低い。	車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。
高温のため動作できません。安全な場所に移動して、エンジンを切って、しばらくしてからエンジンをかけなおしてください。	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
データの受信待ちです。データの一部が取得できていません。	FM多重放送によるVICS情報がそろっていない、またはデータが不完全。	データが更新されるまで、しばらくお待ちください。
ビーコンが接続されていません。	VICS用ビーコンユニット(別売の「ND-B5」など)の接続が正しくない。	ビーコンユニットの接続を確認してください。
現在は情報がありません。	ビーコンからのVICS情報を取得していない。	ビーコンからのVICS情報が更新されるまで、しばらくお待ちください。
データの一部を消去しないと読み込むことができません。データを消去してください。	PCカードから登録地を読み込もうとし、本機の最大登録数を超えそうな場合。	PCカードから読み込ませる登録地の数を減らしてから読み込んでください。
これ以上保存できません。	既存グループに制限以上のデータを保存しようとした。	「新規グループ」を選んで保存してください。
	新規グループが作れない。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で一部のデータが保存できませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。
	PCカードの容量が不足している。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で画像の登録ができませんでした。	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。

DVD/CD/MP3ディスク

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
再生できません。ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →『オーディオブック』、「再生できるディスクの種類」
高温、または低温のため、DVD（CD）が再生できません。 ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されないときは、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

ミュージックサーバー

メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →『オーディオブック』『プレイリストを消去する』、『曲を消去する』
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

ETC

エラーNo.	メッセージ	原因	処置
エラー01	ETCカードが挿入不良です。	ETCカードの挿入不良です。	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
エラー02	ETCカードのデータが読み出せませんでした。	[ETCカード挿入時] 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。	再度挿入してください。それでもエラーNoおよびメッセージが表示される場合はお買上げの販売店にご相談ください。
		[利用時] 料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合があります。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー03	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNoおよびメッセージが表示される場合はETCカード発行者（クレジットカード会社など）にご相談ください。
エラー04	ETC車載機が故障しています。	本機の故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー05	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できませんでした。	正しいETCカードであることをご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラーNoおよびメッセージが表示される場合はお買上げの販売店にご相談ください。
エラー06	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	本機と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買上げの販売店にご相談ください。
	ETCが登録されていません。	セットアップ（車両情報の登録）が行われていません。	お買上げの販売店にてセットアップを行ってください。
エラー07	料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください。	本機と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買上げの販売店にご相談ください。
エラー09	ETC車載機が故障しています。	本機の故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。
エラー10	ETC車載機が故障しています。	本機の故障です。	お買上げの販売店にご相談ください。

ヘルプネット

メッセージ	原因	処置
緊急通報には携帯電話が必要です。携帯電話を接続して下さい。	起動時に、携帯電話が接続されていない。	携帯電話を接続してください。
携帯電話がロックされていますので、緊急通報が出来ません。ロックを解除してください。	起動時に、携帯電話がロックされている。	携帯電話のロックを解除してください。
現在の携帯電話は緊急通報には使用できない機種です。取扱説明書をご参照ください。	起動時に、未対応機種 の携帯電話が接続されている。	対応している携帯電話を接続してください。
携帯電話がロックされています。携帯電話のロックを解除の上、緊急通報を行ってください。	発信時に、携帯電話がロックされている。	携帯電話のロックを解除してください。
携帯電話が未対応機種のため、緊急通報はご使用になれません。最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	発信時に、未対応機種 の携帯電話が接続されている。	対応している携帯電話を接続してください。
只今、通信エラーのため通報できませんでした。5秒後に再接続します（秒数はカウントダウン表示されます）。そのまま、お待ちください。	通信エラーでリトライ 待ちをしている。	そのまま、お待ちください。
只今、圏外の為通報できませんでした。5秒後に再接続します（秒数はカウントダウン表示されます）。そのまま、お待ちいただくか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	圏外でリトライ待ちを している。	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今、発信規制のため通報できませんでした。5秒後に再接続します（秒数はカウントダウン表示されます）。そのまま、お待ちいただくか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	携帯電話の発信規制の ため、リトライ待ちを している。	そのまま、お待ちいただくか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は通信エラーのため、失敗しました。電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	緊急通報に失敗した。	電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は携帯電話が圏外のため、失敗しました。電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	圏外のため、緊急通報 に失敗した。	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。
只今の緊急通報は携帯電話が通信規制のため、失敗しました。電話の状態をご確認の上、緊急通報を行うか、又は最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。	携帯電話の発信規制の ため、緊急通報に失敗 した。	最寄りの公衆電話などから直接消防/警察へ連絡してください。

メッセージ	原因	処置
現在、緊急通報は使用できません。日本緊急通報サービスと契約済みの場合は車載機ID変更手続きを、解約中の場合は手動保守点検を行ってください。取扱説明書を参照ください。 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。実際の道路標識に従って走行してください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	日本緊急通報サービスと契約済みの場合は、車載機ID変更手続きを行ってください。解約手続き中の場合は、手動保守点検を行ってください。
現在、緊急通報は使用できません。日本緊急通報サービスと契約済みの場合は車載機ID変更手続きを、解約中の場合は手動保守点検を行ってください。取扱説明書を参照ください。 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。実際の道路標識に従って走行してください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	契約手続き中の場合は、車載機ID変更手続きを行ってください。未契約の場合は、手動保守点検を行ってください。
現在、緊急通報は使用できません。日本緊急通報サービスと契約後、手動保守点検を行ってください。	修理により、車載機IDが変更されたため。	「ハードウェア情報」内の「ヘルプネット情報」画面に表示されている車載機IDと、契約申込み時に記載した車載機IDが異なる場合は車載機ID変更手続きを行ってください。

画面が動かなくなった場合は

安全な場所に停車し、一度エンジンを切って、ACC OFFの状態まで戻してください。そして、再度エンジンをかけ、本機の電源を入れ直してください。それでも解決しないときは、ナビゲーション本体のリセットボタンを押してください。

頻繁にシステムエラーが発生する場合は

頻繁にエラーが発生しナビゲーションの電源が切れるときは、ナビゲーション本体のメモリーに不適切な内容が記録された恐れがあります。このようなときは、次の操作を実行してナビゲーション本体のメモリーをクリアしてください。（本機が自動で行う場合があります。）

エンジンをかけて本機の電源が入りオープニング画面が表示されている間、音声認識コントローラーの**（操作）**ボタンを押し続ける

「本体メモリをすべてクリアします。しばらくお待ち下さい。」とメッセージが表示されます。

メモ

- この操作を実行すると、次の設定は消去されるか、または工場出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。
消去される： 機能設定、ルート、学習ルート、回避エリア、AV設定、通信接続設定
消去されない： 登録地、登録道、ドライブスケジューラー、車両メンテナンス、ランドマーククリタイプ、音声認識話者学習、ブラウザ関連、受信メール、ウェザーライブ、メモリダイアル、ミュージックサーバー、センサ学習
- 壁紙をカスタマイズしていたときは、すべて工場出荷時の状態に戻ります（122P）。

センサメモリのリセットについて

センサ学習状態のリセットが必要な場合／センサ学習状態のリセットのしかた

古くなったタイヤを新しいタイヤと交換したり、夏用のタイヤと冬用のタイヤを交換した場合でも、自動的にセンサ学習を再学習するシステムを装備していますので、センサメモリをリセットする必要はありません。（走行状態によっては時間がかかる場合があります。）

また、必要に応じて、走行状況の学習結果を保存するセンサメモリ（学習メモリ）も切り替えられます。

メモ

- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際は、自動的にセンサ学習の補正ができませんので、手動でリセットしてください。
- 悪路（雪道など）を走行し、スリップした場合、自動でセンサ学習を再学習し直すことがあります。センサ学習を再学習させたくない場合は、センサメモリを切り替えてください。

センサ学習状態のリセットが必要な場合

- 本機の設置場所を変更した場合
- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
- 測位の誤差が大きくなった場合
- 「ND-PG1」接続時および簡易ハイブリッドモードでご使用の際にタイヤを交換した場合

センサ学習状態のリセットのしかた

1 必要に応じて学習メモリを切り替える

→次項の「学習メモリとは」

2 学習メモリをリセットする

メモ

学習メモリのリセットは「センサ学習状況」画面で行います。

→「ハードウェア情報を見る」(140P)

学習メモリとは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況（距離/方位/傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されている学習メモリに蓄積されます。センサメモリ1とセンサメモリ2の2つが用意されています。

メモ

- センサメモリ1とセンサメモリ2のどちらを使用するかは、切り替えることができます。
→「センサ学習状況」(141P)
- センサ学習状況は確認することができます。
→「センサ学習状況を見る」(141P)
- 学習メモリをリセットすると、「車線変更促し表示」(112P)の設定はOFFになります。

ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

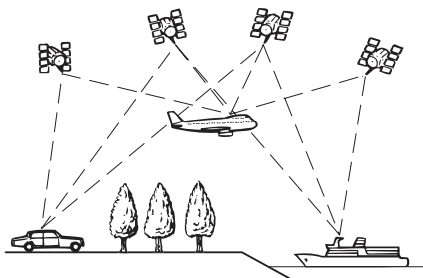
本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位の時よりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります。(高精度3Dハイブリッドシステム)

また、車速パルスの利用が困難な外国車やディーゼル車などでは、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することにより、3Dハイブリッドシステムを実現できます。(車種によっては、「ND-PG1」を接続できないこともあります。)

簡易ハイブリッドシステム

車速パルスが入力されないときは、簡易ハイブリッドシステムで測位します。簡易ハイブリッドシステムでは、傾斜計(Gセンサー)が車速パルスの代わりに車の移動距離の測定に使用されます。したがって、従来通りの水平方向のみの角度検出を行うハイブリッド測位となり、精度も低くなります。道路の傾斜の影響を受けるため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなる場合があります。

3Dハイブリッドセンサーの特長

● 高度差の測位も可能です

従来の平面的な測位の場合、立体交差や上下に有料道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは有料道路と一般道のどちらににいるのかの判断ができませんでした。

3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上下りも測位できるため、地図上は有料道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

● ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します

山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、従来は自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。

3Dハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

● 誤差の学習や補正を行います

ー3Dハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。

ー学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。

ー走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

メモ

3Dハイブリッドセンサーは、GPS衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS受信状態で1時間程度走行すると、精度が回復します。

■ディファレンシャルGPS (D-GPS)

GPS衛星は米国防総省の管理下にあるため、衛星からの電波には軍事的理由により、誤差が加えられる場合があります。また衛星からの電波が空気中を通ったときに誤差が生じます。これらの誤差により測位精度が低下します。

そこでGPS衛星からの電波を日本各地の施設で受信し、その施設の位置とGPS衛星からの位置情報を比較し、誤差を確認して、GPSの誤差補正データをFM多重電波で放送するしくみがディファレンシャルGPS (D-GPS) システムです。

内蔵のFM多重チューナーでD-GPSの情報を受信します

本機に内蔵のFM多重チューナー (VICSとの切り替え) で、5秒ごとに更新されるD-GPSの情報を受信します。この情報をもとに、本機内部で誤差の補正処理を行い、リアルタイムでGPS測位に反映します。このシステムは全国サービスで行われるので、エリア内ならどこでも高精度な測位が実現できます。

情報は全国JFN系列の放送局から発信しています

D-GPSの情報は、全国のJFN系列と独立系のFM放送局からFM多重電波を通じて放送されています。

D-GPS情報放送局 (2004年4月現在)

JFN系列：

FM北海道、FM青森、FM岩手、FM仙台、FM秋田、FM山形、ふくしまFM、FMぐんま、FM栃木、TOKYO FM、FM新潟、FM長野、静岡FM放送、FMとやま、FM石川、FM福井、岐阜FM、FM AICHI、FM三重、FM滋賀、fm osaka、FM岡山、FM山陰、広島FM放送、FM山口、FM香川、FM愛媛、FM徳島、FM高知、FM佐賀、FM福岡、FM長崎、FM中九州、FM大分、FM宮崎、FM鹿児島、FM沖縄 (全国37局)

独立系列：

Kiss-FM KOBE、FM京都、FM富士、横浜FM (4局)

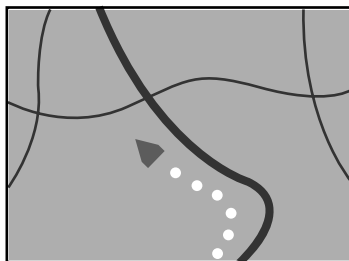
メモ

- 一部地域については、カバーされていない場合があります。
- D-GPS情報放送局は、自動的に選択されます。
- D-GPSを利用するには、「FM多重チューナーの設定」を「D-GPS」または「VICS/D-GPSダブル」に設定してください。→「設定を変更する」(109P)
- FM放送局が休止している時間帯は、D-GPSは利用できません。

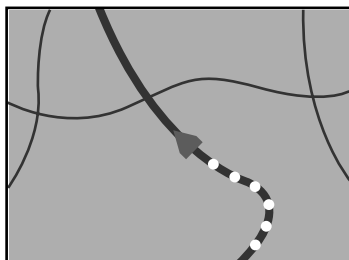
■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外 (例えば川の中) になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

■道路データについて

シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

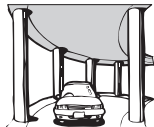
GPSや自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができます。ただし、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなる場合があります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

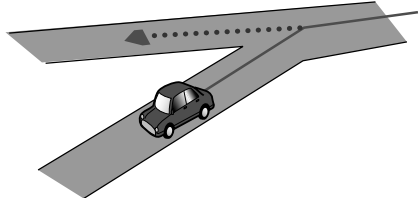
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
ー車載のテレビで56チャンネル（UHF）を受信している。
ーGPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS衛星自体による誤差

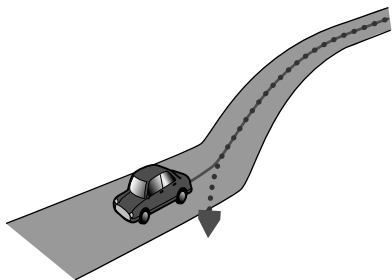
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約10m～100mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、最も良い精度が得られるようになっていきます。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



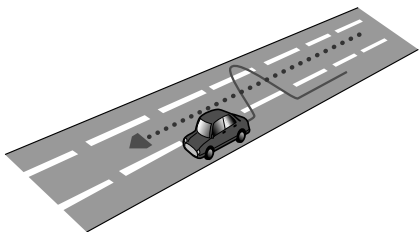
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



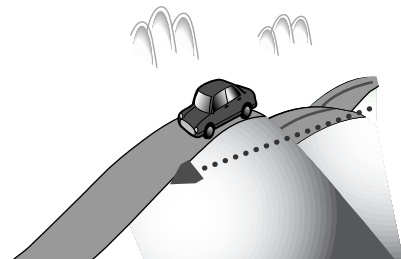
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



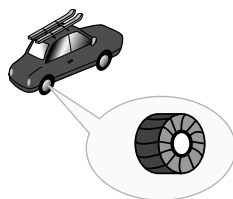
- 蛇行運転をした場合。



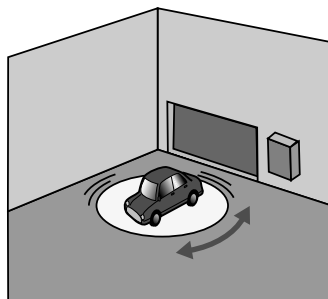
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



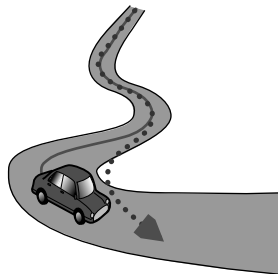
- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



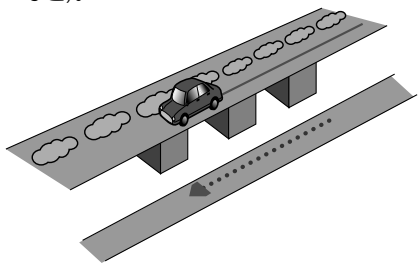
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



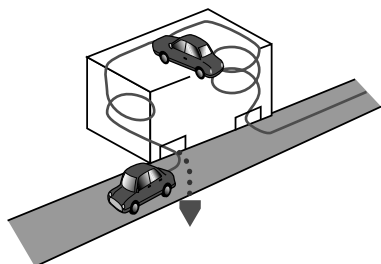
- ヘアピンカーブが続いた場合。



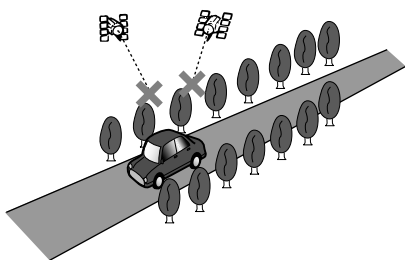
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



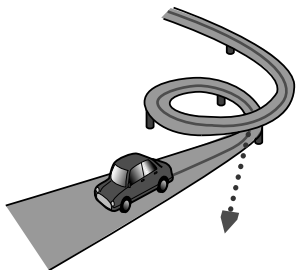
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



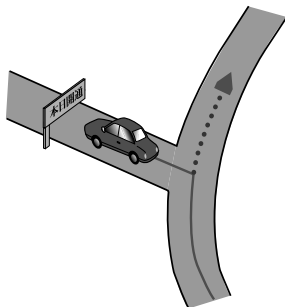
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



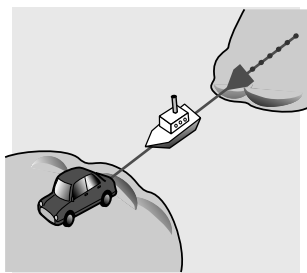
- ループ橋などを通った場合。



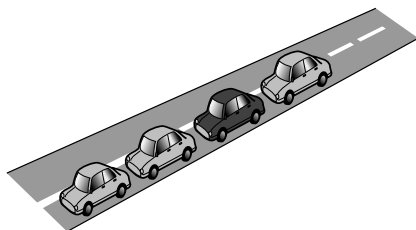
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



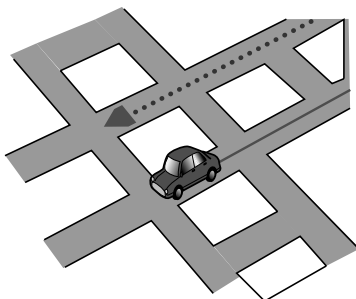
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換して間もない場合。

有料・高架道路での誤差について

有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが勾配を検知します。本機はこの勾配の検知とディスクに収録されている道路の高さ（勾配）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、勾配を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

低速時の位置精度について

車種によっては時速数km程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。その様な車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

駐車場マップについて

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムでは、位置精度が確保できない（上り下りの測位ができないなど）ため、正常に動作しません。
- 以下のような走行状況では、駐車場マップに切り替わらないことがあります。
 - ーしばらく右左折せずに長距離走行した後に進入した場合
 - ーUターンするような方向で進入した場合
 - ーバック信号が接続されていない場合
 - ー時速数km程度の低速で車速パルスが出力されない車種の場合
 - ー収録されていない駐車場経由で進入した場合
 - ー新設された入口から入場した場合

車線変更促し表示について

- 車速パルスを接続していない簡易ハイブリッドシステムや「ND-PG1」（別売）を使用しているときは、位置精度が確保できないため動作しません。
- 以下のような走行状況では、正しく車線変更促し表示が表示されないことがあります。また、誤って表示されることもあります。
 - ー渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合
 - ー蛇行運転をした場合
 - ー振動の多い車の場合
 - ー車線をまたいで走行した場合
 - ー初期学習があまりすすんでいない場合
 - ー車線変更禁止区間で車線変更した場合
 - ーナビゲーション本体が正しく取り付けられていない場合

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

季節の味覚スポット検索のデータについて

- 実際の農園と離れた場所が表示されることがあります。そのような場合は、その農園を管理している施設が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「タウンページ」約1100万件のデータと、訪問宅（個人宅）の約3900万件のデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、町村丁目レベルの代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ（am/pm、サンクス、スリーエフ、セブンイレブン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ローソン、サークルK、セイコーマート、セーブオン、スーパー、ココストア、ポプラ）・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。
- 2003年1月1日から20年分のカレンダー休日データを収録しています（2003年1月1日調査時点）。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

メモ

本品に誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあっても弊社は保障するものではありません。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

ご注意

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。本品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。また、曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索（登録道使用ルート、学習ルートを含む）は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。なお、シティマップに表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、シティマップ上でもルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。

- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や有料道路出口などを案内する音声自動的に設定されます。

ルート探索のしかた

- 出発地（自車位置）から最も近い、道路前方の交差点が第1案内地点となります。出発地を指定したときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 回避エリアを登録しても、その場所が回避されないことがあります。
- 渋滞考慮ルート設定、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 立寄地や登録道使用、乗り降りICの指定、および音声操作によるルート探索、自宅ボタンでの自宅ルート探索を行った場合、ルートは1本のみ探索されます。
- 最長5,000km程度までルート探索できます。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。

- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。
- ※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。（音声案内は継続されます。）

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路が直行する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内にあらわれます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向からあらわれます。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 「行き先・場所」メニューからインターチェンジなどの有料道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを探した場合、料金が正しく表示されません。有料道路に乗る前の地点を出発地としてルートを探してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 有料道路をまったく使用しないときは、「0円」と表示されます。

オートリルートについて

目的地、立寄地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをする、ルート設定に失敗し、画面にはメッセージが表示されない為、オートリルートが動かなかったように見えます。この場合は、目的地、立寄地の場所を変更する必要があります。

ルートアドバイザーについて

- 登録道が設定されていても、案内地からの距離などの条件で働かないことがあります。また、登録した道を必ず使用するとは限りません。

- ・オートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道情報があっても、案内地からの距離などの条件で働かないことがあります。またオートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道情報を必ず使用するとは限りません。

抜け道について

本製品に収録されている抜け道データは、昭文社提供のものを使用しています。細街路の抜け道はルート探索時に優先して使用されることはありません。

VICS情報に関する注意事項

FM多重放送について

- ・VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- ・一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- ・放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

ビーコンについて

- ・有料道路の高架下の一般道を走行中に、有料道路のビーコンを受信することがあります。
- ・ビーコンアンテナの前に金属などの遮蔽物を置かないでください。
- ・大型車と並走しているときなどに、ビーコンを受信できないことがあります。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、または表示された情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）

電話番号：0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）

PHSからは（東京）03-3592-2033
（大阪）06-6209-2033

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3592-5494（全国）

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

ETCに関する注意事項

ETC（Electronic Toll Collection）とは、現在有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いに代わる、新しい料金収受システムです。

料金所に設置されている路側アンテナと車両に装着した車載機との間で、無線通信を行って料金情報をやりとります。このシステムによって、料金所をノンストップ・キャッシュレスで通過できます。

メモ

ETCを利用するためには、本機にETCユニット「ND-ETC3」（別売）を接続する必要があります。

詳しくは、ETCユニットの取扱説明書を参照してください。

ETCに関するお問い合わせ先

ETCの概念、計画、または提供される情報に関することは、下記へお問い合わせください。

国土交通省

TEL 03-5253-8111（代）

日本道路公団ハイウェイガイド

TEL 03-3506-0333（代）

受付時間 9:00～18:00

（土・日・祝日休）

首都高速道路公団 管理部営業課

TEL 03-3539-9345

阪神高速道路公団業務部営業管理課

TEL 06-6252-8121（代）

本州四国連絡橋公団業務部営業課

TEL 078-291-1048

受付時間 9:00~17:30

(土・日・祝日休)

また、以下のホームページでもETCに関する情報を見ることができます。

国土交通省道路局ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/road/>

国土交通省道路局ITSホームページ

<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/>

日本道路公団ホームページ

<http://www.jhnet.go.jp/>

首都高速道路公団ホームページ

<http://www.mex.go.jp/>

阪神高速道路公団ホームページ

<http://www.hepc.go.jp/>

本州四国連絡橋公団ホームページ

<http://www.hsba.go.jp/>

ヘルプネットについて

HELPNETプログラムディスク「CNAD-HELP1」（別売）をインストールすると、ヘルプネットのサービスを利用することができます。

詳しくは、ヘルプネット「CNAD-HELP1」の取扱説明書をご覧ください。

メモ

本機にcdmaOne™の携帯電話（パケット通信には非対応）を接続してヘルプネットに通報すると、車両や現在地情報を送信後、いったん電話が切れ、オペレーターからの呼び返し待ちになります。

予報に関する注意事項

予報は、(株) ライフビジネスウェザー発表によるものです。

天気予報、季節予報（紫外線、杉花粉）の発表時刻は、4:00と16:00です。週間天気予報の発表時刻は、11:00と17:00です。最新の予報をご利用ください。

天気予報および週間天気予報は、全国を20キロメッシュの格子状に分割し、分割されたエリアの天気と気温の予報を表示します。

天気予報	約2日先までの予報が3時間おきに表示されます。
------	-------------------------

週間天気予報	1週間先までの予報が1日おきに表示されます。
--------	------------------------

地面の色は、天気を20キロメッシュごとに塗り分けたものです。

雨、大雨、雪、大雪は、以下の降水量を意味しています。

雨	降水量10mm/h未満
大雨	降水量10mm/h以上
雪	降水量5mm/h未満
大雪	降水量5mm/h以上

メモ

大雨や大雪の表現は、災害との関連を表しているものではありません。ご利用の際は、ご注意ください。

季節予報（紫外線、杉花粉）は、1日分の最大値が表示されます。

ご注意

この予報をもとに遂行された活動において発生したいかなる人物の損傷、死亡、所有物の損失、損害に対して、パイオニア株式会社と株式会社ライフビジネスウェザーでは、すべての求償の責は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

メモ

- ・(株) ライフビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は予告なく変更される場合があります。
- ・パイオニア株式会社ならびに株式会社ライフビジネスウェザーが提供する気象情報は、気象学を中心とした科学技術によって解析したプロダクトです。現状の科学技術では人知の及ばない要素を含んでいるため、局地的な地形などの効果や予想し得ない急激な変化により、現況と予報との差異が現れることがあります。

天気予報のデータ取得エリアについて**●東日本**

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、千葉、新潟、群馬の一部、埼玉の一部、東京の一部、神奈川の一部、富山の一部、長野の一部

●中日本

山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫の一部

●西日本

滋賀の一部、京都の一部、奈良の一部、和歌山の一部、大阪、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

メモ

本機では地図表示不可能な諸島やデータ取得エリア範囲外の諸島などは、気象情報の提供範囲外となる場合があります。(一部、地図表示可能な諸島でも、気象情報の提供範囲外となる場合があります。)

アメダス情報について

アメダス情報は、気象庁発表によるものです。

データは毎正時に観測されて発表されます。最新の情報(過去1時間以内のもの)をご利用ください。

全国各地のアメダスポイントごとに、下表に示されるデータが色分けされた四角(2D表示の場合)または棒グラフ(3D表示の場合)で、風向・風速が矢印で表示されます。

メモ

アメダス情報を見るときは、地図を20kmスケール以上にしてください。10kmスケール以下の詳細な地図では、アメダス情報は表示できません。

表示されるデータについて

データの種類	観測地点の数	表示単位
降水量	約1300か所	0.5mm単位
気温	約840か所	0.1℃単位
風向・風速	約840か所	16方位、 1m/s単位
日照時間	約840か所	0~60分、 1分単位
積雪量	約300か所	1cm単位
データ日時	—	毎正時

詳細市街地図収録エリアについて

本ディスクには、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95%以上(337都市)

多賀城市、新町、玉村町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、岩槻市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、上福岡市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、伊奈町、吹上町、大井町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、玉川村、川島町、吉見町、鳩山町、大里町、江南町、川本町、騎西町、南河原町、川里町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町、庄和町、千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、沼南町、酒々井町、印旛村、本笠村、大網白里町、九十九里町、成東町、山武町、蓮沼村、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、城山町、相模湖町、新湊市、下村、大島町、野々市町、石和町、竜王町、玉穂町、昭和町、田富町、大垣市、羽島市、瑞穂市、川

島町、岐南町、笠松町、柳津町、安八町、墨俣町、清水町、舞阪町、名古屋市、一宮市、半田市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、常滑市、江南市、尾西市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、東郷町、長久手町、西枇杷島町、豊山町、師勝町、西春町、春日町、清洲町、新川町、大口町、扶桑町、木曽川町、祖父江町、平和町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、十四山村、飛島村、弥富町、佐屋町、佐織町、阿久比町、東浦町、武豊町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町、御津町、桑名市、長島町、木曽岬町、楠町、朝日町、川越町、草津市、守山市、中主町、能登川町、向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、美原町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、揖保川町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、早島町、松茂町、北島町、赤岡町、春日市、志免町、那覇市、豊見城市

整備面積80%以上(31都市)

塩竈市、ひたちなか市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、群馬町、花園町、木更津市、栄町、白子町、あきる野市、藤野町、神戸町、輪之内町、北方町、新居町、春日井市、立田村、一色町、彦根市、近江八幡市、長岡京市、池田市、御津町、當麻町、和歌山市、船穂町、水巻町、宜野湾市、浦添市、南風原町

整備面積50%以上(93都市)

名取市、七ヶ浜町、利府町、富谷町、伊達町、水戸市、古河市、取手市、五霞町、上三川町、大胡町、吉岡町、赤堀町、明和町、大泉町、深谷市、越生町、小川町、岡部町、市原市、長柄町、秦野市、

松田町、津久井町、富山市、小杉町、大門町、寺井町、豊富村、双葉町、岐阜市、各務原市、平田町、坂祝町、兼山町、浜松市、三島市、焼津市、伊豆長岡町、蒲原町、雄踏町、岡崎市、豊川市、豊田市、犬山市、美浜町、四日市市、多度町、東員町、河芸町、御園村、野洲町、安土町、五個荘町、愛知川町、近江町、城陽市、木津町、岸和田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、泉南市、島本町、河南町、姫路市、加古川市、三木市、猪名川町、御所市、高取町、明日香村、新庄町、寄島町、府中町、徳島市、藍住町、高松市、松前町、高知市、北九州市、福岡市、久留米市、中間市、大野城市、太宰府市、宇美町、須恵町、新宮町、粕屋町、芦屋町、北茂安町

整備面積50%未満(954都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、上磯町、大野町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、静内町、音更町、幕別町、釧路町、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、野辺地町、盛岡市、宮古市、大船渡市、水沢市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、江刺市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、玉山村、紫波町、矢巾町、石鳥谷町、金ケ崎町、前沢町、大槌町、山田町、仙台市、石巻市、古川市、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、大河原町、柴田町、山元町、松島町、大和町、小牛田町、若柳町、迫町、矢本町、秋田市、能代市、横手市、大館市、本荘市、男鹿市、湯沢市、大曲市、鹿角市、鷹巣町、八郎潟町、角館町、十文字町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上市市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、余目町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、原町市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、国見町、保原町、川俣町、本宮町、鏡石町、河東町、会津高田町、矢吹町、石川町、三春町、船引町、日立市、土浦市、石岡市、下

館市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、水海道市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、岩井市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、茨城町、小川町、美野里町、内原町、常北町、大洗町、友部町、岩間町、岩瀬町、東海村、那珂町、瓜連町、大宮町、大子町、鉾田町、神栖町、波崎町、麻生町、玉造町、江戸崎町、美浦村、阿見町、新利根町、八郷町、千代田町、新治村、伊奈町、谷和原村、関城町、明野町、真壁町、協和町、八千代町、千代川村、石下町、総和町、猿島町、境町、藤代町、利根町、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、今市市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、黒磯市、南河内町、河内町、二宮町、茂木町、芳賀町、壬生町、石橋町、国分寺町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、藤原町、氏家町、烏山町、那須町、西那須野町、田沼町、桐生市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、北橋村、富士見村、宮城村、粕川村、新里村、榛名町、箕郷町、子持村、伊香保町、吉井町、下仁田町、甘楽町、松井田町、中之条町、草津町、白沢村、月夜野町、水上町、境町、尾島町、新田町、藪塚本町、笠懸町、大間々町、板倉町、千代田町、邑桑町、秩父市、飯能市、本庄市、名栗村、都幾川村、横瀬町、長瀬町、小鹿野町、美里町、児玉町、神川町、神泉村、上里町、妻沼町、寄居町、銚子市、館山市、佐原市、八日市場市、旭市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、下総町、大栄町、小見川町、多古町、東庄町、飯岡町、松尾町、横芝町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、長南町、御宿町、大原町、岬町、鋸南町、白浜町、千倉町、奥多摩町、山北町、清川村、新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、新津市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、栃尾市、糸魚川市、新井市、五泉市、白根市、豊栄市、上越市、阿賀野市、佐渡市、聖籠町、中条町、横越町、亀田町、岩室村、弥彦村、分水町、吉田町、巻町、西川町、田上町、栄町、小出町、塩沢町、荒川町、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、八尾町、婦中町、福光町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、松任市、かほく市、根上町、鶴来町、津幡町、内灘町、福井市、敦賀市、武生市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、松岡町、三国町、丸岡町、春江町、坂

井町、今立町、甲府市、富士吉田市、塩山市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、春日居町、牧丘町、勝沼町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、中道町、芦川村、三珠町、市川大門町、増穂町、鰍沢町、中富町、身延町、敷島町、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、上野原町、長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ケ根市、中野市、大田市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、臼田町、軽井沢町、御代田町、丸子町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、高森町、豊丘村、明科町、豊科町、穂高町、梓川村、池田町、小布施町、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津町、南濃町、養老町、垂井町、関ヶ原町、揖斐川町、池田町、武芸川町、富加町、川辺町、八百津町、笠原町、国府町、静岡市、沼津市、熱海市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、天竜市、浜北市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、東伊豆町、函南町、韮山町、大仁町、長泉町、小山町、富士川町、由比町、岡部町、大井川町、相良町、榛原町、吉田町、金谷町、大須賀町、小笠町、菊川町、大東町、森町、浅羽町、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村、細江町、豊橋市、瀬戸市、新城市、田原市、八開村、南知多町、額田町、藤岡町、足助町、下山村、旭町、音羽町、一宮町、渥美町、津市、伊勢市、松阪市、上野市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、久居市、いなべ市、菰野町、安濃町、一志町、嬉野町、三雲町、明和町、玉城町、二見町、小俣町、志摩町、阿児町、大津市、長浜市、八日市市、栗東市、志賀町、石部町、甲西町、水口町、甲南町、蒲生町、日野町、竜王町、湖東町、山東町、米原町、湖北町、高月町、安曇川町、新旭町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、京丹後市、井手町、宇治田原町、山城町、加茂町、笠置町、和束町、南山城村、園部町、八木町、若滝町、伊根町、河内長野市、和泉市、箕面市、豊能町、能勢町、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、龍野市、赤穂市、西脇市、小野市、三田市、加西市、篠山市、吉川町、社町、滝野町、福崎町、香寺町、上郡町、山崎

町、柏原町、氷上町、津名町、東浦町、西淡町、三原町、南淡町、奈良市、天理市、桜井市、五條市、都祁村、大宇陀町、菟田野町、榛原町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、下津町、野上町、打田町、那賀町、貴志川町、岩出町、かつらぎ町、高野口町、湯浅町、吉備町、美浜町、由良町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、淀江町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、平田市、鹿島町、東出雲町、大社町、岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸町、山陽町、日生町、牛窓町、邑久町、長船町、灘崎町、金光町、鴨方町、里庄町、真備町、落合町、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、因島市、福山市、府中市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、三次市、海田町、熊野町、坂町、江田島町、音戸町、大野町、能美町、大柿町、黒瀬町、瀬戸田町、向島町、沼隈町、神辺町、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、玖珂町、平生町、秋穂町、小郡町、山陽町、鳴門市、小松島市、阿南市、石井町、那賀川町、羽ノ浦町、板野町、上板町、鴨島町、脇町、池田町、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、内海町、土庄町、三木町、香川町、綾南町、飯山町、多度津町、三野町、豊中町、詫間町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、北条市、東予市、四国中央市、大西町、菊間町、重信町、砥部町、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、中村市、宿毛市、土佐清水市、野市町、伊野町、春野町、大牟田市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、山田市、甘木市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、小郡市、筑紫野市、宗像市、前原市、古賀市、那珂川町、福岡町、津屋崎町、岡垣町、遠賀町、鞍手町、宮田町、桂川町、稲築町、穂波町、庄内町、三輪町、夜須町、志摩町、大刀洗町、三潁町、広川町、瀬高町、大和町、三橋町、高田町、糸田町、川崎町、椎田町、吉富町、佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、諸富町、大和町、神埼町、千代田町、小城町、三日月町、塩田町、嬉野町、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村

市、福江市、平戸市、松浦市、壱岐市、三和町、多良見町、長与町、時津町、飯盛町、有明町、国見町、加津佐町、口之津町、西有家町、有家町、生月町、佐々町、熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、本渡市、山鹿市、牛深市、菊池市、宇土市、不知火町、松橋町、小川町、植木町、大津町、合志町、泗水町、西合志町、御船町、益城町、芦北町、五和町、大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、日出町、三重町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、佐土原町、三股町、高鍋町、門川町、鹿児島市、川内市、鹿屋市、枕崎市、串木野市、阿久根市、名瀬市、出水市、大口市、指宿市、加世田市、国分市、西之表市、垂水市、東市来町、宮之城町、加治木町、隼人町、志布志町、石川市、具志川市、平良市、石垣市、名護市、糸満市、沖縄市

オービスポイントについて

別売のオービスROM「CNAD-OP05H」を利用すると、全国599か所のオービスポイントを画面と音声の両方で、ねずみ取り目撃ポイント168か所の情報を音声で案内させることができます。（「CNAD-OP04」「CNAD-OP03HII」「CNAD-OP03D」は、使用できません）

オービスポイントを表示させるには

オービスポイントのマークを画面に表示させるには、「オービスポイント」の設定を「全ポイント」、「有料道のみ」、「一般道のみ」のいずれかにしてください。→「設定を変更する」（109P）

メモ

- オービスROMには、株式会社三栄書房のSSR委員会が確認したポイントのデータが収録されています。
- ロゴマーク（119P）の場合とは異なり、オービスポイントの詳細情報を表示させることはできません。

バックカメラを組み合わせる

市販のバックカメラを接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると後方の映像に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

メモ

- 「AV設定」－「入力出力設定」の「バックカメラ入力」を「ON」に設定してください。
- バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。

- ナビゲーションの3Dハイブリットセンサーの初期学習が終了していないときや、ナビゲーション起動中は、バックカメラには切り替わりません。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像はワイドモードの設定に関係なく、常に「フル」で表示されます。
- 画質調整画面表示中にバックカメラの映像に切り替えた場合は、画質調整画面が解除されます。
- バックカメラ中の音声は、選択中のソースのままです。

■バックカメラの映像を解除する

バックカメラの映像をナビゲーションの画像に切り替えるには、以下のようにします。

1

を押す

ナビゲーションの画像に切り替わります。

メモ

- 、、を押してもバックカメラの映像を解除することができます。
- バックカメラの映像を再度表示させるには、シフトレバーをいったん「R」（リバース）以外の位置にしてから、「R」に入れ直してください。

ナビゲーションの2画面表示

ナビゲーションの画像とテレビの映像を2画面表示させているときでも、ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーションの画像だけになることがあります。

メモ

- メニュー操作や音声操作をしたときなどは、ナビゲーションの画像が優先的に表示されます。（一時的に1画面になる場合もあります。）
- 地図の表示方法をツインビューに切り替えたときは、ツインビューの左側の地図がナビゲーションの画像になります。
- 地図の表示方法をドライバーズビューに切り替えたときは、ドライバーズビューのウィンドウマップ内の地図がナビゲーションの画像になります。
- 地図の表示方法をハイウェイモードに切り替えたときは、サイドマップの地図がナビゲーションの画像になります。
- 「AV画面割り込み表示」（117P）を設定していると、ソース画面の表示中でも交差点案内表示（ドライバーズビューまたは交差点拡大図の表示）が割り込み表示されます。
- 地図画面の  にタッチしてショートカットメニューを開く、または **微調整** にタッチすると、一時的に地図の1画面になります。

文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力する必要があります。

ここでは、メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。

メモ

英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が利用できます。

ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、登録地の「よみ」の場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字種を切り替える



全角・半角を切り替える



文字を入力する



無変換、変換を行う



文字入力を終了する

文字種を切り替える

1 入力切替 にタッチする

文字種が表示されます。



2 文字種を選んでタッチする。

文字種が切り替わります。

全角・半角を切り替える

カタカナ、英字、数字、記号の全角または半角を選びます。

1 全/半角 にタッチする

全/半角 にタッチすることにより、全角と半角が切り替わります。

文字を入力する

1 入力したい文字を選んでタッチする



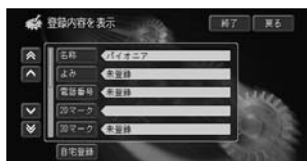
無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

1 ひらがなを入力する場合は**無変換**、漢字を入力する場合は**変換**を選んでタッチする

2 ひらがなを変換する場合は、候補から漢字を選んでタッチする
選んだ漢字が入力されます。

文字入力を終了する



1 **入力終了** にタッチする
メモ
戻る にタッチしても文字入力を終了し、入力内容は記憶されます。

漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字を入力します。

1 漢字表に切り替える → 「文字種を切り替える」(294P)



2 漢字を選んでタッチする
選んだ漢字が入力されます。

メモ

< または **>** にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

1 画面左上の **<・>** にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる
選んだ漢字が入力されます。



メモ

よみの場合は、**<・>** でカーソルを移動させることはできません。

2 削除にタッチする

タッチすると、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。



スペースを空ける

1 スペースにタッチする



文字を挿入する

1 画面左上の<・>にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる
カーソルの左側に文字を挿入することができます。



メモ

カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

改行する

1 改行にタッチする



メモ

改行は、Eメールやシグネチャーを編集するときに使用できます。

定型文を入力する

登録した定型文（177P）を引用することができます。

1

定型文にタッチする



定型文のリストが表示されます。



2

挿入する定型文を選び、決定にタッチする

メモ

定型文は、Eメールを作成したり、定型文を編集するときに使用できます。

PCカードの操作

PCカードは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや本機を使用している友人とのデータ交換などのように、本機をさらに活用するための補助記憶媒体として役立ちます。

ここでは、登録地や登録道、ロゴマークデータ、スケジュール、車両メンテナンスなどのデータをPCカードで管理するための、基本的な操作のしかたについて説明します。

メモ

- データを「CNFC-16M」（別売）などのPCカードに保存することにより、数多くのデータを扱えるようになります。
- PCカードに保存できる件数は次のとおりです。

登録地点	最大で300グループ（1グループの上限は200地点）
登録道	最大で100グループ（1グループの上限は100件）
ロゴマークデータ	最大で100グループ（1グループの上限は200件）
スケジュール・車両メンテナンス	全てのスケジュール・車両メンテナンスデータを一括保存

- PCカードの容量によって、保存できる件数は変わります。

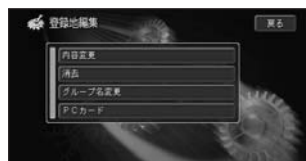
PCカードに保存する

1 PCカードの選べる画面を表示する



2 PCカードにタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。



3 保存にタッチする



登録地の場合

登録地では保存範囲を選択するメニューが表示されます。**グループ選択**、**全データ**、**自宅データ**のいずれかを選んでタッチしてください。

グループ選択 グループリストが表示され、選択したグループ内の登録地が保存される

全データ すべての登録地（グループ内の登録地を含む）が保存される

自宅データ 自宅のデータが保存される

メモ

- **グループ選択** を選んだときは、登録地点のグループリストが表示されます。登録地が1つもグループ分けされていない場合は、登録地点リストが表示されます。手順4に進んでください。
- **全データ** にタッチすると、すべての登録地（自宅は含まない）が1つのグループとして、PCカードに保存されます。グループ名は、登録した年月日、時間+「全データ」となります（例：2003年7月1日17：25全データ）。
- グループ分けされていない登録地を保存するときは、**グループなし**を選んでください。自宅は**グループなし**に振り分けられています。
- 地点が登録されていないグループは表示されません。
- 登録地リストまたはグループ内の登録地リストは、**並べ替え**を押すと並べ替えることができます。→「登録地リストを並べ替える」（78P）

スケジュール・車両メンテナンスの場合

PCカードに保存されます。

メモ

PCカード内に別の「スケジュール・車両メンテナンス」データが保存されている場合は、上書保存の確認メッセージが表示されます。

はい にタッチするとデータが上書き保存されます。**いいえ** にタッチすると保存を中止して、スケジュール・車両メンテナンス画面に戻ります。

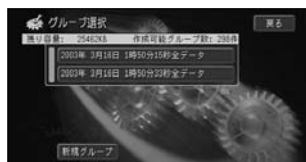
4

保存したいデータを選んで**決定**にタッチする

選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

全選択 にタッチすると、すべてのデータが選択され、メニューの表示が**全解除** に変わります。選択を解除するには、**全解除** または解除したいデータを選んでタッチしてください。



グループ内データのリストとPCカード残り容量、保存可能件数が表示されます。

5 保存先のグループを選んでタッチする

選んだPCカード内のグループに登録地が保存され、地図画面に戻ります。

メモ

- **新規グループ** にタッチすると、文字の入力画面が表示されます。グループ名を入力してください(294P)。
- 全角で20文字まで入力できます。
- PCカードの容量が不足している、または保存可能件数を超えると、メッセージが表示され、保存することができません。

ご注意

保存中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF(エンジンをOFF)したり、フラッシュを開けたりしないでください。

PCカードから読み込む

PCカードに保存されたデータを本機に読み込むことができます。

1 PCカードの選べる画面を表示する

2 PCカードにタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

3 読み込み にタッチする



登録地、登録道、ロゴマークの場合
登録地、登録道、ロゴマークではグループリストが表示されます。読み込みたいデータのあるグループを選んでタッチします。

スケジュール・車両メンテナンスの場合

「本機のデータは読み込むデータですべて上書きされます。よろしいですか?」と表示されます。

はい にタッチするとデータが読み込まれます。**いいえ** にタッチすると読み込みを中止して、スケジュール・車両メンテナンス画面に戻ります。

4 読み込みたいデータを選んでタッチする

選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択** にタッチすると、すべてのデータが選択され、メニューの表示が **全解除** に変わります。選択を解除するには、**全解除** または解除したいデータを選んでタッチしてください。
- 各データの読み込み可能件数は次のとおりです。読み込み可能件数を超えると、選択できなくなります。

登録地	ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200か所
登録道	ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて100件
ロゴマークデータ	ナビケーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200件

5 決定 にタッチする

読み込みを確認するメッセージが表示されます。



登録地の場合

読み込みたい先のグループを選んでタッチする。

6 はい にタッチする

選んだデータが読み込まれ、地図画面に戻ります。

ご注意

読み込み中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF(エンジンをOFF)したり、フラップを開けたりしないでください。

PCカードから消去する

不要になったPCカード内のデータを消去することができます。

1 PCカード の選べる画面を表示する

2 PCカード にタッチする

操作を選択するメニューが表示されます。

3 消去 にタッチする



登録地、登録道、ロゴマークの場合
登録地、登録道、ロゴマークではグループリストが表示されます。

スケジュール・車両メンテナンスの場合

「PCカードのデータを消去します。よろしいですか?」と表示されます。

はい にタッチするとデータが消去されます。**いいえ** にタッチすると消去を中止して、スケジュール・メンテナンス画面に戻ります。

4 消去したいデータのあるグループを選んでタッチする

グループ内データのリストが表示されます。



5 消去したいデータを選んでタッチする

選んだデータにはチェックマークが付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

全選択にタッチすると、すべてのデータが選択され、メニューの表示が**全解除**に変わります。選択を解除するには、**全解除**または解除したいデータを選んでタッチしてください。

6 決定にタッチする

消去を確認するメッセージが表示されます。



7 はいにタッチする

選んだデータが消去され、地図画面に戻ります。

ご注意

消去中のメッセージが表示されている間は、絶対に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）したり、フラップを開けたりしないでください。

PCカードをフォーマットする

PCカードをフォーマット（初期化）すると、PCカード内のデータはすべて消去されます。

1

メニュー — **編集・設定** — 各種

設定にタッチする → 28P

各種設定画面が表示されます。

2

調整・補正にタッチする

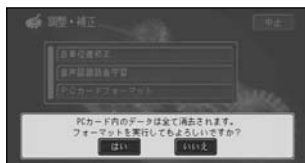
調整・補正メニューが表示されます。



3

PCカードフォーマットにタッチする

確認のメッセージが表示されます。



4

フォーマットしてもよければ、**はい**にタッチする

PCカードがフォーマットされ、現在地画面に戻ります。

フォーマットを中止するときは、**いいえ**にタッチしてください。

ご注意

PCカードをフォーマットすると、PCカードに保存されている全てのデータ（本機以外で保存したデータも含む）が消去されますのでご注意ください。

機能設定一覧

地図表示

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
地図色切替	地図の配色が切り替わるタイミングを設定します。	「 時刻連動 」：日没/日出時刻連動で画面の配色が切り替わります。
		「イルミ連動」：スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り替わります。
		「 昼色固定 」：常に昼画面のままです。
走行軌跡自動消去	走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	「 自宅付近 」：自宅が登録されており、自宅から100m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 電源OFF時 」：本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は自動消去しません。
走行軌跡表示	走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。
		「 OFF 」：走行軌跡は表示されません。
抜け道表示	抜け道を地図上に表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：抜け道が表示されます。
		「 OFF 」：抜け道が表示されません。
登録地画像表示	登録した場所に近づいたとき、詳細情報としてあらかじめ設定した画像を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：登録した場所に近づいたとき、設定した画像が表示されます。
		「 OFF 」：登録地画像は表示されません。
立体ランドマーク表示	スカイビューなどの3D地図表示で、目印になる建物や登録地の3Dマークを立体ランドマークとして表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：立体ランドマークが3D地図上に表示されます。
		「 OFF 」：立体ランドマークは表示されません。
天気予報表示	天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内するかどうかを設定します。	「 ON 」：地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。
		「 OFF 」：地図上の天気予報表示、ルート設定時の天気予報は音声案内されません。

項目名	内容	設定値
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、方面案内が表示されます。 「OFF」：方面案内は表示されません。
2D固定スクロール	スクロール時の画面をノーマルビュー固定にするかどうかを設定します。	「ON」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。 「OFF」：スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。
2D地図の回転	ノーマルビュー表示時の地図回転の方法を設定します。	「ヘディングアップ」：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。 「ノースアップ」：常に北が上になるように地図が表示されます。
ノースアップフロントワイド	ノースアップ時に自車位置を画面中心部より下げて、進行方向の状況を広く見る「フロントワイド」表示にするかどうかを設定します。（ノースアップが選ばれているときのみ、選択できます。）	「ON」：ノースアップフロントワイドが働きます。 「OFF」：ノースアップフロントワイドは働きません。
シティマップ	詳細市街地図収録エリアを100mスケールより詳細な地図で表示したとき、市街地図を表示するかどうかを設定します。	「ON」：市街地図が表示されます。 「OFF」：通常の地図が表示されます。
スカイシティマップ	市街地図をスカイビューなどの3D地図で表示したとき、建物を立体的に表示するかどうかを設定します。（シティマップがONのときのみ、選択できます。）	「ON」：市街地図の建物が立体的に表示されます。 「OFF」：市街地図の建物が平面的に表示されます。
ドライバーズビューウィンドウマップ	ドライバーズビューのとき、画面を分割して地図画面（ウィンドウマップ）を表示するかどうかを設定します。	「ON」：画面の左側にウィンドウマップが表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。
シティハイウェイウィンドウマップ	シティハイウェイマップのウィンドウマップを表示するかしないか、また表示する場合にどの情報を表示するかを設定します。	「高速マップ」：都市高速道路のみが表示されます。 「通常マップ」：ノーマルビューで表示されます。 「OFF」：ウィンドウマップは表示されません。

項目名	内容	設定値
オートハイウェイマップ	有料道路に入った場合、自動的にハイウェイモード、シティハイウェイマップの地図を表示するかどうかを設定します。	「シティハイウェイマップ/ハイウェイモード」：都市高速道路以外ではハイウェイモード、都市高速道路ではシティハイウェイマップにします。
		「ハイウェイモード」：有料道路でハイウェイモードにします。
		「OFF」：ハイウェイモード、シティハイウェイマップにしません。現状の地図表示モードを維持します。
駐車場マップ	収録されている駐車場に入った場合、自動的に駐車場内の地図を表示するかどうかを設定します。	「オート」：駐車場マップが自動的に表示されます。
		「マニュアル」：駐車場マップはスケールコントローラーで表示させます。

ルート・案内

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
オートフリーズーム	現在地と次の案内地点（または目的地）を常に画面内に表示しながら、自動的にズームアップするかどうかを設定します。	「ON」：オートフリーズームが働きます。
		「OFF」：オートフリーズームは働きません。
オートアングルチェンジ	シティハイウェイマップ、ドライバーズビューを表示しているとき、見やすいアングルに自動で変更するかどうかを設定します。	「ON」：自動でアングルが変更されます。
		「OFF」：自動でアングルが変更されません。
車線変更促し表示	推奨レーンとナビゲーションが判断した走行レーンが異なる場合、車線変更を促す表示をします。（簡易ハイブリットや「ND-PG1」（別売）使用時、3Dハイブリッドセンサの初期学習が未終了時は、選択できません。） 学習状態 を リセット するか、 センサメモリ を未学習のセンサメモリに切り替えるとOFFになります（141P）。	「ON」：表示されます。
		「OFF」：表示されません。

項目名	内容	設定値
交差点案内表示	ルート案内時、交差点に近づいたときに表示される案内図の種類を設定します。	「 ドライバーズビュー 」：交差点付近を立体的に表現した案内図が表示されます。
		「 拡大図 」：平面的な交差点拡大図が表示されます。
方面案内表示	一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。	「 ON 」：交差点で方面案内が表示されます。
		「 OFF 」：方面案内は表示されません。
ルートインフォメーション	ルート設定時、ルートインフォメーション（62P）を表示するかどうかを設定します。	「 ON 」：ルート設定時に、ルートインフォメーションが表示されます。
		「 OFF 」：ルートインフォメーションは表示されません。
道のり・到着予想時刻表示	ルート設定時に表示される距離・到着予想時刻の対象となるポイントを設定します。	「 目的地 」：目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
		「 立寄地 」：次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
到着予想時刻速度（一般道）	一般道走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 20km/h 」：平均速度20km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 30km/h 」：平均速度30km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 40km/h 」：平均速度40km/hとして到着予想時刻が計算されます。
到着予想時刻速度（有料道）	有料道路走行時の、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を設定します。	「 60km/h 」：平均速度60km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 80km/h 」：平均速度80km/hとして到着予想時刻が計算されます。
		「 100km/h 」：平均速度100km/hとして到着予想時刻が計算されます。
ルート探索基準	ルートを探索させるとき、最初に探索させる探索基準を設定します。（設定後のルート探索から反映されます。）	「 推奨 」：おすすめの基準でルートが探索されます。
		「 距離優先 」：距離を優先してルートが探索されます。
		「 幹線優先 」：幹線道路を優先してルートが探索されます。

項目名	内容	設定値
有料道路使用条件	ルートを探索させるとき、最初に探索させる探索条件を設定します。 (設定後のルート探索から反映されます。)	「標準」：有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
		「回避」：有料道路を回避したルートが探索されます。
フェリー航路使用条件	ルートの探索条件を設定します。探索されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。	「標準」：フェリー航路が標準的な基準で採用されます。
		「優先」：フェリー航路が優先的に採用されます。
		「回避」：フェリー航路をなるべく使用しないようにします。
登録地のルート探索条件	登録した場所を目的地や立寄地にしたとき、詳細情報として設定した探索条件をもとに、ルート探索を行うかどうかを設定します。	「使う」：登録した場所の詳細情報に設定された探索条件をもとに、ルート探索が行われます。
		「使わない」：詳細情報に設定された探索条件は使用されません。
回避エリア	ルート探索時、回避エリアを通らないルートを探るか、回避エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。	「ON」：回避エリアを通らないルートが探索され、回避エリアが地図画面に表示されます。
		「OFF」：回避エリアを通らないルートは探索しません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。
学習ルート探索	ルート探索時、よく通る道をルートの一部として使うかどうかを設定します (44P)。	「ON」：学習ルート探索が働きます。
		「OFF」：学習ルート探索は働きません。
渋滞考慮ルート探索	VICS情報や規制情報をもとに、渋滞を避けたルートを探るか、渋滞を避けたルートを探るかを設定します (44P)。	「ON」：渋滞を考慮したルートが探索されます。
		「OFF」：渋滞情報は考慮されません。
オートリルート	ルートから外れたとき、自動的にリルートを行うかどうかを設定します (66P)。	「ON」：オートリルートが働きます。
		「OFF」：オートリルートは働きません。
ルートアドバイザー	ルートアドバイザーに考慮される情報を設定することができます。	「登録道／リルート履歴／抜け道」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点、抜け道を考慮します。
		「登録道／リルート履歴」：登録道、オートリルート履歴、登録リルート地点を考慮します。
		「抜け道」：抜け道を考慮します。
		「OFF」：ルートアドバイザーは働きません。

VICS・FM多重

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
渋滞オートガイド	ルート案内時、ルート上の渋滞情報を自動で音声案内させるかどうかを設定します。	「ON」 ：ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。 「OFF」：ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。
VICS情報表示対象道路	VICS情報を表示する対象道路を設定します。	「有料道・一般道」 ：VICS情報をもとに、渋滞している有料道・一般道が道塗り表示されます。 「有料道のみ」：VICS情報をもとに、渋滞している有料道路のみが道塗り表示されます。 「一般道のみ」：VICS情報をもとに、渋滞している一般道路のみが道塗り表示されます。 「表示しない」：渋滞の道塗り表示はされません。
渋滞情報表示	渋滞している道路の道塗りをするかどうかを設定します。	「ON」 ：道塗り表示されます。 「OFF」：道塗り表示されません。
渋滞情報表示の点滅*	渋滞している道路の道塗りを点滅させるかどうかを設定します。順調表示がONに設定されているときは、常に点滅します。(渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。)	「ON」 ：渋滞は常時点滅表示されます。 「OFF」：渋滞は点滅表示されません。
順調表示*	交通状況が順調なことを示す「順調表示」を行うかどうかを設定します。(渋滞情報表示がOFFのときは選択できません。)	「ON」 ：VICS情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。 「OFF」 ：順調表示はされません。

※「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外するとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定することができる機能です。

項目名	内容	設定値
規制表示*	交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。	「ON」：交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。
		「OFF」：交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。
駐車場情報マーク表示*	駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	「ON」：駐車場のVICS情報マークが表示されます。
		「OFF」：駐車場のVICS情報マークは表示されません。
区間旅行時間表示*	区間旅行時間に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	「ON」：旅行時間のVICS情報マークが表示されます。
		「OFF」：旅行時間のVICS情報マークは表示されません。
ビーコン即時表示	受信したビーコンの情報をすぐに表示するかどうかを設定します。この設定はVICS用ビーコンユニット（別売の「ND-B5」など）を接続時のみ有効です。	「文字・図形」：ビーコン情報が文字表示（レベル1）または図形表示（レベル2）のいずれかで案内されます。都市高速や一般道路の走行時は、この設定が便利です。
		「図形」：ビーコン情報が図形表示（レベル2）のみで案内されます。都市間高速の走行時は、この設定が便利です。
		「OFF」：ビーコン情報は案内されません。
ビーコン即時表示時間	ビーコン情報受信時に、画面上に情報を表示させておく時間を設定します。（ビーコン即時表示がOFFのときは選択できません。）	「5秒」：受信したビーコン情報が5秒間表示されます。
		「10秒」：受信したビーコン情報が10秒間表示されます。
		「15秒」：受信したビーコン情報が15秒間表示されます。
FM多重チューナーの設定	内蔵のFM多重チューナーで何を受信するかを設定します。	「VICS」：VICS情報のみを受信します。
		「D-GPS」：D-GPSのみの受信します。
		「FM多重」：FM文字放送のみの受信します。
		「VICS/D-GPSダブル」：VICSとD-GPSの両方を時分割受信します。「VICS」に設定しているときよりも交通情報の更新が遅くなることがあります。

※「VICS情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定することができる機能です。

その他

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定です。

項目名	内容	設定値
情報ウィンドウ	現在地表示の内容を設定します。	「市区町村名」：現在地が市区町村名で表示されます。 「走行道路名」：現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。） 「緯度経度」：現在地が緯度経度で表示されます。 「AV情報」：再生中のトラックタイトルなど表示されます。
AV画面割り込み表示	ソース画面表示中に交差点案内表示やビーコン情報を割り込ませて表示するかどうかを設定します。	「交差点案内表示/ビーコン」：交差点案内表示やビーコン情報が割り込み表示されます。 「交差点案内表示」：交差点案内表示のみ割り込み表示されます。 「ビーコン」：ビーコン情報のみ割り込み表示されます。 「OFF」：割り込み表示されません。
ボイスヘルプ	音声操作中、音声認識語の内容を説明する「ボイスヘルプ」を常に表示するかどうかを設定します。	「オート」：音声操作中は、常にボイスヘルプが表示されます。（ただし走行中は表示されません。） 「マニュアル」：“ボイスヘルプ”と発話した時点で、ボイスヘルプが表示されます。
音声認識話者学習	「初期話者学習」（209P）実施後に学習したデータを使用するかどうか、また、学習を継続するかどうかを設定します。	「ON」：学習したデータが音声認識に使用されます。学習も継続されます。 「OFF」：学習したデータは音声認識に使用されません。また、学習も継続されません。

項目名	内容	設定値
センサメモリ切替	センサの学習結果が保存されるメモリを切り替えます。	「メモリ1」：学習結果がメモリ1に保存されます。年間を通じて同じタイヤで走行する場合には設定を変える必要はありません。
		「メモリ2」：学習結果がメモリ2に保存されます。メモリ1とはサイズの異なるタイヤにしたとき（冬期にスタッドレスタイヤに交換した場合など）に選びます。
有料道注意地点・ 県境案内	危険箇所や県境、合流地点で音声案内するかどうかが設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
踏切案内	踏切で音声案内するかどうかが設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
右左折専用レーン案内	専用レーンで音声案内するかどうかが設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
リフレッシュ案内	2時間連続使用で音声案内するかどうかが設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
ライト点灯案内	夕暮れのタイミングで音声案内するかどうかが設定します。	「ON」：案内されます。
		「OFF」：案内されません。
オービスポイント	道路上にあるオービスポイントを案内するかどうかが設定します。	「全ポイント」：すべての道路で、オービスポイントが案内されます。
		「有料道のみ」：有料道路走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「一般道のみ」：一般道走行中のみ、オービスポイントが案内されます。
		「OFF」：オービスポイントは案内されません。

メモ

オービスポイントに関する操作、およびオービスポイントを案内させるには、別売のオービスROMが必要です。（本機は「CNAD-OP04」に対応しています）

索引

メニュー索引

行き先	名称	▶ P30
	ジャンル	▶ P31
	住所	▶ P33
	電話番号	▶ P34
	周辺施設	▶ P36
	マップコード	▶ P35
	登録地・履歴	▶ P39
	マイリスト	▶ P37
	観光エリア	▶ P38
	自宅	▶ P51

メニュー

情報・通信
編集・設定

VICS情報

FM文字放送

携帯電話

インターネット ▶ P153

LIVEリンク

ハードウェア情報 ▶ P254

操作ガイド ▶ P250

ヘルプネット

図形情報 ▶ P130

文字情報 ▶ P129

センター情報 ▶ P130

放送局選択 ▶ P131

文字情報 ▶ P133

放送局選択 ▶ P133

メモリダイヤル ▶ P199

発信履歴 ▶ P201

着信履歴 ▶ P201

ロードサービス ▶ P203

ダイヤル発信 ▶ P196

ウェザーライブ ▶ P135

ポイントパーティー ▶ P188

ユーザーID ▶ P187

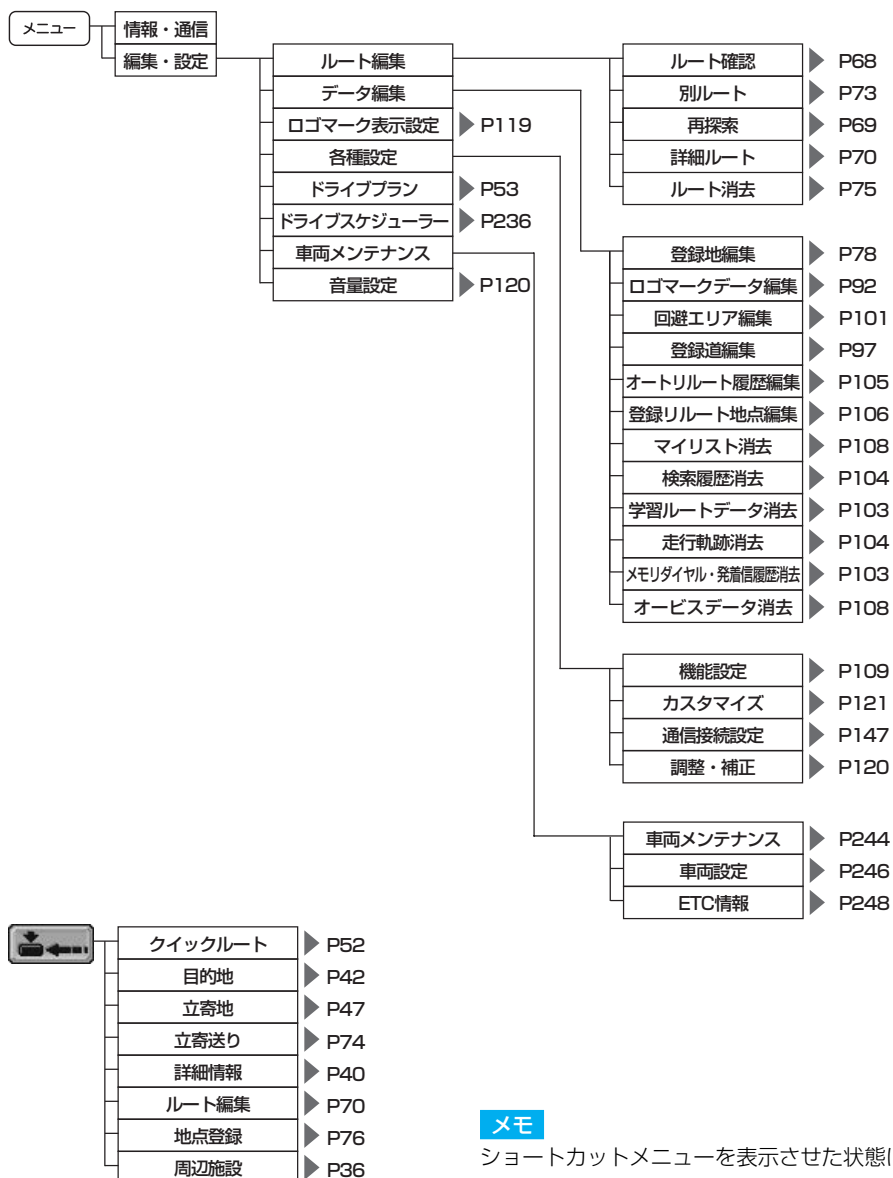
衛星測位状態 ▶ P140

センサ学習状況 ▶ P141

接続状態 ▶ P142

ハードディスク容量 ▶ P143

ヘルプネット情報 ▶ P144



メモ

ショートカットメニューを表示させた状態によって、表示されない項目や選択できない項目があります。

用語索引

■五十音順

あ行

アドレス	
削除する	176
登録する	174
ロックする	176
アドレス帳	174
アメダス情報	135
見る	138
位置情報（ポイント	
パーティーメンバーの）	193
緯度経度で探す	35
イルミネーション	143
インターチェンジ	48, 72
インターネット	145, 165
接続する	153
接続を解除する	165
インターネットとは	145
インターネットサービス	
プロバイダ	145
インテリジェントルート	66
ウィンドウマップ	18
ウェザーライブ	134
ウェブページ	156
保存する	163
ウォッチ機能	190
右左折専用レーン案内	14, 118
衛星測位状態	140
エラーメッセージ	267
エンジンオイルの交換時期	44
お知らせ金額（ETCの）	249
オーディオミュート	232
オートアングルチェンジ	112
オートハイウェイマップ	112
オートフリーズーム	66, 112
オートリルート	66, 114
オートリルート履歴	
消去	106
編集	105
オービスポイント	118, 291
オービスROM	118

音声案内	64
音声操作	204
設定を変える	232
音声操作の流れ	205
音声認識語	
基本操作	216
ルートの設定と案内	218
VICS情報	220
音声認識コントローラー	6, 205
音声認識話者学習	117, 209
音量	120

か行

回転（地図の）	20
回避エリア	100, 114
消去	102
名称を変更	101
回避エリアを考慮した	
ルート探索	44
回避したい場所	100
学習ルート探索	43, 114
角度（地図を見る）	21
カスタマイズ	
画面の背景	121
壁紙	121
画面の背景をカスタマイズする	121
簡易ハイブリッドシステム	276
漢字表	295
記号	293
気象情報	134
音声で操作する	231
取得する	134
規制情報	128
規制表示	116
軌跡表示	12
季節予報	134
見る	138
キャラクタ（音声操作の）	205
緊急情報の自動表示	120
緊急通報発呼	144
禁止マーク	263
クイックルート探索	52
区間旅行時間表示	116
クリッカブルマップ	155

グループ分け（登録地の）	86	自宅に変更する	88
携帯電話	222	自宅を登録する	76
携帯電話情報	103	シティハイウェイマップ	17, 24
警報・注意報	135	シティハイウェイ	
見る	139	ウィンドウマップ	111
県境案内	14	シティマップ	17, 20, 111
現在地画面	12	車検の期日	245
表示させる	13	車載機ID	144
現在地の地名	12	車線変更促し表示	112, 281
現在地ボタン	5	車速パルス	142
現在地を登録する	76	車両情報	244
検索履歴を消去する	104	設定する	246
効果音	84	ジャンクションの分岐先	23
交差点案内表示	113	ジャンルで探す	31
合流方向案内	14	音声操作で探す	211
誤差	278	週間天気予報	134
		見る	137
さ行		十字カーソル	15
サイドマップ表示	16	住所で探す	33
最終保守点検日	144	音声操作で探す	212
探す		渋滞オートガイド	67, 115
緯度経度	35	渋滞・規制情報	67, 128
観光エリア	38	渋滞考慮オートリルート	67, 114
ジャンル	31	渋滞考慮ルート探索	44, 114
住所	33	渋滞情報表示	115
電話番号	34	渋滞情報表示の点滅	115
マイリスト	37	周辺施設	36
マップコード	35	音声操作で探す	211
名称	30	受信（メールの）	180
削除（文字の）	295	受信メールメニュー	180
作成		出発地	50
ドライブスケジュール	236	順調表示	115
ドライブプラン	53	消去	
メール	169	オートリルート履歴	106
サービスエリア	24	オービスデータ	108
紫外線予報	134	回避エリア	102
次回保守点検予定日	144	携帯電話情報	103
シグネチャー		検索履歴	104
登録する	179	走行軌跡	104
自車位置のずれ	120	登録地	88
自車マーク	12	登録道	99
施設情報（有料道路の）	22	登録リルート地点	107
自宅に帰るルート	51	ドライブスケジュール	242
音声操作で探す	215	ドライブプラン	60

登録したロゴマーク	96	送信（メールの）	169
ヘルプネット機能	253	送信メールメニュー	169
マイリスト	108	挿入（文字の）	296
ルートの学習内容	103		
PCカード	301	た行	
詳細情報（検索した場所の）	40	タウンページデータ	282
情報ウィンドウ	117	立寄地	47
ショートカットメニュー	28	位置を修正	71
署名		先送り	74
登録する	179	削除	71
自立航法	275	追加	70
スカイシティマップ	111	並べ替え	70
スカイビュー	17	他のルート	46
杉花粉予報	138	探索条件	42, 85
スクロール	19	地図画面	
スクロール画面	15, 41	表示方法を変える	17
スクロール方面表示	111	地図色切替	110
図形情報（VICS情報の）	130	地図で探す	29
スケジュールリスト	241	駐車場情報マーク表示	116
スケール	19	駐車場マップ	112, 281
スケール表示	12	ツインビュー	18
スタートメニュー	27	通報する（ヘルプネット）	250
スペース	296	定型文	
すれ		削除する	179
自車位置	120	登録する	177
接続状態	145	編集する	178
接続設定		入力する	297
（インターネットの）	147, 151	訂正ボタン	6
接続パスワード	149	ディファレンシャルGPS	277
接続ID	149	デモ走行	69
設定地点リスト	69	テレビ	261
セーフティインフォメーション	14	音声で操作する	205
全角	294	天気予報	137
センサ学習状況	141	見る	137
センサメモリ切替	117	天気予報表示	110
センサーメモリーのリセット	274	電源電圧	143
センター情報（VICSセンターの）	130	転送（メールの）	172, 182
前納料金（ETCの）	248	添付（ファイルの）	171
全ルート再探索	73	添付ファイル	
走行軌跡自動消去	110	削除する	186
走行軌跡表示	110	操作する	185
走行軌跡を消去する	104	並べ替える	186
操作ガイド	254	開く	184
操作ボタン	5	電話番号で探す	34

音声操作で探す	212	実行を場所で指定する	239
電話をかける	196	消去する	242
音声操作で	221	日時または場所を変更する	242
通話の履歴から	201	ドライブプラン	53
登録された電話番号へ	197	確認する	60
メモリダイヤルから	199	作成する	53
到着予想時刻速度（有料道）	113	実行する	58
登録		実行中	58
アドレス	174	消去する	60
回避したい場所	100	編集する	59
現在地	76	取付け位置	143
現在地地図の見えかた	22		
探した場所	77	な行	
シグネチャー	179	ナビゲーションのしくみ	275
自宅	76	入力（文字の）	294
署名	179	任意保険の期日	245
定型文	177	抜け道情報	13
通りたい道路	97	抜け道表示	110
ポイントパーティーの		ノースアップ	16
メンバー	191	ノースアップフロントワイド	16, 111
ロゴマーク	94	ノーマルビュー	17
登録地画面表示	110	乗り降りIC	48, 72
登録地から探す	39	は行	
登録地の画像	82	ハイウェイモード	16, 18
登録地の効果音	84	パーキングエリア	24
登録地の名称	79	パーキングブレーキ	143
登録地のよみ	80	パーキングブレーキコード	256
登録地のルート探索条件	114	場所ボタン	6
登録地リスト	78	パスワード	
登録地を消去する	88	（ポイントパーティーの）	189
登録道	97	バックカメラ	291
消去	99	バックカメラ連動	291
編集	98	バック信号	143
都市高速の入口	62	発話するタイミング	205
ドメインネーム	167	ハードウェア情報	140
ドライバーズビュー	18	ハードディスク情報	143
ドライバーズビュー		半角	294
ウィンドウマップ	111	ハンズフリー通話	195, 197
ドライブスケジューラー	236	ビデオ	
ドライブスケジュール	236	音声で操作する	224
一括消去する	243	ビーコン	285
確認する	239	ビーコン情報の自動表示	128
作成する	236	ビーコン即時表示	116
実行時の確認画面	239	ビーコン即時表示時間	143

ビーコンユニット	158	参加する	192
非表示（ロゴマークの）	91	終了する	194
ヒューズ	255	初期登録	187
ビューメモリー	22	設定を変更する	189
ファイルを添付する	171	方位表示	12
フェリー航路使用条件	114	放送局（VICS情報の）	131
フォーマット（PCカードの）	302	方向指定	85
ブックマーク	157	方面案内表示	113
削除する	160	他のルート	46
並べ替える	159	保存する（PCカードに）	298
ロックする	160	ホームページ	156
踏切案内	14, 118		
ブラウザ画面	151	ま行	
ブラウザの操作	154	マイリスト	37
プロバイダ	147, 165	消去	108
分岐（有料道路の）	62	マーク（登録地の）	80
ヘディングアップ	12, 16	マップコードで探す	33
ヘルプネット	250	未送信メール	171
機能を消去する	253	道のり・到着予想時刻表示	113
システムの点検	251	ミュージックサーバー	227
通報する	250	音声で操作する	227
ヘルプネット情報	144	無変換	295
変換	295	名称で探す	30
変更		メニュー	
スケジュールの日時または場所	242	基本的な操作	26
ナビゲーションの機能設定	110	ショートカットメニュー	28
自宅に変更	88	スタートメニュー	27
登録地の位置	87	メモリダイヤル	198
登録地のグループ名	90	詳細情報を見る	200
登録地の探索条件	85	並べ替える	200
編集		メール	
オートリルート履歴	105	削除する	174, 184
回避エリア	101	作成する	169
定型文	178	受信する	180
登録地	78	送信する	169
登録道	98	転送する	172, 182
登録リルート地点	106	ロックする	173, 183
ドライブプラン	59	メールアドレス	166
目的地や立寄地	70	メール環境	168
ロゴマーク	91	免許更新の期日	245
返信	182	目的地	
ボイスヘルプ	117	位置を修正する	72
ポイントパーティー	187	探す	29
開始する	188	文字種を切り替える	294

文字情報 (VICS情報の)	129	ルートを探索させる	42
文字の入力操作	294	ルート探索基準	113
文字を削除する	295	ルートプロフィール	45, 68
文字を入力する	294	ルートを確認する	45, 68
や行		ロゴマーク	91
有料道注意地点・県境案内	118	位置を修正	95
有料道路注意地点	14	消去	96
有料道路使用条件	114	登録	94
有料道路の施設情報	22	非表示	91
よみ (登録地の)	80	表示	92
読み込む (PCカードから)	300	表示をON/OFFする	119
ユーザーID	187	マークを変更	96
ら行		ロックする	
ライト点灯案内	14, 118	アドレス	176
ラジオ	230	ブックマーク	160
音声で操作する	230	メール	173, 183
リスト画面	16	履歴	162
リスト表示	26	ロードサービス	203
リセット (センサーメモリーの)	274		
リーダー		■数字・アルファベット順	
(ポイントパーティーの)	193	数字	
立体ランドマーク	81	2D固定スクロール	111
立体ランドマーク表示	110	2D地図の回転	111
リフレッシュ案内	14, 118	2Dマーク	80
料金所	63	2画面表示	
料金表示	24		18, 292
履歴 (ウェブページの)	161	3Dハイブリッドセンサー	276
削除する	163	3Dマーク	81
ロックする	162	A	
履歴から探す	39	AV画面割り込み表示	117
リンク先	155	C	
ルートアドバイザー	114	carrozzeria.com	166
ルート案内	61	CD	226
中止する	75	音声で操作する	226
ルート案内開始画面	61	CGI	166
ルートインフォメーション	62, 113	D	
ルート再探索	69	D-GPS	277
ルートスクロール	45, 68	DNS	167
ルート探索		DVD	225
回避エリアを考慮した		音声で操作する	225
ルート探索	44	E	
学習ルート探索	44	ETC	247
渋滞考慮ルート探索	44	お知らせ金額	249

前納料金	248	VICS情報の表示形態	125
利用履歴	248	VICS情報表示対象道路	115
ETCユニット	247	VICS情報マーク	127
Eメール	168	VICS情報を見る	129
F		VICSとは	124
FM多重チューナーの設定	116	VICS用ビーコンユニット	67, 128
FM文字放送	133	W	
G		www	166
GPS	275		
GPSアンテナ	142		
H			
http	166		
I			
IPアドレス	167		
J			
JIS第二水準	295		
L			
LIVEリンク	229		
ウェザーライブ	134		
ポイントパーティー	187		
ユーザーID	187		
M			
MD	229		
音声で操作する	229		
MP3ディスク	226		
音声で操作する	226		
P			
PCカード	298		
消去する	301		
保存する	298		
読み込む	300		
PCカードをフォーマットする	302		
Proxyサーバー	167		
S			
SSL	166		
U			
URL	166		
V			
VICS/FM多重チューナー	124		
VICS情報	125, 220		
VICS情報受信	25		
VICS情報提供時刻	12		

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1地勢図を使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認 平15企指公第2号、平8総使第31号)
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース(©2004財団法人日本デジタル道路地図協会)を使用しました。(測量法44条に基づく成果使用承認90-063)
- この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1国土基本図を使用しました。(承認番号平成10年小田原市指令第52号)
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1国土基本図を使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図の作成に当たっては、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。(平成12年 養建第1902号)
- この地図の作成に当たっては、貴志川町長の承認を得て同町発行の2,500分の1全図を使用し、調整しました。(承認番号平10. 近公. 第34号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用しています。TMT承認番号 04-206
- 本製品に使用している交通規制データは、2003年4月現在のもので、本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をパイオニア(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複製・加工または改変することはできません。©2004.TMT
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2004年3月現在のもので、

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(札幌)(旭川)(函館)(北見)(釧路)、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県、富山県、福井県、石川県、愛知県、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- VICサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

テレビ局リストのデータについて

- テレビ局リストのデータは2004年1月調査現在のもので、TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

訪問宅（個人宅）電話番号データについて

- 訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売（株）「Bellemax®」（2003年7月現在）のデータを使用しております。訪問宅（個人宅）電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。（音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。）

抜け道データについて

- 抜け道データは、株式会社昭文社提供のデータ、2002年5月版（東京23区）、2001年4月版（名古屋）、2002年4月版（大阪）、2002年5月版（関東圏（繁

華街・観光地））、2003年4月版（中部圏）のデータを使用しています。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社（2003年7月現在のタウンページデータ）
（音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。）
- 財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による危険地帯データ）
- 三井物産株式会社（2003年7月現在の駐車場データ）
- 監修：夜景愛好家 縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
- 小黒俊雄（写真撮影、百名山・高原植物）
- 加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
- 関係各市町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）
- 米国特許No.4,558,302および対応外国特許
- 観光エリア検索データは、社団法人日本観光協会提供のデータ（2001年8月調査時点）および、株式会社昭文社提供のデータ（2002年12月時点）を使用しています。
- シティハイウェイマップ時に表示される看板データについては、2002年10月調査時点（東京）、2002年9月調査時点（大阪・名古屋）のデータを使用しております。（実際の看板と異なる場合があります）

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- この製品に含まれるGIFモジュールはブラウザとしての使用に限定して米ユニシス社のライセンスを受けています。これ以外の用途でご使用になるには、お客さま自身で別途ライセンスをお取りいただく必要があります。
- また、米ユニシス社から取得したライセンスが適用されるのはこの製品だけであり、この製品と一緒にご使用になる他の製品のライセンスが付与されるものではありません。

「本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFront®を搭載しています。

Copyright©1996-2001 ACCESS CO.,LTD

NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。」

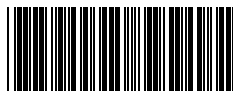
株式会社ACCESS

NetFront®

地図記号一覧

記号	意味	記号	意味	記号	意味
	高速道路・有料道路		空港・飛行場		スポーツ施設
	一般国道		ヘリポート		その他スポーツ施設
	主要地方道		フェリー乗り場		海水浴場・プール
	一般都道府県道		灯台		ヨットハーバー
	一般道		工場など		自動車学校
	細街路		警察署		牧場
	鉄道		消防署		城・城跡
	県境		病院・保健所		神社
	海・川・湖沼		公民館・公共図書館		寺
	緑地（ゴルフ場・公園など）		郵便局		墓地
	施設		NTT		タワラー
	駅・駅舎・駅ビル		小学校		温泉
	インターチェンジ名（紺） ランプ名（紺） 交差点名（黒）		中学校		山岳
	一方通行（シティマップのみ）		高校・その他教育施設		指示点
	ランプ出入口 （紺：入口 赤：出口）		高専		教会
	インターチェンジ （5kmスケールのみ）		大学		キャンプ場
	サービスエリア		デパート・スーパー		テニスコート
	パーキングエリア		D I Yショップ		乗馬クラブ
	駐車場		ホテル		ボウリング場
	道の駅		ホール・劇場・文化会館		観光船乗り場
	料金所		公園		マンション（シティマップのみ）
	トンネル出入口		遊園地・テーマパークなど		
			動物園		
			植物園		
			水族館		
			美術館・博物館		
			野球場・スタジアム		
			体育館		
			競馬場		
			ゴルフ場・ゴルフ練習場		
			スキー場		
			モータースポーツ		

- ※ 地図データの整備上、通常の地図とシティマップでは、道路種別色が異なる場合があります。
- ※ 地図の回転などにより、文字どうし、あるいは文字と記号とが重なる場合があります。
- ※ 車の進行方向によって、交差点名が地図上の表記と実際の表記で異なる場合があります。
- ※ 地図記号は、実際に地図に表示されると記号と若干異なる場合があります。
- ※ 記号の色は印刷インクの関係上、実際の色とは異なる場合があります。



C R A 3 7 0 6



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

●パイオニアホームページ：お客様サポート <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

●ファックス受付

☎ **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～19：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話 ☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 ☎ **098-879-1910**

ファックス ☎ **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

< KAMFF > < 05A00000 > < CRA3706-B >